講義概要・授業計画

平成 26 年度（2014）

高野山大学

総　目　次

■　本誌の利用に際して

■　入学から卒業までの履修について

■　目的を持った学習生活を送ろう！－宗教的教養を持った社会人を目指して

■　《僧侶実力養成プログラム》

■　カリキュラムマップ

■　講義概要・授業計画

文学部／別科　文１～文46

大　学　院　院１～院13

■　教員別索引（50音順）　索引１～索引２

本誌の利用に際して

この「講義概要・授業計画」は、平成 26 年度に開講される授業科目の講義内容を掲載したものです。

学生の皆さんが今年度受講する科目の内容は、目次により、当該科目の頁を開くことで見ることができます。

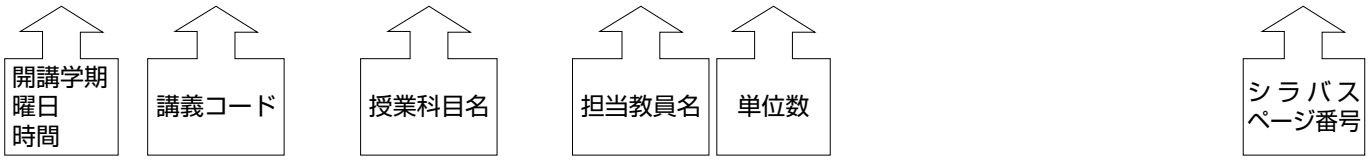
文　学　部

別　科

◆目次について

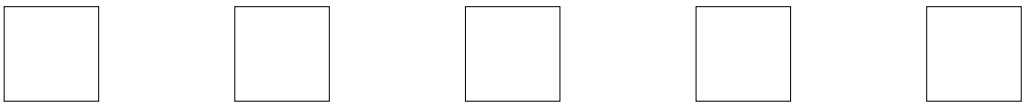
この『平成 26 年度講義概要・授業計画』では、まず目次で自分の学年のページを開き、そこに記載されている科目情報およびシラバスページ番号を確認してください。学生の皆さんが今年度受講する科目の内容は、目次により当該科目のシラバスページを開くことで見ることができます。

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
前期	水	1	53101	空海の思想入門	藤 田 光 寛	2	1 年次	−		1



◆講義コードについて

講義コードは５ケタの数字になっています。コードは、それぞれ次の内容を表しています。



（５ケタ）

課程
5 = 文学部生用
8 = 別科生用
9 = 大学院生用

曜日
1 = 月曜日
2 = 火曜日
3 = 水曜日
4 = 木曜日
5 = 金曜日
6 = 土曜日
7 = 集中講義
8 = 実習
9 = 論文

時限
1 = 1 講時
2 = 2 講時
3 = 3 講時
4 = 4 講時
5 = 5 講時

通し番号
01 ～ 49 = 前期授業
および通年授業
51 ～ 99 = 後期授業

◆受講登録について

1　受講登録の手続きは、今年度受講する全授業科目を履修登録票に記入し、**4月7日（月）から4月16日（水）午後5時まで**に教務係へ提出してください。

2　履修登録票は、枠内にはっきりと、ていねいに記入してください。

①　学籍番号（※ 身分証明書を参照）・氏名・所属学科・学年を記入してください。

②　履修登録欄には、今年度に受講するすべての授業科目を、『平成26年度講義概要・授業計画』および授業時間表を参照して、講義コード・授業科目名（卒業論文も含む）を記入してください。

3　履修登録票を教務係へ提出した学生は、**4月21日（月）から4月25日（金）午後5時まで**に、教務係で各自の「学生時間割表」を受け取り、誤り・変更がないか確認をしてください。

この時に学生証が必要です。確認後、誤り・変更がなければ、氏名の横に捺印もしくは署名をし、提出してください。誤り・変更があれば、朱書きで訂正をし、教務係へ提出してください。

4　最後に、各自の「学生時間割表」のコピーを受け取り、1年間保管してください。

5　後期（9月26日開講）授業科目の追加及び登録変更は、**9月26日（金）から10月1日（水）午後5時まで**の後期履修登録変更期間に、教務係へ申し出てください。ただし、通年科目の追加･変更･取消はできません。

◆出席票について

「出席票」は、各授業の第1回目から第3回目まで、毎回各教室で担当教員に提出してください。

それ以降は各担当教員の指示に従ってください。授業実数の3分の2以上の出席がないと「失格」になりますので留意してください。

◆報恩日（21日）の授業実施について

報恩日（21日）は、午前中は報恩日の行事に参加し、午後（第3講時、第4講時）は通常どおり授業を実施しますので、留意してください。

入学から卒業までの履修について

文学部密教学科では卒業までに 130 単位以上の科目を履修することとしています（履修規程第３条）。授業科目は、大きく必修科目と選択科目に分かれ、その中でいくつかにグループ分けされていて、グループごとに何単位を履修するかが定められています。また、必修・選択科目以外に資格取得や就職準備のための自由科目が用意されていますが、自由科目は卒業に必要な単位に算入されません。また履修できるのは１年間に 44 単位までと上限が定められています（自由科目を除く）ので、４年で卒業するには１回生からコンスタントに学習することが重要です。

必修科目には、①１回生履修科目、②２回生履修科目、③３回生履修科目、④４回生履修科目があり、①～④で卒業に必要な単位数が決まっています。選択科目には密教学科科目、総合科目などの種類がありますが、基本的には選択科目全体で卒業に必要な合計単位数が決まっています。それぞれの科目グループで単位をいくつ履修しなければならないかの詳細は、『高野山大学要覧』の高野山大学履修規程 別表Ⅰに記載していますので参照してください。なお、今年度より、原則として最終授業時に、期末試験・レポート試験の採点ずみ答案を返却します。詳細は授業担当者に尋ねてください。

以下では必修・選択科目それぞれの中にある科目グループについて説明します。これを参考に、各自の興味や関心に沿った履修を計画してください。

必修科目

必修科目とは、卒業までに必ず履修しなければならない科目のことです。学年が上がってくると、「○科目のうちから○科目以上履修すればよい」という場合もありますが、１、２回生では「指定された科目を必ず履修しなければならない」という場合がほとんどです。これを取り損ねると次年度からの履修にも支障を来しますので、必ず指定された学年で履修しましょう。

１回生必修科目

以下の１回生必修科目はすべて合格しないと卒業できない科目です。それだけ今後の学習において重要な位置を占めると考え、必ず１回生のうちに履修をすませてください。

１）「建学の精神」科目

空海の思想入門

文字どおり本学の教育の基本となる科目で、学長が担当します。空海について名前くらいしか知らないという人を想定して、その思想を中心に基本的なことを学びます。

２）語学科目

英語Ⅰ

語学はコミュニケーションの手段としても、またそれを通じて世界の見方を広げる手段としても重要です。１回生では高校レベルの復習を中心に学びます。１回生で不合格になった場合は次年度に再履修コースを受講します。

３）導入科目

日本語

大学での筆記試験やレポート、ひいては４回生での卒業論文の作成を念頭に、その準備として「読む・書く」を中心としたトレーニングをします。１回生で不合格になった場合は次年度に再履修コースを受講します。

４）基礎講義

現代思想　人間と宗教　釈尊伝　弘法大師伝

本学で学び始めたみなさんに最低限知っておいてもらいたい、考えてもらいたい内容です。一方で、現代の抱える問題、人間が抱えてきた問題を学び、他方で仏教の開祖であるブッダや真言宗の開祖である弘法大師について、名前くらいしか知らないという人を想定して、その時代背景と生涯を学びます。

5）古典語

漢文Ⅰ・Ⅱ

古典を学ぶのに必須となる漢文の力を養います。1回生では中学・高校レベルの復習を中心に学びます。

2回生必修科目

以下の2回生必修科目もほとんどが**合格しないと卒業できない科目**です。3回生から始まる専門科目を学ぶための基礎としても重要です。必ず2回生のうちに履修をすませてください。

1）語学科目

英語Ⅱ

2年次には高校レベルをベースに長文を読み進める忍耐力を養います。2回生で不合格になった場合は次年度に再履修コースを受講します。

2）講義Ⅰ

密教学概論　密教史概説　仏教学概論　仏教史概説

1年次の**空海の思想入門、釈尊伝、弘法大師伝**を基礎として、密教と仏教それぞれについて、その学問分野の全体像と歴史を学びます。

3）2回生講読

祖典講読Ⅰ・Ⅱ

弘法大師の思想は本学での学習に欠かせない要素です。それを原典の漢文で読み進めていきます。弘法大師の思想に触れると共に、それが漢文でどのように表現されているかについても学びます。

3回生必修科目

いよいよ3回生から本格的な専門の内容を学びます。履修科目の選択にあたっては4回生になってどんな内容で卒業論文を書きたいか、その希望も踏まえてその領域の科目を重点的に学んでください。

1）3回生講読

祖典講読Ⅲ・Ⅳ

2回生に引きつづき弘法大師の著作を原典で読み、その思想に触れます。漢文の勉強もしっかり進めてください。

2）講読演習

密教学講読演習　仏教学講読演習　真言密教講読演習

講読演習は卒業論文作成の準備作業としての意義を持つ科目です。1冊または複数の文献を丁寧に読み、要点をまとめ、それを自分の考察や議論に生かしていくための方法を学びます。

3）講義Ⅱ

密教学特殊講義　仏教学特殊講義　真言密教特殊講義

2回生までに学んだ密教、仏教の基礎的知識を踏まえ、担当教員がそれぞれの得意分野で専門的な講義を展開します。自分の興味や卒業論文のテーマに合わせ、3回生と4回生で必要単位がそろうように履修してください。

4）演習Ⅰ

密教学演習

4回生、大学院生と共に学びます。目標は卒業論文の作成で、その途中経過を報告して質問やコメントを受けたり、担当教員からアドバイスをもらったりします。3回生のうちは特に、4回生の卒論報告を聞いて資料の集め方、議論の進め方、発表の仕方などを学びます。このほかに、卒論作成の力をつける課題に取り組むこともあります。

４回生必修科目

１）講読演習

密教学講読演習　仏教学講読演習　真言密教講読演習

３回生必修科目と同じです。

２）講義Ⅱ

密教学特殊講義　仏教学特殊講義　真言密教特殊講義

３回生必修科目と同じです。

３）演習Ⅱ

密教学演習

３回生、大学院生と共に学びます。目標は卒業論文の作成で、その途中経過を報告して質問やコメントを受けたり、担当教員からアドバイスをもらったりします。４回生の卒論報告は３回生のための手本ともなります。必要に応じて担当教員に相談しながら、早めに準備を始めて納得のいく卒業論文を仕上げてください。このほかに、卒論作成の力をつける課題に取り組むこともあります。

※ 演習の選択にあたって

演習は卒業論文を作成するための科目です。主にどの教員の指導を受けて卒論を書くか、３回生までにいろいろな教員の授業を受けながらよく考えておいて下さい。何か書いてみたいテーマがぼんやりとでも見えてきたら、オフィスアワーや授業の前後の時間を利用して、教員に直接相談してみるのもよいでしょう。場合によっては、卒論はこの先生の指導で書くが、あの先生の演習も受けて参考にしたいという希望が出てくるかもしれません。その時にはそれぞれの教員にその希望を伝え、十分に相談してから受講して下さい。

選択科目

選択科目とは、密教学３領域（密教学、人文学、スピリチュアルケア）の他に、本学での学びを支えるために用意された科目です。密教学科科目や総合科目などいくつかのグループがありますが、グループ分けにこだわらず興味のあるものを選び、卒業までに全体で 52 単位を履修することが必要です。

選択科目と必修科目が重複して開講されている場合には必修科目を優先して履修してください。時間割をつくる際には、まず前の学年で履修できなかった必修科目があればそれを登録し、次に今の学年の必修科目を登録し、その後で空いている時間に選択科目を登録していくといいでしょう。１学年で履修できる科目の上限が 44 単位ですから、月曜から金曜まで、１講時から４講時（５講時）まで、すべてを授業で埋めることはできません。受けている授業の予習・復習をしたり、図書館で調べ物をしたり、空き時間をうまく活用して勉強を進めてください。密教学科合同研究室を覗いて先輩たちにアドバイスをもらったり、学習・就職支援室で就職活動の準備をするのもいいでしょう。

資格科目について

本学では、必要な科目を履修することによって、以下の免許・資格を取得できます。

・教育職員免許（宗教中学校１種、宗教高等学校１種、国語中学校１種、国語高等学校１種）
・高野山金剛峯寺・高野山大学書道師範
・社会福祉主事任用資格
・僧階

いずれも『高野山大学要覧』の高野山大学履修規程および高野山大学履修要項を参考にしてください。特に教職免許は卒業単位以外に必要となる科目が多いので、１回生のうちから計画的に履修していくことが重要です。

目的を持った学習生活を送ろう！――宗教的教養を持った社会人を目指して

学習・就職支援室長　山脇雅夫

本学のカリキュラムは「宗教的教養を持った社会人」を育成するよう設計されています。宗教的教養を持った社会人とは、宗教の知恵を人生の指針とし、それを社会で活かしていける力を持った社会人です。それは例えば、すべての「いのち」が平等だという弘法大師の教えを具体化し実践できる人です。

カリキュラムマップは、そうした人になるための学習の体系を図示したものです。弘法大師の教えを具体化し、実践するためには、密教・仏教の古典の知識はもちろん必要ですが、それだけでは足りません。人に教えを伝えるためには高いコミュニケーション能力も必要ですし、寺院を経営したり、福祉事業を展開するための社会活動力も必要です。哲学・歴史・文学といった広い教養も求められます。本学カリキュラムは、そうした勉強が段階を追って出来るようになっています。

また、こうした勉強を通して、社会人として必要な力も培われます。たとえば、古典を勉強することで古人の英知を身につけることができます。テキストを読解することで論理的に考える力が育ちます。語学の学習はコツコツと一つのことをやり遂げる根気を培います。ゼミでの討論は、人の話を理解し、自分の考えを人に説明する力を育てます。総じて学問を修めることは、何かを絶対視せず、批判的・総合的に物事を考察する習慣を育みます。

こうした力は、僧侶になる人にも一般企業に就職する人にも役に立ちます。こうした力を基礎に、僧侶を目指す人は僧侶実力養成プログラムを、一般企業を目指す人は就職支援授業をさらに活用してください。

大学の学問は難しい、初めはまるでチンプンカンということもあるかもしれません。しかし、そこが大学の学問のいいところなのです。見通しがきかない未知の世界に身を投げ入れ、そこでもがき苦しんで、自分なりのなにかを見つけること、そこに大学の勉強の醍醐味があります。それは社会で生きることに似ていると思います。難しい勉強をあきらめずに続けることが、そのまま、社会に出るためのトレーニングなのです。

大学４年間という時間は、長いようで短いものです。ぼんやりしているとアッと言う間にすぎてしまいます。しっかりと目的意識を持って、自分を鍛えてください。

《僧侶実力養成プログラム》

密教学科主任　佐藤隆彦

僧階取得を目指す学生は、必ず得度、受戒、加行、潅頂を在学中におこなってください。詳しくは掲示に注意するとともに学生手帳「D 僧侶への道」をよく読んでおいてください。

二年次において専修学院（学外授業実施施設）にてこれらの行位を全て履修することもできます。

専修学院以外の場所で加行をする人は、「教学実習」科目、法式、声明、常用経典、布教を加行に入る前にできるだけ履修してください。特に、声明、常用経典は、加行をすすめるのには必要不可欠ですので必ず履修するとともに練習を積んでおいてください。

専修学院（学外授業実施施設）にて加行、潅頂と講義を受ける事を希望する学生は、学外施設において開講する指定科目を履修することにより本学の開講する必修科目・選択科目と同等の科目と見なし算入することができます。学外施設における指定された科目は毎年 12 月頃に掲示で告知しますので注意しておいてください。なお、『大学要覧』の「学外施設（高野山専修学院）における授業の単位取得」にも必ず目を通しておいてください。

密教学科の講義の中には潅頂を履修した後に初めて受けることが出来る講義があります。早めに加行と潅頂を終わらせて積極的にこれらの講義を受講するようにしてください。その他、僧侶として身につけておいた方が良い科目群を「僧侶実力養成プログラム」と題して選び出しています。これらの科目についても積極的に受講してください。

受講モデルケース

１回生		
常用経典	阿字観	声明
詠歌	法式	

２回生		
布教	声明上級	梵字悉曇

３回生　４回生		
法式上級	密教学特殊講義（事相）	一流伝授

僧侶実力養成プログラム

【教学実習科目】

法式　　声明　　常用経典　　布教

【企画科目】

詠歌　　阿息観　　月輪観と阿字観　　法式上級　　声明上級　　一流伝授

【選択科目】

梵字悉曇

【講義】

密教学特殊講義（事相）

建学の精神科目　空海の思想入門

		古典に学ぶ	伝統文化を学ぶ	人と関わる	社会に生かす	僧侶
1回生	必修	弘法大師伝 釈尊伝	漢文Ⅰ・Ⅱ	日本語 人間と宗教 英語Ⅰ	現代思想	
	選択	総合科目（古文書入門） 総合科目（書誌学） サンスクリット語Ⅰ チベット語 宗教思想史Ⅰ・Ⅱ 宗教学Ⅰ・Ⅱ 宗教史Ⅰ・Ⅱ	企画科目（仏教芸術） 企画科目（芸能） 企画科目（茶道） 企画科目（詠歌） 企画科目（舞踊） 漢字Ⅰ かなⅠ 日本文学Ⅰ・Ⅱ 国文法Ⅰ・Ⅱ 国語学Ⅰ・Ⅱ	企画科目（傾聴実践） 企画科目（グリーフケア） 企画科目（ヴィパッサナー瞑想Ⅰ・Ⅱ） 心理学Ⅰ・Ⅱ 企画科目（時事英語） 英会話 中国語（初級） 体育実技	総合科目（デジタルアーカイブ） 情報処理 社会学Ⅰ・Ⅱ 現代の人権 日本国憲法 社会保障総論Ⅰ・Ⅱ	常用経典 声明 法式 布教 梵字悉曇 企画科目（阿息観） 企画科目（月輪観と阿字観） 企画科目（声明上級） 企画科目（一流伝授Ⅰ・Ⅱ）
2回生	必修	密教学概論Ⅰ・Ⅱ 密教史概説Ⅰ・Ⅱ 仏教史概説Ⅰ・Ⅱ 祖典講読Ⅰ・Ⅱ			英語Ⅱ	
	選択		日本文学概論Ⅰ・Ⅱ 日本文学史概説Ⅰ・Ⅱ 国語学講義Ⅰ・Ⅱ 漢文学概論Ⅰ・Ⅱ 漢字Ⅱ かなⅡ 書道史（中国）	中国語（上級）	社会福祉各論Ⅰ・Ⅱ（地域福祉） 社会福祉各論Ⅰ（高齢者福祉） 社会福祉各論Ⅱ（児童福祉） 社会福祉概論Ⅱ	企画科目（法式上級） 企画科目（声明上級）

		密教学領域	人文学領域	スピリチュアルケア領域
3・4回生	必修	祖典講読Ⅲ・ⅣA　（辯顯密二教論） 祖典講読Ⅲ・ⅣB　（声字実相義）		
	講読演習	仏教学講読演習C（仏教戒律思想史） 真言密教講読演習A（十八道次第） 真言密教講読演習B（中院流三十三尊法） 真言密教講読演習C（即身成仏の思想） 真言密教講読演習D（宗義決択集）	密教学講読演習B（密教図像①） 仏教学講読演習A（日本密教美術史①） 仏教学講読演習B（日本密教美術史②）	密教学講読演習A　（解脱と死の受容）
	特殊講義	密教学特殊講義G（秘密宗念仏鈔） 密教学特殊講義H（真言宗関係の古文書） 密教学特殊講義Ⅰ　（文献学方法論） 真言密教特殊講義B（葬送儀礼①） 真言密教特殊講義C（葬送儀礼②）	密教学特殊講義A（高野文化圏の生活文化） 密教学特殊講義B（高野山の地図） 密教学特殊講義C（仏画①） 密教学特殊講義D（仏画②） 密教学特殊講義J（インド・チベット密教図像） 仏教学特殊講義A（仏像のかたち①） 仏教学特殊講義B（仏像のかたち②） 真言密教特殊講義A（密教図像②）	密教学講読演習E（Kukai's Thought） 密教学講読演習F（Kukai's Thought） 仏教学講読演習C（スピリチュアルケア） 仏教学講読演習D（仏教と現代社会） 仏教学講読演習E（仏教における生命観）
	演習	密教学演習A（御請来目録） 密教学演習E（ダーラニー思想） 密教学演習G（大日経） 密教学演習H（理趣経） 密教学演習Ⅰ　（宿曜経）	密教学演習C（中国書論） 密教学演習D（近代日本仏教史） 密教学演習F（空海の著作・漢籍） 密教学演習J（仏教と文学の接点） 密教学演習K（空海伝の研究）	密教学演習B（仏教心理学）
	選択		哲学方法論 宗教学方法論 日本文化特殊講義A 日本文化特殊講義B 中国文化特殊講義A 中国文化特殊講義B 中国文化特殊講義B 日本文化講読演習 中国文化講読演習 篆刻Ⅰ・Ⅱ 条幅制作A 条幅制作B	

卒　業　論　文

教員・就職（自由科目）			
1回生	2回生	3回生	4回生
教職入門 教育原論 教育社会学 教育課程論 キャリアカウンセリングⅠ	教育心理学 宗教科教育法Ⅰ・Ⅱ 国語科教育法Ⅰ・Ⅱ 教育方法論 情報技術論 道徳教育の研究 特別教育活動 生徒指導・進路指導 キャリアカウンセリングⅡ	宗教科教育法Ⅲ 国語科教育法Ⅲ 国語科教育法Ⅳ 教育相談 教育実習Ⅰ 就職スキル講座	教育実習Ⅱ 教職実践演習 教育実習の研究

文 学 部 目 次

文学部

1．必修科目

［密教学科 1年次履修科目］

1）「建学の精神」科目（2）

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	水	1	53102	空海の思想入門 A	藤 田 光 寛	2	1年次	−	A・B どちらか履修すること	1
後期	火	1	52151	空海の思想入門 B	藤 田 光 寛	2	1年次	−		1

2）語学科目（2）

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
通年	金	3	55301	英語Ⅰ A	高 倉 正 行	2	1年次	教職基礎	クラス分け有り	1
通年	金	3	55302	英語Ⅰ B	静 春 樹	2	1年次	教職基礎		1
通年	月	4	51401	英語Ⅰ C（再履修）	高 倉 正 行	2	2年次～	教職基礎		2

3）導入科目（4）

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
通年	月	4	51402	日本語 A	南 昌 宏	4	1年次		クラス分け有り	2
通年	月	4	51403	日本語 B	山 脇 雅 夫	4	1年次			2
通年	月	4	51404	日本語 C	藤 吉 圭 二	4	1年次			2
通年	月	4	51405	日本語 D	土 居 夏 樹	4	1年次			2
通年	火	1	52101	日本語 E（再履修）	藤 吉 圭 二	4	2年次～			2

4）基礎講義（2+2+2+2）

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	火	3	52304	弘法大師伝 A	武 内 孝 善	2	1年次		A を優先して履修すること	3
後期	火	3	52351	弘法大師伝 B	武 内 孝 善	2	1年次			3
前期	火	1	52103	釈尊伝 A	前 谷 彰	2	1年次		A・B どちらかを履修すること	3
後期	水	1	53151	釈尊伝 B	前 谷 彰	2	1年次			3
前期	月	2	51202	現代思想 A	山 脇 雅 夫	2	1年次	教免（宗教）	A を優先して履修すること	3
後期	水	2	53251	現代思想 B	山 脇 雅 夫	2	1年次	教免（宗教）		3
前期	火	5	52501	人間と宗教 A	井上ウィマラ	2	1年次	教免（宗教）	A を優先して履修すること	3
後期	火	5	52551	人間と宗教 B	井上ウィマラ	2	1年次	教免（宗教）		3

5）古典語（2+2）

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	木	1	54102	漢文Ⅰ A	南 昌 宏	2	1年次	教免（国語）	A を優先して履修すること	4
後期	月	1	51151	漢文Ⅰ B	南 昌 宏	2	1年次	教免（国語）		4
後期	木	1	54151	漢文Ⅱ A	南 昌 宏	2	1年次	教免（国語）	受講資格：漢文Ⅰの単位を修得していること	4
前期	月	1	51102	漢文Ⅱ B	南 昌 宏	2	（2年次）	教免（国語）		4

［密教学科２年次履修科目］

１）語学科目（２）

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
通年	金	4	55401	英語Ⅱ A	高 倉 正 行	2	２年次	教職基礎	クラス分け有り	4
通年	金	4	55402	英語Ⅱ B	静　　春 樹	2	２年次	教職基礎		4
通年	水	2	53201	英語Ⅱ C（再履修）	高 倉 正 行	2	３年次～	教職基礎		5

２）講義Ⅰ（2+2+2+2+2+2）

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
前期	月	2	51203	密教学概論Ⅰ	乾　　仁 志	2	２年次	教免（宗教）		5
後期	月	2	51251	密教学概論Ⅱ	乾　　仁 志	2	２年次	教免（宗教）		5
前期	金	1	55103	密教史概説Ⅰ	奥 山 直 司	2	２年次	教免（宗教）		6
後期	金	1	55151	密教史概説Ⅱ	佐 藤 隆 彦	2	２年次	教免（宗教）		6
前期	木	4	54403	仏教史概説Ⅰ	前　谷　　彰	2	２年次	教免（宗教）		6
後期	木	4	54451	仏教史概説Ⅱ	前　谷　　彰	2	２年次	教免（宗教）		6

３）２回生講読（2+2）

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
前期	火	2	52205	祖典講読Ⅰ A	加 納 和 雄	2	２年次	教免（宗教）	クラス分け有り	7
前期	火	2	52206	祖典講読Ⅰ B	土 居 夏 樹	2	２年次	教免（宗教）		7
後期	火	2	52251	祖典講読Ⅱ A	加 納 和 雄	2	２年次	教免（宗教）	クラス分け有り	7
後期	火	2	52252	祖典講読Ⅱ B	土 居 夏 樹	2	２年次	教免（宗教）		7

［密教学科３年次履修科目］

１）３回生講読（2+2）

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
前期	月	2	51204	祖典講読Ⅲ A	土 居 夏 樹	2	３年次	－		7
前期	金	2	55202	祖典講読Ⅲ B	松 長 恵 史	2	３年次	－		7
後期	月	2	51252	祖典講読Ⅳ A	土 居 夏 樹	2	３年次	－		8
後期	金	2	55251	祖典講読Ⅳ B	松 長 恵 史	2	３年次	－		8

２）講読演習（６）

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
前期	水	1	53103	密教学講読演習 A	井上ウィマラ	2	３年次	教免（宗教）		8
前期	金	1	55104	密教学講読演習 B	松 長 恵 史	2	３年次	教免（宗教）		8
前期	火	4	52404	仏教学講読演習 A	和 田 圭 子	2	３年次	教免（宗教）		9
後期	火	4	52451	仏教学講読演習 B	和 田 圭 子	2	３年次	教免（宗教）		9
前期	木	3	54304	仏教学講読演習 C	藤 田 光 寛	2	３年次	教免（宗教）		9
前期	火	1	52104	真言密教講読演習 A	T.ドライトライン	2	３年次	教免（宗教）		9
後期	火	1	52152	真言密教講読演習 B	T.ドライトライン	2	３年次	教免（宗教）		10
前期	火	3	52305	真言密教講読演習 C	加 納 和 雄	2	３年次	教免（宗教）		10
前期	金	1	55105	真言密教講読演習 D	土 居 夏 樹	2	３年次	教免（宗教）		10

３）講義Ⅱ（６）

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
前期	月	3	51302	密教学特殊講義 A	森 本 一 彦	2	３年次	教免（宗教）		11
後期	月	3	51351	密教学特殊講義 B	森 本 一 彦	2	３年次	教免（宗教）		11

前期	月	4	51407	密教学特殊講義 C	静　慈圓	2	3年次	教免（宗教）		11
後期	月	4	51451	密教学特殊講義 D	静　慈圓	2	3年次	教免（宗教）		11
前期	火	2	52207	密教学特殊講義 E	T.ドライトライン	2	3年次	教免（宗教）		12
後期	火	2	52253	密教学特殊講義 F	T.ドライトライン	2	3年次	教免（宗教）		12
前期	火	3	52306	密教学特殊講義 G	中村本然	2	3年次	教免（宗教）		12
前期	水	5	53502	密教学特殊講義 H	武内孝善	2	3年次	教免（宗教）		12
後期	水	5	53551	密教学特殊講義 I	武内孝善	2	3年次	教免（宗教）		13
後期	金	2	55252	密教学特殊講義 J	奥山直司	2	3年次	教免（宗教）		13
前期	火	3	52307	仏教学特殊講義 A	和田圭子	2	3年次	教免（宗教）		13
後期	火	3	52352	仏教学特殊講義 B	和田圭子	2	3年次	教免（宗教）		13
後期	火	4	52452	仏教学特殊講義 C	井上ウィマラ	2	3年次	教免（宗教）		14
後期	木	1	54152	仏教学特殊講義 D	森崎雅好	2	3年次	教免（宗教）		14
後期	木	3	54353	仏教学特殊講義 E	前谷　彰	2	3年次	教免（宗教）		14
後期	金	1	55152	真言密教特殊講義 A	松長恵史	2	3年次	教免（宗教）		14
前期	金	3	55305	真言密教特殊講義 B	齋藤天譽	2	3年次	教免（宗教）		15
後期	金	3	55351	真言密教特殊講義 C	齋藤天譽	2	3年次	教免（宗教）		15

4）演習Ⅰ（4）

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
通年	月	2	51201	密教学演習 A	中村本然	4	3年次	−		15
通年	火	2	52201	密教学演習 B	井上ウィマラ	4	3年次	−		15
通年	火	2	52202	密教学演習 C	野田　悟	4	3年次	−		16
通年	火	3	52301	密教学演習 D	奥山直司	4	3年次	−		16
通年	火	3	52302	密教学演習 E	前谷　彰	4	3年次	−		16
通年	水	1	53101	密教学演習 F	南　昌宏	4	3年次	−		16
通年	水	2	53202	密教学演習 G	乾　仁志	4	3年次	−		17
通年	水	2	53203	密教学演習 H	加納和雄	4	3年次	−		17
通年	水	2	53204	密教学演習 I	佐藤隆彦	4	3年次	−		17
通年	木	1	54101	密教学演習 J	下西　忠	4	3年次	−		17
通年	木	2	54201	密教学演習 K	武内孝善	4	3年次	−		18

［密教学科４年次履修科目］

1）講読演習（4）

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
前期	水	1	53103	密教学講読演習 A	井上ウィマラ	2	4年次	教免（宗教）		8
前期	金	1	55104	密教学講読演習 B	松長恵史	2	4年次	教免（宗教）		8
前期	火	4	52404	仏教学講読演習 A	和田圭子	2	4年次	教免（宗教）		9
後期	火	4	52451	仏教学講読演習 B	和田圭子	2	4年次	教免（宗教）		9
前期	木	3	54304	仏教学講読演習 C	藤田光寛	2	4年次	教免（宗教）		9
前期	火	1	52104	真言密教講読演習 A	T.ドライトライン	2	4年次	教免（宗教）		9
後期	火	1	52152	真言密教講読演習 B	T.ドライトライン	2	4年次	教免（宗教）		10
前期	火	3	52305	真言密教講読演習 C	加納和雄	2	4年次	教免（宗教）		10
前期	金	1	55105	真言密教講読演習 D	土居夏樹	2	4年次	教免（宗教）		10

2）講義Ⅱ（4）

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
前期	月	3	51302	密教学特殊講義 A	森本一彦	2	4年次	教免（宗教）		11
後期	月	3	51351	密教学特殊講義 B	森本一彦	2	4年次	教免（宗教）		11

前期	月	4	51407	密教学特殊講義C	静　慈圓	2	4年次	教免（宗教）		11
後期	月	4	51451	密教学特殊講義D	静　慈圓	2	4年次	教免（宗教）		11
前期	火	2	52207	密教学特殊講義E	T.ドライトライン	2	4年次	教免（宗教）		12
後期	火	2	52253	密教学特殊講義F	T.ドライトライン	2	4年次	教免（宗教）		12
前期	火	3	52306	密教学特殊講義G	中村本然	2	4年次	教免（宗教）		12
前期	水	5	53502	密教学特殊講義H	武内孝善	2	4年次	教免（宗教）		12
後期	水	5	53551	密教学特殊講義I	武内孝善	2	4年次	教免（宗教）		13
後期	金	2	55252	密教学特殊講義J	奥山直司	2	4年次	教免（宗教）		13
前期	火	3	52307	仏教学特殊講義A	和田圭子	2	4年次	教免（宗教）		13
後期	火	3	52352	仏教学特殊講義B	和田圭子	2	4年次	教免（宗教）		13
後期	火	4	52452	仏教学特殊講義C	井上ウィマラ	2	4年次	教免（宗教）		14
後期	木	1	54152	仏教学特殊講義D	森崎雅好	2	4年次	教免（宗教）		14
後期	木	3	54353	仏教学特殊講義E	前谷　彰	2	4年次	教免（宗教）		14
後期	金	1	55152	真言密教特殊講義A	松長恵史	2	4年次	教免（宗教）		14
前期	金	3	55305	真言密教特殊講義B	齋藤天譽	2	4年次	教免（宗教）		15
後期	金	3	55351	真言密教特殊講義C	齋藤天譽	2	4年次	教免（宗教）		15

3）演習Ⅱ（4）

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備考	頁
通年	月	2	51201	密教学演習A	中村本然	4	4年次	−		15
通年	火	2	52201	密教学演習B	井上ウィマラ	4	4年次	−		15
通年	火	2	52202	密教学演習C	野田　悟	4	4年次	−		16
通年	火	3	52301	密教学演習D	奥山直司	4	4年次	−		16
通年	火	3	52302	密教学演習E	前谷　彰	4	4年次	−		16
通年	水	1	53101	密教学演習F	南　昌宏	4	4年次	−		16
通年	水	2	53202	密教学演習G	乾　仁志	4	4年次	−		17
通年	水	2	53203	密教学演習H	加納和雄	4	4年次	−		17
通年	水	2	53204	密教学演習I	佐藤隆彦	4	4年次	−		17
通年	木	1	54101	密教学演習J	下西　忠	4	4年次	−		17
通年	木	2	54201	密教学演習K	武内孝善	4	4年次	−		18

4）卒業論文（8）

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備考	頁
通年	−	−	59001	卒業論文	密教学科主任	8	4年次	−		−
前期	−	−	59002	卒業論文（前期）	密教学科主任	8	4年次	−	7月提出許可者に限る	−

2．選択科目

1）総合科目

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備考	頁
前期	火	3	52308	総合科目(デジタルアーカイブ)	藤吉圭二	2	1年次～	−		18
前期	水	1	53104	総合科目（古文書入門）	浜畑圭吾	2	1年次～	−		18
後期	水	1	53152	総合科目（書誌学）	浜畑圭吾	2	1年次～	−		19

2）企画科目

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備考	頁
通年	月	3	51301	企画科目（時事英語）	高倉正行	2	1年次～	−		19
通年	月	4	51406	企画科目（舞踊）	高祖・辻	2	1年次～	−		19
前期	火	2	52208	企画科目（仏教芸術）	和田圭子	2	1年次～	−		20

前期	火	4	52405	企画科目（傾聴実践）	井上ウィマラ	2	1年次～	－		20
通年	火	4	52401	企画科目（華道）	五味和樹	2	1年次～	－		20
前期	水	2	53206	企画科目（ヴィパサナー瞑想Ⅰ）	井上ウィマラ	2	1年次～	－		20
後期	水	2	53252	企画科目（ヴィパサナー瞑想Ⅱ）	井上ウィマラ	2	1年次～	－		21
通年	水	3	53302	企画科目（法式上級）	渕田雲渓	2	1年次～	－		21
通年	水	4	53401	企画科目（芸能）	糀谷有桜	2	1年次～	－		21
前期	木	2	54204	企画科目（阿息観）	佐藤隆彦	2	1年次～	－		21
後期	木	2	54251	企画科目(月輪観と阿字観)	佐藤隆彦	2	1年次～	－		22
後期	木	2	54252	企画科目（グリーフケア）	森崎雅好	2	1年次～	－		22
通年	木	4	54401	企画科目（詠歌）	上山･辻･山本	2	1年次～	－		22
通年	金	3	55303	企画科目（声明上級）	辻　秀道	2	1年次～	－		22
通年	金	3	55304	企画科目（茶道）	岡本文音	2	1年次～	－		23
集中	－	－	57001	企画科目（一流伝授1）	甲田宥吽	2	1年次～	－		23
集中	－	－	57002	企画科目（一流伝授2）	甲田宥吽	2	1年次～	－		23

3）語学科目

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備考	頁
通年	火	2	52203	サンスクリット語Ⅰ	前谷　彰	2	1年次～	－		24
通年	木	3	54301	サンスクリット語Ⅱ	加納和雄	2	2年次～	－		24
通年	木	2	54202	チベット語	加納和雄	2	1年次～	－		24
通年	水	5	53501	英会話	T.ドライトライン	2	1年次～	－		24
通年	火	1	52102	中国語（初級）	土生川正賢	2	1年次～	－		25
通年	火	2	52204	中国語（上級）	土生川正賢	2	1年次～	－		25

4）健康実技

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備考	頁
通年	木	3	54302	体育実技	船橋真亜子	2	1年次～	教職基礎		25

5）普通科目

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備考	頁
前期	木	3	54305	宗教思想史Ⅰ	川崎一洋	2	1年次～	教免（宗教）		26
後期	木	3	54351	宗教思想史Ⅱ	川崎一洋	2	1年次～	教免（宗教）		26
前期	金	2	55203	心理学Ⅰ	戸來知子	2	1年次～	社会福祉主事		26
後期	金	2	55253	心理学Ⅱ	戸來知子	2	1年次～	社会福祉主事		26
前期	月	1	51103	社会学Ⅰ	藤吉圭二	2	1年次～	社会福祉主事		27
後期	月	1	51152	社会学Ⅱ	藤吉圭二	2	1年次～	社会福祉主事		27
前期	火	1	52105	日本文学Ⅰ	浜畑圭吾	2	1年次～	教免（国語）		27
後期	火	1	52153	日本文学Ⅱ	浜畑圭吾	2	1年次～	教免（国語）		27
前期	水	1	53105	国文法Ⅰ	下西　忠	2	1年次～	教免（国語）		28
後期	水	1	53153	国文法Ⅱ	下西　忠	2	1年次～	教免（国語）		28
前期	金	4	55403	国語学Ⅰ	上田恭寿	2	1年次～	教免（国語）		28
後期	金	4	55451	国語学Ⅱ	上田恭寿	2	1年次～	教免（国語）		28
後期	水	4	53451	現代の人権	竹村和也	2	1年次～	－		29
後期	水	3	53351	日本国憲法	竹村和也	2	1年次～	教職基礎		29
通年	火	4	52402	情報処理	野口博司	2	1年次～	教職基礎		29
通年	金	2	55201	梵字悉曇	齋藤天譽	2	1年次～	－		29

6）教学実習科目

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
通年	水	4	53402	常用経典	宮 田 永 明	2	1年次～	僧階申請		30
通年	金	1	55101	声明	辻　秀 道	2	1年次～	僧階申請		30
通年	月	1	51101	法式	中 西 雄 泰	2	1年次～	僧階申請		30
通年	水	3	53301	布教	近 藤 堯 寛	2	1年次～	僧階申請		30

7）教育職員免許状関係科目

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
前期	木	2	54205	宗教学Ⅰ	川 﨑 一 洋	2	1年次～	教免（宗教）		31
後期	木	2	54253	宗教学Ⅱ	川 﨑 一 洋	2	1年次～	教免（宗教）		31
前期	木	1	54103	宗教史Ⅰ	川 﨑 一 洋	2	1年次～	教免（宗教）		31
後期	木	1	54153	宗教史Ⅱ	川 﨑 一 洋	2	1年次～	教免（宗教）		31
後期	月	3	51352	哲学方法論	山 脇 雅 夫	2	3年次～	教免（宗教）		32
後期	水	1	53154	宗教学方法論	藤 田 光 寛	2	3年次～	教免（宗教）		32
前期	月	4	51408	日本文学概論Ⅰ	浜 畑 圭 吾	2	2年次～	教免（国語）		32
後期	月	4	51452	日本文学概論Ⅱ	浜 畑 圭 吾	2	2年次～	教免（国語）		32
前期	火	3	52309	日本文学史概説Ⅰ	下 西　忠	2	2年次～	教免（国語）		33
後期	火	3	52353	日本文学史概説Ⅱ	下 西　忠	2	2年次～	教免（国語）		33
前期	木	3	54306	漢文学概論Ⅰ	南　昌 宏	2	2年次～	教免（国語）		33
後期	木	3	54352	漢文学概論Ⅱ	南　昌 宏	2	2年次～	教免（国語）		33
前期	金	3	55306	国語学講義Ⅰ	上 田 恭 寿	2	2年次～	教免（国語）		34
後期	金	3	55352	国語学講義Ⅱ	上 田 恭 寿	2	2年次～	教免（国語）		34
後期	火	2	52254	日本文化特殊講義Ａ	浜 畑 圭 吾	2	3年次～	教免（国語）		34
後期	水	2	53253	日本文化特殊講義Ｂ	下 西　忠	2	3年次～	教免（国語）		34
前期	金	4	55404	中国文化特殊講義Ａ	野 田　悟	2	3年次～	教免（国語）		35
後期	月	3	51353	中国文化特殊講義Ｂ	南　昌 宏	2	3年次～	教免（国語）		35
前期	火	2	52209	日本文化講読演習	浜 畑 圭 吾	2	3年次～	教免（国語）		35
前期	月	3	51303	中国文化講読演習	南　昌 宏	2	3年次～	教免（国語）		35

8）書道師範関係科目

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
通年	水	2	53205	漢字Ⅰ	野 田　悟	2	1年次～	書道師範／教免(国語)		36
通年	火	4	52403	漢字Ⅱ	木 本 滋 久	2	2年次～	書道師範／教免(国語)		36
通年	木	2	54203	かなⅠ	山 本 圭 子	2	1年次～	書道師範／教免(国語)		36
通年	木	3	54303	かなⅡ	山 本 圭 子	2	2年次～	書道師範／教免(国語)		36
前期	火	1	52106	篆刻Ⅰ	野 田　悟	2	3年次～	書道師範		37
後期	火	1	52154	篆刻Ⅱ	野 田　悟	2	3年次～	書道師範		37
通年	火	3	52303	条幅制作Ａ	木 本 滋 久	2	3年次～	書道師範		37
通年	木	4	54402	条幅制作Ｂ	山 本 圭 子	2	3年次～	書道師範		37
通年	金	1	55102	書道史（中国）	野 田　悟	4	2年次～	書道師範		38

9）社会福祉主事関係科目

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
前期	木	1	54104	社会福祉各論Ⅰ（地域福祉）	山 口 幸 照	2	2年次～	社会福祉主事		38
後期	木	1	54154	社会福祉各論Ⅱ（地域福祉）	山 口 幸 照	2	2年次～	社会福祉主事		38
前期	木	2	54206	社会福祉各論Ⅰ（障害者福祉）	山 口 幸 照	2	2年次～	社会福祉主事		39
後期	木	2	54254	社会福祉各論Ⅱ（高齢者福祉）	山 口 幸 照	2	2年次～	社会福祉主事		39
後期	水	5	53552	社会福祉各論Ⅰ（児童福祉）	山 口 幸 照	2	2年次～	社会福祉主事		39
前期	水	4	53403	社会保障総論Ⅰ	山 口 幸 照	2	1年次～	社会福祉主事		39

後期	水	4	53452	社会保障総論Ⅱ	山 口 幸 照	2	1年次～	社会福祉主事		40
前期	水	5	53503	社会福祉概論Ⅰ	山 口 幸 照	2	2年次～	社会福祉主事		40

3．自由科目（卒業要件には参入されません）

1）教職科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	水	2	53207	教職入門	伊 藤 一 雄	2	1年次～	教免必修		40
前期	木	4	54404	教育原論	山 脇 雅 夫	2	1年次～	教免必修		40
後期	木	1	54155	教育心理学	戸 來 知 子	2	2年次～	教免必修		41
後期	月	3	51354	教育社会学	藤 吉 圭 二	2	1年次～	教免必修		41
後期	水	2	53254	教育課程論	伊 藤 一 雄	2	1年次～	教免必修		41
前期	月	1	51104	宗教科教育法Ⅰ	乾 仁 志	2	2年次～	教免（宗教）		41
後期	月	1	51153	宗教科教育法Ⅱ	乾 仁 志	2	2年次～	教免（宗教）		42
前期	月	5	51501	宗教科教育法Ⅲ	乾 仁 志	2	3年次～	教免（宗教）		42
前期	火	4	52406	国語科教育法Ⅰ	下 西 忠	2	2年次～	教免（国語）		42
後期	火	4	52453	国語科教育法Ⅱ	下 西 忠	2	2年次～	教免（国語）		42
前期	火	5	52502	国語科教育法Ⅲ	下 西 忠	2	3年次～	教免（国語）		43
後期	火	5	52552	国語科教育法Ⅳ	下 西 忠	2	3年次～	教免（国語）		43
前期	月	3	51304	教育方法論	山 脇 雅 夫	2	2年次～	教免必修		43
後期	金	3	55353	情報技術論	戸 來 知 子	2	2年次～	教免必修		43
後期	木	4	54452	道徳教育の研究	山 脇 雅 夫	2	2年次～	教免必修		44
後期	木	2	54255	特別教育活動	戸 來 知 子	2	2年次～	教免必修		44
前期	水	3	53303	生徒指導・進路指導	伊 藤 一 雄	2	2年次～	教免必修		44
前期	金	3	55307	教育相談	戸 來 知 子	2	3年次～	教免必修		44
後期	水	3	53352	教職実践演習	伊藤 戸來 一知 雄子	2	4年次	教免必修		45
実習	－	－	58001	教育実習Ⅰ	山脇 戸來 雅知 夫子	2	3年次～	教免必修		－
実習	－	－	58002	教育実習Ⅱ	山脇 戸來 雅知 夫子	2	4年次	教免必修		－
前期	木	1	54105	教育実習の研究	山脇 戸來 雅知 夫子	1	3年次～	教免必修		45

2）就職支援プログラム展開科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	水	4	53404	キャリアカウンセリングⅠ	田 村 美 幸	2	1年次～			45
前期	木	1	54106	キャリアカウンセリングⅡ	森 崎 雅 好	2	2年次～			45
前期	水	3	53304	就職スキル講座	田 村 美 幸	2	3年次～			46

別　科　目　次

別科

1．必修科目

1）基礎科目（16）

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	読替科目	担当者	単位	履修年次	備考	頁
通年	月	2	81201	真言宗の教え（別）	密教学概論Ⅰ 密教学概論Ⅱ	乾　仁志	4	1年次		5
前期	火	1	82101	釈尊の生涯A（別）	釈尊伝A	前谷　彰	2	1年次	A・Bどちらか履修すること	3
後期	水	1	83151	釈尊の生涯B（別）	釈尊伝B	前谷　彰	2	1年次		3
前期	火	3	82301	弘法大師空海の生涯A(別)	弘法大師伝A	武内孝善	2	1年次	A・Bどちらか履修すること	3
後期	火	3	82351	弘法大師空海の生涯B(別)	弘法大師伝B	武内孝善	2	1年次		3
通年	火	2	82201	真言宗典講読1（別）	祖典講読Ⅰ 祖典講読Ⅱ	加納和雄	4	1～2年次		7
前期	金	1	85102	真言宗典講読2-1（別）	密教学講読演習B	松長恵史	2	1～2年次	2-1、2-2を必ず履修すること	8
前期	火	3	82302	真言宗典講読2-2（別）	真言密教講読演習C	加納和雄	2	1～2年次		10

2）実習科目（14）

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	読替科目	担当者	単位	履修年次	備考	頁
通年	木	2	84201	観法の理論と実習（別）	企画科目（阿息観） 企画科目(月輪観と阿字観)	佐藤隆彦	4	2年次		21 22
通年	金	2	85201	梵字悉曇（別）	梵字悉曇	齋藤天譽	2	1年次		29
通年	金	1	85101	声明（別）	声明	辻　秀道	2	1年次		30
通年	水	4	83401	常用経典（別）	常用経典	宮田永明	2	1年次		30
通年	月	1	81101	法式（別）	法式	中西雄泰	2	1年次		30
通年	水	3	83301	布教（別）	布教	近藤堯寛	2	1年次		30

3）実習科目（18）

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	読替科目	担当者	単位	履修年次	備考	頁
後期	水	4	83403	人権と福祉（別）	現代の人権	竹村和也	2	1～2年次		29
通年	木	2	84202	世界の宗教（別）	宗教学Ⅰ 宗教学Ⅱ	川﨑一洋	4	1～2年次		31
通年	木	1	84101	宗教の歴史（別）	宗教史Ⅰ 宗教史Ⅱ	川﨑一洋	4	1～2年次		31
通年	金	2	85202	心の科学（別）	心理学Ⅰ 心理学Ⅱ	戸來知子	2	1～2年次		26
通年	月	4	81401	仏教芸術（別）	密教学特殊講義C 密教学特殊講義D	静　慈圓	2	1～2年次		11
前期	月	2	81202	哲学A（別）	現代思想A	山脇雅夫	2	1～2年次	A・Bを必ず履修すること	3
後期	月	3	81351	哲学B（別）	哲学方法論	山脇雅夫	2	1～2年次		32
通年	水	4	83402	社会保障（別）	社会保障総論Ⅰ 社会保障総論Ⅱ	山口幸照	4	1～2年次		39 40
通年	木	1	84102	地域福祉（別）	社会福祉各論Ⅰ(地域福祉) 社会福祉各論Ⅱ(地域福祉)	山口幸照	4	1～2年次		38
通年	火	2	82202	サンスクリット語（別）	サンスクリット語Ⅰ	前谷　彰	2	1～2年次		24
通年	木	2	84203	チベット語（別）	チベット語	加納和雄	2	1～2年次		24
通年	金	3	85301	声明上級（別）	企画科目（声明上級）	辻　秀道	2	1～2年次		22
通年	水	3	83302	法式上級（別）	企画科目（法式上級）	渕田雲渓	2	1～2年次		21
通年	金	3	85302	密教儀礼の理論と実習(別)	真言密教特殊講義B 真言密教特殊講義C	齋藤天譽	4	2年次		15
通年	木	4	84401	事相研究(聖教の伝授と実習)(別)	事相研究Ⅱ-1（大） 事相研究Ⅱ-2（大）	佐藤隆彦	4	2年次		46

講　義　概　要

・

授　業　計　画

科目名	空海の思想入門Ａ・Ｂ
学期	ＢＡ後前期期
単位数	2
担当者	藤田光寛

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：弘法大師空海の密教思想を学ぶための基礎的な知識を身につける
テ ー マ：弘法大師空海とその密教思想

授業の概要
本講義は文学部共通の「建学の精神」科目で、全学生必須である。本学でどのような分野を専攻するにしても、最初に弘法大師空海とその密教思想の大要を学んでおくことは、弘法大師の教育理念に基づく高野山大学で学ぶことの意義を確認でき、より実り多い勉学生活を過ごすことが可能であるからである。大師の著作のいくつかを具体的に取りあげて概観し、大師の密教思想を学ぶ。

授業計画
1．はじめに（オリエンテーション）
2．密教の種々相（日本密教とチベット密教）
3．高野山の開創とその意義
4．弘法大師の生涯（略説）
5．〃
6．大師の教育観 （『綜芸種智院式』）
7．三教の比較思想論（『聾瞽指帰』『三教指帰』）
8．真言密教の相承者の系譜と伝記（『広付法伝』『略付法伝』）
9．顕教と密教（『弁顕密二教論』）
10. 密教の成仏論（『即身成仏義』）
11. 十段階の心のあり方（『十住心論』『秘蔵宝鑰』）
12. 密教経典としての般若心経（『般若心経秘鍵』）
13. 大師の戒律思想 （『三昧耶戒序』『梵網経解題』）
14. 〃
15. おわりに（まとめ）

テキスト
授業中に適宜指示する。

参考書・参考資料等
① 松長有慶『密教』（岩波新書）
② 『弘法大師空海全集』（筑摩書房）など
授業中で適宜指示する。

学生に対する評価
期末のレポート試験（60%）、出席（20%）、小テスト（20%）によって評価する。

養成をめざす力
密教文化の基礎力、日本語を読む力、問題発見力

その他
毎回休まずに出席することを望みます。少なくとも、授業実数の三分の一以上欠席すれば失格です。
担当者のメールアドレスは fujita@koyasan-u.ac.jp ですので、質問などに遠慮無く利用して下さい。

科目名	
学期	
単位数	
担当者	

科目名	英語ＩＡ
学期	通年
単位数	2
担当者	高倉正行

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：基礎的な英文法の理解
テ ー マ：基礎的な読解能力を養う

授業の概要
基本的な英文法を再確認するとともに、海外旅行用英会話能力を養う。

授業計画

【前期】	【後期】
1．予習、復習、授業の進め方について説明する。	1．At a Train Station
2．At the Airport	2．同上
3．同上	3．Traveling by Bus and Train
4．On an Aipplane	4．同上
5．同上	5．Asking Directions
6．Immigration and Customs	6．同上
7．同上	7．Shopping
8．At a Hotel（Part 1）	8．同上
9．同上	9．Buying Concert Tickets
10. At a Restaurant	10. 同上
11. 同上	11. Making a Phone Call
12. Sightseeing（Part 1）	12. 同上
13. 同上	13. At a Post Office
14. Sightseeing（Part 2）	14. 同上
15. 同上	15. At a Hotel（Part 1）

テキスト
Getting Ready to Go Abroad（成美堂） ISBN 978-4-7919-4024-0
テキスト購入に関しては、教員の指示に従うこと。

参考書・参考資料等

学生に対する評価
予習状況と授業態度、前期・後期試験を加味して行う。

養成をめざす力
外国語を読む力・書く力・聴く力・話す力、国際感覚、論理性

その他
必ず予習を行って授業に臨むこと。
授業には、テキストとノート、辞書を持参すること。

科目名	英語ＩＢ
学期	通年
単位数	2
担当者	静春樹

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：１年間の授業で、それまでコマ付きの自転車に乗っていた子供が、コマを外してしばらく練習した後で、「今コマ無しで走っているよ」と実感できるような、その程度にまでもっていく。
テ ー マ：【前期】高校までに習った英語を活性化する。
【後期】英文法の初歩習得

授業の概要
受講生は誰もが最低限６年間の英語学習を経ているはずである。本授業では受講生に関わった中学・高校英語教師の努力に報いるために尽力する。つまり勉強した事柄の想起・活性化・定着である。

授業計画
テキストに沿って行う。

テキスト
南雲堂 What a Story!（文法・単語で学ぶやさしいパラグラフ・リーディング）。
テキストを持たない学生の受講は認めません。

参考書・参考資料等
『基礎からの英語入門 First Primer』南雲堂

学生に対する評価
前期テスト（50%）、後期テスト（50%）。出席日数が足りている学生のみ受験可能

養成をめざす力
外国語を読む力、自主性、チームワーク

その他

科目名	英語ＩＣ（再履修）
学期	通年
単位数	2
担当者	高倉正行

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：基本的な英文法の理解
テ ー マ：英文の基本的構文の習得

授業の概要
基礎英文法を学ぶ。

授業計画

【前期】	【後期】
1．授業の進め方、評価の仕方、予習・復習の仕方等について説明。	1．分詞
2．動詞と文型	2．同上
3．同上	3．分詞構文
4．文の種類	4．同上
5．同上	5．比較
6．動詞と時制	6．同上
7．同上	7．関係詞（1）
8．完了形	8．同上
9．同上	9．関係詞（2）
10．態	10．同上
11．同上	11．仮定法
12．不定詞	12．同上
13．同上	13．時制の一致と話法
14．動名詞	14．同上
15．同上	15．総括

テキスト
最初の授業で説明します。
＊テキスト購入に関しては教員の指示に従うこと。

参考書・参考資料等

学生に対する評価
予習状況と授業態度、前期・後期試験を加味して行う。

養成をめざす力
外国語を読む力・書く力・聴く力・話す力、国際感覚、論理性

その他
必ず予習を行って授業に臨むこと。
授業には、テキストとノート、辞書を持参すること。

科目名	
学期	
単位数	
担当者	

科目名	日本語Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ
学期	通年
単位数	4
担当者	ＤＣＢＡ 土藤山南 居吉脇昌 夏圭雅宏 樹二夫

授業の到達目標及びテーマ
他人の言いたいことを的確に把握できるようにすること、自分の言いたいことを的確に展開できるようにすること。

授業の概要
大学では、多くの専門的な本を読み、それをもとにレポートを書き、最終的には卒業論文に取り組みます。そのためには専門的知識を身につけると共に論理的に構成された文章を、正確に把握できるようにすることが不可欠です。この講義では新入生を対象として、そのためのトレーニングを実施します。

授業計画

【前期】	【後期】
1．ガイダンス	1．ガイダンス
2．「自分史」を書く	2．自分の意見を書く（1）
3．「自分史」を読む・聞く	－必要な材料の収集
4．文章読解の練習（1）	3．自分の意見を書く（2）
－漢字の役割	－言いたいことの整理
5．文章読解の練習（2）	4．自分の意見を書く（3）
－辞書の使い方	－予想される反論
6．文章読解の練習（3）	5．自分の意見を書く（4）
－文のつなぎ方その1	－インパクトのある構成
7．文章読解の練習（4）	6．自分の意見を書く（5）
－文のつなぎ方その2	－実際に書いてみる
8．文章読解の練習（5）	7．引用のポイント（1）
－文のつなぎ方その3	－複数の他人の意見を紹介する
9．文章読解の練習（6）	8．引用のポイント（2）
－文のつなぎ方その4	－フェアな紹介とは
10．レポートの作り方（1）	9．引用のポイント（3）
11．レポートの作り方（2）	－フェアな批判とは
12．レポートの作り方（3）	10．引用のポイント（3）
13．レポートの作り方（4）	－引用と自説の展開
14．レポートの作り方（5）	11．レポートの作り方（1）
15．他人のレポートを読んで意見を述べる	12．レポートの作り方（2）
	13．レポートの作り方（3）
	14．レポートの作り方（4）
	15．レポートの相互批評

※ プログラムは改訂される場合があります。

テキスト
大学で用意したものを配布します。

参考書・参考資料等
国語辞典・漢和辞典を持参してください。
※ 電子辞書でもよいが本の辞書を推奨。

学生に対する評価
毎回の漢字テスト（40%）、課題提出（60%）、で評価します。

養成をめざす力
日本語を読む力・書く力

その他
トレーニングは大変かもしれませんが、その成果は必ずみなさんの財産になります。へこたれず、楽しくやっていきましょう。

科目名	日本語Ｅ（再履修）
学期	通年
単位数	4
担当者	藤吉圭二

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：１回生必修科目「日本語」の不合格者を対象とする科目である。毎回ちゃんと出席して作業する地道さを養う。
テ ー マ：ひらがなだけから話の内容を推測できる程度に「自分をあきらめない力」をつける。

授業の概要
毎回小テストを実施する。

授業計画

【前期】	【後期】
1．社会に関する評論を読む（1）	1．社会に関する評論を読む（1）
2．社会に関する評論を読む（2）	2．社会に関する評論を読む（2）
3．社会に関する評論を読む（3）	3．社会に関する評論を読む（3）
4．社会に関する評論を読む（4）	4．社会に関する評論を読む（4）
5．政治に関する評論を読む（1）	5．政治に関する評論を読む（1）
6．政治に関する評論を読む（2）	6．政治に関する評論を読む（2）
7．政治に関する評論を読む（3）	7．政治に関する評論を読む（3）
8．政治に関する評論を読む（4）	8．政治に関する評論を読む（4）
9．文化に関する評論を読む（1）	9．文化に関する評論を読む（1）
10．文化に関する評論を読む（2）	10．文化に関する評論を読む（2）
11．文化に関する評論を読む（3）	11．文化に関する評論を読む（3）
12．文化に関する評論を読む（4）	12．文化に関する評論を読む（4）
13．宗教に関する評論を読む（1）	13．宗教に関する評論を読む（1）
14．宗教に関する評論を読む（2）	14．宗教に関する評論を読む（2）
15．宗教に関する評論を読む（3）	15．宗教に関する評論を読む（3）

※ プログラムは改訂される場合があります。

テキスト
必要に応じて担当者がプリントを配布します。

参考書・参考資料等
国語辞典・漢和辞典を持参してください（本の辞書を推奨）。

学生に対する評価
毎回実施する小テスト（50%）、期末テスト（50%）で評価します。

養成をめざす力
日本語を読む力・書く力

その他
この科目の単位を１回生の時にとれなかった諸君のほとんどは「ちゃんと授業に出る」ができなかったことによって不合格となっている。そのままでは卒業まで覚束ない。「通学する」を習慣にし直そう。

科目名	弘法大師伝A・B 弘法大師空海の生涯A・B（別）
学期	B後期 A前期
単位数	2
担当者	武内孝善

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：真言宗の開祖・空海の 62 年にわたる生涯のアウトラインを理解する。
テ ー マ：空海の生涯とその時代

授業の概要
9 世紀のはじめ唐にわたり、最新の仏教＝密教を持ちかえって体系化し、真言宗の開祖となった空海。その 62 年にわたる生涯には、まだ解明されていない点が少なくありません。一方、解決済みとみなされてきた事跡にも疑わしい点がみられます。そこで、講義では空海が活躍した時代がどのような時代であったかを概観しつつ、従来の説を徹底的に検証し、先入観を排した新しい空海像をご一緒に考えていきましょう。

授業計画
1．はじめに－空海伝研究の現状と課題－
2．基本的な参考文献
3．誕生地と誕生年次
4．空海の家系－佐伯直氏と阿刀氏－
5．若き日の修行
6．出家と入唐
7．恵果和尚からの受法
8．最澄との交友
9．最澄との決別
10. 高野山の開創
11. 都における活躍
12. 綜芸種智院の開設
13. 最晩年の空海
14. 空海の最期
15. 大師号の下賜と入定信仰

テキスト
毎時間、プリントを配布する。

参考書・参考資料等
高木訷元『空海－その生涯と周辺－』吉川弘文館
竹内信夫『空海－弘仁のモダニスト－』ちくま新書
武内孝善共著『あなただけの弘法大師空海』小学館
武内孝善共著『空海と密教美術』洋泉社
武内孝善『弘法大師　伝承と史実－絵伝を読み解く－』朱鷺書房

学生に対する評価
授業への参加度（出席した上で積極的に質問等する）50%。学期末の試験 50%。

養成をめざす力
密教仏教の基礎力、問題発見力、問題解決力

その他
①空海伝にはまだ定説はありません。新しい空海発見の旅に、あなたも参加してください。
②積極的に講義に参加してほしい。疑問をもったらその場で解決しよう。質問を待っています。
③空海の伝記を最低 3 冊は読もう。

科目名	釈尊伝A・B 釈尊の生涯A・B（別）
学期	B後期 A前期
単位数	2
担当者	前谷彰

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：釈尊の思想とその生涯についての基礎知識の養成
テ ー マ：釈尊の思想とその生涯を概観することによって、初期仏教の思想と歴史についての知識を深める。

授業の概要
仏教の開祖であるゴータマブッダ（釈尊）の生涯を基本的仏伝資料によって概観し、その後は釈尊のことばが集成された最古層に属する経典とされる『スッタニパータ』から、幾つかの偈頌を抽出することによって、釈尊のことばの世界を通してその実像へ迫って行く。

授業計画
1．オリエンテーション
2．仏伝資料による釈尊の生涯概観。
3．　同上
4．　同上
5．　同上
6．　同上
7．『スッタニパータ』「蛇の章・慈しみ」を読み、同じ作業を行う。
8．『スッタニパータ』「小なる章・宝」を読み、同じ作業を行う。
9．『スッタニパータ』「小なる章･ダンミカ」を読み､同じ作業を行う。
10. 『スッタニパータ』「大いなる章・つとめはげむこと」を読み、同じ作業を行う。
11. 『スッタニパータ』「大いなる章・矢」を読み、同じ作業を行う。
12. 『スッタニパータ』「大いなる章・二種の観察」を読み、同じ作業を行う。
13. いくつかの仏伝記事を紹介・解説することによって、釈尊神格化のプロセスについて解説する。
14. 同上
15. 学習した内容に対する質問や意見を聞き、総まとめをする。

テキスト
毎時間必要なコピーを配布する。

参考書・参考資料等
必要に応じて紹介する。

学生に対する評価
授業への参加度と学期末試験とで総合的に評価する。

養成をめざす力
密教仏教の基礎力、国際感覚、論理性、問題解決力

その他

科目名	現代思想A・B 哲学A（別）
学期	B後期 A前期
単位数	2
担当者	山脇雅夫

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：人間観の基礎を構築する
テ ー マ：人の間の哲学

授業の概要
「人の間」と書いて「人間」と読むことは、私たち人間にとって他の人とのかかわりが本質的であることをよく示していると思われます。この授業では、人間関係に関する哲学的問題を中心に、現代に生きていくために必要な思想は何かを考えます。

授業計画
1．赤ちゃんの人間認識
2．対人関係と言葉
3．自他の境界
4．いじめ
5．「自分」の定義
6．「愛」の諸相
7．聴くことの力
8．理解と誤解
9．自己犠牲は可能か？
10. 待つことの意味
11. 人間関係と時間
12. 死者との共存
13. 切れ字の存在論
14. 実存
15. 住まうこと

テキスト
藤田正勝『哲学のヒント』岩波新書

参考書・参考資料等
授業中に指示。

学生に対する評価
期末テスト 65 点、小テスト 20 点、授業参加への積極性 15 点

養成をめざす力
論理的思考力、他者への共感力

その他

科目名	人間と宗教A・B
学期	B後期 A前期
単位数	2
担当者	井上ウィマラ

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：スピリチュアルケアについて、人類史的な視点から議論できる力を身につける。
テ ー マ：宗教の起源という視点からスピリチュアリティとケアについて考察する。

授業の概要
この授業はスピリチュアルケア入門を兼ねている。人類の歴史と宗教の起源という視点から、スピリチュアリティやケアについて考察する。講義のあとで質疑応答やディスカッションをする予定であるが、それができない場合には学習確認シートに記入してもらうことを通して交流してゆきたい。

授業計画
1．自己紹介と授業の流れについて（宗教とは何か？）
2．カデナティ：宗教の起源と死の認識
3．スピリチュアリティとは何か？
4．ケアとは何か？
5．発達の視点
6．「私」という意識の成立：輪廻思想の意義を探る
7．宗教と道徳
8．愛、慈悲、思いやり
9．神話とナラティブ
10. 幸福とはなにか
11. 社会脳という視点
12. 言語と宗教
13. 離見の見
14. 安心感
15. ふりかえりとまとめ

テキスト
なし。

参考書・参考資料等
『宗教学事典』 丸善
『仏教心理学キーワード事典』 春秋社

学生に対する評価
授業への参加態度（30%）、期末レポート（70%）で評価する。

養成をめざす力
論理性、問題発見力、創造力

その他

科目名	漢文ⅠA・B
学期	BA前後期
単位数	2
担当者	南　昌宏

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：返り点を正しく使う能力を養い、漢文訓読の基礎を身に付けることを到達目標とする。
テ ー マ：漢文訓読の基礎（入門）

授業の概要
返り点のとおりに読む練習、返り点を打つ練習を繰り返し行う。その後、訓読の決まりや文法の基礎を学ぶ。

授業計画
1．返り点にしたがって読む練習（1）
2．返り点を付ける練習（1）
3．返り点にしたがって読む練習（2）
4．返り点を付ける練習（2）
5．返り点にしたがって読む練習（3）
6．返り点を付ける練習（3
7．訓読の決まり（1）
8．訓読の決まり（2）
9．使役
10．受身
11．否定形（1）
12．否定形（2）
13．否定形（3）
14．疑問形・反語形
15．期末試験

テキスト
畠山利子『徹底 20 日間マスター　漢文　基礎編』（日栄社）
売店で購入。

参考書・参考資料等
加地伸行『漢文法基礎』（講談社学術文庫）など。

学生に対する評価
授業実数の３分の１を超えて欠席した場合は失格とする（『学生手帳』参照）。
遅刻・早退は２分の１欠席と計算する。
期末試験の素点を評点とする。

養成をめざす力
日本語を読む力、外国語を読む力、論理性

その他

科目名	漢文ⅡA・B
学期	BA前後期
単位数	2
担当者	南　昌宏

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：訓点を使って漢文を訓読する能力を養い、漢文法の基礎を身に付けることを到達目標とする。
テ ー マ：漢文訓読の基礎（初級）

授業の概要
市販の漢文テキストを使用する。1 回に数ページをこなすことで、1 冊すべてをやり遂げる。
予習が必ず必要である。
受講生は、板書によって予習の成果を発表しなければならない。

授業計画
1．疑問形・反語形（1）
2．疑問形・反語形（2）
3．比較形・選択形
4．仮定形
5．詠嘆形・推量形
6．限定形・累加形
7．抑揚形・願望形
8．倒置形
9．漢詩（1）
10．漢詩（2）
11．覚えておきたい字（1）
12．覚えておきたい字（2）
13．総合演習（1）
14．総合演習（2）
15．期末試験

テキスト
畠山利子『徹底 20 日間マスター　漢文　基礎編』（日栄社）
売店で購入。

参考書・参考資料等
加地伸行『漢文法基礎』（講談社学術文庫）など。

学生に対する評価
授業実数の３分の１を超えて欠席した場合は失格とする（『学生手帳』参照）。
遅刻・早退は２分の１欠席と計算する。
期末試験の素点を評点とする。

養成をめざす力
日本語を読む力、外国語を読む力、論理性

その他
漢文Ⅰに合格した者のみ、受講を許可する。ただし、４年次生は、その限りではない。

科目名	英語ⅡA
学期	通年
単位数	2
担当者	高倉正行

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：英文内容の理解。
テ ー マ：長文を読みこなす。

授業の概要
長年日本に住む Paul Stapleton 氏によって書かれた日本の現在を読み、日本文化についての理解を深める練習問題をやっていきます。

授業計画

【前期】	【後期】
1．予習、復習、授業の進め方について説明する。	1．Cults
2．Freeters and NEETS	2．同上
3．同上	3．Baby Boomers Retire
4．Low Birth Rate	4．同上
5．同上	5．Immigration
6．Working Poor	6．同上
7．同上	7．Telecommuting
8．Net Café Refugee	8．同上
9．同上	9．Buying Organs
10．Loser Dog	10．同上
11．同上	11．Surrogate Mothers
12．False Accusation	12．同上
13．同上	13．Baby Hatch
14．Hikikomori	14．同上
15．同上	15．Eating Disorder

テキスト
Keywords for Japan Today
（センゲージラーニング、Paul Stapleton）
ISBN 978-4-86312-043-3
テキスト購入に関しては教員の指示に従うこと。

参考書・参考資料等

学生に対する評価
予習状況と授業態度、前期・後期試験を加味して行う。

養成をめざす力
外国語を読む力・書く力・聴く力・話す力、国際感覚、論理性

その他
必ず予習を行って授業に臨むこと。
授業には、テキストとノート、辞書を持参すること。

科目名	英語ⅡB
学期	通年
単位数	2
担当者	静春樹

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：
【前期】「文法」つまり基本的な「文のしくみ」に焦点を合わせる。
【後期】英語に限らずすべての言語は「音声」「文法」「語彙（単語力）」の三つのアプリケーションから成ると言っても過言ではない。授業では「文のしくみ」に焦点を合わせる。
テ ー マ：
【前期】高校までに習った英語を活性化する。
【後期】英文法の初歩習得。

授業の概要
授業計画が成立するのは受講生の習得水準が一定の幅に揃っている場合である。本授業の場合、プレイスメントテストがなく、およそ「不揃いな受講生」を相手にしなければならない。従って、授業はあくまで各受講生の力に合わせた個別的な指導となる。
勉学の基礎は自学自習である。教師は各受講生の力量・つまずきの箇所・壁を判断し個別に指導する。

授業計画
テキストをユニット０から各自が徹底的に勉強し、教師に理解したと判断された場合に次のユニットへ進む。

テキスト
南雲堂 First Voyage（大学基本英文法＆リーディング）。
テキストを持たない学生の受講は認めません。

参考書・参考資料等
『基礎からの英語入門　First Primer』南雲堂

学生に対する評価
前期テスト（50%）、期末テスト（50%）。

養成をめざす力
外国語を読む力、自主性、チームワーク

その他
「文の仕組み」は人体に喩えると、骨格に相当します。習得言語の場合（母語でないこと）、これをインストールしないと自力で歩くことが出来ません。

科目名	英語ⅡC（再履修）
学期	通年
単位数	2
担当者	高倉正行

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：中級程度の英文法の理解
テ ー マ：英文の基本的構文の習得

授業の概要
英文の基本構造を学びつつ、練習問題を行います。

授業計画

【前期】	【後期】
1．不定詞（1）	1．代名詞（1）
2．不定詞（2）	2．代名詞（2）
3．分詞	3．形容詞
4．動名詞	4．冠詞
5．動名詞と不定詞	5．数量詞
6．時制	6．副詞
7．未来時を表す表現	7．動詞
8．進行形	8．法助動詞（1）
9．完了形	9．法助動詞（2）
10．態	10．前置詞（1）
11．仮定法（1）	11．前置詞（2）
12．仮定法（2）	12．前置詞（3）
13．比較構文	13．接続詞
14．否定	14．関係詞（1）
15．名詞	15．関係詞（2）

テキスト
最初の授業で説明します。
＊テキスト購入に関しては教員の指示に従うこと。

参考書・参考資料等

学生に対する評価
予習状況と授業態度、前期・後期試験を加味して行う。

養成をめざす力
外国語を読む力・書く力・聴く力・話す力、国際感覚、論理性

その他
必ず予習を行って授業に臨むこと。
授業には、テキストとノート、辞書を持参すること。

科目名	
学期	
単位数	
担当者	

科目名	密教学概論Ⅰ 真言宗の教え1（別）
学期	前期
単位数	2
担当者	乾 仁志

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：密教の専門用語を習得し、密教思想の総合的理解を培う。
テ ー マ：密教の基礎知識を養成する。

授業の概要
インドにおいて発生した密教は、善無畏三蔵や金剛智三蔵によって、唐代の中国に伝えられるが、思想として体系化されるまでにいたらない。弘法大師空海によって確立されることになる（真言）密教の特徴を概観する。

授業計画
1．講義内容の説明
2．密教とは；①密教・真言宗の意味
3．密教とは；②密教の分類
4．密教経典の成立と特色；①密教の源流
5．密教経典の成立と特色；②仏教のなかでの密教の発展過程
6．密教経典の成立と特色；③密教経典の分類
7．密教経典の成立と特色；④密教経典の特色
8．中国密教の成立；①密教経典の訳出
9．中国密教の成立；②唐代密教の展開
10．奈良時代の密教
11．密教思想の組織化；弘法大師の生涯と著作
12．密教思想の教判；①真言密教の教判
13．密教思想の教判；②顕密二教の教判①
14．密教思想の教判；③顕密二教の教判②
15．密教思想の教判；④顕密二教の教判③

テキスト
勝又俊教著『密教入門』春秋社

参考書・参考資料等
松長有慶著『密教』（岩波新書）岩波書店
高神覚昇著『密教概論』大法輪閣
金岡秀友著『密教の哲学』講談社学術文庫
佐和隆研編『密教辞典』法藏館
中村元監他編『岩波仏教辞典』岩波書店

学生に対する評価
試験（80%）、授業参加への積極性（20%）

養成をめざす力
密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性

その他
講義にはテキスト・参考書の他に、ノートと配布プリントおよび辞書等を持参してください。
授業中に黒板に板書した語句や文章および図はノートに写してください。
分からない仏教用語は辞書を開いて確認してください。
（注）上記「授業参加への積極性」はノートを点検して採点します。

科目名	密教学概論Ⅱ 真言宗の教え2（別）
学期	後期
単位数	2
担当者	乾 仁志

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：密教の専門用語を習得し、密教思想の総合的理解を培う。
テ ー マ：密教の基礎知識を養成する。

授業の概要
インドにおいて発生した密教は、善無畏三蔵や金剛智三蔵によって、唐代の中国に伝えられるが、思想として体系化されるまでにいたらない。弘法大師空海によって確立されることになる（真言）密教の特徴を概観す

授業計画
1．講義内容の説明
2．十住心の思想；①十住心思想の構成
3．十住心の思想；②十住心思想の特徴
4．真言密教の仏陀観；①釈尊如来から大日如来へ
5．真言密教の仏陀観；②様々な信仰の対象
6．曼荼羅；①両部曼荼羅の成立
7．曼荼羅；②四種曼荼羅とは
8．真言密教の人間観；①空海と心の本性の探究
9．真言密教の人間観；②心性本浄思想の源流
10．即身成仏への道；①密教の三昧耶戒
11．即身成仏への道；②浄菩提心と観法
12．即身成仏への道；③四重禁戒と十善戒
13．即身成仏思想；①六大・四曼・三密
14．即身成仏思想；②即身の意味と三種即身成仏
15．密教の特性

テキスト
勝又俊教著『密教入門』春秋社

参考書・参考資料等
松長有慶著『密教』（岩波新書）岩波書店
高神覚昇著『密教概論』大法輪閣
金岡秀友著『密教の哲学』講談社学術文庫
佐和隆研編『密教辞典』法藏館
中村元監他編『岩波仏教辞典』岩波書店

学生に対する評価
試験（80%）、授業参加への積極性（20%）

養成をめざす力
密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性

その他
講義にはテキスト・参考書の他に、ノートと配布プリントおよび辞書等を持参してください。
授業中に黒板に板書した語句や文章および図はノートに写してください。
分からない仏教用語は辞書を開いて確認してください。
（注）上記「授業参加への積極性」はノートを点検して採点します。

科目名：密教史概説Ⅰ
学期：前期
単位数：2
担当者：奥山直司

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：インド・チベット密教史に関する基礎的な知識を身につける。
テ ー マ：インド・チベット密教史

授業の概要
インド密教がどのようにして形成され、発展したか。そしてそれがどのような過程を経てチベットに伝えられ、チベット密教として展開したか。チベット密教の特色は何か。これらの点について映像資料などをまじえながら立体的に講義する。

授業計画
1．イントロダクション
2．インド・チベット仏教における密教経典分類法
3．インド初期密教　萌芽から形成へ
4．インド中期密教　組織化の時代１
5．インド中期密教　組織化の時代２
6．インド後期密教　新たな展開１
7．インド後期密教　新たな展開２
8．古代チベット王国と仏教の伝来
9．仏教国教化への道のり
10．古代チベット王国の崩壊と仏教の復興
11．諸宗派の形成１
12．諸宗派の形成２
13．プトゥンとツォンカパ
14．ゲルク派の覇権
15．ダライ・ラマ法王とは何か

テキスト
特になし。

参考書・参考資料等
松長有慶『密教の歴史』平楽寺書店
奥山直司『チベット［マンダラの国］』小学館

学生に対する評価
課題レポート（30%）、期末試験（70%）

養成をめざす力
密教仏教の基礎力、想像力、忍耐力

その他
遅刻３回で１欠席と見なすので注意。

科目名：密教史概説Ⅱ
学期：後期
単位数：2
担当者：佐藤隆彦

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：日本密教の歴史を知る
テ ー マ：日本密教（真言密教、天台密教）の歴史を知る

授業の概要
真言宗の歴史をテキストにもとづきながら概説する。

授業計画
1．オリエンテーション
2．密教の受容基盤
3．密教の受容基盤
4．真言宗の成立
5．真言宗の成立
6．真言宗の分化
7．天台の密教
8．天台の密教
9．覚鑁の改革
10．鎌倉時代の密教
11．鎌倉時代の密教
12．室町時代の密教
13．室町時代の密教
14．江戸期の密教
15．まとめ

テキスト
松長有慶『密教の歴史』（平楽寺書店）　売店取り扱い

参考書・参考資料等

学生に対する評価
期末レポート（80%）、授業中に行なう小テスト（20%）

養成をめざす力
密教仏教の基礎力、問題発見力、問題解決力

その他

科目名：仏教史概説Ⅰ
学期：前期
単位数：2
担当者：前谷彰

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：仏教がインドのいかなる思想を背景に誕生し、いかなる歴史的変容を被りながら展開して行ったかについての基本的知識を身につける。
テ ー マ：インドにおける仏教誕生とその後の展開

授業の概要
仏教が興起する以前に存在したインドの思想体系の概説を行った上で、仏教がインドにおいてどのような歴史的変容を被りながら展開して行ったかについて概説する。

授業計画
1．導入：仏教が興起する以前のインド
2．バラモン教の思想：ヴェーダの思想的特徴
3．ヴェーダの思想的特徴
4．古ウパニシャッドの思想
5．古ウパニシャッドの思想
6．反ヴェーダ思想（六師外道）
7．ジャイナ教の思想
8．釈尊の誕生から成道までの歴史概観
9．初期仏教思想の特徴
10．初期仏教思想の特徴
11．初期仏教思想の特徴
12．大乗諸派の思想的特徴
13．中国仏教の特徴
14．大乗非仏説論
15．初期仏教と大乗の思想的相違点

テキスト
担当者作成の『仏教概要』をコピーして配布する。

参考書・参考資料等
必要に応じて担当者が指示する。

学生に対する評価
期末試験（100%）

養成をめざす力
密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性、日本語を読む力・聴く力

その他

科目名：仏教史概説Ⅱ
学期：後期
単位数：2
担当者：前谷彰

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：日本仏教の時代的特徴についての基本的知識を身につける。
テ ー マ：日本仏教思想の特徴

授業の概要
日本仏教を時代を追って概観し、その思想的かつ歴史的特徴について解説する。

授業計画
1．仏教伝来
2．奈良仏教の特徴
3．奈良仏教の特徴
4．平安仏教の特徴概観
5．最澄の思想的特徴
6．弘法大師の思想
7．弘法大師の思想
8．弘法大師の思想
9．鎌倉仏教の特徴概観
10．法然の生涯概観
11．親鸞の生涯概観
12．浄土思想と真言密教
13．道元・日蓮・栄西の思想
14．仏教における救済論
15．総まとめ

テキスト
担当者作成の『仏教概要』をコピーして配布する。

参考書・参考資料等
必要に応じて担当者が指示する

学生に対する評価
期末試験（100%）

養成をめざす力
密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性、日本語を読む力・聴く力

その他

科目名	祖典講読ⅠA・B 真言宗典講読1-1（別）
学期	前期
単位数	2
担当者	B A 土加納和居夏樹雄

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：弘法大師空海の原典に親しみ、その根本思想を把握することを目標とする。
テ ー マ：『即身成仏義』を読む

授業の概要

密教とは何か。即身成仏とは何か。弘法大師空海の『即身成仏義』はこの問いを追求する古典的名著である。即身成仏は、弘法大師の核心的な教えであり、この教えについて原典から直接学ぶことは、真言宗とは何かを知るためにも必要不可欠なことである。授業では、この思想の背景にある仏教思想を確認しつつ、原典（漢文）の流麗な文章表現を音読しながら味わい、ゆっくりと読み進めてゆく。

授業計画

1．概論
2．「二経一論八箇の証文」
3．「即身成仏の偈頌」
4．「二頌八句の総釈と科分」
5．「六大無礙にして常に瑜伽なり」（1）
6．「六大無礙にして常に瑜伽なり」（2）
7．「六大無礙にして常に瑜伽なり」（3）
8．「六大無礙にして常に瑜伽なり」（4）
9．「四曼荼羅各離れず」（1）
10．「四曼荼羅各離れず」（2）
11．「四曼荼羅各離れず」（3）
12．「四曼荼羅各離れず」（4）
13．「四曼荼羅各離れず」（5）
14．「四曼荼羅各離れず」（6）
15．テスト

テキスト

高野山大学編『十巻章』、高野山大学出版部

参考書・参考資料等

その他、授業において指示します。

学生に対する評価

授業中の発表など（60%）、レポート（40%）

養成をめざす力

密教仏教の基礎力、外国語を読む力、創造力

その他

科目名	祖典講読ⅡA・B 真言宗典講読1-2（別）
学期	後期
単位数	2
担当者	B A 土加納和居夏樹雄

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：弘法大師空海の原典に親しみ、その根本思想を把握することを目標とする。
テ ー マ：『即身成仏義』を読む

授業の概要

『即身成仏義』についての概論と前期の復習をはじめに行い、前期で扱った範囲をカヴァーして、テクストの続きをさらに読みすすめる。
『即身成仏義』を読了した後には、弘法大師空海の即身成仏思想の体系を再確認し、要点の把握に努める。

授業計画

1．概論と前期の復習
2．〃
3．「重重帝網なるを即身と名づく」（1）
4．「重重帝網なるを即身と名づく」（2）
5．「法然に薩般若を具足す」（1）
6．「法然に薩般若を具足す」（2）
7．「法然に薩般若を具足す」（3）
8．「心数心王刹塵に過ぎたり、各五智無際智を具す」（1）
9．「心数心王刹塵に過ぎたり、各五智無際智を具す」（2）
10．「心数心王刹塵に過ぎたり、各五智無際智を具す」（3）
11．「円鏡力の故に、実覚智なり」（1）
12．「円鏡力の故に、実覚智なり」（2）
13．弘法大師空海の即身成仏思想の体系（1）
14．弘法大師空海の即身成仏思想の体系（2）
15．テスト

テキスト

高野山大学編『十巻章』、高野山大学出版部

参考書・参考資料等

授業において指示します。

学生に対する評価

授業中の発表など（60%）、レポート（40%）

養成をめざす力

密教仏教の基礎力、外国語を読む力、創造力

その他

科目名	祖典講読ⅢA
学期	前期
単位数	2
担当者	土居夏樹

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：弘法大師空海の著作に親しみつつ、教相判釈および仏身論の基礎知識を習得し、顕密教判の基本を理解する。
テ ー マ：『弁顕密二教論』巻上を読む（1）

授業の概要

密教とは何か。弘法大師空海が著された『弁顕密二教論』では、‘法身説法’という思想を中心に、密教の特徴が論じられています。その意味では、この『弁顕密二教論』を読み解いていくことは、弘法大師空海が‘密教’をどのように定義されていたのか、ということを学ぶことにほかなりません。
この講義では、特に弘法大師当時の仏教各派に対する批判が論じられている『弁顕密二教論』巻上を原典から読み進み、弘法大師が密教と顕教の違いをどのように論じられているのか、さらには大師当時の諸宗の教学では法身説法についてどのように論じているのか、を踏まえながら、大師の提唱した‘密教’とな何か、という問題を考えて行きます。
前期は特に、教相判釈・仏身論の基礎知識と、『釈摩訶衍論』による顕密教判を中心に進めます。

授業計画

1．概論（講義の進め方等）
2．『弁顕密二教論』の思想的背景と撰述時期 ① －教相判釈とは？－
3．『弁顕密二教論』の思想的背景と撰述時期 ② －仏身論の基礎知識－
4．『弁顕密二教論』の思想的背景と撰述時期 ③ －顕密対弁の変遷－
5．『弁顕密二教論』巻上を読む（1）顕教と密教 ① 顕教とは？
6．〃 （2）顕教と密教 ② 秘蔵金剛頂経の説
7．〃 （3）顕教への執着と造論の意義
8．〃 （4）顕教と密教の違い －法身説法の有無－
9．〃 （5）仏教思想の伝承&『二教論』の典拠
10．〃 （6）『釈摩訶衍論』による顕密教判 ① 『釈摩訶衍論』について
11．〃 （7）『釈摩訶衍論』による顕密教判 ② 五重問答－総問答－
12．〃 （8）『釈摩訶衍論』による顕密教判 ③ 五重問答－初重～第五重－
13．〃 （9）『釈摩訶衍論』による顕密教判 ④ 果海問答・因海問答
14．〃 （10）『釈摩訶衍論』による顕密教判 ⑤ 不二摩訶衍・円円海
15．前期のまとめ

テキスト

高野山大学編 『十巻章』高野山大学出版部

参考書・参考資料等

中川善教『漢和対象十巻章』、高野山出版社、1977 年
栂尾祥雲『現代語の十巻章と解説』、高野山出版社、1976 年
金岡秀友『空海　弁顕密二教論』、太陽出版、2003 年
小田慈舟『十巻章講説』下巻、高野山出版社、1985 年
※その他、授業において指示します。

学生に対する評価

授業内での素読（20%）、小レポート（20%）、期末レポート（60%）で評価します。

養成をめざす力

密教仏教の専門性、論理性、問題発見力

その他

素読や基礎用語の解説など、授業内で指名しますので、必ず予習をしてきてください。

科目名	祖典講読ⅢB
学期	前期
単位数	2
担当者	松長恵史

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：弘法大師空海の著作に親しみ、その思想の特質を理解する
テ ー マ：『声字実相義』を読む

授業の概要

『声字実相義』は、弘法大師空海が著した三部書の一つである。『声字実相義』に説かれる言語観は、密教の教理が、顕教に対していかなる独自性を持つのかを知る上できわめて重要である。
密教の有する言語観を確認しつつ、『声字実相義』の原典を読み進めていく。

授業計画

1．概論（講義の進め方等）
2．『声字実相義』の特色①
3．『声字実相義』の特色②
4．『声字実相義』の基礎知識
5．『声字実相義』の歴史的背景と内容構成
6．叙意①
7．叙意②
8．叙意③
9．釈名体義①
10．釈名体義②
11．釈名体義③
12．釈名体義④
13．釈名体義⑤
14．釈名体義⑥
15．記述試験

テキスト

高野山大学編『十巻章』高野山大学出版部

参考書・参考資料等

宮坂宥勝監修 『空海コレクション２』 筑摩書房

学生に対する評価

授業内で講読演習を行うので、出席を重視する。また、各自の授業内での演習で判断する
試験（50%） 授業中の演習（50%）

養成をめざす力

密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性、問題発見力

その他

科目名：祖典講読ⅣA
学期：後期
単位数：2
担当者：土居夏樹

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：弘法大師空海の著作に親しみつつ、大師当時の諸宗の教学に関する基礎知識を習得し、大師の定義する密教の特徴を理解する。
テ ー マ：『弁顕密二教論』巻上を読む （2）

授業の概要

前期（祖典講読ⅢA）に引き続き、『弁顕密二教論』巻上を読み進めます。
『弁顕密二教論』巻上では、華厳宗・天台宗・法相宗・三論宗の主要なテキストが引用され、これらの教学では「悟りそのものは説くことができない」と位置付けられています。しかしながら、弘法大師のこの解釈には、諸宗の立場からすると問題のある点が多く見受けられ、大師当時から批判されていた形跡もうかがえます。
この講義では、『弁顕密二教論』巻上に引用された諸宗のテキストおよび大師の解釈、さらにはそれが諸宗の教学本来の立場ではどのように論じられるものであるのか、という点を踏まえつつ、大師の提唱した‘密教’とは何か、という問題を考えて行きます。

授業計画

1．前期のまとめと概論（講義の進め方等）
2．『弁顕密二教論』巻上を読む（11）華厳宗の果分不説 ①
－「因分可説・果分不可説」－
3． 〃 （12）華厳宗の果分不説 ②
－華厳教学における法蔵解釈－
4． 〃 （13）華厳宗の果分不説 ③－華厳教学と密教－
4． 〃 （13）天台宗の果分不説 ①
－三諦と随情説・随情智説・随智説－
5． 〃 （14）天台宗の果分不説 ②
－宗極か初住か－
6． 〃 （15）天台宗の果分不説 ③
－『法華経』教主と「或者」－
7． 〃 （16）法相宗の果分不説 ①
－四重二諦と三能変－
8． 〃 （17）法相宗の果分不説 ②
－法相教学における法身説法－
9． 〃 （18）三論宗の果分不説 ①
－八不・無生法忍・有為空・無為空－
10． 〃 （19）三論宗の果分不説 ②
－『般若灯論釈』の仏身論－
11． 〃 （20）三論宗の果分不説 ③
－ 三論教学の法身説法 －
12． 〃 （21）二重二諦と密号名字
－『智度論』の果分可説－
13． 〃 （22）五種言説と十種心量
－『釈摩訶衍論』の果分可説－
14． 〃 （23）『菩提心論』による顕密対弁
15．後期のまとめ

テキスト

高野山大学編 『十巻章』高野山大学出版部

参考書・参考資料等

中川善教『漢和対象十巻章』、高野山出版社、1977 年
榊尾祥雲『現代語の十巻章と解説』、高野山出版社、1976 年
金岡秀友『空海 弁顕密二教論』、太陽出版、2003 年
小田慈舟『十巻章講説』下巻、高野山出版社、1985 年
※ その他、授業において指示します。

学生に対する評価

授業内での素読（20%）、小レポート（20%）、期末レポート（60%）で評価します。

養成をめざす力

密教仏教の専門性、論理性、問題発見力

その他

素読や基礎用語の解説など、授業内で指名しますので、必ず予習をしてきてください。

科目名：祖典講読ⅣB
学期：後期
単位数：2
担当者：松長恵史

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：弘法大師空海の著作に親しみ、その思想の特質を理解する
テ ー マ：『声字実相義』を読む

授業の概要

『声字実相義』についての概論と、前期の授業で扱った内容の復習から始め、前期に引き続いて『声字実相義』を講読する。前期に引き続き授業を行うので、「祖典講読Ⅲ」を受講することが好ましい。

授業計画

1．概論（講義の進め方等）
2．『声字実相義』の特色
3．『声字実相義』の基礎知識
4．『声字実相義』の歴史的背景と内容構成
5．釈名体義⑦
6．釈名体義⑧
7．釈名体義⑨
8．釈名体義⑩
9．釈名体義⑪
10．釈名体義⑫
11．『声字実相義』のまとめ①
12．『声字実相義』のまとめ②
13．『声字実相義』のまとめ③
14．弘法大師空海の『声字実相義』理解の独自性
15．記述試験

テキスト

高野山大学編『十巻章』高野山出版

参考書・参考資料等

宮坂宥勝監修 『空海コレクション２』 筑摩書房

学生に対する評価

授業内で講読演習を行うので、出席を重視する。また、各自の授業内での演習およびレポートで判断する。
試験（50% ） 授業内演習（50%）

養成をめざす力

密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性、問題発見力

その他

科目名：密教学講読演習A
学期：前期
単位数：2
担当者：井上ウィマラ

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：キューブラー・ロスの『死ぬ瞬間』を精読することによって、解脱と死の受容との関係性を理解する。密教・仏教を現代的に展開するための基礎を身につける。
テ ー マ：解脱と死の受容について。

授業の概要

前半はテキストを精読しながら丁寧に吟味する。後半は死の受容の5段階について各章を分担して要約し、プレゼンテーションとディスカッションを通して理解を深める。

授業計画

1．自己紹介と授業の進め方（キューブラー・ロスという生き方）
2．キューブラー・ロスに関するビデオ学習
3．第１章「死の恐怖について」を読む
4．第２章「死とその過程に対するさまざまな姿勢」を読む
5．死念（Maranasati）について
6．対象喪失理論
7．グリーフケア
8．第３章「第１段階： 否認と孤立」
9．第４章「第２段階： 怒り」
10．第５章「第３段階： 取り引き」
11．第６章「第４段階： 抑うつ」
12．第７章「第５段階： 受容」
13．葬式や法事の意味と可能性
14．解脱とケアについて
15．ふりかえりとまとめ

テキスト

エリザベス・キューブラー・ロス 『死ぬ瞬間』 中公文庫

参考書・参考資料等

エリザベス・キューブラー・ロス 『人生は廻る輪のように』 角川文庫
小此木啓吾 『対象喪失』 中公新書
井上ウィマラ 『看護と生老病死』 三輪書店

学生に対する評価

授業への参加態度（30%）と期末レポート（70%）

養成をめざす力

日本語を読む力・書く力・聴く力、話す力、問題発見力、論理性

その他

科目名：密教学講読演習B 真言宗典講読2－1（別）
学期：前期
単位数：2
担当者：松長恵史

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：密教尊像の基本的な智識を身につけ、漢訳図像資料を研究資料として扱えるようになることを目的とする。
テ ー マ：図像学における密教尊格の表現、および尊格構成とその譜系について学ぶ。

授業の概要

インドに興り、東南アジア･中国を経由し、日本に流布した密教は、その発展過程において様々な尊格を生み出した。当授業では密教図像に基づいて、大乗仏教の尊格をも含め、それぞれの密教尊格の形成と発展について、主として漢訳資料の像造表現を中心に考察を加える。インドの図像資料としては､『サーダナマーラー』や『ニシュパンナヨーガーヴァリー』等が基本的な資料であるが、まず、漢訳密教経典・儀軌、ならびに我が国に現存する図像資料を講読し、それぞれの図像的特徴からその尊格の展開をたどる。

授業計画

1．概論（講義の進め方等）
2．漢訳資料の基本的な扱い方
3．漢文資料の基本的な講読練習①
4．漢文資料の基本的な講読練習②
5．尊格表現方法の基本知識①
6．尊格表現方法の基本知識②
7．尊格表現方法の基本知識③
8．尊格表現方法の基本知識④
9．漢訳図像資料講読①
10．漢訳図像資料講読②
11．密教尊像の基本的な知識を深めるための密教経典・儀軌の考察
12．図像資料講読演習①
13．図像資料講読演習②
14．図像資料講読演習③
15．レポート試験

テキスト

大正新脩大蔵経 図像部

参考書・参考資料等

松長有慶編 『密教を知るためのガイドブック』 法蔵館 1995 年
頼富本宏・下泉全暁 『密教仏像図典』 人文書院 1994 年
佐和隆研 『仏像図典』 吉川弘文館 1962 年

学生に対する評価

授業内で講読演習を行うので、出席を重視する。また、各自の授業内での演習およびレポートで判断する
試験（60%）、授業内演習（30%）、ノート作成（10%）

養成をめざす力

密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性、問題発見力

その他

科目名	仏教学講読演習Ａ
学期	前期
単位数	2
担当者	和田圭子

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：代表的な仏教美術を中心に、飛鳥時代前期から平安時代前期までの日本美術の歴史を概観し、仏教美術の基礎的知識の理解と習得を到達目標とする。

テ ー マ：日本仏教美術史－飛鳥時代前期～平安時代前期－

授業の概要

寺院に祀られる仏像や仏画は崇高な礼拝対象である一方、歴史的文化遺産としても重要な意義を持つ。授業では、飛鳥時代前期から平安時代前期までの仏教彫像、絵画、工芸の代表的な作品について、その歴史的背景を踏まえつつ概観する。

授業計画

1．日本美術史の基礎知識
2．仏教美術の基礎知識
3．飛鳥時代前期の仏像１
4．飛鳥時代前期の仏像２
5．飛鳥時代後期の仏像
6．飛鳥時代の絵画・工芸
7．奈良時代の仏像１
8．奈良時代の仏像２
9．奈良時代の絵画
10．奈良時代の工芸（正倉院宝物等）
11．平安時代前期の絵画
12．平安時代前期の仏像１
13．平安時代前期の仏像２
14．平安時代前期の工芸
15．まとめ

テキスト

授業内容に沿った参考資料（文字資料・画像資料）を配付する。

参考書・参考資料等

水野敬三郎監修『カラー版日本仏像史』美術出版社
『日本美術全集』講談社

学生に対する評価

授業態度（30%）、期末レポート（70%）の比率で評価する。
前期授業終了までに各自テーマを設定し、4000 字程度のレポートを提出する。

養成をめざす力

日本語を読む力、自主性、日本美術史の基礎的理解力

その他

仏教美術講読演習Ｂ（後期）を履修・聴講することが望ましい。
日本史に関する基礎知識を確認しておくこと。また、授業中に提示する仏教美術作品に興味を持ち、展覧会等を利用して実際に見学する機会を持ってほしい。

科目名	仏教学講読演習Ｂ
学期	後期
単位数	2
担当者	和田圭子

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：代表的な仏教美術を中心に、平安時代後期から江戸時代に至る日本美術の歴史を概観し、仏教美術を中心とした基礎的知識の理解と習得を到達目標とする。

テ ー マ：日本美術史－平安時代後期～江戸時代－

授業の概要

寺院に祀られる仏像や仏画は崇高な礼拝対象である一方、歴史的文化遺産としても重要な意義を持つ。授業では、平安時代後期から江戸時代までの仏教美術や、その他の絵画、工芸の代表的な作品について、その歴史的背景や時代の特徴を踏まえつつ概観する。

授業計画

1．平安時代後期の仏像１
2．平安時代後期の仏像２
3．平安時代後期の仏画
4．平安時代後期の絵巻
5．平安時代後期の工芸
6．鎌倉時代の仏像１
7．鎌倉時代の仏像２
8．鎌倉時代の仏画
9．鎌倉時代の絵画・工芸
10．室町時代の美術１
11．室町時代の美術２
12．桃山時代の美術
13．江戸時代の美術１
14．江戸時代の美術２
15．江戸時代の美術３

テキスト

授業内容に沿った参考資料（文字資料・画像資料）を配付する。

参考書・参考資料等

水野敬三郎監修『カラー版日本仏像史』美術出版社
『日本美術全集』講談社

学生に対する評価

授業態度（30%）、期末レポート（70%）の比率で評価する。
講義終了までに各自テーマを設定し、それに関する 4000 字程度のレポートを提出する。

養成をめざす力

日本語を読む力、自主性、日本美術史の基礎的理解力

その他

仏教美術講読演習Ａ（前期）を履修・聴講することが望ましい。
日本史に関する基礎知識を確認しておくこと。また、授業中に提示する仏教美術作品に興味を持ち、展覧会等を利用して実際に見学する機会を持ってほしい。

科目名	仏教学講読演習Ｃ
学期	前期
単位数	2
担当者	藤田光寛

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：後期仏教（インド密教）にとって、小乗仏教と大乗仏教、タントラ仏教との三者の思想の相違に対して、密教の立場から如何に整合性のある解釈を与えるかが大切な課題の１つであった。インド密教の総決算はこの点にあると言っても過言ではない。この問題を戒律思想の点に焦点をあてて理解する。

テ ー マ：インド・チベット仏教戒律思想史（１）

授業の概要

チベット仏教のサキャ派のサキャパンディタ（＝サパン、1182 － 1251）が著した『三律儀細別』を読む。受講生に応じて、このチベット語文献か英文解説書のいずれかを読解しながら解説し、小乗仏教と大乗仏教、タントラ仏教との三者の戒律（すなわち三律儀）の特徴、相違点、類似点などを学ぶ。

授業計画

下記の文献を精読しながら解説するが、受講生には分担を決めて発表してもらうので、十分な予習が必要です。当該テキストを毎回予習して講義に臨むこと。

1．オリエンテーション
2．サパンの生涯とその作品
3．三律儀について
4．小乗の戒律（すなわち波羅提木叉律儀）について
5．大乗の戒（すなわち菩薩律儀）について
6．密教の戒（すなわち真言律儀）
7～15．密教の戒の章の講読

テキスト

授業時に適宜プリントして配布する。
①Sakya Pandita Kunga Gyaltshan: A Clear Differentiation of the Three Codes, transl. by Jared Douglas Rhoton. State Univ. of New York Press, 2002
②Sakya Pandita Kun dgah rgyal mtshan : sDom pa gsum gyi rab tu dbye ba. 『サキャ派全書』Vol.5 No.4

参考書・参考資料等

藤田光寛『はじめての「密教の戒律」入門』セルバ出版、平成 25 年
森章司　編『戒律の世界』東京：渓水舎　1993 年
佐藤密雄『律蔵』（＝仏典講座４）大蔵出版（株）　昭和 47 年　など

学生に対する評価

期末の試験（60%）、出席（20%）、小試験（20%）によって評価する。

養成をめざす力

密教仏教の専門性、日本語を読む力、問題解決力

その他

３回以上理由もなく無断で欠席した者は、受講者名簿から削除するので注意すること。
担当者のメールアドレスは　fujita@koyasan-u.ac.jp　ですので、質問などがあれば遠慮無く利用してください。

科目名	真言密教講読演習Ａ
学期	前期
単位数	2
担当者	Ｔ．ドライトライン

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：漢文読解力、秘密儀軌への知識、事相の理解を深める。

テ ー マ：十八道次第の関連儀軌を読む。

授業の概要

十八道次第はいくつかの請来された漢文の秘密儀軌を組み合わせてできたものである。『請来目録』に列記される十八道次第の元となった代表的な儀軌を読みながら、十八道次第の構造や真言密教における意義を考察する。已灌頂者のみが受講できる。

授業計画

1．秘密儀軌、十八契印、十八道次第について
2．『観自在菩薩如意輪念誦儀軌』１
3．同上２
4．同上３
5．同上４
6．同上５
7．同上６
8．同上７
9．『無量寿如来観行供養儀軌』１
10．同上２
11．同上３
12．同上４
13．同上５
14．同上６
15．同上７

テキスト

浄厳の木版『秘密儀軌』からコピーを配布

参考書・参考資料等

『真言宗全書』、『続真言宗全書』、『大正新脩大蔵経』、『大日本校訂大蔵経』、『定本国訳秘密儀軌』、など

学生に対する評価

レポート（50%）、発表（20%）、授業参加の積極性（30%）

養成をめざす力

密教仏教の専門性、日本語を読む力、想像力

その他

受講生全員は毎回該当する漢文のテキストを予習する。
別に課題を与えて受講生による発表を行う。
授業は日本語で進める。
プログラムは改訂される場合がある。
受講者は伝法灌頂入壇者（已灌頂者）のみとする。

科目名：真言密教講読演習Ｂ
学期：後期
単位数：2
担当者：Ｔ．ドライトライン

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：中院流の現代における主要の諸尊法次第と『中院流三十三尊法聞書』の研究を通じて、真言密教が社会に提供できるものを考察する。

テ ー マ：中院流三十三尊法の研究

授業の概要

三十三尊法は中院流において大変重要な位置にある。この授業では、そのなかからいくつかの諸尊法次第を選んで、それらに該当する『中院流三十三尊法聞書』を講読しながら伝授する。已潅頂者のみが受講できる。

授業計画

1．中院流三十三尊法と『中院流三十三尊法聞書』
2．諸尊次第と『聞書』の講読演習』 1
3．同上２
4．同上３
5．同上４
6．同上５
7．同上６
8．同上７
9．同上８
10. 同上９
11. 同上 10
12. 同上 11
13. 同上 12
14. 同上 13
15. 同上 14

テキスト

高野山大学編纂『中院流三十三尊』、高岡隆心『中院流三十三尊法聞書』、高岡隆心『中院流三十三尊法全』をコピーで配布

参考書・参考資料等

『中院流聖教』10、中川善教『諸尊通用次第』と『諸尊通用次第入句』、大山公淳『中院流の研究』、高見寛恭『中院流院家相承伝授録上』、その他

学生に対する評価

レポート（50%）、発表（20%）、授業参加の積極性（30%）

養成をめざす力

密教仏教の専門性、日本語を読む力、想像力

その他

伝法潅頂の已潅頂者のみが受講できる。
受講生全員は毎回該当する漢文のテキストを予習する。
別に課題を与えて受講生による発表を行う。
授業は日本語で進める。
受講者は伝法潅頂入壇者（已潅頂者）のみとする。

科目名：真言密教講読演習Ｄ
学期：前期
単位数：2
担当者：土居夏樹

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：高野山の伝統教学を通して、弘法大師の思想が後世どのように問題となり、どのように解釈されてきたかについて理解する力を身につける。

テ ー マ：『宗義決択集』の研究

授業の概要

弘法大師の教学は、1,200 年の間、多くの学僧によって様々に解釈されてきました。それら様々な解釈の集積が、今日の真言宗の教理・教学にほかなりません。大師以後の真言宗では、天台密教の展開や鎌倉新仏教の流行などその時々の問題への対応を密教経典や大師の著作に求め、思索を重ねてきました。そういった営みの中で、高野山には宝門・壽門という２大学派が現われ、今日に至っています。

この講義では、宝門の論議書である『宗義決択集』に収められた論議を取り上げ、それぞれの内容を通して高野山独自の教学である宝壽二門の思想について学びながら、弘法大師の教学がどのように理解されてきたのかについて、難答の立場に分かれて演習を行いつつ考えていきます。

授業計画

1．概論（講義の進め方等）
2．『宗義決択集』について①－論議について－
3．『宗義決択集』について②－宝門と壽門－
4．『宗義決択集』について③－『宗義決択集』の内容－
5．理法身説法　①　問題設定 1 仏身論の基礎知識
6．理法身説法　②　問題設定 2 智慧と説法
7．理法身説法　③　問答 1　演習発表とディスカッション①
8．理法身説法　④　問答 2　演習発表とディスカッション②
9．理法身説法　⑤　理法身説法のまとめ
10. 六大四曼互為能生①　問題設定 1 六大能生・四曼所生
11. 六大四曼互為能生②　問題設定 2「六大四曼互為能生」異説
12. 六大四曼互為能生③　問答 1　演習発表とディスカッション①
13. 六大四曼互為能生④　問答 2　演習発表とディスカッション②
14. 六大四曼互為能生⑤　六大四曼互為能生のまとめ
15. まとめ

テキスト

『宗義決択集』、『真言宗全集』巻 19、高野山大学統真言主全書刊行会
※ 授業中にコピーを配布します

参考書・参考資料等

小田慈舟訳『宗義決択集』、『国訳一切経』和漢撰述部、「諸宗部」21、大東出版社
※ その他、授業において指示します。

学生に対する評価

授業内での発表（60%）、期末レポート（40%）で評価します。

養成をめざす力

密教仏教の専門性、論理性、問題解決力

その他

・ 授業内でグループを作り、担当を決めた上で、各グループで調査研究の資料を作ってもらいます。
・上記資料に基づき、グループ間で、発表・ディスカッションをおこなってもらいます。
・発表担当回に無断で欠席した場合は、失格としますので、注意してください。

科目名：真言密教講読演習２－２Ｃ（別）
学期：前期
単位数：2
担当者：加納和雄

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：真言教学の基軸にある即身成仏の思想形成の背景について真言宗典の講読を通じて理解する

テ ー マ：インド密教における即身成仏思想の形成と展開

授業の概要

即身成仏は真言教学にとって欠かすことのできない根本思想であるが、正しく理解するためにはその成立の背景をきちんと押さえておく必要がある。授業では、空海の即身成仏思想を確認したうえで、インドの宗教史全体のなかで即身成仏思想の位置づけを確認する。具体的には、仏教史における「成仏」観の変遷を辿ることにより仏教内部における背景を探り、その一方でヒンドゥー教シヴァ派の初期タントラ文献類を検討して仏教外部からの影響を探る。その上で真言宗所依の経典『大日経』『金剛頂経』に登場する即身成仏思想を読み解く。さらにインド後期密教への展開を確認し即身成仏思想の総合的な理解を深める。

授業計画

1．導入
2．空海の即身成仏思想概観
3．インド宗教史全体からみた即身成仏思想
4．仏教史全体からみた即身成仏思想の位置づけ 1
5．仏教史全体からみた即身成仏思想の位置づけ 2
6．仏教史全体からみた即身成仏思想の位置づけ 3
7．仏教外部における即身成仏思想 1
8．仏教外部における即身成仏思想 2
9．中期密教経典の即身成仏説 1
10. 中期密教経典の即身成仏説 2
11. 中期密教経典の即身成仏説 3
12. 中期密教経典の即身成仏説 4
13. 後期密教経典の即身成仏説 1
14. 後期密教経典の即身成仏説 2
15. 総括

テキスト

授業で指示します。

参考書・参考資料等

授業で指示します。

学生に対する評価

授業中の発表など（60%）、テスト（40%）

養成をめざす力

密教仏教の専門性、外国語を読む力、論理性

その他

科目名	密教学特殊講義A
学期	前期
単位数	2
担当者	森本一彦

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：高野山およびその周辺地域も含んだ高野文化圏の生活文化についての理解を深めることによって、高野山および周辺地域への理解を深める。
テ ー マ：高野文化圏の生活文化を考える。

授業の概要
生活文化を素材として、高野山およびその周辺地域によって形成された高野文化圏の実態を検討する。

授業計画
1．高野文化圏とは何か？
2．高野文化圏をめぐる環境（1）
3．高野文化圏をめぐる環境（2）
4．景観の諸問題（1）
5．景観の諸問題（2）
6．年中行事（1）
7．年中行事（2）
8．生業をめぐる問題（1）
9．生業をめぐる問題（2）
10. 衣食住（1）
11. 衣食住（2）
12. 地域を支える人々（1）
13. 地域を支える人々（2）
14. 地域を支える人々（3）
15. まとめ

テキスト
適宜プリントを配布する。

参考書・参考資料等
高野町史編纂委員会編『高野町史』民俗編　高野町　2012.3　など各自治体史

学生に対する評価
筆記試験（50%）、授業参加の積極性（50%）で評価する。

養成をめざす力
日常生活から問題点を発見する力

その他
3回生以上向けの科目だが1、2回生の聴講も歓迎する。毎回確認のためのレポート提出を課す。

科目名	密教学特殊講義B
学期	後期
単位数	2
担当者	森本一彦

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：身近な高野山について、各自がテーマを設定して独自の地図を作成することを通して、高野山についての理解を深めるとともに、それらをまとめる力を養う。
テ ー マ：高野山の地図を作成する。

授業の概要
受講生が高野山に関する地図を作成するための調査法や具体例を紹介する。

授業計画
1．地域調査とは
2．地図の基礎知識（1）
3．地図の基礎知識（2）
4．テーマを設定する（1）
5．テーマを設定する（2）
6．インタビューをする（1）
7．インタビューをする（2）
8．インタビューをする（3）
9．記録を利用する（1）
10. 記録を利用する（2）
11. 記録を利用する（3）
12. 調査をまとめる（1）
13. 調査をまとめる（2）
14. 受講生の報告（1）
15. 受講生の報告（2）

テキスト
毎回プリントを配付する。

参考書・参考資料等
適宜授業内で紹介する。

学生に対する評価
レポート試験（60%）、授業参加（40%）評価する。

養成をめざす力
問題発見能力、調査能力、資料整理能力

その他
最終的レポートとして地図を作成してもらうので、授業内容をよく理解することが必要である。そのため毎回確認のためのレポート提出を課す。

科目名	密教学特殊講義C（別）仏教芸術1
学期	前期
単位数	1…2
担当者	静慈圓

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：芸術作品の素晴らしさを味わい、その深さを見つけ出す自分に気づくこと
テ ー マ：仏画を描く

授業の概要
まず筆を持って描くことから始めよう。白描図像の制作である。敦煌の仏画を中心に、特色のあるものを時代別に選んで、その形を意識しながら線を書く。受講する者は、筆を持って線を書くことによって、その図像が「なぜ素晴らしいといえるのか」を発見するだろう。芸術作品の素晴らしさを味わい、その深さを見つけ出す自分に気づくように指導したい。

授業計画
1．シラバスの説明、講義の進め方について説明する。
2．基礎1　　手の形、顔の形の線の練習 Ⅰ・Ⅱ
3．基礎1　　手の形、顔の形の線の練習 Ⅲ・Ⅳ
4．基礎1　　手の形、顔の形の線の練習 Ⅴ・Ⅵ
5．基礎1　　手の形、顔の形の線の練習 Ⅶ・Ⅷ
6．基礎1　　手の形、顔の形の線の練習 Ⅸ・Ⅹ
7．基礎2　　仏・菩薩等の全体を描く Ⅰ・Ⅱ
8．基礎2　　仏・菩薩等の全体を描く Ⅲ・Ⅳ
9．基礎2　　仏・菩薩等の全体を描く Ⅴ・Ⅵ
10. 作品　　紺地金泥の作品を作る Ⅰ
11. 作品　　紺地金泥の作品を作る Ⅱ
12. 作品　　紺地金泥の作品を作る Ⅲ
13. 作品　　紺地金泥の作品を作る Ⅳ
14. 高野山霊宝館の見学
15. 総括

テキスト
コピーを配布する。

参考書・参考資料等
授業で指示する。

学生に対する評価
書写作品（70%）　授業参加への積極性（30%）

養成をめざす力
自主性、忍耐力

その他
筆・紙等の教材費として5,000円個人負担となります。初回に納入してください。
どなたも受講できます。前期のみの受講も可能。

科目名	密教学特殊講義D（別）仏教芸術2
学期	後期
単位数	1…2
担当者	静慈圓

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：彩色の方面から芸術品の深さを知る。
テ ー マ：仏画を彩色する。

授業の概要
ここでは仏画を描く基本（線描）を修得した上で、彩色を習います。彩色は説明だけでは理解できませんので、全て実践です。自分で彩色をしながら、各種の仏画を鑑賞し、彩色の方面から芸術品の深さを知ることを目標にします。

授業計画
1．シラバスの説明、講義の進め方について説明する。
2．用具をそろえる。
3．膠の溶かし方
4．絵の具を選ぶ
5．平塗りとぼかしの技法
6．ぼかしの技法 1
7．ぼかしの技法 2
8．暈繝彩色の実習 1
9．暈繝彩色の実習 2
10、暈繝彩色の実習 3
11、暈繝彩色の実習 4
12、暈繝彩色の実習 5
13、暈繝彩色の実習 6
14、鑑賞
15、総括

テキスト
コピーを配布する。

参考書・参考資料等
授業で指示する。

学生に対する評価
書写作品（70%）　授業参加への積極性（30%）

養成をめざす力
自主性、忍耐力

その他
絵の具・絵の具皿・彩色筆等の教材費として5,000円個人負担となります。初回に納入してください。
どなたでも受講できます。後期のみの受講も可能。

科目名：密教学特殊講義E
学期：前期
単位数：2
担当者：T.ドライトライン

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：This course aims at achieving a basic understanding and familiarity with the major teachings of esoteric Buddhism,particularly the teachings of Kōbō Daishi Kūkai and the Japanese Shingon school.
テーマ：An overview of the teachings of Shingon Esoteric Buddhism taught in English.

授業の概要

The major topics and teachings of the esoteric Buddhism of Kōbō Daishi Kūkai and the Japanese Shingon school will be examined through lectures and discussions based on assigned readings of translations of primary materials in English translation.

授業計画

1. Introduction
2. The background to Kūkai's esoteric thought
3. Kūkai's experience in Tang China and early activities in Japan (*Shōrai mokuroku and Chūju kankyō no shi*)
4. Esoteric and exoteric Buddhism 1 (*Kan'en no sho*)
5. Esoteric and exoteric Buddhism 2 (*Ben kenmitsu nikyō ron*)
6. The development of Kūkai's esoteric theories (*Sokushin jōbutsu gi*) 1
7. The development of Kūkai's esoteric theories (*Sokushin jōbutsu gi*) 2
8. The development of Kūkai's esoteric theories (*Sokushin jōbutsu gi*) 3
9. The development of Kūkai's esoteric theories (*Sokushin jōbutsu gi*) 4
10. The development of Kūkai's esoteric theories (*Shō-ji-jissō gi*) 1
11. The development of Kūkai's esoteric theories (*Shō-ji-jissō gi*) 2
12. The development of Kūkai's esoteric theories (*Unji gi*) 1
13. The development of Kūkai's esoteric theories (*Unji gi*) 2
14. The development of Kūkai's esoteric theories (*Unji gi*) 3
15. The development of Kūkai's esoteric theories (*Unji gi*) 4

テキスト

Hakeda, Yoshito. *Kūkai: Major Works*. New York: Columbia University Press, 1972.
Takagi, Shingen and Dreitlein, Thomas Eijō. *Kūkai on the Philosophy of Language*. Tokyo: Keio University Press, 2010.

参考書・参考資料等

Giebel, Rolf W. Shingon Texts. Berkeley: Numata Center for Buddhist translation and Research, 2004.
Various secondary materials and scholarly articles will also be assigned as the course progresses.

学生に対する評価

Term paper 50%, in-class presentation 20%, classroom participation 30%

養成をめざす力

密教仏教の専門性、外国語を読む力、国際感覚

その他

The medium of instruction is English. Registration is open only to those with an advanced level of English comprehension and by permission of the instructor. This is not a language class, it is an academic content class in English at the US undergraduate level. Japanese or Chinese reading ability is not required. Students must complete the required readings assigned for each class.

科目名：密教学特殊講義F
学期：後期
単位数：2
担当者：T.ドライトライン

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：This course aims at achieving a basic understanding and familiarity with the major teachings of esoteric Buddhism, particularly the teachings of Kōbō Daishi Kūkai and the Japanese Shingon school.
テーマ：An overview of the teachings of Shingon Esoteric Buddhism taught in English

授業の概要

The major topics and teachings of the esoteric Buddhism of Kōbō Daishi Kūkai and the Japanese Shingon school will be examined through lectures and discussions based on assigned readings of translations of primary materials in English translation.

授業計画

1. Introduction
2. Kūkai's thought on the stages of mental development (*Hizō hōyaku*) 1
3. Kūkai's thought on the stages of mental development (*Hizō hōyaku*) 2
4. Kūkai's thought on the stages of mental development (*Hizō hōyaku*) 3
5. Kūkai's thought on the stages of mental development (*Hizō hōyaku*) 4
6. Kūkai's thought on the stages of mental development (*Hizō hōyaku*) 5
7. Kūkai's esoteric interpretation of the exoteric scriptures (*Hannya-shingyō hiken*) 1
8. Kūkai's esoteric interpretation of the exoteric scriptures (*Hannya-shingyō hiken*) 2
9. Kūkai's esoteric interpretation of the exoteric scriptures (*Hannya-shingyō hiken*) 3
10. Kūkai's and the moral precepts of esoteric Buddhism (*Sanmayakai jo*) 1
11. Kūkai's and the moral precepts of esoteric Buddhism (*Sanmayakai jo*) 2
12. Topics in Shingon praxis theory 1
13. Topics in Shingon praxis theory 2
14. Later developments in Shingon doctrinal theory 3
15. Later developments in Shingon doctrinal theory 4

テキスト

Hakeda, Yoshito. Kūkai: Major Works. New York: Columbia University Press, 1972.
Takagi, Shingen and Dreitlein, Thomas Eijō. Kūkai on the Philosophy of Language. Tokyo: Keio University Press, 2010.

参考書・参考資料等

Giebel, Rolf W. Shingon Texts. Berkeley: Numata Center for Buddhist translation and Research, 2004.
Various secondary materials and scholarly articles will also be assigned as the course progresses.

学生に対する評価

Term paper 50%, in-class presentation 20%, classroom participation 30%

養成をめざす力

密教仏教の専門性、外国語を読む力、国際感覚

その他

The medium of instruction is English. Registration is open only to those with an advanced level of English comprehension and by permission of the instructor. This is not a language class, it is an academic content class in English at the US undergraduate level. Japanese or Chinese reading ability is not required. Students must complete the required readings assigned for each class.

科目名：密教学特殊講義G
学期：前期
単位数：2
担当者：中村本然

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：真言密教における浄土信仰である秘密念仏思想の理解を深めることを目的とする。
テーマ：『秘密宗念仏鈔』を読む

授業の概要

道範（1179-1252）の著わした『秘密宗念仏鈔』は真言教学における浄土思想を論じたものである。本書には真言密教の阿弥陀観はもとより、尋常行儀・臨終用心について論及され、更に大師信仰の結実としての御宝号「南無大師遍照金剛」にも触れられている。

授業計画

1．オリエンテーション
2．『秘密宗念仏鈔』名号事
3．『秘密宗念仏鈔』名号事
4．『秘密宗念仏鈔』名号事
5．『秘密宗念仏鈔』名号事
6．『秘密宗念仏鈔』称名本願事
7．『秘密宗念仏鈔』念仏三昧事
8．『秘密宗念仏鈔』念仏三昧事
9．『秘密宗念仏鈔』十念事
10．『秘密宗念仏鈔』十念事
11．『秘密宗念仏鈔』法華三昧事
12．『秘密宗念仏鈔』法華三昧事
13．『秘密宗念仏鈔』大悲三昧事
14．総　括

テキスト

『秘密宗念仏鈔』道範記　光台院寄託

参考書・参考資料等

『秘密宗念仏鈔』〈『真言宗安心全書』下〉

学生に対する評価

授業参加の積極性（40%）・レポート（60%）で評価する。

養成をめざす力

密教仏教の基礎力、問題解決力

その他

科目名：密教学特殊講義H
学期：前期
単位数：2
担当者：武内孝善

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：過去のできごとを歴史的に解明していく上で、根本史料となるのが古文書です。わが国における真言密教の展開を研究する場合も、古文書の知識なくしては進めることができません。この講義では、古文書学の基本を習得することを目的とします。
テーマ：真言宗に出された古文書を読む

授業の概要

この講義では､時代を奈良から平安時代初期(八～十世紀)に限定し、第一に、空海伝並びに初期真言宗教団史を研究する上で、必須となる古文書学の基本事項をおさえる。第二は、当該時期の古文書をできるかぎり多く読み、内容の把握に努めるとともに問題点を指摘し、その解明を試みたい。

授業計画

1．古文書とは何か
2．古文書の様式について
3．古文書を読む（1）太政官符1
4．　同　（2）太政官符2
5．　同　（3）太政官符3
6．　同　（4）太政官牒1
7．　同　（5）太政官牒2
8．　同　（6）太政官牒3
9．　同　（7）僧綱牒1
10．　同　（8）僧綱牒2
11．　同　（9）位記
12．　同　（10）戒牒
13．僧侶の手紙を読む（1）空海の手紙1
14．　同　（2）空海の手紙2
15．　同　（3）最澄の手紙

テキスト

毎時間、プリントを配付する。

参考書・参考資料等

・佐藤進一『古文書入門』法政大学出版部
・竹内理三編『平安遺文』東京堂出版
・『弘法大師全集』第五輯所収「官符等編年雑集」密教文化研究所
・園城寺編『園城寺文書』第一巻　講談社

学生に対する評価

授業への取り組み(60%)と数回のレポート(40%)を綜合して評価。

養成をめざす力

密教仏教の基礎力、 密教仏教の専門性、問題解決力

その他

①身につくか否かは、各自の努力と熱意によります。
②「習うより慣れろ」です。多くの文書に親しんでください。

科目名	密教学特殊講義Ⅰ
学期	後期
単位数	2
担当者	武内孝善

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：この講義は、人文科学を研究していく上での基本的な事柄、特に文献学的な研究方法を身につけることを目的とします。

テ ー マ：文献学方法論－何をどのように使って研究するか－

授業の概要

ハード面とソフト面にわけると、まずハード面では研究を進める上での基本となる道具類についてふれる。つまり､基本的な辞（事）典･史（資）料目録・文献目録・索引・史料集・年表などを紹介する。つぎにソフト面として、史（資）料とは何か、史（資）料を蒐集（しゅうしゅう）するときの留意事項、写本の扱い方、本文校訂の必要性とその方法、先行研究の整理・検討など、実際に史（資）料を蒐集して研究を進めていく上での基本を論じてみたい。

授業計画

1．はじめに　－読むとはどういうことか－
2．史（資）料とは何か
3．史（資）料を蒐集するときの留意事項
4．道具類について（1）
5．　同　（2）
6．　同　（3）
7．　同　（4）
8．　同　（5）
9．先行研究の整理・検討
10. 本文校訂の必要性とその方法
11. 写本の扱い方
12. 調書を作成する（1）
13. 　同　（2）
14. 写本を筆写する（1）
15. 　同　（2）

テキスト

毎時間、プリントを配付する。

参考書・参考資料等

・山本信吉『古典籍が語る－書物の文化史－』2004 年　八木書店
・長沢規矩也『書誌学序説』1965 年　吉川弘文館
・山岸徳平『書誌学序説』1977 年　岩波書店
・藤井　隆『日本古典書誌学総説』1991 年　和泉書院

学生に対する評価

授業に対する取り組み（60%）と数回のレポート（40%）を綜合して評価。

養成をめざす力

密教仏教の基礎力、 密教仏教の専門性、問題解決力

その他

①講義は教師と学生の共同作業です。主体的に講義に参加してほしい。
②疑問はその時間内で解決しよう。大いに質問してほしい。

科目名	密教学特殊講義Ｊ
学期	後期
単位数	2
担当者	奥山直司

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：
①インド・チベットの仏教図像に関する基礎的な知識と研究方法を身につける
②チベットの仏像を見た時に、その名称が言えるようになる。
③インド・チベット仏教史の流れを理解する。

テーマ：インド・チベット密教の図像資料の研究

授業の概要

チベット探検で知られる河口慧海が持ち帰った図像資料などに基づいて､インド･チベット仏教美術の主題と表現形式を学び､さらに『三百尊図像集』などを用いて､図像の解読の練習を行う。あわせてインド･チベット仏教史の流れについて基礎的な知識の整理を行う。

授業計画

1．イントロダクション：チベットのタンカをどう見るか
2．インド・チベット仏教美術の主題と表現形式１
3．インド・チベット仏教美術の主題と表現形式２
4．インド・チベット仏教美術の主題と表現形式３
5．河口慧海コレクション１
6．河口慧海コレクション２
7．河口慧海コレクション３
8．河口慧海コレクション４
9．『三百尊図像集』１
10.『三百尊図像集』２
11.『三百尊図像集』３
12.『三百尊図像集』４
13.『三百尊図像集』５
14.『三百尊図像集』６
15. まとめ

テキスト

『河口慧海請来チベット資料図録』佼成出版社
『三百尊図像集』（ビブリオテカ・ブッディカ）

参考書・参考資料等

頼富本宏・下泉全暁『密教仏像図典　インドと日本の仏たち』
人文書院

学生に対する評価

提出物の評価を含む授業参加状況（60%）、期末レポート（40%）

養成をめざす力

密教仏教の専門性、日本語を書く力、想像力

その他

遅刻３回で１欠席と見なすので注意。

科目名	仏教学特殊講義Ａ
学期	前期
単位数	2
担当者	和田圭子

到達目標：仏尊の種類や像容の特徴を学び、その功徳や信仰の歴史についての基礎的な知識を培うことを到達目標とする。

テ ー マ：仏像のかたち－その姿と意味　如来・菩薩編

授業の概要

仏尊は如来・菩薩・明王・天などに分類され、その姿は多種多様である。授業では、現存する仏画、仏像等の画像資料を示しつつ、各尊の姿や手印・持物の意味を確認し、その信仰の歴史などについて概観する。

授業計画

1．はじめに：仏教美術の基礎知識
2．釈迦如来
3．薬師如来
4．阿弥陀如来
5．毘盧遮那仏と大日如来
6．弥勒仏と弥勒菩薩
7．その他の如来
8．十一面観音
9．千手観音
10. 不空羂索観音
11. 文殊菩薩
12. 普賢菩薩
13. 地蔵菩薩
14. 虚空蔵菩薩
15. その他の菩薩

テキスト

授業内容に沿った参考資料（文字資料・画像資料）を配付する。

参考書・参考資料等

至文堂編『日本の美術』ぎょうせい
関根俊一編『仏尊の事典』学習研究社
『日本美術全集』講談社

学生に対する評価

授業態度（30%）、期末レポート（70%）の比率で評価する。
後期授業終了までに各自テーマを設定し、それに関する 4000 字程度のレポートを提出する。

養成をめざす力

仏教美術の基礎力、日本語を聴く力、自主性

その他

仏教美術特殊講義Ｂ（後期）を履修・聴講することが望ましい。
霊宝館等で実際の仏像や仏画を積極的に見学し、仏像のかたちについて研究してください。

科目名	仏教学特殊講義Ｂ
学期	後期
単位数	2
担当者	和田圭子

到達目標：仏尊の種類や像容の特徴を学び、その功徳や信仰の歴史についての基礎的な知識を培うことを到達目標とする。

テ ー マ：仏像のかたち－その姿と意味　明王・天・その他編

授業の概要

仏尊は如来・菩薩・明王・天などに分類され、その姿は多種多様である。授業では、現存する仏画、仏像等の画像資料を示しつつ、各尊の姿や手印・持物の意味を確認し、その信仰の歴史などについて概観する。

授業計画

1．不動明王
2．五大明王１
3．五大明王２
4．愛染明王
5．その他の明王
6．梵天・帝釈天
7．四天王
8．毘沙門天
9．吉祥天・弁才天
10. 十二天
11. 十二神将
12. 閻魔・十王
13. その他の天
14. 仏弟子・祖師等
15. 垂迹神等

テキスト

授業内容に沿った参考資料（文字資料・画像資料）を配付する。

参考書・参考資料等

水野敬三郎監修『カラー版日本仏像史』
至文堂編『日本の美術』ぎょうせい
『日本美術全集』講談社

学生に対する評価

授業態度（30%）、期末レポート（70%）の比率で評価する。
後期授業終了までに各自テーマを設定し、それに関する 4000 字程度のレポートを提出する。

養成をめざす力

仏教美術の基礎力、日本語を聴く力、自主性

その他

仏教美術特殊講義Ａ（前期）を履修・聴講することが望ましい。
霊宝館等で実際の仏像や仏画を積極的に見学し、仏像の技法について研究してください。

科目名：仏教学特殊講義C
学期：後期
単位数：2
担当者：井上ウィマラ

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：スピリチュアルなケアを展開するために必要な諸理論を学び、支援技法の基礎についての理解を育む。
テ ー マ：理論と実践をつなぐための学び

授業の概要
スピリチュアルケアの歴史的背景とその本質を概観し、仏教理論と瞑想実践が内包しているケアの可能性を検討する。人間の発達の諸段階を知り、理論と実践とのつながりを実感するためのディスカッションを交えながら授業を展開する。

授業計画
1．自己紹介と授業の流れについて（ホスピス運動の歴史的背景）
2．仏教における「よき看護者となる５条件」
3．解脱の現代的意味
4．悲しむ力と育む力
5．愛着理論
6．ライフサイクル論
7．自己実現と欲求の５段階説
8．人生で大切な５つの仕事
9．四摂法
10. 移行対象と祈りの力
11. アンビバレンスを受けとめる器
12. 見守る息づかいとしてのスピリチュアリティ
13. ケアが循環する社会へ
14. マインドフルネスの可能性
15. ふりかえりとまとめ

テキスト
『スピリチュアルケアへのガイド』窪寺俊之・井上ウィマラ
青海社

参考書・参考資料等
井上ウィマラ『看護と生老病死』三輪書店
『仏教心理学キーワード事典』春秋社

学生に対する評価
授業参加への積極性（30%）と期末レポート（70%）によって評価する。

養成をめざす力
密教仏教の基礎力、問題発見力、創造力

その他

科目名：仏教学特殊講義D
学期：後期
単位数：2
担当者：森崎雅好

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：仏教における苦への理解、対処姿勢を学ぶ
テ ー マ：仏教思想を現代社会に活かすための力を身につける

授業の概要
仏教は、生老病死を苦と捉え、その苦からの解放を説きます。仏教を学ぶことは、臨床現場での問題と対峙する時に大きな示唆を与えてくれます。本講義は適時、仏典をひも解きながら、共に苦に臨む智慧を学びます。

授業計画
1．現代社会の問題
2．宗教に臨むこと：宗教学の知見から
3．宗教の役割：心の支えとしての宗教
4．仏教・密教の思想：基本的な概念
5．仏弟子の振る舞いと苦悩（1）：仏教説話から
6．仏弟子の振る舞いと苦悩（2）：仏教説話から
7．苦について（1）
8．苦について（2）
9．病と自殺について（1）
10、病と自殺について（2）
11、スピリチュアルケアとは
12、スピリチュアルケアにおける仏教の有用性
13、仏教・密教の宇宙論・世界観（1）
14、仏教・密教の宇宙論・世界観（2）
15、現代社会と仏教・密教の思想

テキスト
講師作成資料を配布する。

参考書・参考資料等
仏教思想研究会編『仏教思想５　苦』平楽寺書店、1984 年。
他は授業中に紹介する。

学生に対する評価
レポート（100%）

養成をめざす力
密教仏教の基礎力、想像力、道徳性

その他
現代社会の様々な問題に対処するためには、多くの知識が必要です。その知識から智慧が生まれます。まずは知識習得のための努力をお願いいたします。

科目名：仏教学特殊講義E
学期：後期
単位数：2
担当者：前谷彰

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：原始仏教における生命観と心の問題について考察する。
テ ー マ：生命とは何か？心とは何か？

授業の概要
生命とはいったい何であり、心とは何なのかという問題について、原始仏教思想を中心に考察して行くことにする。

授業計画
1．オリエンテーション
2．生命とは何かについて議論する。
3．　同上
4．　同上
5．　同上
6．原始仏教では生命をどのように捉えたか？
7．　同上
8．　同上
9．　同上
10. 心とは何かについて議論する。
11. 同上
12. 同上
13. 原始仏教では心をどのように捉えたか？
14. 同上
15. 同上

テキスト
担当者がプリントを用意する。

参考書・参考資料等
水野弘元著作選集　第二巻『仏教教理研究』

学生に対する評価
学期末のレポート（100%）によって評価する。

養成をめざす力
仏教思想の基礎知識を養う。日本語を読む力・聴く力

その他

科目名：真言密教特殊講義A
学期：後期
単位数：2
担当者：松長恵史

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：各種曼荼羅における密教尊像の基本構成を学習し、図像学の立場から密教の流伝を学ぶことを目的とする。
テ ー マ：図像学における密教尊格の表現、および尊格構成とその譜系について学ぶ。

授業の概要
密教学講読演習　真言宗典講読 2-1（別）で学んだ知識を基本とし、図像学的見地から各種曼荼羅の尊像の成立に関して様々な角度から比較研究を行う。
本授業では、前期で行った図像資料講読演習を基礎とし、曼荼羅に登場する尊格についての譜系を総合的に学習する。　そのため、基礎知識として前期の授業での講読演習が不可欠となるので通期で受講することが望ましい。

授業計画
1．概論（講義の進め方等）
2．曼荼羅尊像に関する基礎知識①
3．曼荼羅尊像に関する基礎知識②
4．曼荼羅尊像に関する基礎知識③
5．曼荼羅尊像に関する基礎知識④
6．曼荼羅尊像に関する基礎知識⑤
7．曼荼羅尊像に関する基礎知識⑥
8．密教の流伝に関する基礎知識①
9．密教の流伝に関する基礎知識②
10. 密教の流伝に関する基礎知識③
11. 密教の流伝に関する基礎知識④
12. 密教の流伝に関する基礎知識⑤
13. 密教の流伝に関する基礎知識⑥
14. 密教の流伝に関する基礎知識⑦
15. レポート試験

テキスト
大正新脩大蔵経　図像部

参考書・参考資料等
松長有慶編　『密教を知るためのガイドブック』　法藏館　1995 年
頼富本宏・下泉全暁　『密教仏像図典』　人文書院　1994 年
佐和隆研　『仏像図典』　吉川弘文館　1962 年

学生に対する評価
授業内で講読演習を行うので、出席を重視する。また、各自の授業内での演習およびレポートで判断する
試験（60%）　授業中の演習（30%）　ノート作成（10%）

養成をめざす力
密教文化の基礎力、密教仏教の専門性、問題発見力

その他

科目名	真言密教特殊講義Ｂ 密教儀礼の理論と実習１（別）
学期	前期
単位数	2
担当者	齋藤天譽

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：引導作法と葬儀に関する知識の習得
テ ー マ：葬送儀礼の実践習得

授業の概要
葬送儀礼に関する様々な知識を習得し、高野山の寺家の葬儀等も学ぶ。

授業計画
1．葬送儀礼の歴史
2．真言宗の葬儀
3．
4．
5．
6．
7．導師と職衆の心得
8．高野山の寺家の葬儀（１）～（９）
9．戒名について
10．葬儀に用いる梵字と書き様（塔婆等）
11．葬儀に関する質疑応答
12．
13．
14．
15．

テキスト
宮野宥智 編輯『引導作法全集（上・下）』松本日進堂
大栗道榮 編集『引導作法』高野山出版社

参考書・参考資料等
自習は不要。予習は厳禁。年間の最終段階に明かします。

学生に対する評価
レポート提出により採点（100%）

養成をめざす力
密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性

その他
【受講資格について】
原則として伝法灌頂修了者であるが、加行前期修了者も受講可とします。
但し、已灌頂者と未灌頂者は、きっちり区別して講義します。（詳細は開講時に説明します）

科目名	真言密教特殊講義Ｃ 密教儀礼の理論と実習２（別）
学期	後期
単位数	2
担当者	齋藤天譽

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：引導作法と葬儀に関する知識の習得
テ ー マ：葬送儀礼の実践習得

授業の概要
『引導畧作法（二巻疏）』を基に、引導作法の伝授と葬儀に関する知識の習得を目的とする。

授業計画
1．
2．
3．
4．
5．
6．
7．
8．
9．
10．
11．
12．
13．
14．
15．
『引導畧作法（二巻疏）』の伝授と解説（１）～（15）

テキスト
宮野宥智 編輯『引導作法全集（上・下）』松本日進堂
大栗道榮 編集『引導作法』高野山出版社

参考書・参考資料等
自習は不要。予習は厳禁。年間の最終段階に明かします。

学生に対する評価
レポート提出により採点（100%）

養成をめざす力
密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性

その他
【受講資格について】
原則として伝法灌頂修了者であるが、加行前期修了者も受講可とします。
但し、已灌頂者と未灌頂者は、きっちり区別して講義します。（詳細は開講時に説明します）

科目名	密教学演習Ａ
学期	通年
単位数	4
担当者	中村本然

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：唐に留学した空海がどんな教えを学び、またどのような理由・思いで帰国したのかについて理解を深めることを通して、空海（密教）を研究するための方法を身につけることを目標とする。
テ ー マ：『御請来目録』

授業の概要
空海の帰国報告書ともいうべき『御請来目録』には、①入唐求法中の動向、②請来した経典類、③密教受法の経緯、④顕教と密教の相違について、詳細に記してある。若き日の空海の密教に関する考えを理解したい。また卒論を作成するための講義でもあるので、演習時にそれぞれのテーマに応じた指導を行なうことにする。

授業計画
1．講義内容の説明
2．入唐から帰国までの経緯報告①
3．入唐から帰国までの経緯報告②
4．入唐から帰国までの経緯報告③
5．入唐から帰国までの経緯報告④
6．闕期の罪について①
7．闕期の罪について②
8．新訳等の経について①
9．新訳等の経について②
10．新訳等の経について③
11．密教の相承について①
12．密教の相承について②
13．密教の相承について③
14．密教の相承について④
15．請来した梵字真言讃等について
16．請来した論疏章等について
17．請来した仏菩薩金剛天等について
18．請来した道具について
19．請来した阿闍梨付嘱物について
20．密教の受法の経緯について①
21．密教の受法の経緯について②
22．恵果との師弟の交流について①
23．恵果との師弟の交流について②
24．般若三蔵の願いについて①
25．般若三蔵の願いについて②
26．顕教と密教について①
27．顕教と密教について②
28．講義の総括
※演習時には随時卒論のテーマに基づく指導を行なう。

テキスト
『定本弘法大師全集』第一巻　高野山大学密教文化研究所

参考書・参考資料等
宮坂宥勝監修『空海コレクション２』ちくま学芸文庫
金岡秀友著『密教の哲学』講談社学術文庫

学生に対する評価
授業参加への積極性（40%）、試験（60%）として評価する。

養成をめざす力
密教仏教の専門性、問題発見力、問題解決力

その他

科目名	密教学演習Ｂ
学期	通年
単位数	4
担当者	井上ウィマラ

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：【前期】：卒業論文を書くために必要なアイディアを膨らませる力、関係資料や先行研究についての情報収集力、分析力、そして論文として表現するための構成力を養う。
【後期】：テーマにしたがって先行研究を整理し、分析し、論文として自らの考えを構成し表現していく力を身につける。
テ ー マ：【前期】：卒業論文作成のための準備トレーニング
【後期】：卒業論文作成の実際

授業の概要
前前期は、各自の研究テーマについて情報を集めるためにブレイン・ストーミングやKJ法によるマッピングなどを紹介する。その後で、図書館やインターネットを利用して情報を収集し、整理して、ショートプレゼンテーションを行い、ディスカッションによって知識が有機的につながってゆくよう工夫する。
後期は、毎回授業のはじめに各自の進行状況を報告しあう。実際に論文を作成するプロセスにしたがって、個人指導をしながら進めてゆく。

授業計画
1．自己紹介と授業の流れについて
2．書いてみたいテーマについて
3．ブレイン・ストーミング
4．KJ法によるマッピング
5．アイディアを膨らませるために
6．図書館の利用法
7．インターネットの利用法
8．先行研究を知る
9．資料の読み込み方
10．分析と構成
11．プレゼンテーションとディスカッション１
12．プレゼンテーションとディスカッション２
13．プレゼンテーションとディスカッション３
14．目次作成
15．ふりかえりとまとめ
1．授業の流れと各自の進行状況の確認：前期レポートのふりかえり
2．タイトルについて
3．章立てについて
4．序章の意味について
5．論文の格闘技的側面について
6．資料の活かし方
7．引用法
8．論旨の浮かび上がらせ方
9．書きながら修正していくこと
10．読み合わせ１
11．読み合わせ２
12．読み合わせ３
13．読み合わせ４
14．読み合わせ５
15．ふりかえりとまとめ（諮問に向けて）

テキスト
なし

参考書・参考資料等
『仏教心理学キーワード事典』春秋社

学生に対する評価
授業への参加態度（30%）と期末レポート（70%）で評価する。

養成をめざす力
密教仏教の専門性、論理性、問題解決力

その他

科目名
密教学演習C
学期
通年
単位数
4
担当者
野田 悟

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：唐代の中国書論の重要性を理解し、読解を通じて議論し合い、書学における論文執筆のための研究ノウハウの習得。卒業制作の指導。
テ ー マ：中国書論を読み、討論し合う。

授業の概要

長安へ留学した空海が、中国式仏教ではなくインド仏教を学んだのは、それが原点だからである。書においても、中国最古の書体、篆書を学び、正鋒と呼ばれる筆法を日本に伝えた事を念頭に、当時空海が読んだとされる中国書論を輪読し、書の各分野における本質を分析する。その他、随時受講者の卒論進度状況をうかがう。

授業計画

1．オリエンテーション
2．中国の書論について①
3．中国の書論について②
4．中国の書論について③
5．孫過庭『書譜』①
6．孫過庭『書譜』②
7．孫過庭『書譜』③
8．孫過庭『書譜』④
9．孫過庭『書譜』⑤
10．孫過庭『書譜』⑥
11．孫過庭『書譜』⑦
12．孫過庭『書譜』⑧
13．孫過庭『書譜』⑨
14．孫過庭『書譜』⑩
15．総括

1．卒業論文の中間報告①
2．卒業論文の中間報告②
3．張懐瓘の書論①
4．張懐瓘の書論②
5．張懐瓘の書論③
6．張懐瓘の書論④
7．張懐瓘の書論⑤
8．張懐瓘の書論⑥
9．張懐瓘の書論⑦
10．張懐瓘の書論⑧
11．張懐瓘の書論⑨
12．張懐瓘の書論⑩
13．張懐瓘の書論⑪
14．張懐瓘の書論⑫
15．総括

テキスト

『中国書画全書』（上海書画出版社）、（宋）陳思『書苑菁華』（北京図書館出版社）、『歴代書法論文選』（上海書画出版社）等からコピーを配布する。

参考書・参考資料等

『書譜序注疏』（上海古籍出版社）、中国書法ガイド38『書譜』（二玄社）、『中国書論大系』〔第二巻、第三巻〕（二玄社）

学生に対する評価

・定期試験（60％）＋それぞれの発表及び提出物（40％）での評価。
・それぞれの発表を10点満点とする。
・授業実数の３分の１を超えて欠席した場合は失格とする。
・欠席（各－３点）、遅刻・欠席（－１点）を素点から引く計算で成績をつける。
・上記は前期・後期でそれぞれ計算し、最終的にその平均点の成績となる。

養成をめざす力

問題発見力、問題解決力、外国語を読む力

その他

・書または篆刻に関する論文を希望する受講生が望ましい。
・随時、書道作品に関する課題を課し、授業の中でその進行状況を確認する。
・人数によってはテキストを変更する場合もある。

科目名
密教学演習D
学期
通年
単位数
4
担当者
奥山直司

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：明治・大正期の文語を読解し、内容をまとめ、それを史的文脈に当てはめて解釈できるようになること。
テ ー マ：近代日本仏教史の中の土宜法龍

授業の概要

土宜法龍（どぎ・ほうりゅう 1854 － 1923）は日本近代の代表的な真言僧の一人である。彼は真言宗法務所課長から仁和寺門跡・御室派管長、真言宗各派連合総裁、金剛峯寺座主・高野派管長などの要職を歴任し、明治から大正にかけての真言宗をリードした。その生涯には、シカゴ万国宗教会議への出席、真言宗僧侶初の世界一周、博物学者南方熊楠との交流など注目すべき事績が多い。本授業は、彼の思想と行動を遺文集『木母堂全集』の読解を通じて探ってゆく。基本的には、当番制発表形式で授業を進めるので、十分な予習が必要である。

授業計画

前期
1．　ガイダンス
2～4．土宜法龍の生涯
5～14．『木母堂全集』を読む
15．　まとめ

後期
1．　ガイダンス
2．　土宜法龍と近代真言宗史
3～14．『木母堂全集』を読む
15．　まとめ

テキスト

宮崎忍海編『木母堂全集』大空社

参考書・参考資料等

奥山直司「近代日本仏教史の中の土宜法龍」『環』vol.35、2008 年
奥山直司「土宜法龍と南方熊楠」『南方熊楠の森』
方丈堂出版、2003 年

学生に対する評価

予習・発表準備状況（60％）、授業参加状況（40％）

養成をめざす力

日本語を読む力、内容をまとめる力、問題を発見する力

その他

科目名
密教学演習E
学期
通年
単位数
4
担当者
前谷 彰

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：前期はダーラニーの変遷形態を通して、大乗から密教における成仏観や仏身観を探って行き、後期は論文作成のトレーニングを行う。
テ ー マ：仏教の知識を深め、論文作成のトレーニング。

授業の概要

ダーラニー思想の研究と、論文の書き方についての実質的トレーニンを行う。

授業計画

1．オリエンテーション
2．念仏よりダーラニーへ
3．　同上
4．　同上
5．　同上
6．ダーラニー説について
7．　同上
8．　同上
9．ダーラニーから真言への展開
10．　同上
11．　同上
12．真言と明呪
13．　同上
14．　同上
15．まとめ

16．学術論文を読解する
17．　同上
18．　同上
19．学術論文の書き方トレーニング
20．　同上
21．　同上
22．　同上
23．　同上
24．　同上
25．　同上
26．　同上
27．　同上
28．　同上
29．　同上
30．総まとめ

テキスト

必要に応じて担当者が配布する。

参考書・参考資料等

氏家覚勝『陀羅尼思想の研究』東方出版

学生に対する評価

学年末に提出してもらう仮卒業論文 100％で評価する。

養成をめざす力

密教仏教の専門性、問題発見力

その他

科目名
密教学演習F
学期
通年
単位数
4
担当者
南 昌宏

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：文献研究に関わる者としての基本的な能力を養い、論文執筆に際しての形式・作法などを修得し、論文を批判的に読む訓練をする。
テ ー マ：空海の著作、漢籍または中国語の論文を読む。

授業の概要

受講生の興味に応じてテキストを決め、輪読形式で読み進める。中国語テキストの講読を主とする場合、中国語の未経験者でもかまわない。中国語履修者には輪読してもらう。自由な討論の中で、疑問となる箇所があれば、次回への宿題とし、十分な説明が出来るよう準備する。

授業計画

1．ガイダンス
2．『般若心経秘鍵』注釈の読解(1)
3．『般若心経秘鍵』注釈の読解(2)
4．『般若心経秘鍵』注釈の読解(3)
5．『般若心経秘鍵』注釈の読解(4)
6．『般若心経秘鍵』注釈の読解(5)
7．『般若心経秘鍵』注釈の読解(6)
8．『般若心経秘鍵』注釈の読解(7)
9．『般若心経秘鍵』注釈の読解(8)
10．『般若心経秘鍵』注釈の読解(9)
11．『般若心経秘鍵』注釈の読解(10)
12．『般若心経秘鍵』注釈の読解(11)
13．『般若心経秘鍵』注釈の読解(12)
14．『般若心経秘鍵』注釈の読解(13)
15．期末試験

16．「古代印度密教観音信仰的産生与演変」(1)
17．「古代印度密教観音信仰的産生与演変」(2)
18．「古代印度密教観音信仰的産生与演変」(3)
19．「古代印度密教観音信仰的産生与演変」(4)
20．「古代印度密教観音信仰的産生与演変」(5)
21．「古代印度密教観音信仰的産生与演変」(6)
22．「古代印度密教観音信仰的産生与演変」(7)
23．「古代印度密教観音信仰的産生与演変」(8)
24．「古代印度密教観音信仰的産生与演変」(9)
25．「古代印度密教観音信仰的産生与演変」(10)
26．「古代印度密教観音信仰的産生与演変」(11)
27．「古代印度密教観音信仰的産生与演変」(12)
28．「古代印度密教観音信仰的産生与演変」(13)
29．「古代印度密教観音信仰的産生与演変」(14)
30．期末試験

テキスト

最近の論文、または呂建福『中国密教史』、『真言宗全書』などのコピーを配布する。

参考書・参考資料等

『大漢和辞典』、『密教辞典』など。

学生に対する評価

授業実数の３分の１を超えて欠席した場合は失格とする（『学生手帳』参照）。
遅刻･早退は２分の１欠席と計算する。期末試験の素点を評点とする。

養成をめざす力

密教仏教の基礎力、外国語を読む力、問題解決力

その他

受講者の人数が少なければ、ガイダンス時に受講生と相談してテキストを変更する場合がある。

科目名：密教学演習G

学期：通年

単位数：4

担当者：乾　仁志

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：密教経典に対する理解力と分析力の養成
テ ー マ：『大日経』を読む

授業の概要

弘法大師が平安初期に中国から日本に移植されたのは、『大日経』と『金剛頂経』の二つの教典を両部とする密教であった。大師晩年の代表的な著作『十住心論』は、悟りにいたるまでの転昇過程を十段階に分け、それらの十段階に儒教、道教、仏教によって教理的な説明を加えて、当時の諸思想を総合化したものである。その十住心思想の骨格を形成するための典拠となっているのが『大日経』および『大日経疏』である。本年度も『大日経』の住心品を取り上げ、三句の法門を中心に菩提心について考察する。後期に卒業論文の中間報告会を数回開催する。

授業計画

【前期】
1．シラバスの説明、講義の進め方等
2．『大日経』の原典資料と研究資料の紹介
3．『大日経』の内容概略の説明
4．『大日経』を読む（住心品、九句段以下）1
5．同上 2
6．同上 3
7．同上 4
8．同上 5
9．同上 6
10．同上 7
11．同上 8
12．同上 9
13．同上 10
14．同上 11
15．同上 12

【後期】
1．卒業論文中間報告会
2．卒業論文中間報告会
3．『大日経』を読む（住心品、続き）1
4．同上 2
5．同上 3
6．同上 4
7．同上 5
8．同上 6
9．同上 7
10．同上 8
11．同上 9
12．同上 10
13．同上 11
14．同上 12
15．卒業論文の完成と提出

テキスト

漢訳：『大毘盧遮那成仏神変加持経』大正 848 番（五部秘経を用いる）
チベット訳：東北 494 番、北京 126 番　その他、プリント配布

参考書・参考資料等

福田亮成訳『大日経（新国訳大蔵経　密教部１）大蔵出版
松長有慶『密教経典解説』（現代密教講座　第二巻）大東出版社
頼富本宏著『『大日経』入門』大法輪閣、他

学生に対する評価

レポート（80%）、授業参加への積極性（20%）

養成をめざす力

密教仏教の専門性、日本語を読む力・話す力、外国語を読む力

その他

漢訳は訓点が施された「五部秘経」のものを用いるので、予め漢文が読めるように予習してくること。
その上で、注釈書や参考文献を随時参照して、内容が理解できるように努めること。
また漢文のテキストとチベット訳を引き比べて、違い等にも確認したい。
卒業論文の指導は、授業中および授業外に随時実施する。

科目名：密教学演習H

学期：通年

単位数：4

担当者：加納和雄

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：真言宗の常用経典である『理趣経』原典の読解を通じて仏教学を学ぶための文献学的・図像学的方法論を習得する。
テ ー マ：『理趣経』と密教思想・密教美術の形成、およびその背景にある初期仏教・大乗仏教・ヒンドゥー教

授業の概要

仏教思想を学ぶための基礎知識として、一次文献、二次文献などの文献学に必須な概念を確認し、辞書など、研究に必要な「工具」について学び、その基礎知識を活用して、各自が実際に論文を作成してゆくための方法を習得する。そして一例として梵文および漢文にて『理趣経』原典を読み進めながら、文献に接する態度、基本的な読み方、難解な箇所に遭遇した際の対処方法を身につけてゆく。出席者は授業で扱う文献または各自が選んだテーマについて調査結果を発表することを通じて、方法論を習得する。

授業計画

1．導入
2．仏教を学ぶための基礎知識（1）
3．仏教を学ぶための基礎知識（2）
4．『理趣経』原典の読解（1）
5．『理趣経』原典の読解（2）
6．『理趣経』原典の読解（3）
7．『理趣経』原典の読解（4）
8．『理趣経』原典の読解（5）
9．『理趣経』原典の読解（6）
10．『理趣経』原典の読解（7）
11．『理趣経』原典の読解（8）
12．『理趣経』原典の読解（9）
13．文献読解の結果を分析する（1）
14．文献読解の結果を分析する（2）
15．総括

1．導入
2．仏教を学ぶための基礎知識（1）
3．仏教を学ぶための基礎知識（2）
4．インド大乗仏教文献の読解（1）
5．インド大乗仏教文献の読解（2）
6．インド大乗仏教文献の読解（3）
7．インド大乗仏教文献の読解（4）
8．インド大乗仏教文献の読解（5）
9．インド大乗仏教文献の読解（6）
10．インド大乗仏教文献の読解（7）
11．インド大乗仏教文献の読解（8）
12．インド大乗仏教文献の読解（9）
13．文献読解の結果を分析する（1）
14．文献読解の結果を分析する（2）
15．総括

テキスト

授業において指示します。

参考書・参考資料等

高野山大学仏教学科編『卒業論文の手引き』。
松長有慶、『理趣経講讃』、大法輪閣。
松長有慶、『理趣経』中公文庫 BIBLIO。
Toru Tomabechi, *Adhyardhasatika Prajnaparamita*, Vienna/Beijing, 2009.

学生に対する評価

授業中の発表など（60%）、レポート（40%）

養成をめざす力

日本語を読む力、外国語を読む力、問題発見力

その他

主にインド・チベットのことを卒業論文で扱いたい人を対象としますが、熱意のある学生であれば誰でも歓迎します。

科目名：密教学演習I

学期：通期

単位数：4

担当者：佐藤隆彦

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：密教経典を解読することによって漢文読解力と卒業論文を作成するための力を養いたい。
テ ー マ：『宿曜經』を読む。

授業の概要

『宿曜經』を読解することによって漢文文献を取り扱う方法論を身につけてもらいたい。あわせて、卒業論文についての個別指導を行なう。

授業計画

【前期】
1．オリエンテーション
2．『宿曜經』講読演習
3．『宿曜經』講読演習
4．『宿曜經』講読演習
5．『宿曜經』講読演習
6．『宿曜經』講読演習
7．卒論中間発表
8．卒論中間発表
9．『宿曜經』講読演習
10．『宿曜經』講読演習
11．『宿曜經』講読演習
12．『宿曜經』講読演習
13．レポート、論文の書き方
14．レポート、論文の書き方
15．まとめ

【後期】
1．オリエンテーション
2．卒論目次の作成
3．卒論目次の作成
4．『宿曜經』講読演習
5．『宿曜經』講読演習
6．『宿曜經』講読演習
7．卒論発表
8．卒論発表
9．『宿曜經』講読演習
10．『宿曜經』講読演習
11．『宿曜經』講読演習
12．『宿曜經』講読演習
13．卒論発表
14．卒論発表
15．まとめ

テキスト

『宿曜經』（大正 21 No. 1299 担当者がコピーを配布します）

参考書・参考資料等

森田龍僊著『密教占星法』（臨川書店）
松長有慶編『密教を知るためのブックガイド』（法藏館）

学生に対する評価

レポート（60%）　　演習発表討論参加（40%）

養成をめざす力

論理性、問題発見力、問題解決力

その他

科目名：密教学演習J

学期：通年

単位数：4

担当者：下西　忠

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：仏教文学の作品の鑑賞
テ ー マ：仏教と文学の接点

授業の概要

いわゆる仏教文学とよばれる作品を鑑賞することにより、文学の魅力、仏教史にかかわる諸問題を受講者とともに考えたい。

授業計画

1．　仏教文学とはなにか
2 ～ 4．無常観の諸相
5 ～ 6．仏教説話の魅力
7．　仏教説話と世俗説話のちがい
8．　日本霊異記の世界
9．　今昔物語集－持経者の行状－
10．　本朝法華験記－叡実のはなし－
11．　鴨長明と方丈記
12 ～ 14．発心集の世界
15．　前期の総括
16 ～ 17．徒然草の世界
18．　釈教歌と文芸
19．　巡礼歌の特質
20 ～ 22．沙石集の世界
23．　閑居友
24 ～ 26．平家物語の魅力
27 ～ 29．平家物語「灌頂巻」をよむ
30．　後期の総括

テキスト

教員が作成した教材を配布する。

参考書・参考資料等

『日本文学と仏教』岩波書店など　随時講義の中で紹介したい。

学生に対する評価

受講生の教材研究（50%）と定期試験（50%）

養成をめざす力

仏教の基礎力、仏教の専門性、問題解決力

その他

日本文学や日本仏教史などで卒業論文を書こうとする学生の受講をのぞみたい。

科目名
密教学演習K
学期
通年
単位数
4
担当者
武内孝善

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：
空海の遺言状とみなされてきた『遺告二十五ヶ条』（以下､『御遺告』）は、古来、空海の生涯を考えるときの根本史料であった。しかし、今日では十世紀半ば以降の成立とみなされ、一次史料とはなりえなくなった。とはいえ、初期の真言宗教団の成立過程を考えるときには、有力な史料の一つである。そこで､『御遺告』の最古の写本をテクストとして、写本の扱い方と読解力の修得を目標とする。

テ ー マ：空海伝の研究

授業の概要

承和二年（835）三月十五日、空海が諸弟子に告げたとみなされてきた『御遺告』を､最古の写本である金剛寺本をテクストとして読み、内容の把握と問題点の指摘を通して、その成立年代の解明をめざしたい。最終的には、金剛寺本を底本とする校訂本を作成する。

授業計画

1．はじめに　－空海研究の現状と課題－
2．関連史料と参考文献
3．御遺告』の概要と金剛寺本『御遺告』
4．写本を扱う上での基本事項①　－写本と活字本－
5．写本を扱う上での基本事項②　－ヲコト点と角筆点－
6．以下、受講者は、それぞれ分担して指定された箇所の本文を筆写・校訂し、その校訂した本文にもとづいて訓読文と現代語訳を作成する。
7．受講者は、①分担した箇所の本文（写本）をいかに解読したか（､筆写・校訂）、②その本文をどのように読んだか（訓読文）、③いかに理解したか（現代語訳）、④空海の生涯を考える上で、また初期の真言教団を考える上で、いかなる問題点があるかについての考察、を順番に報告する。
8．本年度は、第一条から解読する。

テキスト

金剛寺本『御遺告』一帖、平安中期写

参考書・参考資料等

・『御遺告』の活字本（『定本弘法大師全集』第７巻所収本）
・『御遺告』の注釈書類（『続真言宗全書』第 26 巻）
・築島　裕『平安時代訓点本論考』汲古書院
・小林芳規『角筆文献研究導論』（4 冊）汲古書院

学生に対する評価

授業に対する取り組み（60%）と数回のレポート（40%）を綜合して評価。

養成をめざす力

密教仏教の専門性、問題発見力、問題解決力

その他

①写本が扱えるようになると、活字本だけしか使えないときに比べて、研究範囲が大幅に拡大されます。
②積極的に講義に参加し、写本の扱い方をマスターしてほしい。
③そうして、写本を使って卒業論文を書いてほしい。

科目名
総合科目（デジタルアーカイブ）
学期
前期
単位数
2
担当者
藤吉圭二

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：・動画の撮影・編集を学ぶ。
・チームで協力して作業することを学ぶ。

テ ー マ：・インタビュー映像（前半）
・ショートムービー（後半）

授業の概要

受講者を数名のチームに分け、期間中に各チーム２種類の動画を作成する。

授業計画

1．ガイダンス
2．インタビュー映像作成（1）
3．インタビュー映像作成（2）
4．インタビュー映像作成（3）
5．インタビュー映像作成（4）
6．インタビュー映像作成（5）
7．インタビュー映像作成（6）
8．インタビュー映像作成（7）
9．ショートムービー作成（1）
10．ショートムービー作成（2）
11．ショートムービー作成（3）
12．ショートムービー作成（4）
13．ショートムービー作成（5）
14．ショートムービー作成（6）
15．ショートムービー作成（7）

テキスト

必要に応じ授業中にプリントを配布する。

参考書・参考資料等

特になし。

学生に対する評価

・映像のできばえをチームごとに評価し、メンバーについてはチームリーダーによる評価を加味する。
※ 詳細はガイダンスで説明する。

養成をめざす力

情報技術、自主性、チームワーク

その他

・初回に配布するガイダンスプリントを必ず入手しておくこと。

科目名
総合科目（古文書入門）
学期
前期
単位数
2
担当者
浜畑圭吾

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：変体仮名の習得と古文書の形態の理解。

テ ー マ：古文書学の基礎

授業の概要

史料の読解に必要な知識を学ぶ。本講義は入門であるため、まずは変体仮名（くずし字）の習得と古文書の形態の理解を目指す。

授業計画

1．ガイダンス
2．古文書概説
3．文書の種類
4．変体仮名の字母を知る①
5．変体仮名の字母を知る②
6．変体仮名の字母を知る③
7．変体仮名の字母を知る④
8．変体仮名の習得と地誌類①
9．変体仮名の習得と地誌類②
10．変体仮名の習得と「宣旨」
11．変体仮名の習得と「下文」
12．変体仮名の習得と「御教書」
13．「熊谷家文書」を読む
14．戦国武将の手紙を読む①
15．戦国武将の手紙を読む②

テキスト

教員が用意する。

参考書・参考資料等

網野善彦『古文書返却の旅』（中公新書）

学生に対する評価

毎回のリアクションペーパーと複数回の小テスト（50%）、定期試験（50%）

養成をめざす力

日本語を読む力・書く力、想像力

その他

私語厳禁。変体仮名の練習や文書の読解の際は受講者に答えてもらう。積極的な参加を望む。

科目名	総合科目（書誌学）
学期	後期
単位数	2
担当者	浜畑圭吾

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：変体仮名（くずし字）の習得と古文献の形態、保存・管理の実態などを理解する。
テ ー マ：変体仮名の習得、書誌学の基礎

授業の概要
古文献がどのようにして作られ、受け継がれていったのかということを学ぶ。また、変体仮名の習得を目指す。

授業計画
1．ガイダンス
2．古文献の形態
3．古文献の保存
4．奈良・平安時代の出版、変体仮名を読む①
5．鎌倉・室町時代の出版、変体仮名を読む②
6．写本、変体仮名を読む③
7．古活字版①、変体仮名を読む④
8．古活字版②、変体仮名を読む⑤
9．整版①、変体仮名を読む⑥
10．整版②、変体仮名を読む⑦
11．古筆切①、変体仮名を読む⑧
12．古筆切②、変体仮名を読む⑨
13．古筆切③、変体仮名を読む⑩
14．古筆切④、変体仮名を読む⑪
15．古筆切⑤、変体仮名を読む⑫

テキスト
教員が用意する。

参考書・参考資料等
中野三敏『和本のすすめ』（岩波新書）

学生に対する評価
毎回のリアクションペーパーと複数回の小テスト（50%）、定期試験（50%）

養成をめざす力
日本語を読む力・書く力、想像力

その他
私語厳禁。変体仮名の練習の際は受講者に答えてもらう。積極的な参加を望む。

科目名	
学期	
単位数	
担当者	

科目名	企画科目（時事英語）
学期	通年
単位数	2
担当者	高倉正行

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：中級程度の英字新聞の理解。
テ ー マ：必要な英語の情報を素早く読み取る。

授業の概要
ネット上に流れる英字新聞を読む。

授業計画
学生諸君の英語能力に応じ、下記のアドレスの英字新聞を読む。

NHK World English:
http://www.nhk.or.jp/english/index.html

Daily Yomiuri Online:
http://www.yomiuri.co.jp/dy/

The Asahi Shimbun
http://www.asahi.com/english/

Japan Times:
http://www.japantimes.co.jp/

テキスト
テキストはありませんが、USB メモリーを用意すること。

参考書・参考資料等

学生に対する評価
授業態度と提出物で評価する。

養成をめざす力
外国語を読む力・書く力・聴く力・話す力、国際感覚、論理性

その他

科目名	企画科目（舞踊）
学期	通年
単位数	2
担当者	辻高祖佐智子彩恵子

授業の到達目標及びテーマ
到達目標： 宗教舞踊の基礎を身につけ、練習を積み重ねることにより、心、技、体を磨く。
テ ー マ：御詠歌に合わせて舞い、宗教舞踊の楽しさを感得する。

授業の概要
宗教舞踊の基本的な身体の動かし方・理念・法具の扱い方・教典の譜の見方等を学ぶ。
御詠歌の歌詞の意味、舞踊で表現されている意味を学び、心の表現の仕方について学ぶ。

授業計画
1．宗教舞踊を見てみる。基本的理念・法具（持ち物）の扱い方の解説。「同行二人」
2．「同行二人」により身体の動かし方の基本を学ぶ。
3．「同行二人」
4．〃
5．〃
6．「同行二人」仕上げ
7．「三宝和讃」
8．〃
9．〃
10．〃
11．〃
12．〃
13．「三宝和讃」仕上げ
14．復習
15．教典の譜の見方を学ぶ。「めぐみの光かがやきて」
16．「めぐみの光かがやきて」
17．〃
18．〃
19．〃
20．「めぐみの光かがやきて」仕上げ
21．「相互供養」
22．〃
23．〃
24．〃
25．〃
26．〃
27．〃
28．〃
29．復習
30．復習・登壇の仕方を学ぶ

テキスト
舞踊 1 曲ずつの教典（大師教会で購入）

参考書・参考資料等
高野山金剛流宗教舞踊基本教典
『はじめての「高野山宗教舞踊」入門』セルバ出版

学生に対する評価
授業中の技術の習熟度（30%） 努力度（30%） 実技試験（40%）

養成をめざす力
宗教舞踊の基礎力、表現力、想像力

その他
単位取得者は希望により『高野山金剛流宗教舞踊会』の〔入門〕と〔初伝〕が取得できる。

科目名：企画科目（仏教芸術）
学期：前期
単位数：2
担当者：副担任…静 慈圓　和田圭子

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：高野山内に伝わる仏教美術について学び、さらに実地に仏像、仏画等に接することによって、より深い仏教美術の知識を学び、培うことを到達目標とする。
テ ー マ：高野山における仏教美術研究

授業の概要
高野山霊宝館の所蔵品を中心に、仏教美術、特に密教美術の造像をジャンルごとに取り上げ、作品の特徴や歴史的意義について知識を深める。さらに高野山霊宝館において実際に仏像、仏画等を鑑賞し、仏教美術研究の基礎を学ぶ。

授業計画
1．はじめに：仏教美術作品鑑賞に関する基礎知識
2．高野山の仏教美術の歴史
3．高野山の仏教美術１：両界曼荼羅
4．高野山の仏教美術２：別尊曼荼羅
5．高野山の仏教美術３：如来
6．高野山の仏教美術４：菩薩
7．高野山の仏教美術５：明王
8．高野山の仏教美術６：天部
9．高野山の仏教美術７：祖師等
10. 高野山の工芸：密教法具等
11. 高野山霊宝館での作品研究
12. 高野山霊宝館での作品研究
13. 高野山霊宝館での作品研究
14. 高野山霊宝館での作品研究
15. 高野山霊宝館での作品研究

テキスト
授業内容に沿った参考資料（文字資料・画像資料）を配付する。

参考書・参考資料等
『日本古寺美術全集』集英社、『高野山秘宝大観』フジタ

学生に対する評価
授業態度（10%）、期末レポート（70%）、授業に対する取り組み方（20%）の比率で評価する。
霊宝館において見学した作品を１つ選び、それに関する 4000 字程度のレポートを提出する。

養成をめざす力
仏教美術の基礎力、観察力、積極性

その他
履修する学生は社会経験と就業経験を身につけるために、授業とは別に指示に従って高野山霊宝館の受付や案内業務を体験する。
様々な観点から積極的に作品を鑑賞する態度が望ましい。

科目名：企画科目（傾聴実践）
学期：前期
単位数：2
担当者：井上ウィマラ

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：スピリチュアルなケアを展開するために必要な純粋に注意を向ける力、共感する力、傾聴する力を身につける。
テ ー マ：共感と傾聴

授業の概要
授業のはじめに 5 分ほど呼吸によるマインドフルネス瞑想をする。ショートレクチャーの後でロールプレイを行い、ふりかえりをしながら体験学習を深める。

授業計画
1．自己紹介と授業の流れについて（ケアと傾聴）
2．ケアの循環について：子育て、看取り、グリーフケア
3．コミュニケーションの音楽性
4．話すことと聴くこと
5．生育歴をふりかえる
6．家系図を書いてみる
7．家系図を動かしてみる
8．ミニカウンセリング１（ロールプレイの録音）
9．ミニカウンセリング２（会話録の分析）
10. ミニカウンセリング３（よき聞き手となるために）
11.「死んだらどうなるのですか？」
12. スピリチュアルペインについて
13. 人生で大切な５つの仕事
14. 罪悪感と自尊心
15. ふりかえりとまとめ

テキスト
井上ウィマラ『人生で大切な５つの仕事』春秋社

参考書・参考資料等
窪寺俊之・井上ウィマラ『スピリチュアルケアへのガイド』

学生に対する評価
授業参加への積極性（30%）と期末レポート（70%）で評価する

養成をめざす力
共感力、チームワーク、問題発見力

その他

科目名：企画科目（華道）
学期：通年
単位数：2
担当者：五味和樹

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：【前期】日本の伝統文化である華道の歴史の理解と基本的実技の修得。
【後期】高野山の伝統行事(年中行事)に生けられる伝統華・荘厳真華の理解
テ ー マ：【前期】日本の華道史と華道実技の基本
【後期】華道高野山の代表華である真華の修得

授業の概要
【前期】仏様にお花をお供えしたのが始まりとされる日本の華道の歴史を現代まで解説すると共に、華道の基本の解説と実技の実習を行なう。
【後期】高野山の伝統行事が行なわれる会場を荘厳する真華の解説と真華の実技実習。

授業計画

【前期】	【後期】
1．ガイダンス	1．真華の解説
2．華道高野山についての解説	2．五段華の解説
3．供華様式から投入花の解説	3．五段華の実技実習
4．投入花から現代花の解説	4．真華実習（1）
5．盛花の解説	5．真華実習（2）
6．盛花の実技実習	6．二つ真の解説
7．盛花の変化態の解説と実習	7．仏生会の華の解説
8．投入花の解説と実習	8．白羽の矢竹の解説
9．投入花の変化態の解説と実習	9．小品真華の解説と実習
10. 格花の解説と実習	10. 法印転衣式の華の解説
11. 格花の変化態の解説と実習	11. 合真の解説
12. 自由化の解説と実習	12. 元三の花の開設
13. 自由化のテーマのもとめ方と実習	13. 万年青の解説と実技
14. 実技テスト	14. 実技テスト

テキスト
華道高野山教本

参考書・参考資料等
特に無し

学生に対する評価
実技定期試験（60%）、小試験（40%）

養成をめざす力
創造力

その他
実技実習時に花材費 800 円～ 1,000 円必要です。

科目名：企画科目（ヴィパッサナー瞑想Ⅰ）
学期：前期
単位数：2
担当者：井上ウィマラ

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：仏教のヴィパッサナー（観）瞑想による意識の保ち方を学ぶことによって、自分を知る能力（自己覚知）を養う。
テ ー マ：自分を知ることについて

授業の概要
最初にみんなの息を合わせるために「三宝帰依の歌」を歌い、Ānāpānasati-sutta の「16 の観察法」を読誦し、15 分ほど呼吸瞑想をする。その後で瞑想的エクササイズを行い、ふりかえりをしながら体験学習を深めてゆく。

授業計画
1．自己紹介と授業の進め方について(スピリチュアルケアとは何か？)
2．如実知見と自分を知ることの大切さ
3．Ānāpānasati-sutta（呼吸による気づき経）から学ぶ
4．身体感覚に心を開く：Vedanā（受）を理解する
5．呼吸に触れる
6．呼び名の息遣い
7．瞑想中の雑念への対処法：気づきの作法
8．自尊心について
9．食べる瞑想：Āhāra（四つの栄養素）の教えについて
10. マインドフルネス瞑想の射程
11. 三業の心理学
12. 思いやりの育み方：慈悲喜捨の教えについて
13. 神秘体験について
14. 悟りと解脱
15. ふりかえりとまとめ

テキスト
井上ウィマラ『呼吸による気づきの教え』皎成出版社

参考書・参考資料等
『仏教心理学キーワード事典』 春秋社
井上ウィマラ『人生で大切な５つの仕事』春秋社

学生に対する評価
授業への参加態度（30%）と期末レポート（70%）で評価する。

養成をめざす力
道徳性、共感力、チームワーク

その他
動きやすい服装で参加すること。

科目名：企画科目（ヴィパッサナー瞑想Ⅱ）
学期：後期
単位数：2
担当者：井上ウィマラ

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：他者との関係性の中に浮かび上がってくる自分のパターンに気づく。よりよいコミュニケーション能力を身につけ、共感と傾聴の基本を学ぶ。
テ ー マ：関係性における気づきとコミュニケーション

授業の概要

最初にみんなの息を合わせるために「慈しみの歌」を歌い、Satipaṭṭhāna-sutta から「正しい意識の部」を読誦し、10 分ほど呼吸瞑想を行う。瞑想的エクササイズをした後で、話し合いながら体験学習を深める。

授業計画

1．自己紹介と授業の進め方について（スピリチュアリティと仏教瞑想）
2．人類の進化とケア
3．ミラーニューロンと鏡像段階
4．ミラーリング
5．５分間トーク
6．他己紹介
7．呼吸のモニタリング
8．息遣いのメッセージ
9．呼吸のキャッチボール
10．レーズンの祈り
11．怒りの活かし方
12．看病しにくい人の５条件
13．四摂法の教えについて
14．最後の一息について
15．ふりかえりとまとめ

テキスト

窪寺俊之・井上ウィマラ『スピリチュアルケアへのガイド』

参考書・参考資料等

M.エプスタイン『ブッダのサイコセラピー』春秋社
『人間関係性トレーニング』 ナカニシヤ書店
『仏教心理学キーワード事典』 春秋社

学生に対する評価

授業への参加態度（30%）と期末レポート（70%）によって評価する。

養成をめざす力

道徳性、創造力、チームワーク

その他

動きやすい服装で参加すること。

科目名：企画科目（法式上級）（別）
学期：通年
単位数：2
担当者：渕田雲渓

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：修法における次第の組み立てを理解し、その行法をより深めることを目的とし、重ねて代表的な密教法会である理趣三昧法会を実修し、職衆及び導師の心得を身につける。
テ ー マ：行法や荘厳の理解と理趣三昧法会の実修

授業の概要

四度の加行において自らが実践した所の十八道や金剛・胎蔵の両部の次第、護摩の次第における行法の展開や内容を考察し、行法をより深く実践できるように試みる。
また、理趣三昧法会の実践をとおし、実際の法要の流れを理解し、導師や職衆としての作法を習熟する。

授業計画

【前期】
道場や壇上の荘厳の解説・実践をし、加えて行法の基本たる十八道の次第を解説する。
また、法会における作法等の解説し、職衆として法会を実修する。

【その他】
報恩日の法会に職衆としての積極的な参加（出仕）を求める。

【後期】
理趣三昧を解説する。
また、伝法灌頂に入壇後、理趣経法の伝授を受け、交代で導師を務めて法会を実修。

【その他】
追悼法会、また報恩日の法会に職衆としての積極的な参加（出仕）を求める。

テキスト

『真言宗常用経典』、『四度加行　次第』、中川善教編『理趣経法』

参考書・参考資料等

『声明類聚』等　他は授業中で紹介し、適宜コピー等を配布する。

学生に対する評価

期末の課題レポートと法要作法の習熟度

養成をめざす力

密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性、密教僧の実践力

その他

・空衣（尼僧は褊衫でも可）・白袈裟（または如法衣）を着しての受講となる。
・以下の事項を受講の条件とする。
①法式A またはB の単位を取得しておくこと。
②伝法潅頂を終えていること。少なくとも前期加行（十八道・金剛界）を受けた上で受講し、今年度内に伝法灌頂に入壇すること。
・学内での受戒や加行、追悼法会や報恩日など、積極的な出仕をお願いする。

科目名：企画科目（芸能）
学期：通年
単位数：2
担当者：糀谷有桜

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：初年度は基本的な奏法の習得・初歩的な曲の合奏と、邦楽の歴史・日本音楽の特徴理解。
二年目履修の際は、「六段の調べ」を習得し、初伝免許取得相当の技術を身に着ける事。
テ ー マ：地歌箏曲入門－箏（琴）を弾いてみよう。日本音楽の素晴らしさに触れてみよう。

授業の概要

音楽楽理と、邦楽の歴史に関する講義を交えながら、箏の演奏実習を中心に進めていく。箏に触れ、演奏することで、伝統文化に共通する精神性へと、学生諸氏の思考深化を促したい。

授業計画

【前期】
1．爪をつけて､箏をならしてみよう。
2．楽譜の見方、楽器の扱い方を学ぼう。
3．柱の立て方、はずし方。
4．箏とは、楽器の部位の名称等。
5．ビデオ鑑賞。
6．「さくら」･「荒城の月」を弾こう。（1）
7．「さくら」･「荒城の月」を弾こう。（2）
8．「さくら」･「荒城の月」を弾こう。（3）
9．邦楽の歴史を学ぼう（講義）。
10．「三段の調べ」を弾こう（1）
11．「三段の調べ」を弾こう（2）
12．「三段の調べ」を弾こう（3）
13．「三段の調べ」を弾こう（4）
14．邦楽の歴史を学ぼう（講義）。
15．筆記・実技試験

【後期】
1．「三段の調べ」の復習をしよう。
2．「三段の調べ」の他パートと合奏しよう。(1)
3．「三段の調べ」の他パートと合奏しよう。(2)
4．邦楽の歴史を学ぼう（講義）。
5．「さくら変奏曲」を弾こう。（1）
6．「さくら変奏曲」を弾こう。（2）
7 「さくら変奏曲」の他パートと合奏しよう。
8．邦楽の楽理を学ぼう （講義）。
9．「笛の音」を弾こう。（1）
10．「笛の音」を弾こう。（2）
11．「笛の音」を三味線と合奏しよう。
12．試験に向けての復習。（1）
13．試験に向けての復習。（2）
14．試験に向けての復習。（3）
15．実技試験。

２年目の受講生は、全回「六段の調べ」の実習。

テキスト

楽譜は講師を通じて随時一括購入する。爪は初回授業で各自の指の号数を確認して注文する。

参考書・参考資料等

吉川英史『日本音楽の歴史』創元社。他は授業で紹介する。

学生に対する評価

音楽を真剣に楽しむ授業態度（70%） 演奏技術（10%） 筆記・実技試験（20%）
但し、上記％に関係なく、欠席１回マイナス５点とする。

養成をめざす力

チームワーク、問題解決力、想像力

その他

「箏は女性が弾くもの」という誤った通念があるようだが、実態は全く異なる。偏見を捨てて、音楽好きな学生は、男女を問わず、積極的に受講してほしい。
二年目の単位を取得した場合、本人が希望し、かつ技能が相当と認められる者には、有料で、絃楽教育奨励会認定の「初伝」免許を認免する。

科目名：企画科目（阿息観）観法の理論と実習１（別）
学期：前期
単位数：2
担当者：佐藤隆彦

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：阿息観の修得
テ ー マ：阿息観の理論と実習

授業の概要

阿字観の前行と位置づけられている阿息観について、その理論を解説するとともに実習をおこなう。
テキストにしたがって講義を進める。

授業計画

1．オリエンテーション
2．阿息観と悟り
3．真言密教と釈迦
4．瞑想の目的と種類
5．修行の基本
6．弘法大師空海の宗教体験
7．阿息観について
8．阿息観について
9．阿息観の実習
10．阿息観の実習
11．討論
12．阿息観の実習
13．阿息観の現代的意義
14．阿息観の現代的意義
15．まとめ

テキスト

山崎泰廣『阿字観瞑想入門』（春秋社）※ 売店取り扱い

参考書・参考資料等

『密教福祉Ⅰ』『密教福祉Ⅱ』（密教福祉研究会編）

学生に対する評価

期末レポート（80%）、討論小テスト（20%）

養成をめざす力

密教仏教の基礎力、想像力、創造力

その他

科目名	企画科目（月輪観と阿字観）観法の理論と実習２（別）
学期	後期
単位数	2
担当者	佐藤隆彦

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：阿字観の修得
テ ー マ：阿字観の理論と実習

授業の概要
阿息観を踏まえて、月輪観と阿字観について、その理論を解説するとともに実習をおこなう。

授業計画
1．オリエンテーション
2．阿息観について
3．阿息観の実習
4．月輪観について
5．月輪観について
6．月輪観実習
7．『大日経』と阿字
8．阿字観について
9．阿字観について
10. 阿字観実習
11. 自由討論
12. 阿字観の口訣
13. 阿字観の口訣
14. 阿字観実習
15. まとめ

テキスト
山崎泰廣『阿字観瞑想入門』（春秋社）※ 売店取り扱い

参考書・参考資料等

学生に対する評価
期末レポート（80%）、討論小テスト（20%）

養成をめざす力
密教仏教の基礎力、想像力、創造力

その他

科目名	企画科目（グリーフケア）
学期	後期
単位数	2
担当者	森崎雅好

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：喪失体験へのケアについての専門知識を身につけ、ケアの態度を学ぶ。
テ ー マ：グリーフケアに関する知見を深める。

授業の概要
グリーフ（grief）とは悲嘆を意味します。この悲嘆を受け入れる作業をグリーフワークと言い、グリーフケアとはその作業を支援することです。本講義では、心理学的観点からケアの姿勢の在り方を学びます。

授業計画
1．悲嘆反応とケアについて　概論
2．死と死別について
3．犯罪被害と複雑性悲嘆（1）
4．犯罪被害と複雑性悲嘆（2）
5．犯罪被害と複雑性悲嘆（3）
6．自殺と自死遺族支援（1）
7．自殺と自死遺族支援（2）
8．自殺と自死遺族支援（3）
9．緩和ケア（1）
10. 緩和ケア（2）
11. 緩和ケア（3）
12. 災害による喪失のケア（1）
13. 災害による喪失のケア（2）
14. 災害による喪失のケア（3）
15. まとめ：ケアの本質

テキスト
講師作成資料を配布する。

参考書・参考資料等
ラファエル,B.（著）石丸正（訳）『 災害の起こるとき カタストロフィーの精神医学』みすず書房、1989 年　他は授業中に紹介する。

学生に対する評価
期末試験（100%）

養成をめざす力
自主性、想像力、道徳性

その他
悲嘆の支援は、支援者自身の「いのち存在」への姿勢が問われます。すなわち、自身の人間観、人生観、死生観を認識することが求められます。常に自と他の「いのち」について考えながら講義に臨んでください。

科目名	企画科目（詠歌）
学期	通年
単位数	2
担当者	山本文昭　辻山秀道　上山雄慈

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：将来の御詠歌指導者の養成を目指す。
テ ー マ：心に響く宗教音楽として現代にも広く伝える御詠歌を学ぶ

授業の概要
【前期】スライドショー等で譜の見方、楽理等解りやすく解説する。楽器等を併用し親しみやすい御詠歌の指導方法を学ぶ。和讃と詠歌の違いを知る。
【後期】前期の目標、テーマの完成を目指す為に基礎となる詠歌、和讃を学び積極的に唱える様に研鑽を深める。

授業計画

【前期】	【後期】
1．御詠歌、和讃の概要（譜の見方、歴史など）追弔和讃	1．前期総括
2．追弔和讃、竜華（楽理含）	2．金剛和讃
3．竜華（所作）	3．金剛和讃（仕上げ）
4．御開創千二百年和讃（解説）	4．相互供養和讃
5．御開創千二百年和讃	5．相互供養和讃
6．御開創千二百年和讃（所作、仕上げ）	6．御砂踏御詠歌
7．所作（いろは歌、他）	7．御砂踏御詠歌
8．所作（いろは歌、他）	8．御砂踏御詠歌
9．めぐみの光かがやきて	9．時空を越えて
10. めぐみの光かがやきて	10. 時空を越えて
11. めぐみの光かがやきて（仕上げ、個人の実修）	11. 時空を越えて
12. 金剛和讃（解説）	12. 所作（基本復習）
13. 金剛和讃→後期に引続き（２時限程する）	13. 所作（応用､履修曲に合わせて）
14. 前期履修曲復習	14. 後期履修曲復習
15. 実技及び筆記試験	15. 実技、筆記試験

テキスト
高野山金剛流御詠歌教典　同和讃集、楽理教典、法具
（教務課に貸出有り）

参考書・参考資料等
金剛講必携、鈴鈷のひびき　高野山金剛流和讃の解説

学生に対する評価
実技、筆記試験（70%）　技術の習熟度（30%）

養成をめざす力
御詠歌の基礎力、御詠歌の専門性

その他
1．後期履修希望者は前期履修の後受講すること
2．詠階は一年間履修すると准教師、二年間履修すると詠修、三年間履修すれば詠教、四年間履修すれば詠範を限りとして与える。

科目名	企画科目（声明上級）（別）
学期	通年
単位数	2
担当者	辻秀道

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：祭文（各種）・表白・神文・佛名・教化の習得
テ ー マ：初級の声明で学べなかった南山進流声明の習得

授業の概要
初級に於いて学べなかった声明及び今後法要や導師として必要となる声明を研鑽する。

授業計画

【前期】	【後期】
1．誕生会祭文	1．〈大般若〉表白・神文・佛名
2．〃	2．〃
3．〃	3．〃
4．御影供祭文	4．〃
5．〃	5．〈理趣法〉表白・神文
6．〃	6．〃
7．涅槃講祭文	7．〃
8．〃	8．〃
9．〃	9．理趣経（中曲）後半
10.〈御影供〉表白・神文・佛名・教化	10. 〃
11. 〃	11. 云何唄
12. 〃	12. 〃
13. 〃	13. 出家唄
14. 〃	14. 伽陀
15. 〃	15. 〃

テキスト
・「祭文集」－高野山出版社発行＝各自高野山出版社にて購入の事
・「大槃若法則／御影供表白」（高野山専修学院発行）及び「理趣法」は講義中に伝達する

参考書・参考資料等
宮野宥智編「南山進流声明類聚」

学生に対する評価
授業中の発表・習熟度（40%）　期末テスト（60%）

養成をめざす力
密教仏教の専門性、声明を唱える力

その他
受講資格を下記の通り設ける
1．本学「声明」初級を習得した者（75 点以上の者）
2．高野山専修学院及び尼僧学院を終了した者
3．高野山高等学校宗教科を終了した者
4．その他同等の研鑽を終了した者

科目名	企画科目（茶道）
学期	通年
単位数	2
担当者	岡本文音

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：茶の湯の歴史・思想の理解と精神・美意識への考察、および、基本的な所作や点前の修得。

テ ー マ：茶の湯における主客の心と感応

授業の概要

日本の伝統的な文化のひとつである茶の湯の、歴史や思想についての理解を深めるとともに、実際に所作や点前を経験･修得したうえで、受講生自らが茶会を企画し実践する。

その体験などをつうじて、茶の湯の精神や美意識について考える。

授業計画

【前期】

1．ガイダンス
2．講義　茶事のながれ
3．客の所作と心得１
　お茶のいただき方（薄茶）
4．客の所作と心得２
　席入りの仕方
5．初風炉の茶会
6．講義　茶道史１
7．盆略点前１　割稽古
8．盆略点前２　割稽古の復習
9．講義　茶道の道具について
10．盆略点前３　通し稽古
11．盆略点前４　通し稽古
12．盆略点前５　通し稽古
13．講義　茶の湯の思想１
14．盆略点前６　通し稽古の復習
15．まとめ

【後期】

1．盆略点前の復習１
2．盆略点前の復習２
3．講義　茶道史２
4．客の所作と心得３
　お茶のいただき方（濃茶）
5．茶会の企画と実践１
6．茶会の企画と実践２
7．炉開きの茶会
8．茶の湯の思想２
9．茶会の企画と実践３
10．茶会の企画と実践４
11．講義　茶道史３
12．茶会の企画と実践５
13．初釜の茶会
14．講義　茶の湯の思想３
15．まとめ

テキスト

『学校茶道（初級編）』財団法人茶道文化振興財団発行
授業時に一括購入

参考書・参考資料等

谷端昭夫著『よくわかる茶道の歴史』淡交社
谷晃著『わかりやすい茶の湯の文化』淡交社

学生に対する評価

授業時に随時課す提出物 30%　茶会の企画と実践 35%　期末試験 35%

養成をめざす力

チームワーク、想像力

その他

実習の費用として、前期・後期、それぞれ 3000 円必要です。
茶室に入れる人数に限りがありますので、受講生を制限する場合もあります。

科目名	企画科目（一流伝授Ⅰ）
学期	（集中前期）
単位数	2
担当者	甲田宥吽

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：伝統的な事相門の教授方法を経験し、且つ日常の修法・実践法への教理的意義に基づいて理解を深め、実際の所作・作法を習得する。

テ ー マ：密教の修法を実践するに当り、基礎的な知識・理解を深める。

授業の概要

真言宗の伝統的な宗学の内、事相門の教授方法に則り、日常の実践法である一座行法等を、中院流に基づいて伝授・解説する。自行のみならず、法会等の導師に必要な作法も指導し、時間の許す限り、主要な本尊の尊法を伝授する。

授業計画

1．講義の概要、略許可
2．伝授についての序説
3．一座行法の伝授・解説（1）
4．一座行法の伝授・解説（2）
5．一座行法の伝授・解説（3）
6．一座行法の伝授・解説（4）
7．一座行法の伝授・解説（5）
8．一座行法の伝授・解説（6）
9．一座行法の伝授・解説（7）
10．一座行法の伝授・解説（8）
11．一座行法の伝授・解説（9）
12．一座行法の伝授・解説（10）
13．一座行法の伝授・解説（11）
14．一座行法の伝授・解説（12）
15．テスト

テキスト

中川善教編『諸尊通用次第（中院）』３帖１帙　東方出版
価格 10,000 円程度（※ 入手方法に就いては、事前に公示する）

参考書・参考資料等

中川善教『諸尊通用次第撮要』 東方出版
大山公淳『中院流の研究』 高野山大学、東方出版　等

学生に対する評価

講義に臨む姿勢（出欠席を含む）（50%）､テストによる採点（50%）

養成をめざす力

密教仏教の専門性

その他

1、受講者は真言宗の僧侶で、已灌頂者（※伝法灌頂修了者）に限る。
2、受講時は高野山における平衣（空衣・白袈裟等）又は黒衣・如法衣（尼僧は灰色の褊衫も可）を必ず着用すること。改良服・作務衣等での受講は不可。
3、前後期通して受講すること。前期のみの受講はできない。

科目名	企画科目（一流伝授Ⅱ）
学期	（集中後期）
単位数	2
担当者	甲田宥吽

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：伝統的な事相門の教授方法を経験し、且つ日常の修法・実践法への教理的意義に基づいて理解を深め、実際の所作・作法を習得する。

テ ー マ：密教の修法を実践するに当り、基礎的な知識・理解を深める。

授業の概要

真言宗の伝統的な宗学の内、事相門の教授方法に則り、日常の実践法である一座行法等を、中院流に基づいて伝授・解説する。自行のみならず、法会等の導師に必要な作法も指導し、時間の許す限り、主要な本尊の尊法を伝授する。

授業計画

1．一座行法の伝授・解説（13）
2．一座行法の伝授・解説（14）
3．一座行法の伝授・解説（15）
4．一座行法の伝授・解説（16）
5．一座行法の伝授・解説（17）
6．一座行法の伝授・解説（18）
7．一座行法の伝授・解説（19）
8．一座行法の伝授・解説（20）
9．諸尊法の伝授（１）
10．諸尊法の伝授（２）
11．諸尊法の伝授（３）
12．諸尊法の伝授（４）
13．諸尊法の伝授（５）
14．諸尊法の伝授（６）
15．テスト

テキスト

中川善教編『諸尊通用次第(中院)』３帖１帙　親王院(又は東方出版)
価格 10,000 円程度
（※ 入手方法に就いては、事前に公示する）

参考書・参考資料等

中川善教『諸尊通用次第撮要』 東方出版
大山公淳『中院流の研究』 高野山大学、東方出版　等

学生に対する評価

講義に臨む姿勢（出欠席を含む）（50%）､テストによる採点（50%）

養成をめざす力

密教仏教の専門性

その他

1、受講者は真言宗の僧侶で、已灌頂者（※伝法灌頂修了者）に限る。
2、受講時は高野山における平衣（空衣・白袈裟等）又は黒衣・如法衣（尼僧は灰色の褊衫も可）を必ず着用すること。改良服・作務衣等での受講は不可。
3、前後期通して受講すること。後期のみの受講はできない。

科目名	
学期	
単位数	
担当者	

科目名：サンスクリット語Ⅰ（別）

学期：通年

単位数：2

担当者：前谷　彰

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：サンスクリット語の短文読解能力を身につける。
テ ー マ：サンスクリット語音論トレーニング

授業の概要

サンスクリット語における音論を中心にして、サンスクリット語という古典言語のダイナミズムに触れ、ことばの本質的な世界の楽しさを味わい、様々な言語に対する豊かな感性を養う。

授業計画

1．導入:サンスクリット語とは？
2．アルファベットとデーヴァナーガリー文字
3．Guza・V3ddhi 法則
4．動詞の現在組織
5．語根類推トレーニング
6．語根類推トレーニング
7．語根類推トレーニング
8．連声（Sandhi）法則
9．Sandhi 法則トレーニング
10．Sandhi 法則トレーニング
11．代名詞、前置詞、副詞
12．短文読解トレーニング
13．短文読解トレーニング
14．短文読解トレーニング
15．短文読解トレーニング
16．動詞組織
17．動詞組織
18．動詞組織
19．名詞造語法
20．複合語トレーニング
21．複合語トレーニング
22．複合語トレーニング
23．物語文学読解トレーニング
24．物語文学読解トレーニング
25．仏教文献読解トレーニング
26．仏教文献読解トレーニング
27．仏教文献読解トレーニング
28．仏教文献読解トレーニング
29．仏教文献読解トレーニング
30．仏教文献読解トレーニング

テキスト

担当者作成『サンスクリット語サブグラマー』
辻直四郎『サンスクリット文法』
（絶版のため、担当者がコピーして配布する）

参考書・参考資料等

必要に応じて担当者が指示する。

学生に対する評価

課題に対する予習・復習（30%）、期末試験２回（70%）

養成をめざす力

外国語を読む力・書く力、忍耐力

その他

科目名：サンスクリット語Ⅱ

学期：通年

単位数：2

担当者：加納和雄

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：文法の基礎と応用を学び、サンスクリット文学を独学できるために必要な実践的知識（文法書・辞書の使用法）を習得することを目標とする。
テ ー マ：仏教の韻文作品、散文作品を読む

授業の概要

サンスクリット語の精緻な文法体系に慣れ親しみ、読解のためのコツをつかんでインド古典の深みをあじわうことをめざす。前期はサンスクリット語初級の授業において培った基礎を確認した後、基礎的な短文からはじめて、簡単な仏典作品の読解を通じて、文章把握の手がかりをつかむ。後期は、基礎的な散文の読み方を学ぶために、『理趣経』と『金剛頂経』の一節、そして『大日経』の断簡などを読む。授業のレベルおよび読解する作品は、出席者の希望を尊重する。

授業計画

【前期】
1．導入
2．基礎文法の確認１
3．基礎文法の確認２
4．短文読解練習１
5．短文読解練習２
6．短文読解練習３
7．短文読解練習４
8．仏典作品を読む１
9．仏典作品を読む２
10．仏典作品を読む３
11．仏典作品を読む４
12．仏典作品を読む５
13．仏典作品を読む６
14．仏典作品を読む７
15．テスト

【後期】
1．インド古典概論
2．サンスクリットの散文、注釈文献の様式
3．散文作品読解１
4．散文作品読解２
5．散文作品読解３
6．散文作品読解４
7．散文作品読解５
8．散文作品読解６
9．散文作品読解７
10．散文作品読解８
11．散文作品読解９
12．散文作品読解 10
13．散文作品読解 11
14．散文作品読解 12
15．テスト

テキスト

テキストは、コピー配布する。

参考書・参考資料等

ランマン『サンスクリット読本』
辻直四郎『サンスクリット文法』岩波書店。
G.A. Tubb, Scholastic Sanskrit: A Handbook for Students, Columbia Univ Pr 2007.

学生に対する評価

授業中の発表など（60%）、レポート（前期・後期に各一回ずつ）（40%）

養成をめざす力

外国語を読む力・書く力、問題発見力

その他

サンスクリット語の基礎に自信のない学生も歓迎します。

科目名：チベット語（別）

学期：通年

単位数：2

担当者：加納和雄

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：【前期】古典チベット語の基礎文法の習得
【後期】簡単な文学作品にしたしみながら古典チベット語の文献の読解力を養う。
テ ー マ：【前期】チベット語文語文法入門
【後期】チベット語文献に親しむ

授業の概要

近年注目をあつめるチベット情勢。いっぽうはるか昔から伝統が培われてきたチベットの仏教。
そのいずれを知るためにもチベット語は必須となる。
前期は、文字の書き方や、古典チベット語の文法の基礎を解説しながら、チベット語の特徴を学ぶ。また、発音やアンクセントについてはラサ地方の口語チベット語を参考にしながら、チベット語の生きた姿にも慣れ親しむ。
後期は、前期の講義で学習した文法を復習しながら、仏典、伝記、詩を中心に、チベット語（文語）の文献を少しずつ読む。はじめてチベット語を学ぶ人のための入門クラス。

授業計画

【前期】
1．オリエンテーション
2．文字を学ぶ
3．構字法と発音（１）
4．構字法と発音（２）
5．辞書の引き方
6．名詞、人称代名詞
7．数詞と数の表現
8．指示代名詞と形容詞
9．動詞と助動詞（１）
10．動詞と助動詞（２）
11．動詞と助動詞（３）
12．格助辞（１）
13．格助辞（２）
14．その他の辞、副詞
15．疑問代名詞、関係代名詞
※ 折に触れて、チベットの文化や歴史についても紹介します。

【後期】
1．導入
2．重要文法事項の再確認
3．チベット語短篇作品を読む－仏典－(1)
4．チベット語短篇作品を読む－仏典－(2)
5．チベット語短篇作品を読む－仏典－(3)
6．チベット語短篇作品を読む－仏典－(4)
7．チベット語短篇作品を読む－伝記－(5)
8．チベット語短篇作品を読む－伝記－(6)
9．チベット語短篇作品を読む－伝記－(7)
10．チベット語短篇作品を読む－伝記－(8)
11．チベット語短篇作品を読む－韻文作品－(9)
12．チベット語短篇作品を読む－韻文作品－(10)
13．チベット語短篇作品を読む－韻文作品－(11)
14．チベット語短篇作品を読む－韻文作品－(12)
15．テスト
※ 折に触れて、チベットの文化や歴史についても紹介します。

テキスト

コピーを配布する。
H.A. イェシュケあるいはチャンドラ・ダスの『蔵英辞典』（臨川書店）または『蔵漢大辞典』を購入のこと。

参考書・参考資料等

山口瑞鳳『［概説］チベット語文語文典』（春秋社）
松本栄一・奥山直司『チベット［マンダラの国］』（小学館）
※ その他、必要に応じて講義の中で指示します。

学生に対する評価

授業中の発表など（60%）、レポート（40%）

養成をめざす力

外国語を読む力・書く力・話す力

その他

チベットに興味のある方は、どなたでも歓迎いたします。

科目名：英会話

学期：通年

単位数：2

担当者：T.ドライトライン

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：【前期】高野山で道を尋ねられた時など外国人旅行者と接するシチュエーションで簡単な会話ができるようになる。
【後期】外国語旅行者を高野山案内する際に使える英語を身につける。
テ ー マ：【前期】高野山で外国人旅行者に英語でおもてなし
【後期】英語で高野山めぐり

授業の概要

【前期】高野山を訪れる外国人旅行者が困っているとき何か手助けできるのはよいことです。あわてず必要な情報を英語で提供できれば、相手にも喜んでもらえ、自分の英語を磨くチャンスにもできます。練習をしましょう。
【後期】高野山を訪れた外国人旅行者に伽藍、奥の院などメインのスポットを案内するさい使える英語を習い、あわせて密教について少し英語で話せるよう学びましょう。

授業計画

【前期】
1．ガイダンス
2．もう一度と聞き返すには
3．道を尋ねられたら（１）
4．道を尋ねられたら（２）
5．道を尋ねられたら（３）
6．道を尋ねられたら（４）
7．食べ物屋さんでメニューを聞かれたら(1)
8．食べ物屋さんでメニューを聞かれたら(2)
9．食べ物屋さんでメニューを聞かれたら(3)
10．食べ物屋さんでメニューを聞かれたら(4)
11．ロールプレイで練習しよう（１）
12．ロールプレイで練習しよう（２）
13．ロールプレイで練習しよう（３）
14．ロールプレイで練習しよう（４）
15．まとめのフリートーキング

【後期】
1．ガイダンス
2．英語で密教について話す（１）
3．英語で密教について話す（２）
4．英語で密教について話す（３）
5．英語で密教について話す（４）
6．英語で壇上伽藍を案内する（１）
7．英語で壇上伽藍を案内する（２）
8．英語で壇上伽藍を案内する（３）
9．英語で壇上伽藍を案内する（４）
10．英語で奥の院を案内する（１）
11．英語で奥の院を案内する（２）
12．英語で奥の院を案内する（３）
13．英語で奥の院を案内する（４）
14．まとめの英語スピーチ（１）
15．まとめの英語スピーチ（２）

※プログラムは改訂される場合があります。

テキスト

必要に応じて担当者からプリントを配布します。

参考書・参考資料等

英和辞典を持参してください（電子辞書も可）。

学生に対する評価

会話練習の積極性（40%）、試験（60%）で評価します。

養成をめざす力

外国語を聴く力・話す力、国際感覚

その他

【前期】恥ずかしがっていては上達しません。教室でたくさん失敗し、覚えた表現は積極的に実地で使ってみましょう。ためらいなく、Do you need any help? と言えるようになりましょう。
【後期】普段からインターネットのラジオを利用し、英語音声に耳を慣らしておきましょう。

科目名：中国語（初級）
学期：通年
単位数：2
担当者：土生川 正賢

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：「学問のための学問」ではなく、実社会で使える語学の習得。
外国語学習を通して母国語と自国文化をより深く理解した国際的視野を有する人材を育成。
テ ー マ：中国語の基礎学習

授業の概要

視覚的に「漢文」として中国語をとらえるのではなく、「聞く」「話す」に重点をおいた授業を行う。
正確な発音を習得し、日常の挨拶語など平易な文を用いて基本的文型の修得を目指す。

授業計画

【前期】
1．年間授業計画。中国に関する一般常識、中国語の特性、外国語学習の方法と意義。
2．「四声」と呼ばれる声調と、中国語発音記号「ピンイン」の母音の習得。
3．「四声」と「ピンイン」の子音の習得。
4．発音と中国特有の漢字「簡体字」の学習。
5．電子辞書を含む中国語辞書の紹介と使い方の説明。
「簡体字」と「ピンイン」で書いた受講者のネームカードを配布。名前を使った発音練習。以後出欠は中国語でとる。
6．「四声」「ピンイン」「簡体字」をある程度習得した上で、テキストに従って挨拶や基本文型を学習。
7-14．テキストを中心とした授業。
前期はテキスト第１～４課を学習。文法解説は必要最低限とし、「聞く」「話す」に重点をおいた授業。
常用文の暗誦（文章丸暗記こそ語学習得の近道！）を義務付け、実際に使える中国語の習得をめざす。
15．前期試験について。アンケート。

【後期】
1．前期の復習と前期試験の反省。
2-14．テキストを中心とした授業。
後期はテキスト第５～８課を学習予定。
文法解説は前期より詳しくするものの煩雑にならない程度とし、既習文が実際に通じるかを詳細に検証する。
学生の発言機会を増やし、発音・文法を正しつつ、「聞く」「話す」に重点をおいた授業に徹する。
常用文の暗誦を義務付け、実際に「聞ける」「話せる」中国語の習得をめざす。
15．後期試験について。アンケート。

随時、日中関係など国際社会における中国の立場を検証し、現代中国の抱える諸問題についても考えてゆきたい。

テキスト

喜多山幸子・鄭幸枝『はじめまして！中国語』白水社　　※ 売店で購入

参考書・参考資料等

辞書（小学館『中日辞典』等）。電子辞書や参考書籍は随時紹介。

学生に対する評価

①試験（評価 60%）②受講姿勢（評価 20%）③既習項目の習熟度（評価 20%）

養成をめざす力

外国語を聴く力・話す力と国際感覚。

その他

聞けぬ話せぬ語学では実社会では役に立たない。簡単な挨拶文から始めるので、学生諸君には積極的に取り組む姿勢を要求したい。

科目名：中国語（上級）
学期：通年
単位数：2
担当者：土生川 正賢

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：国際的な視野をもち、中国語を使って仕事ができる人材を育成したい。
我が国の歴史・文化・伝統・政治的立場等を中国語で堂々と主張できる国際人の養成。
テ ー マ：実践的中国語　中国語で意思表示！

授業の概要

基本的には初級クラスの延長であり、受講生の語学力にあわせた個別指導を行うので安心して受講して頂きたい。

授業計画

【前期】
1．年間授業計画。初級クラスで学んだ中国語の発音と基本文型など語学力チェック。
2．初級クラスの基礎復習。発音の再チェック。辞書・参考文献の紹介。
3-8．初級クラス同様「聞く」「話す」に重点を置く。文法の基礎固めをしながら、初級クラスで未習のテキスト単元を学習。
9-14．受講生の語学力に適した教材を配布する。
学生による中国語作文発表やディクテーション強化等、実際に使える中国語の習得をめざす。
常用文の暗誦を活用し、学生個々が中国語で自己の意思表現ができるようにつとめたい。
ヒアリング能力向上のため、可能な限り中国語を用いて授業をすすめたい。
15．前期試験について。アンケート。

【後期】
1．前期既習単元と基本文型の総復習。前期試験の反省。
2-14．受講生の語学力に適した教材を配布。
学生による中国語作文発表やディクテーション強化等、前期同様実際に使える中国語の習得をめざす。
常用分の暗誦を義務付け、それを基礎として段階的に応用し、学生個々が中国語で自己の意思表現ができるようにつとめたい。各人がレベルアップを実感できるよう、可能な限り中国語を用いて授業をすすめたい。
15．後期試験について。アンケート。

年間を通して、日中関係など国際社会における中国の立場を検証。現代中国の抱える諸問題や時事問題にも言及するので、共に考えてもらいたい。

テキスト

初級クラスで用いた教科書の未修単元
今年度は喜多山幸子・鄭幸枝『はじめまして！中国語』白水社
※ 売店で購入

参考書・参考資料等

上記テキスト修了後は、その都度必要な教材・資料を配布。
辞書は毎回必携（電子辞書可）。電子辞書や参考書籍は随時紹介。

学生に対する評価

筆記試験と中国語による個別面接試験、授業中の発表やリポート、受講態度等を加味して総合的に判定。

養成をめざす力

「読・書・聴・話」の外国語総合力と国際感覚。

その他

受講生のレベルにあわせた個別指導を心がけるのでご心配なく！
諸君の先輩の中には北京大・復旦大・中山大など中国の一流の大学院に国費留学し学位取得した者もいる。井の中の蛙で終わらないでほしい。

科目名：体育実技
学期：通年
単位数：2
担当者：船橋 真亜子

授業の到達目標及びテーマ

ハンドボールの競技特性を理解し、ハンドボールを構成している基本技能・動きやルールを学習する。
その過程において、身体機能の育成、協力し合う喜びを身につける。

授業の概要

【前期】ハンドボールという団体競技を楽しみながら仲間作りと基本的技術の習得。
【後期】前期の学習内容を踏まえた上で協力しながらゲームを楽しむ。

授業計画

【前期】ハンドボール
1．指導概要についての説明
2．ルール、基本動作の徹底
3．個人的技能の習得（1）（パス）
4．個人的技能の習得（2）（パス）
5．試験（パス）
6．個人的技能の習得(1)(シュート)
7．個人的技能の習得(2)(シュート)
8．個人的技能の習得(3)(シュート)
9．試験（シュート）
10．集団的技能の習得(1)(連携プレー)
11．集団的技能の習得(2)(連携プレー)
12．集団的技能の習得(3)(連携プレー)
13．集団的技能の習得(4)(連携プレー)
14．集団的技能の習得(5)(連携プレー)
15．試験（連携プレー）

【後期】ハンドボール
1．諸注意
2．前期の復習
3．チーム作りとゲーム､技術の向上(1)
4．ゲーム、技術の向上（2）
5．ゲーム、技術の向上（3）
6．ゲーム、技術の向上（4）
7．ゲーム、技術の向上（5）
8．ゲーム、技術の向上（6）
9．ゲーム、技術の向上（7）
10．ゲーム、技術の向上（8）
11．ゲーム、技術の向上（9）
12．ゲーム、技術の向上（10）
13．ゲーム、技術の向上（11）
14．ゲーム、技術の向上（12）
15．ゲーム、技術の向上（13）

テキスト

なし

参考書・参考資料等

なし

学生に対する評価

実技試験（100%）

養成をめざす力

チームワーク、問題発見力、組織的行動能力

その他

科目名：
学期：
単位数：
担当者：

科目名
宗教思想史Ⅰ
学期
前期
単位数
2
担当者
川崎一洋

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：ヒンドゥー教の代表的な神々の姿と性格を理解する。
テ ー マ：ヒンドゥー教の神様を知る

授業の概要
ヒンドゥー教ではたくさんの神々が信仰されており、それらの神々はユニークでバラエティーに富んだ個性を有しています。また、ヒンドゥー神は密教にも取り入れられ、天部の尊として日本でも盛んに信仰されています。この講義では、ヒンドゥー神話をひもときながら、インドやネパールに残る神像や日本の密教図像を紹介しつつ、個々のヒンドゥー神の図像学的特徴と性格を学びます。

授業計画
1．オリエンテーション
2．ヒンドゥー教とヒンドゥー神話
3．ヴェーダの神々①
4．ヴェーダの神々②
5．ブラフマー
6．ヴィシュヌとその化身
7．シヴァの諸相
8．シヴァの家族
9．ヒンドゥーの女神たち
10. 天体の神々
11. その他のヒンドゥー神
12. 胎蔵曼荼羅のヒンドゥー神
13. 金剛界曼荼羅の五類諸天
14. 日本における天部信仰
15. まとめ

テキスト
なし（プリントを配布）

参考書・参考資料等
立川武蔵『ヒンドゥー神話の神々』（せりか書房）
立川武蔵･石黒淳･菱田邦男･島岩『ヒンドゥーの神々』（せりか書房）
立川武蔵『女神たちのインド』（せりか書房）

学生に対する評価
数回の課題レポート、学期末のレポートにより評価

養成をめざす力
密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性、国際感覚、想像力

その他

科目名
宗教思想史Ⅱ
学期
後期
単位数
2
担当者
川崎一洋

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：曼荼羅を、図像学のみならず宗教学の立場から考察し、その機能と象徴性を理解する。
テ ー マ：曼荼羅の理論と実践

授業の概要
密教において曼荼羅は、単なる礼拝の対象となる絵画ではなく、宗教的世界観や思想を象徴させた「悟りへ至るための補助装置」と考えることができます。この講義では､イタリアの高名な東洋学者ジュゼッペ･トゥッチが著した曼荼羅研究の古典的名著『曼荼羅の理論と実際』を読みながら、最新の研究成果も紹介しつつ、インドにおける曼荼羅の成立と展開を考察し、曼荼羅とは何か？を学びます。

授業計画
1．オリエンテーション
2．いろいろな曼荼羅を見てみよう
3．曼荼羅の思想的基盤①
4．曼荼羅の思想的基盤②
5．曼荼羅の象徴性①
6．曼荼羅の象徴性②
7．曼荼羅の象徴性③
8．曼荼羅の儀礼①
9．曼荼羅の儀礼②
10. 曼荼羅の儀礼③
11. 身体曼荼羅
12. 胎蔵曼荼羅と『大日経』の思想
13. 金剛界曼荼羅を読み解く
14. 『理趣経』の曼荼羅を読み解く
15. まとめ

テキスト
ジュゼッペ・トゥッチ著・ロルフ・ギーブル訳
『マンダラの理論と実践』（平河出版社）

参考書・参考資料等
マルティン・ブラウエン著・森雅秀訳『曼荼羅大全』（東洋書林）
立川武蔵編『マンダラ宇宙論』（法藏館）
立川武蔵編『曼荼羅と輪廻』（佼成出版社）
森雅秀『マンダラの密教儀礼』（春秋社） など

学生に対する評価
数回の課題レポート、学期末のレポートにより評価

養成をめざす力
密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性、想像力

その他

科目名
心の科学Ⅰ1（別）
学期
前期
単位数
2
担当者
戸來知子

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：心理学の基本的な知識を習得する。
テ ー マ：フロイトに始まる心理学の系譜に沿って、 自我心理学や発達心理学を中心に心理学を理解する。

授業の概要
この授業では、心理学全般について紹介する。フロイト由来の自我心理学や発達心理学を中心にして、人間の心の成長を考える。人間存在の実相を概観しながら、心のしくみとその成長のプロセスを理解する。

授業計画
1．オリエンテーション、授業計画の説明、心理学の歴史とその全体的な枠組みを紹介する。
2．実験心理学、発達心理学、社会心理学、臨床心理学など、心理学の多様性とその関連性。フロイトの思想とその人生について。
3．フロイトの心的構造論について。自我、エス、超自我など基本的な用語の理解。
4．フロイトの考えた意識・無意識の理論、リビドー、タナトスという概念について。
5．心的外傷理論、エディプスコンプレックスなど、フロイト由来の様々な概念について。
6．ユング心理学の紹介。ユングの生い立ち。コンプレックスの捉え方など。
7．ユング心理学の独創性について。アニマ・アニムス。ペルソナなどについて。
8．エリクソンのライフサイクル論について（その１）エリクソンの人生と研究について。乳児期、幼児期初期、児童期。
9．エリクソンのライフサイクル論について（その２）、青年期、前成人期、アイデンティティ考察。
10. エリクソンのライフサイクル論について（その３）、成年期、老年期。超高齢期。
11. ピアジェの子どもの発達理論の紹介。発生的認識論、シェマという捉え方について。
12. ピアジェの発達段階について。
13. コールバーグの道徳性心理学の紹介。自尊感情、正義、倫理観の発達。
14. ノディングスの「ケアリング」論、「善い」と「正しい」の関連性。
15. まとめ。授業を振り返り、疑問点等、復習する。

テキスト
特に指定しない。授業の中で適宜、プリントを配布する。

参考書・参考資料等
小此木啓吾著『フロイト思想のキーワード』講談社現代新書
放送大学テキスト
『精神分析とユング心理学』『心理学概論』
他は授業中に紹介する。

学生に対する評価
授業中の小レポートを学期末試験の 10%として加算する。

養成をめざす力
論理性、問題発見力、問題解決力

その他
毎回、出席をとる。配布した資料や参考文献を必ず読むこと。

科目名
心の科学Ⅱ2（別）
学期
後期
単位数
2
担当者
戸來知子

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：心理学とは、どのような学問かを理解し、その基本的な知識を習得する。カウンセリングの理論の基礎知識を学ぶ。
テ ー マ：フロイト由来の心理学から派生した、様々な心理学の理論を学ぶ。 臨床心理学やカウンセリングの分野を中心に学ぶ。

授業の概要
前期の「心理学１」に続く授業とする。臨床心理学やカウンセリングの基礎となっている心理学を学習する。また、人間の心の概念の他、性格や人格についても学習する。

授業計画
1．オリエンテーション。授業の進め方、授業計画。心理学の歴史とその全体像の紹介。
2．様々な心理学の紹介。現在の臨床心理学の成り立ちについて。
3．人間の心についての理解。フロイトやユングの心の概念。
4．マズローの自己実現の理論の紹介。
5．ロジャースのカウンセリングの理論（その１）
6．ロジャースのカウンセリング理論（その２）
7．ロジャースのカウンセリング理論（その３）
8．認知行動療法など、様々な心理療法について。
9．アドラー心理学の基礎理論の紹介。（その１）
10. アドラー心理学の基礎理論の紹介。（その２）
11. オールポートの人格心理学について。
12. パーソナリティーの障害について。
13. アダルトチルドレン、境界性人格障害について。
14. エリスの論理療法の紹介。
15. まとめ。疑問点の再確認等。

テキスト
特に指定しない。授業の中で適宜、プリントを配布する。

参考書・参考資料等
放送大学テキスト
『臨床心理学特論』（改訂新版）
『心理学カウンセリング序説』（改訂新版）

学生に対する評価
授業中の小レポートを学期末試験の 10%として加算する。

養成をめざす力
論理性、問題発見力、問題解決力

その他
毎回、出席をとる。理解を深めるために、授業中に配布する資料を必ず読むこと。

科目名	社会学Ⅰ
学期	前期
単位数	2
担当者	藤吉圭二

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：・社会学が蓄積してきた基本的な思考スタイルに触れる。
・参考文献を正確に書き写す力をつける。
テ ー マ：・自己・他者・関係

授業の概要
テキストには 20 ほどの社会学者が取り上げられている。これらのうちいくつかを選び、社会学の基本的な問題意識と関連させつつ、その内容を解説していく。

授業計画
1．ガイダンス
2．行為と演技（1）
3．行為と演技（2）
4．行為と演技（3）
5．自己と他者（1）
6．自己と他者（2）
7．自己と他者（3）
8．意味と現実（1）
9．意味と現実（2）
10．意味と現実（3）
11．関係の力学（1）
12．関係の力学（2）
13．言語とコミュニケーション（1）
14．言語とコミュニケーション（2）
15．まとめ

テキスト
井上俊・伊藤公雄編『自己・他者・関係』
（社会学ベーシックス 1）世界思想社、2000 円程度。
※ 書店などで購入しておくこと。

参考書・参考資料等
バーガー（薗田稔訳）『聖なる天蓋 神聖世界の社会学』新曜社（1979）
※ 図書館で借りてみるとよろしい。

学生に対する評価
・毎回の授業時に実施する小テスト…50 点
・定期試験…50 点
※ 詳細はガイダンスで説明する。

養成をめざす力
読む力、書く力

その他
・テキストを購入しておくこと（試験でも使用する）。
・初回に配布するガイダンスプリントを必ず入手しておくこと。
・テキストを持参しない者は著しい不利をこうむることがある。

科目名	社会学Ⅱ
学期	後期
単位数	2
担当者	藤吉圭二

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：・現代文化の諸現象を社会学的視点から分析するトレーニングを積む。
・参考文献を正確に書き写す力をつける。
テ ー マ：現代文化の社会学

授業の概要
テキストには現代社会を考えるうえで重要な 15 ほどの文化現象が取り上げられ、その意義やそれを考察するための社会学的視点が紹介されている。これらのうちいくつかを選び、解説していく。

授業計画
1．ガイダンス
2．流行としての現代文化（1）
3．流行としての現代文化（2）
4．流行としての現代文化（3）
5．流行としての現代文化（4）
6．流行としての現代文化（5）
7．民俗としての現代文化（1）
8．民俗としての現代文化（2）
9．民俗としての現代文化（3）
10．民俗としての現代文化（4）
11．変容する現代文化（1）
12．変容する現代文化（2）
13．変容する現代文化（3）
14．変容する現代文化（4）
15．まとめ

テキスト
小川伸彦・山 泰幸編『現代文化の社会学 入門』
ミネルヴァ書房、3000 円程度。
※ 書店などで購入しておくこと。

参考書・参考資料等
宮本常一『忘れられた日本人 宮本常一著作集』未來社（1971）
※ 図書館で借りてみるとよろしい。

学生に対する評価
・毎回の授業時に実施する小テスト…50 点
・定期試験…50 点
※ 詳細はガイダンスで説明する。

養成をめざす力
読む力、書く力

その他
・テキストを購入しておくこと（試験でも使用する）。
・初回に配布するガイダンスプリントを必ず入手しておくこと。
・テキストを持参しない者は著しい不利をこうむることがある。

科目名	日本文学Ⅰ
学期	前期
単位数	2
担当者	浜畑圭吾

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：説話の構造を理解し、その面白さを知る。
テ ー マ：説話の魅力

授業の概要
『発心集』巻 1 と巻 2 を読む。毎回いくつかの説話をとりあげ、その魅力について考えてみる。その際、それぞれの説話の背景にも触れる。

授業計画
1．ガイダンス
2．巻 1 を読む①（玄敏僧都）
3．巻 1 を読む②（平等供奉と千観内供）
4．巻 1 を読む③（僧賀上人と南筑紫上人）
5．巻 1 を読む④（教懐上人と大江佐国、仏種房）
6．巻 1 を読む⑤（天王寺の聖と高野の上人）
7．巻 1 を読む⑥（藤原顕能）
8．巻 2 を読む①（安居院聖と永観律師）
9．巻 2 を読む②（寂心と寂照、仙命）
10．巻 2 を読む③（楽西上人）
11．巻 2 を読む④（相真と真浄房）
12．巻 2 を読む⑤（前滝口助重と橘守助）
13．巻 2 を読む⑥（念仏聖と老翁、善導）
14．『発心集』の時代
15．まとめ

テキスト
教員が用意する。

参考書・参考資料等
小峰和明『中世日本の予言書』（岩波新書）

学生に対する評価
毎回のリアクションペーパー（50%）、レポート（50%）

養成をめざす力
日本語を読む力、問題発見力、想像力

その他
私語厳禁。

科目名	日本文学Ⅱ
学期	後期
単位数	2
担当者	浜畑圭吾

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：児童文学の魅力を知る。この講義をきっかけにして、様々な近現代文学を読んでもらいたい。
テ ー マ：児童文学の魅力

授業の概要
大正時代、多くの作家が児童文学を執筆しているが、その中には文学性が高く評価されているものもある。本講義ではそのうちのいくつかをとりあげ、その魅力について考えてみたい。

授業計画
1．ガイダンス
2．児童文学と『赤い鳥』
3．児童文学を読む①
4．児童文学を読む②
5．児童文学を読む③
6．児童文学を読む④
7．児童文学を読む⑤
8．児童文学を読む⑥
9．児童文学を読む⑦
10．児童文学を読む⑧
11．児童文学を読む⑨
12．児童文学を読む⑩
13．児童文学を読む⑪
14．児童文学を読む⑫
15．まとめ

テキスト
教員が用意する。

参考書・参考資料等
数研出版『クリアカラー国語便覧』

学生に対する評価
毎回のリアクションペーパー（50%）、レポート（50%）

養成をめざす力
日本語を読む力、問題発見力、想像力

その他
私語厳禁。

科目名：国文法Ⅰ
学期：前期
単位数：2
担当者：下西忠

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：古文を正しく解釈できるように、古典（文語）文法の正しい知識を得ること。
テ ー マ：用言の活用

授業の概要
文語文法（古典文法）の知識を習得する。前期はおもに用言、つまり述語になる動詞・形容詞・形容動詞の活用とその種類を中心にそれぞれの品詞の特質を考える。

授業計画
1．古典文法は何のために学ぶのか
2．文語文法と口語文法のちがい
3．文節とはなにか
4．動詞とはどのような品詞か　自動詞と他動詞
5．動詞の活用（1）四段活用
6．動詞の活用（2）上一段活用と上二段活用
7．動詞の活用（3）下一段活用と下二段活用
8．動詞の活用（4）変格活用　ナ変とラ変
9．動詞の活用（5）変格活用　サ変とカ変
10. 形容詞とはどのような品詞か
11. 形容詞のク活用とシク活用
12. 形容動詞とはどのような品詞か
13. ナリ活用とタリ活用
14. 用言の総合問題
15. まとめ

テキスト
教員が作成した教材を配布する。

参考書・参考資料等
（1）高校で使用した「古典文法」の本（どこの出版社のものでも可）
（2）古語辞書（電子辞書でも可）

学生に対する評価
（1）定期試験（50%）
（2）2回の小テスト（50%）

養成をめざす力
論理性、問題発見力、問題解決力

その他
受講者についてはとくに限定しないが、国語の教育免許状を取得しようとする学生は必ず受講してください。

科目名：国文法Ⅱ
学期：後期
単位数：2
担当者：下西忠

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：助動詞の正しい知識と敬語の基礎、とりわけ敬意の対象を理解すること。
テ ー マ：文語の助動詞と敬語法

授業の概要
古典（漢文もふくめて）を正しく解釈するためには、古典文法の正しい知識は必須条件である。
とくに助動詞の知識は大切である。接続・活用形などの正しい理解に注意しながら、丁寧に講義をすすめていく。途中で理解度を確かめる意味で小テストを3回、また敬語の基礎も1回の小テストを実施する。

授業計画
1．助動詞とはどのようなものか
2．受身・尊敬・自発・可能の助動詞 「る」「らる」、打消「ず」、打消推量の助動詞「じ」
3．使役･尊敬の助動詞 「す」「さす」「しむ」､願望の助動詞「まほし」
4．推量の助動詞（1）「む」「けむ」「らむ」
5．推量の助動詞（2）「らし」「めり」、反実仮想「まし」
6．推量の助動詞（3）「べし」
7．完了の助動詞（1）「つ」「ぬ」
8．完了の助動詞（2）「たり」「り」
9．過去の助動詞「き」「けり」、願望の助動詞「たし」
10. 伝聞・推定の助動詞「なり」
11. 断定の助動詞「なり」「たり」、比況の助動詞「ごとし」
12. 敬語の基礎　尊敬語・謙譲語・丁寧語とはどのようなものか
13. 敬意の主体と対象
14.「給ふ」「奉る」「聞こゆ」の識別
15. 敬語の課題

テキスト
教員が作成した教材を配布する。

参考書・参考資料等
（1）高校で使用した「古典文法」の本（どこの出版社のものでも可）
（2）古語辞書（電子辞書でも可）

学生に対する評価
（1）4回の小テスト（80%）
（2）定期試験（20%）

養成をめざす力
論理性、問題発見力、問題解決力

その他
受講生についてはとくに限定しないが、国語の教育免許状を取得しようとする学生は必ず受講してください。

科目名：国語学Ⅰ
学期：前期
単位数：2
担当者：上田恭寿

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：言語としての日本語について基本的な理解を深める。
テ ー マ：言語としての日本語

授業の概要
テキストに使う、藤田（2010）に沿って、日本語についての基礎的な講義を行う。授業は、原則的に講義形式とするが、できる限り、都度の小課題等、受講者に積極的に参加してもらう。

授業計画
1．言語と人間　二重分節性、言語の機能（1）
2．　　同（2）
3．日本語の音声・音韻　音声と音韻、単音の分類、母音（1）
4．　　同（2）
5．日本語の音声・音韻　音声器官、子音の基本事項（1）
6．　　同（2）
7．日本語の音声・音韻　清濁、拗音（1）
8．　　同（2）
9．日本語の音声･音韻　拍と音節､特殊拍､アクセントとその役割（1）
10. 　　同（2）
11. 日本語の文字表記　日本語の表記の特色、漢字の将来（1）
12. 　　同（2）
13. 日本語の文字表記　漢字の構造と用法（六書）､音と訓､国字･国訓（1）
14. 　　同（2）
15. 日本語の文字表記　平仮名・片仮名、ローマ字

テキスト
藤田保幸『緑の日本語』和泉書店、2010年　売店で購入

参考書・参考資料等
ジョージ･ユール『現代言語学20章－言葉の科学－』（大修館書店）
小泉保『教養のための言語学コース』（大修館書店）
他は授業中に紹介。

学生に対する評価
都度の課題（30%）、ディスカッションへの参加度（10%）、および期末の試験（60%）による。

養成をめざす力
問題発見力、日本語の基礎知識

その他
授業の進行の都合により、一部の変更があり得る。

科目名：国語学Ⅱ
学期：後期
単位数：2
担当者：上田恭寿

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：言語としての日本語について基本的な理解を深める。
テ ー マ：言語としての日本語

授業の概要
テキストに使う、藤田（2010）に沿って、日本語についての基礎的な内容を講義する。授業は、原則的に講義形式とするが、できる限り、都度の小課題等、受講者に積極的に参加してもらうようにする。

授業計画
1．日本語の語彙　語彙の概念、語彙量、理解語彙等、語彙調査（1）
2．　　同（2）
3．日本語の語彙　語種（和語・漢語・外来語）（1）
4．　　同（2）
5．日本語の語彙　語彙と位相（位相とは、女性語、隠語）（1）
6．　　同（2）
7．本語の文法　学校文法とその限界、文法と言語生活（1）
8．　　同（2）
9．日本語の文法　現代の文法の考え方､隣接分野としての語用論（1）
10. 　　同（2）
11. 日本語の方言　方言とは、東西差、方言区画、方言周圏論（1）
12. 　　同（2）
13. 日本語の位置　世界の中の日本語の位置、日本語の特質（1）
14. 　　同（2）
15. まとめ

テキスト
藤田保幸、『緑の日本語教本』、和泉書店、2010年　売店で購入

参考書・参考資料等
ジョージ･ユール､『現代言語学20章－言葉の科学－』（大修館書店）
小泉保、『教養のための言語学コース』（大修館書店）
他は授業中に紹介。

学生に対する評価
都度の課題（30%）、ディスカッションへの参加度（10%）、および期末の試験（60%）による。

養成をめざす力
問題発見力、日本語の基礎知識

その他
授業の進行の都合により、一部の変更があり得る。

科目名	現代の人権と福祉（別）
学期	後期
単位数	2
担当者	竹村和也

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：現代において特に論争の焦点となっている法的権利について、その法的背景なども視野に入れた上で理解すること、及び批判的思考ができること。
テ ー マ：現代社会における人権

授業の概要

授業はパワーポイントを利用し講義形式とします。
現代社会においては憲法に規定された従来の伝統的な人権の枠組みでは捉えきれない新たな人権が重要となってきています。本講義は、憲法上の権利、特に新しい人権と、権利の現代的展開に焦点を当てながら、法的な側面から現代社会を理解しようとする試みです。

授業計画

社会において現代の人権と関わる新たな法的問題が発生すれば、それを優先的に扱いますし、参加する学生諸君の関心にもなるべく、応えていこうと思いますので、適宜変更の可能性があります。

1．イントロダクション（人権概念）
2．国際的人権保障（紛争と人権）
3．国際的人権保障（国際的な人権保障の枠組み）①
4．国際的人権保障（国際的な人権保障の枠組み）②
5．憲法総論（幸福追求権・自己決定権）
6．医療における自己決定権（治療選択の権利・死ぬ権利）
7．新たな医療技術とそれを用いる権利（子どもを産む権利）①
8．新たな医療技術とそれを用いる権利（子どもを産む権利）②
9．臓器移植と臓器の売買？
10. クローン技術規制法
11. 人の選別と優生思想（選択的堕胎と受精卵診断）①
12. 人の選別と優生思想（選択的堕胎と受精卵診断）②
13. 公害問題と環境権（日本の環境保護法制）
14. 地球温暖化問題と京都議定書（国際社会の取り組み）

テキスト

特に指定しない。

参考書・参考資料等

竹下賢・沼口智則・角田猛之・竹村和也『入門法学』（第四版）2014 年

学生に対する評価

定期試験もしくは最終レポートにより（60%）、授業中のミニッツ・ペーパーや（行った場合には）持ち帰りの課題提出、授業への積極的な参加により（40%）
授業参加は単位取得の必要条件であり、十分条件ではありません。
授業に真剣に参加していない学生には別途個別に課題を課す場合があります。

養成をめざす力

論理性、議論する力

その他

受講者は（あるいは大学生はそもそも）新聞や毎日のニュースに関心を持つことが必要です。

科目名	日本国憲法
学期	後期
単位数	2
担当者	竹村和也

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：憲法の基本的な枠組みと幾つかの権利に関して基本的な理解を得ること、及び批判的な思考ができること。
テ ー マ：憲法と人権

授業の概要

憲法は国の基本的なあり方を定めた法であり、また守るべき理念や価値を定めた法です。本講義では憲法の中の人権規定とそれに関連するほかの法分野について、特に現代社会において問題となっている権利に焦点を当てます。特に、裁判員制度の開始を迎え刑事裁判に社会の関心があつまり、また、この数年冤罪問題がクローズアップされるなか、捜査・裁判における人権に焦点を当てる予定です。さらに、家族関係における平等の問題も取り扱う予定です。

授業計画

社会的に注目される新たな法的問題が発生すれば、それを優先的に扱いますし、進度により適宜変更の可能性はありますから、あくまで目安として、

1．イントロダクション（近代憲法と立憲主義）
2．刑事司法の過程と身体的自由権（捜査と被疑者の権利）①
3．刑事司法の過程と身体的自由権（捜査と被疑者の権利）②
4．刑事司法の過程と身体的自由権（裁判と被告人の権利）①
5．刑事司法の過程と身体的自由権（裁判と被告人の権利）②
6．国民の司法参加①
7．国民の司法参加②
8．裁判員制度①
9．裁判員制度②
10. 財産権と私法①
11. 財産権と私法②
12. 平等権と家族①
13. 平等権と家族②
14. 予備

テキスト

特に指定しない。

参考書・参考資料等

竹下賢・沼口智則・角田猛之・竹村和也『入門法学』（第四版）2014 年

学生に対する評価

定期試験により（60%）授業中のミニッツ・ペーパーや（行った場合には）小テスト、及び授業への積極的な参加により（40%）
（昨年度は、学期途中で前半の試験、学期末に後半の試験と、２度の試験を実施しています。）
授業参加は単位取得の必要条件であり、十分条件ではありません。
授業に真剣に参加していない学生には別途個別に課題を課す場合があります。

養成をめざす力

論理性、批判的思考力

その他

受講者は（あるいは大学生はそもそも）新聞や毎日のニュースに関心を持つことが必要です。

科目名	情報処理
学期	通年
単位数	2
担当者	野口博司

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：
【前期】各自がホームページを公開して、管理、更新を行うこと。
【後期】プレゼンテーションの計画能力とパワーポイントのスキルの習得。
テ ー マ：コンピュータにおける情報の編集と発信についてのスキルを養成する。

授業の概要

【前期】情報処理演習室（パソコン教室）でホームページ制作を行い、情報の発信の方法に習熟する。　（制作の過程で画像処理・動画系アプリケーションなどのスキルを習得する。）
【後期】パワーポイントを用いたプレゼンテーションの方法に習熟する。（制作の過程で画像処理・動画系アプリケーションなどのスキルを習得する。）

授業計画

【前期】	【後期】
1．ガイダンス	1．ガイダンス
2．画像処理基礎	2．動画処理基礎
3．画像処理基礎	3．動画処理基礎
4．画像処理基礎	4．パワーポイント基礎（1）
5．動画処理基礎	5．パワーポイント基礎（2）
6．動画処理基礎	6．パワーポイント基礎（3）
7．ホームページ制作（1）	7．プレゼン計画 原稿･素材制作(1)
8．ホームページ制作（2）	8．プレゼン計画 原稿･素材制作(2)
9．ホームページ制作（3）	9．パワーポイント 制作（1）
10. ホームページ制作（4）	10. パワーポイント 制作（2）
11. ホームページ制作（5）	11. パワーポイント 制作（3）
12. ホームページ制作（6）	12. パワーポイント 制作（4）
13. ホームページ制作（7）	13. パワーポイント 制作（5）
14. 完成プレゼンテーション(1)	14. 完成　プレゼンテーション(1)
15. 完成プレゼンテーション(2)	15. 完成　プレゼンテーション(2)

テキスト

必要に応じ授業中にプリントを配布する。

参考書・参考資料等

IT スキルの本はいろいろ出ているので自分の読みやすいものを見つけて１冊もっておくとよい。

学生に対する評価

通年評価：ホームページ35点、パワーポイント35点 、プレゼンテーション30点
※詳細はガイダンスで説明する。

養成をめざす力

情報技術（IT）、論理性、創造力

その他

使用予定アプリケーション
【前期】: BiND for WebLiFE 6　（WEB制作）
LiFE with for PhotCinema 3　（動画制作）
【後期】: PowerPoint （プレゼンテーションソフト）
ドロー・レタッチ系ソフト

科目名	梵字悉曇（別）
学期	通年
単位数	2
担当者	齋藤天譽

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：
【前期】梵字悉曇の基礎知識の修得
【後期】梵字悉曇（応用編）・真言、陀羅尼の書法実践
テ ー マ：
【前期】梵字悉曇の基礎知識
【後期】梵字悉曇の応用

授業の概要

【前期】摩多・体文・切継など、書法を実践しながら基礎知識を修得する。
【後期】前期で修得した文字を基本に、常用経典にある真言・陀羅尼を学び、その書法を実践する。

授業計画

【前期】		【後期】	
1．年間授業計画の説明		1．	
2．梵字悉曇の歴史と筆記用具（1）		2．	
3．梵字悉曇の歴史と筆記用具（2）		3．	
4．		4．	
5．		5．	・文字の修得（13）～（22）
6．		6．	
7．		7．	
8．	文字の修得（1）～（12）	8．	
9．	字母五十一字（摩多・体文）	9．	
10.	悉曇十八章（切継について）	10.	
11.		11.	・常用経典所載の真言・陀羅尼
12.		12.	・塔婆の書様
13.		13.	・葬儀に用いる梵字
14.		14.	
15.		15.	以上の書法を実践する。

テキスト

児玉義隆著『梵字必携』朱鷺書房　「売店」で購入
中川善教編『真言宗常用諸経要聚』「中本名玉堂」か「売店」で購入

参考書・参考資料等

静慈圓著『梵字悉曇』朱鷺書房

学生に対する評価

作品提出 100%　「毎回の授業時に提出する作品」

養成をめざす力

密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性、外国語を書く力

その他

筆と半紙を準備（授業の最初に説明します）

科目名：常用経典（別）
学期：通年
単位数：2
担当者：宮田永明

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：『理趣経』、『観音経』、『梵網経』、梵網経、礼懺、三陀羅尼、般若心経、立義分、諸真言等が読誦できる様に務めます。
テ ー マ：真言宗の常用経典の読誦法（お経の読み方）の習得（他）

授業の概要
『理趣経』、『観音経』、『梵網経』を中心に、寺院日常の勤行・法要などに用いる諸経典の読誦法を習得し、順次『般若心経』や『立義分』など短い偈文などを暗誦できるように務めます。
『真言宗常用諸経要聚』等の経典に用いられている仏教用語の基礎的理解を助け、経典が描く仏教・密教的世界観が理解しやすくなるようなるべく簡単に用語の概説をおこないます。
また、僧侶志望者の必要性を鑑み、四度加行に用いる『観音経』、『梵網経』『金胎礼懺』「三陀羅尼」『梵讃』に務めます。

授業計画
【前期】
『真言宗常用諸経要聚』に収録される経典や偈文の読誦法を順次教授し、稽古します。また、読誦する経典や偈文の内容（意味）基礎的知識を簡単に概説します。
僧侶志望者の必要性を鑑み、四度加行に用いる『金胎礼懺』「三陀羅尼」『諸真言』読誦に務めます。
1「開経偈」、2「懺悔文」3「回向文」4『礼文』5『般若心経』、6「立義分」7『観音経』8『梵網経』9『理趣経』
10「三陀羅尼」、11『九条錫杖』12「舎利礼」13『梵讃』

【後期】
『理趣経』を中心に、前期に学んだ諸経典の読誦の稽古を、引き続き行います。
僧侶志望者の必要性を鑑み、四度加行に用いる『金胎礼懺』「三陀羅尼」『諸真言』読誦に務めます。

テキスト
中川善教編『真言宗常用諸経要聚』
その他、資料を配布する。

参考書・参考資料等
必要に応じて講義の中で指示します。

学生に対する評価
授業態度（30%）、実技（70%）

養成をめざす力
経典の仏教用語・密教的理解を助け、用語の理解を促します。
経典の読誦の仕方、読経の協調性を着け日々の誦経に資するようにします。

その他
講義には、念珠と輪袈裟、中川善教編『真言宗常用諸経要聚』を持参してください。
また、伽藍の金堂で開壇される「結縁灌頂」に入壇することを原則として義務付けます。

科目名：声明（別）
学期：通年
単位数：2
担当者：辻秀道

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：基本の法要となる「理趣三昧法会」に使われる声明を研鑽する
テ ー マ：僧侶として必ず必要な声明を基礎から学ぼう

授業の概要
日本音楽の基礎となった仏教音楽の「声明」。我々が法要などで用いる「南山進流」声明を基礎（楽理を含む）の導入部分から学ぶ。

授業計画

【前期】	【後期】
1．声明の楽譜、音階、唱え方（旋律型）の解説及びオリエンテーション	1、散華（二段目）
2．三　礼・	2．散華（三段目）
3．四智梵語	3．散華（三段目）
4．四智梵語・	4．対　揚
5．大日讃	5．対　揚
6．大日讃・	6．対　揚
7．不動讃	7．対　揚
8．四智漢語	8．唱　礼　（金剛界）
9．四智漢語・心略漢語	9．唱　礼
10．心略漢語・	10．唱　礼
11．仏　讃	11．唱　礼
12．仏　讃	12．理趣経（中曲）
13．散華（初段目）	13．理趣経（中曲）
14．散華（初段目）	14．理趣経（中曲）
15．散華（二段目）	15．理趣経（中曲）

テキスト
宮野宥智編　『南山進流声明類聚・附伽陀』
（注、必ず同一内容の声明類聚で、できるだけ新しく購入したものを準備する事）

参考書・参考資料等
小山公淳著　『真言宗法儀解説』※ 売店で購入可

学生に対する評価
授業中の発表・習熟度（30%）　期末試験（70%）

養成をめざす力
密教仏教の基礎力と専門性、声明の基礎力、声明を唱える力

その他
筆記用具は鉛筆（シャープペンシル）等、後で修正出来る筆記用具を必ず持参すること。

科目名：法式（別）
学期：通年
単位数：2
担当者：中西雄泰

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：僧侶としての基礎を学ぶ
テ ー マ：道場荘厳の基礎

授業の概要
真言宗の僧侶として必要な道場荘厳の基礎知識と道場荘厳の意識を解説する。

授業計画

【前期】	【後期】
1．講義内容の説明	1．講義内容の説明
2．道場荘厳の解説並びに六種供養について（1）	2．坦荘厳の解説（1）
3．道場荘厳の解説並びに六種供養について（2）	3．坦荘厳の解説（2）
4．道場荘厳の解説並びに六種供養について（3）	4．坦荘厳の解説（3）
5．道場荘厳の解説並びに六種供養について（4）	5．坦荘厳の解説（4）
6．道場荘厳の解説並びに六種供養について（5）	6．坦荘厳の解説（5）
7．道場荘厳の解説並びに六種供養について（6）	7．坦荘厳の解説（6）
8．道場荘厳の解説並びに六種供養について（7）	8．坦荘厳の解説（7）
9．道場荘厳の解説並びに六種供養について（8）	9．坦荘厳の解説（8）
10．道場荘厳の解説並びに六種供養について（9）	10．坦荘厳の解説（9）
11．道場荘厳の解説並びに六種供養について（10）	11．坦荘厳の解説（10）
12．道場荘厳の解説並びに六種供養について（11）	12．坦荘厳の解説（11）
13．道場荘厳の解説並びに六種供養について（12）	13．山内緒法会の解説（1）
14．道場荘厳の解説並びに六種供養について（13）	14．山内緒法会の解説（2）
15、前期試験	15．後期試験

テキスト
大山公淳著『真言宗法儀解説』　　他コピーを配布

参考書・参考資料等

学生に対する評価
定期試験（80%）　授業参加の積極性（20%）

養成をめざす力
密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性、日本語を読む力

その他

科目名：布教（別）
学期：通年
単位数：2
担当者：近藤堯寛

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：布教原理の学習と布教実習の体験を通して教化伝道の重要性を認識する。
テ ー マ：布教の基本を学ぶ。

授業の概要
本講義は布教初心者のための科目である。布教の知識と方法を身につけて真言僧侶の自覚を図る。

授業計画

【前期】	【後期】
1．布教の精神と目的	1．釈尊の聖語を学ぶ
2．布教の原理	2．大師の聖語を学ぶ①
3．釈尊説法と経典成立	3．大師の聖語を学ぶ②
4．真言布教とは何か	4．布教実習（発表）
5．宗意安心	5．布教実習（発表）
6．信心の十義	6．布教実習（発表）
7．布教の方法と種類	7．布教実習（発表）
8．布教実践の見学	8．布教実習（発表）
9．資料の集め方	9．布教実習（発表）
10．教材の整理・分類	10．布教実習（発表）
11．原稿の書き方	11．布教実習（発表）
12．滑稽法と悲哀法	12．布教実習（発表）
13．威儀・態度・発声法	13．布教の失敗談
14．布教の練習①	14．般若心経の布教
15．布教の練習②	15．講義の総括

テキスト
寺河俊海著『現代布教の理論と実際』高野山出版社
※ 売店で購入可

参考書・参考資料等
空海名言辞典・配布プリント

学生に対する評価
レポート（文書布教）・布教実習（発表）（50%）　授業時の態度（50%）で評価する

養成をめざす力
文章を書く力・聴く力・話す力

その他

科目名：宗教学Ⅰ 世界の宗教1（別）
学期：前期
単位数：2
担当者：川﨑一洋

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：ネパール仏教の特質を探りながら、東洋人の宗教観を理解する。
テ ー マ：ネパール仏教を学ぶ

授業の概要
ネパールのカトマンドゥ盆地では、仏教とヒンドゥー教が混在して信仰され、独特の宗教形態を形成しています。この講義では、その実態を紹介しながら、チベット仏教などと比較しつつ、ネパール仏教の特質を明らかにします。

授業計画
1．オリエンテーション
2．ネパールはどんな国か？
3．インドの仏教史概観
4．チベットの仏教史概観
5．ネパールの仏教史①
6．ネパールの仏教史②
7．カトマンドゥ盆地の仏教寺院①
8．カトマンドゥ盆地の仏教寺院②
9．ネパールの仏教聖地
10. ネパール仏教の儀礼と行事①
11. ネパール仏教の儀礼と行事②
12. ネパール仏教の尊格と美術
13. ヒンドゥーの神々
14. ネパールに残る仏教文献資料
15. まとめ

テキスト
田中公明・吉崎一美『ネパール仏教』（春秋社）

参考書・参考資料等
立川武蔵『インド・ネパール　聖なるものへの旅』（人文書院）
日本ネパール協会編『ネパールを知るための 60 章』（日本ネパール協会）　など

学生に対する評価
数回の課題レポート、学期末のレポートにより評価

養成をめざす力
密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性、国際感覚

その他
ネパールに旅行されることをおすすめします。

科目名：宗教学Ⅱ 世界の宗教2（別）
学期：後期
単位数：2
担当者：川﨑一洋

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：さまざまな宗教の死生観を理解する。
テ ー マ：死後の世界を考える

授業の概要
この講義で教科書に使用する『大師はいまだおわしますか』は、高野山・蓮華定院の住職である添田隆昭師が、弘法大師の入定信仰を出発点として、「死後の世界」について調査、思索された記録です。
講義では、『大師はいまだおわしますか』を読みながら、西洋人、東洋人、そして日本人の死生観を考えます。
仏教者（仏教の僧侶）がお葬式に臨む姿勢、葬儀の意義についても考えます。

授業計画
1．オリエンテーション
2．弘法大師の霊験譚
3．弘法大師の入定信仰
4．西洋人の臨死体験
5．東洋人の臨死体験
6．閻魔王（ヤマ）について
7．輪廻転生説のゆくえ
8．中国で成立した『盂蘭盆経』
9．日本人の「あの世」①
10. 日本人の「あの世」②
11. 日本人にとって仏教とは①
12. 日本人にとって仏教とは②
13. 葬式仏教を考える
14. 死者の行方
15. まとめ

テキスト
添田隆昭『大師はいまだおわしますか』（高野山出版社）

参考書・参考資料等
梶山雄一『「さとり」と「廻向」』（人文書院）
同　『輪廻の思想』（人文書院）　など

学生に対する評価
数回の課題レポート、学期末のレポートにより評価

養成をめざす力
密教仏教の専門性、問題発見力、道徳性、日本語を読む力

その他
教科書に使用する『大師はいまだおわしますか』では、洋の東西を問わず、たくさんの文献や書籍が参照されていますので、できるだけそれらに目を通すようにしてください。

科目名：宗教史Ⅰ 宗教の歴史1（別）
学期：前期
単位数：2
担当者：川﨑一洋

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：インド後期密教のさまざまな聖典の概要を把握し、その成立の基盤にあるインドの思想を学ぶ。
テ ー マ：インド後期密教入門

授業の概要
弘法大師によって日本に伝えられた『大日経』と『金剛頂経』を中心とする中期密教は、その後（8 世紀以降）のインドにおいて後期密教へと展開し、タントラと呼ばれる数多くの聖典が誕生しました。この講義では、代表的な後期密教の聖典を紹介しながら、それらの聖典の成立の過程や基盤となった思想を考察します。

授業計画
1．オリエンテーション（インド密教史概観）
2．『大日経』と『真実摂経』
3．『金剛頂経』の展開（瑜伽タントラに属する聖典）
4．『秘密集会タントラ』①
5．『秘密集会タントラ』②
6．その他の父タントラ系聖典
7．『理趣経』と『サマーヨーガ・タントラ』
8．『ヘーヴァジュラ・タントラ』
9．『チャクラサンヴァラ』系のタントラ①
10. 『チャクラサンヴァラ』系のタントラ②
11. 『チャトゥシュピータ・タントラ』
12. 『カーラチャクラ・タントラ』
13. その他の母タントラ系聖典
14. インド後期密教に属するその他の文献
15. 現在の後期密教研究の状況と今後の展望

テキスト
なし（プリントを配布）

参考書・参考資料等
松長有慶編『インド後期密教』〔上〕、同〔下〕（春秋社）
立川武蔵・頼富本宏編『インド密教（シリーズ密教 1）』（春秋社）
田中公明『性と死の密教』（春秋社）　など

学生に対する評価
数回の課題レポート、学期末のレポートにより評価

養成をめざす力
密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性、想像力

その他
インド密教史（密教史概説Ⅰ）の講義をすでに受講していることが望ましい。

科目名：宗教史Ⅱ 宗教の歴史2（別）
学期：後期
単位数：2
担当者：川﨑一洋

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：四国遍路の歴史を学ぶことにより、宗教における巡礼の目的や意義を理解する。
テ ー マ：四国遍路の歴史を学ぶ

授業の概要
平成 26 年、四国では、四国霊場開創 1200 年の行事が催されます。
この講義では、弘法大師によって開かれたといわれる霊場を巡る四国遍路の歴史や、四国の各地に残る弘法大師の伝説を、江戸時代に出版された各種の霊場記などを読みながら学び、宗教と巡礼の関係を探ります。

授業計画
1．オリエンテーション
2．四国遍路とは
3．四国遍路の起源
4．補陀落信仰と四国霊場
5．熊野信仰と四国霊場
6．四国八十八ヶ所霊場の成立過程①
7．四国八十八ヶ所霊場の成立過程②
8．四国霊場の確立①（澄禅の記録）
9．四国霊場の確立①（真念の業績）
10. 四国に残る弘法大師の霊跡
11. 四国遍路の習俗
12. 近世から近代にかけての四国遍路
13. 現代の四国遍路
14. 四国霊場巡拝の作法
15. まとめ

テキスト
頼富本宏『四国遍路とはなにか』（角川選書）

参考書・参考資料等
浅井証善『はじめての「四国遍路 88 ヶ所めぐり」入門』（セルバ出版）
四国遍路と世界の巡礼研究会編『四国遍路と世界の巡礼』（法藏館）　など

学生に対する評価
数回の課題レポート、学期末のレポートにより評価

養成をめざす力
密教仏教の専門性、日本語を読む力、道徳性

その他
一部分でもよいので、実際に四国遍路の旅を経験されることをおすすめします。

科目名：哲学方法論 哲学Ｂ（別）

学期：後期

単位数：2

担当者：山脇雅夫

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：合理的思考法を学ぶ
テ ー マ：デカルトとパース

授業の概要
近代哲学の父と呼ばれるフランスの哲学者デカルトと、プラグマティズムの創始者であるパースの思想の紹介を通して、合理的哲学の典型を学びます。

授業計画
1．哲学とは何か？
2．方法とは何か？
3．デカルトの時代
4．科学革命の構造
5．デカルト哲学の歴史的意義
6．方法的懐疑
7．モリヌークス問題
8．身体への疑い
9．承前
10. 数学への疑い
11. デカルト的コギト
12. パースの生涯
13. デカルト主義への批判
14.「信念の固め方」
15. プラグマティズム格言

テキスト
伊藤邦武『物語　哲学の歴史』（中公新書）

参考書・参考資料等
デカルト『方法序説』（白水社）

学生に対する評価
期末テスト 65 点、小テスト 20 点、授業参加への積極性 15 点

養成をめざす力
論理的思考力、問題解決力、国際的視野

その他

科目名：宗教学方法論

学期：後期

単位数：2

担当者：藤田光寛

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：宗教の働きを学ぶことを通して、宗教学の視座と研究手法を理解すること。
テ ー マ： 宗教学研究法を学ぶ

授業の概要
指定テキストのトピックスにもとづいて講義する。

授業計画
1．オリエンテーション
2．日本の宗教の特徴
3．宗教とは何かを考える
4．　〃
5．　〃
6．宗教と社会
7．　〃
8．　〃
9．　〃
10. 〃
11. 日本人と宗教
12. 〃
13. 〃
14. 〃
15. 〃

テキスト
岡田典夫　他編『はじめて学ぶ宗教』（有斐閣）1,995 円
（本学売店で購入すること）

参考書・参考資料等
①脇本平也 『宗教学入門』（講談社学術文庫）
②島薗進　編『宗教学キーワード』（有斐閣、2006 年）など

学生に対する評価
期末の筆記試験（60％）、出席（20％）小試験（20％）によって評価する。

養成をめざす力
密教仏教の専門性、論理性、道徳性

その他
毎回、指定テキストや参考文献に目を通して授業に出席することが基本的条件です。　授業ではノートをとり、整理をしておいて下さい。毎回休まずに出席すること。
担当者のメールアドレスは fujita@koyasan-u.ac.jp　ですから、 質問等があれば遠慮無くこれを利用して下さい。

科目名：日本文学概論Ⅰ

学期：前期

単位数：2

担当者：浜畑圭吾

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：日本文学（上代・中古文学）の生成基盤を理解する。
テ ー マ：日本文学の特質を学ぶ

授業の概要
日本文学とはどのようなものか。具体的な作品に触れながらその特質について考えてみる。前期は上代・中古文学を取り上げる。

授業計画
1．ガイダンス
2．文学のかたち
3．文学と思想
4．文学と四季
5．文学と地理
6．万葉集の世界
7．王朝和歌の世界
8．紀貫之
9．清少納言と紫式部
10. 源氏物語の誕生
11.「あはれ」と「をかし」
12. 日記文学の誕生
13. 後宮記録と女房たち
14. 平安後期物語の世界
15. 歴史物語と説話集

テキスト
教員が用意する。

参考書・参考資料等
数研出版『クリアカラー国語便覧』
學燈社『古典文学基礎知識必携』

学生に対する評価
毎回のリアクションペーパー（50%）、レポート（50%）

養成をめざす力
日本語を読む力・聴く力、問題発見力

その他
私語厳禁

科目名：日本文学概論Ⅱ

学期：後期

単位数：2

担当者：浜畑圭吾

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：日本文学（中世・近世文学）の生成基盤を理解する。
テ ー マ：日本文学の特質を学ぶ

授業の概要
日本文学とはどのようなものか。具体的な作品に触れながらその特質について考えてみる。後期は中世・近世文学を取り上げる。

授業計画
1．中世の歌壇と歌論
2．中世和歌の世界
3．「幽玄」
4．史論と歴史物語
5．軍記物語と説話
6．「無常」
7．兼好と頓阿
8．文学の継承
9．中世の芸能
10. キリシタン文学と宣教師
11. 町人の文学
12. 江戸の詩歌
13. 松尾芭蕉
14. 近世の芸能
15. 国学

テキスト
教員が用意する。

参考書・参考資料等
数研出版『クリアカラー国語便覧』
學燈社『古典文学基礎知識必携』

学生に対する評価
毎回のリアクションペーパー（50%）、レポート（50%）

養成をめざす力
日本語を読む力・聴く力、問題発見力

その他
私語厳禁

科目名：日本文学史概説Ⅰ
学期：前期
単位数：2
担当者：下西 忠

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：日本の文学のなかで、古代から中世までの文学の歴史を学ぶとともに、その時代の日本文学の特質を理解する。
テ ー マ：日本文学史概観

授業の概要
上代（奈良時代）から中古（平安時代）、さらに中世（鎌倉時代）までの日本文学史を概説する。文学史の知識だけではなく、可能な限り作品の一部でもとりあげてその作品を鑑賞したい。作品の成立背景なども注意しながらその作品の文芸的価値を考えてみたい

授業計画
1．この講義の目的・目標について
2．上代文学の概観、古事記と日本書紀
3．万葉集について
4．中古文学の概観、勅撰集について、古今集について
5．竹取物語、伊勢物語など
6．枕草子、源氏物語前後
7．日記文学について　土佐日記・蜻蛉日記など
8．説話文学　日本霊異記・今昔物語集など
9．歴史物語、中世文学の概観
10. 新古今集とそれ以後の和歌集
11. 連歌の発生とその展開
12. 日記・紀行・能狂言について
13. 随筆文学について
14. 軍記物語について　平家物語など
15. 説話文学について

テキスト
教員が作成した教材を配布する。

参考書・参考資料等
1、日本文学全史（至文堂）
2、日本古典文学史（双文社）

学生に対する評価
定期試験（50%）と小テスト（50%）

養成をめざす力
論理性、問題発見力、問題解決力

その他
とくに受講生の制限はしないが、国語の教育免許状を取得したい者は必ず受講すること。

科目名：日本文学史概説Ⅱ
学期：後期
単位数：2
担当者：下西 忠

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：日本の文学のなかで、中世後期文学（室町時代）ら明治時代まで文学の歴史を学ぶとともに、その時代の日本文学の特質を理解する。
テ ー マ：

授業の概要
中世後期文学（室町時代）と近代文学（明治時代）までの日本文学史を概説する。文学史の知識だけではなく、可能な限り作品の一部でもとりあげてその作品を鑑賞したい。作品の成立背景なども注意しながらその作品の文芸的価値を考えてみたい。

授業計画
1．勅撰集の終焉とその時代の和歌
2．御伽草子の世界
3．近世（江戸時代）文学の概観、江戸時代の和歌
4．貞門俳諧と談林俳諧
5．芭蕉の世界
6．与謝蕪村・小林一茶、狂歌と川柳
7．仮名草子、浮世草子など
8．近松門左衛門の世界
9．読本（上田秋成の世界）、洒落本・人情本など
10. 明治初期の文学と文学改良運動
11. 浪漫古典主義文学
12. 自然主義文学の位置づけと前期自然主義文学
13. 後期自然主義文学
14. 与謝野晶子の世界
15. 総括　文学史の意義

テキスト
教員が作成した教材を配布する。

参考書・参考資料等
1、日本文学入門（小峰書店）
2、日本文学全史（至文堂）

学生に対する評価
定期試験（50%）と小テスト（50%）

養成をめざす力
論理性、問題発見力、問題解決力

その他
前期と同様、受講生についての制限はないが、国語の教育免許状を取得したい者は必ず受講すること。

科目名：漢文学概論Ⅰ
学期：前期
単位数：2
担当者：南 昌宏

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：漢文で書かれた散文作品を読み、国語教員としての能力を身に付けることを目標とする。
テ ー マ：漢文の散文を読む。

授業の概要
志怪・伝奇小説の流れを汲む『聊斎志異』を読む。
和訳に基づいて漢文を訓読する訓練をする。
受講生には発表を求めるので、毎回予習が必要である。

授業計画
1．ガイダンス
2．「遵化署狐」（1）
3．「遵化署狐」（2）
4．「遵化署狐」（3）
5．「遵化署狐」（4）
6．「遵化署狐」（5）
7．「遵化署狐」（6）
8．「張誠」（1）
9．「張誠」（2）
10.「張誠」（3）
11.「張誠」（4）
12.「張誠」（5）
13.「張誠」（6）
14.「張誠」（7）
15. 期末試験

テキスト
コピーを配布する。

参考書・参考資料等
携帯用の漢和辞典として『新字源』（角川書店）、あるいは『漢語林』（大修館書店）を使用するのが望ましい。その他、『大漢和辞典』など。

学生に対する評価
授業実数の３分の１を超えて欠席した場合は失格とする（『学生手帳』参照）。
遅刻・早退は２分の１欠席と計算する。
期末試験の素点を評点とする。

養成をめざす力
日本語を話す力、外国語を読む力、論理性

その他

科目名：漢文学概論Ⅱ
学期：後期
単位数：2
担当者：南 昌宏

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：漢詩を読み、国語教員としての能力を身に付けることを目標とする。
テ ー マ：『唐詩選』を読む。

授業の概要
『唐詩選』の作品から、近体詩の特徴を知る。
注釈を読むことにより、訓読・読解・鑑賞の訓練をする。
受講生には発表を求めるので、毎回予習が必要である。

授業計画
1．ガイダンス
2．「奉和聖製従蓬莱向興慶閣道中……」（1）
3．「奉和聖製従蓬莱向興慶閣道中……」（2）
4．「奉和聖製従蓬莱向興慶閣道中……」（3）
5．「奉和聖製従蓬莱向興慶閣道中……」（4）
6．「勅賜百官桜桃」（1）
7．「勅賜百官桜桃」（2）
8．「勅賜百官桜桃」（3）
9．「勅賜百官桜桃」（4）
10.「酌酒与裴迪」（1）
11.「酌酒与裴迪」（2）
12.「酌酒与裴迪」（3）
13.「酌酒与裴迪」（4）
14.「酌酒与裴迪」（5）
15. 期末試験

テキスト
コピーを配布する。

参考書・参考資料等
携帯用の漢和辞典として『新字源』（角川書店）、あるいは『漢語林』（大修館書店）を使用するのが望ましい。その他、『大漢和辞典』など。

学生に対する評価
授業実数の３分の１を超えて欠席した場合は失格とする（『学生手帳』参照）。
遅刻・早退は２分の１欠席と計算する。
期末試験の素点を評点とする。

養成をめざす力
日本語を話す力、外国語を読む力、論理性

その他

科目名：国語学講義Ⅰ
学期：前期
単位数：2
担当者：上田恭寿

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：物語（小説）テクストの生成の機構について理解を深める
テ ー マ：物語（小説）構造と物語（小説）テクスト

授業の概要
これまでの物語構造の研究を踏まえながら、物語構造を設定し、それに基づいて語りとしての小説テクスト生成の機構を導き出し、また、その機構に沿った物語（小説）テクストの分類を行う。また、その機構に沿っていくつかの作品を分析し、そこから日本語小説テクストに見られる特異性について確認する。

授業計画
1．物語テクストと日常会話テクスト
2．これまでの物語構造モデル研究（1）
3．これまでの物語構造モデル研究（2）
4．志賀直哉、『小僧の神様』／芥川龍之介、『羅生門』の構造分析
5．村上春樹、『風の歌を聴け』／ドラマ『古畑任三郎』の構造分析
6．『和泉式部日記』における物語性
7．語りとしての物語（小説）テクストの生成機構
8．語りとしての物語（小説）テクストの分類
9．藤沢周平作品テクストに見られる日本語小説の特異性
10．北原亞以子作品テクストに見られる日本語小説の特異性
11．宮部みゆき作品テクストに見られる日本語小説の特異性
12．連接構文とは
13．日本語小説における時制
14．日本語小説における自由間接テクスト
15．まとめ

テキスト
なし。都度、プリントを配布する

参考書・参考資料等
ジェエラルド・プリンス『物語辞典』（松柏社）、石原千秋他『読むための理論』（世織書房）、山岡實『「語り」の記号論』（松柏社）
他は授業中に紹介。

学生に対する評価
授業への参加態度（40%）、および、期末のレポート（60%）による。

養成をめざす力
論理性、テクスト分析力

その他
授業の都合により、一部の変更があり得る。

科目名：国語学講義Ⅱ
学期：後期
単位数：2
担当者：上田恭寿

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：日本語小説テクストの特質について理解を深める
テ ー マ：日本語小説の特質

授業の概要
日本語の物語（小説）テクストに見られる特質と日本語や他の文学ジャンル、建築や絵画等、日本文化に見られる特質との共通点を抽出、そこから日本語の小説、日本文化の特質について考察する。

授業計画
1．日本語の物語（小説）テクストの特質
2．日本語の特質
3．日本文学の他のジャンルに見られる特質
4．日本の建築、庭園、都市つくりに見られる特質
5．日本の身体表現、音楽、その他の日常生活に見られる文化的な特質
6．「共通感覚」（中村雄二郎）
7．俳句における共通感覚の表現と藤沢周平作品における共通感覚の表現（1）
8．同（2）
9．「共通感覚」と「純粋体験」（西田幾多郎）
10．「こと」と「もの」と「ことば」
11．日本文化における自己中心的志向性と時間、空間認識様式
12．声の文化と文字の文化
13．日本文学、日本文化における声の文化の特質
14．言文一致体のもたらしたもの
15．まとめ

テキスト
なし。都度、プリントを配布。

参考書・参考資料等
藤井貞和『物語論講義』（東京大学出版会）、加藤周一『日本文化における時間と空間』（岩波出版）、木村敏『時間と自己』（中公新書）
他は授業中に紹介。

学生に対する評価
授業への参加態度（40%）、および期末のレポート（60%）による。

養成をめざす力
論理性、テクスト分析力

その他
授業の進行の都合により一部の変更があり得る。

科目名：日本文化特殊講義A
学期：後期
単位数：2
担当者：浜畑圭吾

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：右京大夫が身を置いた文化圏と、和歌の魅力を理解する。
テ ー マ：『建礼門院右京大夫集』の世界

授業の概要
高倉天皇の妃建礼門院の女房である右京大夫の作品『建礼門院右京大夫集』をとりあげる。平安末期の宮中の様子や右京大夫の置かれた立場を理解し、その作品の魅力について考えてみる。

授業計画
1．ガイダンス
2．『建礼門院右京大夫集』概説
3．『建礼門院右京大夫集』を読む①
4．『建礼門院右京大夫集』を読む②
5．『建礼門院右京大夫集』を読む③
6．『建礼門院右京大夫集』を読む④
7．『建礼門院右京大夫集』を読む⑤
8．『建礼門院右京大夫集』を読む⑥
9．『建礼門院右京大夫集』を読む⑦
10．『建礼門院右京大夫集』を読む⑧
11．『建礼門院右京大夫集』を読む⑨
12．『建礼門院右京大夫集』を読む⑩
13．『建礼門院右京大夫集』を読む⑪
14．『建礼門院右京大夫集』を読む⑫
15．まとめ

テキスト
教員が用意する。

参考書・参考資料等
糸賀きみ江全訳注『建礼門院右京大夫集』（講談社学術文庫）

学生に対する評価
毎回のリアクションペーパー（50%）、レポート（50%）

養成をめざす力
日本語を読む力・聴く力、想像力

その他
私語厳禁。

科目名：日本文化特殊講義B
学期：後期
単位数：2
担当者：下西忠

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：韻文の読解に必要な基本的知識を身につけさせるとともに鑑賞力の力を養う。
テ ー マ：

授業の概要
韻文(和歌や俳諧など)は、日本文学の中心となるものとして古来尊重されてきた。物語・日記・随筆などへの影響は、表現の面でも内容の面でも重要で、韻文の学習によって、他ジャンルの文学の理解を助けることも大きい。その意味で、古典の和歌、近現代の和歌や俳句を中心に鑑賞し、日本文学の特質に迫りたい。

授業計画
1．和歌の魅力について
2．万葉集の世界（1）柿本人麻呂
3．　同上　（2）山上憶良と山部赤人
4．　同上　（3）防人の歌
5．古今集の世界（1）紀貫之と撰者の歌
6．　同上　（2）六歌仙の歌
7．新古今集の世界（1）後鳥羽院
8．　同上　（2）西行
9．　同上　（3）定家と俊成
10．江戸時代の歌人　木下長嘯子
11．芭蕉の世界
12．正岡子規の短歌と俳句
13．与謝野晶子の世界
14．高浜虚子の世界
15．韻文文学の魅力

テキスト
教員が作成した資料を配する。

参考書・参考資料等
講義中においても随時紹介する。

学生に対する評価
2つのレポート　1、韻文の基礎知識（50%）2、課題の作品の鑑賞（50%）

養成をめざす力
論理性、問題発見力、問題解決力

その他
教材はかならず一週間前までに配布しておくので、当日の講義までにその作品を読んでくること。講義の時は必ず辞書を持参すること。

科目名：中国文化特殊講義A
学期：前期
単位数：2
担当者：野田　悟

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：
1、『説文解字』を学ぶことにより古代文字の基礎知識を修得し、その内容（漢文）の講読力を向上させる。
2、東洋文化の根幹である漢字に興味を持ち、中国文化へ目を向ける第一歩とすることを到達目標とする。
3、説文の研究において、漢字の正・俗を理解する。

テーマ：許慎『説文解字』とその背景及びその講読と篆書体の基礎的知識の修得。

授業の概要

〔漢〕許慎『説文解字』は文字を系統的に分析し、字源の考察をした最古の文字学の専門書である。特に許慎『説文解字』とその背景、またその部首の基礎的知識の修得。

授業計画

1．オリエンテーション・漢字の変遷と『説文解字』前世
2．『説文解字』の背景とその関連書①
3．『説文解字』の背景とその関連書②
4．部首と重文について
5．「六書」について①
6．「六書」について②
7．説文部首 第一巻の部目を読む①
8．説文部首 第一巻の部目を読む②
9．説文部首 第一巻の部目を読む③
10．説文部首 第一巻の部目を読む④
11．説文部首 第一巻の部目を読む⑤
12．説文部首 第二巻の部目を読む①
13．説文部首 第二巻の部目を読む②
14．説文部首 第二巻の部目を読む③
15．テスト

テキスト

・〔漢〕許慎『説文解字』中華書局または江蘇古籍出版社
（個々に東方書店にて購入）　http://www.toho-shoten.co.jp/

参考書・参考資料等

・『字通』（平凡社）　・『説文新義』（平凡社）
・『漢字学』（東海大学出版会）　・『訓読説文解字注』（東海大学出版会）
・『王福庵説文部首目』（西泠印社）
・その他必要に応じてプリントを配る。

学生に対する評価

・基本的に期末テスト（60％）＋それぞれの発表及び提出物（40％）での評価をする。（素点）
・毎回の発表を10点満点で計算する。
・授業実数の３分の１を超えて欠席した場合は失格とする。
・欠席（各－３点）及び遅刻、早退（各－１点）を素点から引く計算で成績をつける。

養成をめざす力

問題発見力、問題解決力、論理性

その他

・「六書」及び本文の内容に入ったら、毎回個々に課題が課され、次週に発表をして頂く形式をとる。
・受講者の人数等により、進度が大きく変わることが予想される。
・『新字源』（角川書店）、『新撰漢和辞典』（小学館）、『全訳漢辞海』（三省堂）、『漢字源』（学研）、『漢語林』、『漢語新辞典』（大修館）のうち、どれか一冊を必ず持参すること。版は問わないが、できるだけ新しいものがよい。（電子辞典を持してもかまわないが、必ず紙媒体の辞典も持参すること）。

科目名：中国文化特殊講義B
学期：後期
単位数：2
担当者：南　昌宏

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：中国学の諸分野（哲学・歴史・文学など）を研究するために必要な基礎的知識・語彙・方法を修得することを到達目標とする。

テ ー マ：『墨子』を読む。

授業の概要

テキストは、訓点を付した漢文である。輪読形式による口頭発表で訓読をする。受講生は必ず予習し、難解な言葉はすべて調べて理解し、他人に説明できるよう努めなければならない。

授業計画

1．ガイダンス
2．『墨子』親士篇（1）
3．『墨子』親士篇（2）
4．『墨子』親士篇（3）
5．『墨子』親士篇（4）
6．『墨子』親士篇（5）
7．『墨子』親士篇（6）
8．『墨子』修身篇（1）
9．『墨子』修身篇（2）
10．『墨子』修身篇（3）
11．『墨子』修身篇（4）
12．『墨子』修身篇（5）
13．『墨子』修身篇（6）
14．『墨子』修身篇（7）
15．期末試験

テキスト

漢文大系『墨子』のコピーを配布する。

参考書・参考資料等

『大漢和辞典』、『アジア歴史事典』、『中国学芸大事典』など。

学生に対する評価

授業実数の３分の１を超えて欠席した場合は失格とする（『学生手帳』参照）。
遅刻・早退は２分の１欠席と計算する。
期末試験の素点を評点とする。

養成をめざす力

外国語を読む力、問題発見力、問題解決力

その他

受講者の人数が少なければ、ガイダンス時に受講生と相談してテキストを変更する場合がある。

科目名：日本文化講読演習
学期：前期
単位数：2
担当者：浜畑圭吾

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：平家物語の展開を理解し、軍記文学の特徴をとらえる。

テ ー マ：平家物語の世界

授業の概要

鎌倉時代成立の平家物語は軍記文学の代表作品として知られているが、本講義では巻第一を中心に、その魅力に迫る。平安末期から鎌倉初期にかけての内乱を、人々がどのように生きたのか、考えてみたい。

授業計画

1．ガイダンス
2．平家物語概説（成立・作者・諸本）
3．「祇園精舎」
4．「殿上闇討」
5．「鱸」「禿髪」
6．「吾身栄花」
7．「祇王」
8．「二代后」
9．「額打論」「清水寺炎上」
10．「殿下乗合」
11．「鹿谷」
12．「俊寛沙汰　鵜川軍」
13．「願立」
14．「御輿振」「内裏炎上」
15．まとめ

テキスト

教員が用意する。

参考書・参考資料等

高橋昌明『平家の群像　物語から史実へ』（岩波新書）佐伯真一『戦場の精神史』（ＮＨＫブックス）

学生に対する評価

毎回のリアクションペーパー（50％）、レポート（50％）

養成をめざす力

日本語を読む力・聴く力、想像力

その他

私語厳禁。

科目名：中国文化講読演習
学期：前期
単位数：2
担当者：南　昌宏

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：漢籍を読むために必要な語彙・知識を修得し、専門的な論文や研究書などを読むための基礎力を養うことを到達目標とする。

テ ー マ：『孫子』を読む。

授業の概要

テキストは、原文・訓読・通釈・語釈などから成る。テキスト全文を輪読形式で読みつつ、自由な討論形式で意見を述べる。理解できない言葉は、宿題として調査し、次回に説明できるよう準備しておく。

授業計画

1．ガイダンス
2．『孫子』始計篇（1）
3．『孫子』始計篇（2）
4．『孫子』始計篇（3）
5．『孫子』始計篇（4）
6．『孫子』始計篇（5）
7．『孫子』作戦篇（1）
8．『孫子』作戦篇（2）
9．『孫子』作戦篇（3）
10．『孫子』作戦篇（4）
11．『孫子』作戦篇（5）
12．『孫子』謀攻編（1）
13．『孫子』謀攻編（2）
14．『孫子』謀攻編（3）
15．期末試験

テキスト

新釈漢文大系『孫子』のコピーを配布する。

参考書・参考資料等

『大漢和辞典』、『アジア歴史事典』、『中国学芸大事典』など。

学生に対する評価

授業実数の３分の１を超えて欠席した場合は失格とする（『学生手帳』参照）。
遅刻･早退は２分の１欠席と計算する。期末試験の素点を評点とする。

養成をめざす力

日本語を読む力、問題発見力、問題解決力

その他

受講者の人数が少なければ、ガイダンス時に受講生と相談してテキストを変更する場合がある。

科目名：漢字Ⅰ
学期：通年
単位数：2
担当者：野田 悟

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：
テ ー マ：【前期】１回生……唐代楷書:顔真卿『多寶塔碑』、褚遂良『雁塔聖教序』。
２回生以上……北魏系楷書『張猛龍碑』、『張玄墓誌』。
【後期】１回生……(篆書)秦代『嶧山刻石』、清代鄧石如『白氏草堂記』、呉譲之『崔子玉座右銘』
２回生以上……(隷書) 漢代『禮器碑』(必須)、『曹全碑』、『張遷碑』、『石門頌』(三点の中から二点を選ぶ)

授業の概要

本講座は基本的に古典臨書を根底とし、形臨、背臨を経て、学生同士で切磋琢磨し、最後は個々に作品制作を行う。方法としては、国内の他大学にはない中国の伝統的書道教育を根底にした指導を行う。

授業計画

1．オリエンテーション
2．顔真卿『多寶塔碑』（２回生以上は『張猛龍碑』）①
3．顔真卿『多寶塔碑』（〃）②
4．顔真卿『多寶塔碑』（〃）③
5．褚遂良『雁塔聖教序』①（２回生以上は『張玄墓誌』）①
6．褚遂良『雁塔聖教序』（〃）②
7．褚遂良『雁塔聖教序』（〃）③
8．前半半紙臨書作品の提出。
9．二つの法帖を比較臨書①
10．二つの法帖を比較臨書②
11．自分で法帖を１つに絞り再度臨書する。
12．写経創作①
13．写経創作②
14．写経創作③
15．写経作品提出

1．『嶧山刻石』（２回生以上は『禮器碑』）①
2．『嶧山刻石』（〃）②
3．『嶧山刻石』（〃）③
4．鄧石如『白氏草堂記』（２回生以上は『禮器碑』以外を自分で選択）①
5．鄧石如『白氏草堂記』（〃）②
6．鄧石如『白氏草堂記』（〃）③
7．前半半紙臨書作品の提出。
呉譲之『崔子玉座右銘』（２回生以上はやっていない隷書を自分で選択）①
8．呉譲之『崔子玉座右銘』（〃）②
9．呉譲之『崔子玉座右銘』（〃）③
10．自分で法帖を１つに絞り再度臨書する。
11．半切の制作①
12．半切の制作②
13．半切の制作③
14．作品提出

テキスト

・二玄社法書選（二玄社）：
１回生……40 顔真卿『多寶塔碑』、34 褚遂良『雁塔聖教序』/56『鄧石如集』、58『呉熙載集』
２回生以上……23『張猛龍碑』、26『墓誌銘集・下』/ 3 『石門頌』、5 『禮器碑』、8 『曹全碑』、9 『張遷碑』
※ 写経用紙セット LA26-59

参考書・参考資料等

・字書：『字源』、伏見冲敬編『書道字典』(角川書店)、『清人篆隷字典』(雄山閣) 等
・その他必要に応じてプリントを配布する。

学生に対する評価

・基本的に提出作品による評価。(素点)
・欠席各－３点、遅刻・早退－１点として計算する。
・素点から欠席及び遅刻・早退の点数を引いて成績を出す。

養成をめざす力

自主性、集中力、古典（法帖）の観察力

その他

・筆（太筆・細筆）、墨（原則として墨汁は許可しない）、半紙用毛氈、文鎮は個々に準備のこと。また創作用の半切画宣紙の使用については個々に指示をする。
・書道実技の講座として、毎回の課題が課される。
・授業以外での個々の自主練習は、評価に大きく左右されることを心得て臨むこと。

科目名：漢字Ⅱ
学期：通年
単位数：2
担当者：木本滋久

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：
テ ー マ：【前期】今年は書体を楷書体、行書体に限定し、その中から一つの法帖を自分で選択し、実習する。その法帖の形、線の特徴をつかみ、実際に上手に表現できるように努める。
【後期】上記２書体に草書体を加えた書体から法帖を一冊選び、その法帖の形、線などの特徴が、実際に表現できるように努める。

授業の概要

臨書中心の実技の授業である。臨書作品を授業中に添削し、参考に指導者が目の前で書いてみせる。授業中に筆を執って書くだけでは絶対に上達はしない。自宅でも筆を持つよう心がけて欲しい。個人指導を中心に据えて授業を進める。

授業計画

【前期】
1．授業の方針、法帖の選び方、どんな授業を展開していくのかを説明した後、各自が法帖を選ぶ。
2．〜7．法帖の臨書
8．今まで実習してきた分を提出。書体によって提出枚数が異なる。
9．〜14．法帖の臨書
15．後半実習してきた分を提出。書体によって提出枚数が異なる。

【後期】
1．各自が法帖を選ぶ。指導者はその相談に応じ共に考えながら法帖を選ぶ。
2．〜7．法帖の臨書
8．今まで実習してきた分を提出。書体によって提出枚数が異なる。
9．〜14．法帖の臨書
15．後半実習してきた分を提出。書体によって提出枚数が異なる。

テキスト

各自が二玄社あるいは別の法帖から１冊選ぶ。

参考書・参考資料等

二玄社の法帖類

学生に対する評価

２回のレポート（50%）、出席回数 (25%)、授業態度 (25%) などで評価する。

養成をめざす力

自主性、忍耐力

その他

科目名：かなⅠ
学期：通年
単位数：2
担当者：山本圭子

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：【前期】「かな」成立の歴史を知り、実習を通して行書きのかな創作ができることを目標とする。
【後期】前期で身につけた技術をより高め「ちらし書き」の創作、及び古筆の臨書技術を身につけることを目標とする。
テ ー マ：【前期】細筆の使い方・墨の使い方を身につけ、かなの美を知る。
【後期】「ちらし書き」による白と黒の美の世界を表現する。古筆にそれを見る。

授業の概要

【前期】日本独自の文字「かな」の成立の歴史を知り、その字母を覚える。かなの技術を身につける。
【後期】かな独自の構成法を知り、それを身につけ、その美が「余白」「流麗」「簡素」であることを知るために粘り強く実習する。

授業計画

【前期】
1．講義目標・概要の解説
・書歴のアンケート
2．かな成立の歴史を解説
・かなの基本線の練習
3．「いろは歌」による単体練習・字母説明
4．連綿の解説・実習
5．変体がな解説・実習
6．和歌一首（行書きの実習）
7〜11．手本№１〜№４実習・添削指導
12〜15．行書き創作の解説・実習・添削指導

【後期】
1．「ちらし書き」の解説・実習
2〜5．「ちらし書き」の様々な形を手本をもとに練習
6〜10．「ちらし書き」作品の創作
11〜15．古筆・高野切の解説
高野切第１種・第３種の原寸大臨書

テキスト

プリント

参考書・参考資料等

古筆全般・かな字典
後期は古筆（三色紙・高野切第２種）

学生に対する評価

提出作品の枚数がそろった上で、用筆・墨の変化・字形・構成、それぞれ 20%。誤字・精神性（線質）各 10%
１/３以上欠席者は評価しません。

養成をめざす力

日本語を書く力（筆）、独創性、集中力

その他

・実習科目は出席が大事です。出席して、数多く書かなければ上達しません。地道な努力と粘り強い意志をもって参加してください。
・後期は前期よりかなり難しくなりますが、挑戦する気持ちを強くもって出席してください。書道は一朝一夕に上達するものではないので「継続は力なり」を信じて粘り強く実習に取り組んでください。

科目名：かなⅡ
学期：通年
単位数：2
担当者：山本圭子

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：【前期】かなⅠの基本の上に個性豊かな古筆の原寸大臨書をし、それをもとに創作すること。
【後期】各自が選んだ古筆を拡大し、自己表現の技術を身につけること。
テ ー マ：【前期】三色紙の中から各自一つを選び臨書をくり返し、その特徴をとらえること。
【後期】古筆を基本とした自己表現の方法を見つける。

授業の概要

【前期】かなⅠおよびそれと同程度のかな経験者を対象にかなの技術知識のより上達をめざす。ちらし書きの名品としての古筆を知り、各自、よりひかれるものを一つえらび練習する。臨書から創作へと進む。
【後期】決定した古筆を形式をかえて拡大臨書から創作へ、そしてより大きな料紙へと移っていき、これが自分独自の自己表現の形だと納得するまで錬成する。

授業計画

【前期】
1．講義目標、概要の解説、書歴アンケート
2．三色紙の解説、各自の古筆を決定する。
3〜10．選んだ古筆を原寸大臨書
・小レポートを提出
・古筆名の由来解説
・料紙解説
11〜15．各古筆の雰囲気を出して創作する

【後期】
1〜4．各自選んだ古筆を大色紙大に拡大臨書。
添削指導
5〜8．半懐紙大に拡大臨書する。
添削指導
9〜12．大色紙または半懐紙大に創作（古筆の雰囲気を残して）。
13〜15．今まで習った作品のうち一つを全懐紙または半切に拡大作品を創る。

テキスト

三色紙

参考書・参考資料等

古筆全般

学生に対する評価

１/３以上欠席者は評価しません。
臨書 50%（形（連綿等）20%、構成 20%、墨の変化構成 10%）
創作 50%。（独創性 10%、構成・古筆の雰囲気各 20%）

養成をめざす力

独創性、集中力、創造力

その他

粘り強く地道にくり返し練習することが大事です。
全授業出席の気持ちが大事です。

科目名：篆刻Ⅰ
学期：前期
単位数：2
担当者：野田　悟

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：
1、古代文字（小篆および摹印篆）の基本的認識。
2、東洋文化における印章の重要性及び毛筆との関連性の理解。
3、各時代に沿った印章の違いの理解をもっての刻印技術の修得。
テ ー マ：篆刻の理論と実践

授業の概要
・篆刻の一番基礎と言われる漢代前後の印章の摸刻を中心に実践、理論の双方より学ぶ。
・国内の他大学にはない中国伝統的方法を前提とした指導を行う。

授業計画
1．オリエンテーション・印材・工具等の紹介
2．古代印章の起源と歴代璽印の変遷
3．毛筆にて篆書の練習①
4．毛筆にて篆書の練習②
5．毛筆にて篆書の練習③
6．双稿填墨・印稿の練習
7．刀法と側款の練習
8．漢印①
9．漢印②
10．漢印③
11．秦印
12．漢印または秦印による創作
13．将軍印①
14．将軍印②
15．これまでの摸刻をもとに創作・作品提出

テキスト
・書道講座第６巻　篆刻（二玄社刊）＊売店にて購入。

参考書・参考資料等
・『説文解字』（中華書局）　・『印学史』（西泠印社）
・『故宮博物院蔵古璽印選』（文物出版社）
・『上海博物館蔵印選』（上海書画出版社）
・蓑毛政雄編『必携篆書印譜字典』（柏美術出版）
・『書の基本資料 14・篆刻』（中教出版）
・『図解　篆刻入門』（木耳社）
・その他必要に応じてプリントを配布

学生に対する評価
・基本的に提出作品による評価。（素点）
・欠席各－３点、遅刻・早退－１点として計算する。
・素点から欠席及び遅刻・早退の点数を引いて成績を出す。

養成をめざす力
創造力。集中力、古典（法帖）の観察力

その他
・漢字Ｉを履修した者が好ましい。
・用具、用材は、大阪の書道用品店にて各自で購入のこと。（最初の授業で説明する。）
・実技の授業なので、毎回の宿題が課される。
・一度欠席したら、学生自身かなりの損失を被るのでその辺を心得て臨むこと。
・二度目の受講者は、秦代以前の古璽や肖形印等個別に指導する。
・進度により順番を入れ替えたり、省略する場合あり。

科目名：篆刻Ⅱ
学期：後期
単位数：2
担当者：野田　悟

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：
1、古代文字（小篆および摹印篆）の基本的認識。
2、東洋文化における印章の重要性及び関連性の理解。
3、各時代に沿った印章の違いの理解をもっての刻印技術の修得。
テ ー マ：篆刻の理論と実践

授業の概要
・篆刻の一番基礎と言われる漢代前後の印章の摸刻を中心に実践、理論の双方より学ぶ。
・国内の他大学にはない中国伝統的方法を前提とした指導を行う。

授業計画
1．前期の復習と双稿填墨・印稿の練習
2．将軍印③
3．将軍印④
4．将軍印での創作
5．流派印の出現とその変遷（理論）
6．浙派印①
7．浙派印②
8．浙派印③
9．徽派印①
10．徽派印②
11．徽派印③
12．浙派印または徽派印による創作
13．肖形印①
14．肖形印②
15．これまでの摸刻をもとに創作・作品提出

テキスト
・書道講座第６巻　篆刻（二玄社刊）＊売店にて購入。

参考書・参考資料等
・『説文解字』（中華書局）　・『印学史』（西泠印社）
・『故宮博物院蔵古璽印選』（文物出版社）
・『上海博物館蔵印選』（上海書画出版社）
・蓑毛政雄編『必携篆書印譜字典』（柏美術出版）
・『書の基本資料 14・篆刻』（中教出版）
・『図解　篆刻入門』（木耳社）
・その他必要に応じてプリントを配布

学生に対する評価
・基本的に提出作品による評価。（素点）
・欠席各－３点、遅刻・早退－１点として計算する。
・素点から欠席及び遅刻・早退の点数を引いて成績を出す。

養成をめざす力
創造力。集中力、古典（法帖）の観察力

その他
・篆刻Ｉを履修した者に限る。
・実技の授業なので、毎回の課題が課される。
・進度により順番を入れ替えたり、省略する場合あり。
・一度欠席したら、受講生自身かなりの損失を被るのでその辺を心得て臨むこと。
・二度目の受講者は、秦代以前の古璽や肖形印等を個別に指導する。
・２月に学外書道展に作品出品を課す。

科目名：条幅制作Ａ
学期：通年
単位数：2
担当者：木本滋久

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：臨書でつちかった基礎の上に立って、個性豊かでフレッシュな作品を創作する。
テ ー マ：【前期】中国や日本の古典の臨書を通して得た技術で、漢字、近代詩文などの条幅作品を制作する。
【後期】金剛峯寺・高野山大学書道師範取得や、卒業制作にふさわしい作品の制作をめざす。近代詩文などの条幅作品を制作する。

授業の概要
【前期】○半切に漢字４～14文字の言葉を楷書体、行書体で創作する。（倣書も可）
○半切（正方形）に漢詩、漢語を篆書体、隷書体、又は行書体で創作する。（倣書も可）
○半切に漢字・仮名まじり文を創作する。課題は授業前に提示。
【後期】２尺×８尺（52cm×約228cm）の画仙紙に自分で詩や文章を選び創作する漢詩を選んだ人は、まず字書ですべての文字を調べ一覧表を作成する。それを参考にして字のくづし方を覚える。漢字仮名まじり文を書こうとする人は、全体の構成や空間のとり方など工夫し、漢字と仮名の調和も考えて製作をすすめる。
提出後、全体で互評会を実施。

授業計画
【前期】
1．この授業の内容、授業の進め方、必要な書道用材の説明
2．
3．　半切の大きさで、課題を楷書
4．　行書体で創作する。
5．　提出後、全体で互評会を実
6．　施する。
7．
8．
9．
10．　篆書体、隷書体、行書体で課題を
11．　半切（正方形）で創作。
12．　又は漢字仮名まじり文の創作。
13．　どれかひとつを選び実習する。
14．
15．

【後期】
1．・２尺×８尺（たて228cm×よこ
2．　52cm）の紙面に、書体、題材も
3．　自由で受講生が個性と創作意欲
4．　にあふれた作品を制作。
5．・題材、書体は途中変更も可能で
6．　あるから、試行錯誤をくりかえ
7．　しながら少しずつ作品が向上す
8．　る。書き込むより他に道はない
9．　と思い、時間外でもしっかり取
10．　り組んで欲しい。
11．・早く仕上がった人は、書体を変
12．　えたり、題材を変えたり（漢字
13．　仮名まじり文でも可）して小品
14．　を制作したらいい。
15．押印して提出後、互評会を実施する。

テキスト
特に無し。

参考書・参考資料等
字書や二玄社の法帖類、各展覧会の作品集など。

学生に対する評価
提出作品（50%）、出席回数（25%）、授業の取組（25%）を総合的に評価する。

養成をめざす力
自主性、創造力

その他
２尺×８尺の作品は評価の後、２月の高野山大学学外書道展に出品していただきます。表装代は各自の負担とします。
各自で事前に『字書』を購入しておくこと
画仙紙は事前に大阪の書道用品店で買っておくこと。
この授業は高野山書道師範を取得を希望する者、書道で卒業論文を書こうとする学生は必修です。かなり習熟した技能を持っていることが要求されます。

科目名：条幅制作Ｂ
学期：通年
単位数：2
担当者：山本圭子

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：【前期】古来より机上作品であった「かな」を条幅作品として表現する方法を知る。
【後期】数種の大きさの紙にその大きさにあった筆を用い 、自分のうけた感動を表現する。
テ ー マ：【前期】机上作品と条幅作品の相違点を知る。
【後期】条幅作品に自分なりのかなの美を表現すると共に感動も加えていく。

授業の概要
【前期】古筆の拡大臨書から条幅作品として個性的な表現を加えていく。
条幅に表現するということは筆者の人間性の深さ・生命感情の躍動の強さを「かな」を用いて充分に表現することである。そのため大きく影響する用具用材についての知識も必要である。
【後期】現代性を表現するため、現代詩などを題材として制作する。
また古歌・古詩等であっても現代に生きる作品としていくために何が必要かを追求していく。

授業計画
【前期】
1～15.
条幅「かな」の解説・用具・用材等の説明。
既成作品を鑑賞し、全体像を知る。
高野切第三種の中の一首を 135cm×35cm の紙に拡大臨書をする。条幅として仕上げるための筆の大きさ、運腕、姿勢等を身につける。
半切に創作する。和歌一首を個性豊かな作品に仕上げる。
互評会・添削も行う。

【後期】
1～15.
60×60cm の紙に漢字かなまじり文を寸松庵色紙等の散らしの方法を参考にして現代的に制作する。
適宜添削あり。
互評会を行い、自省する。
228×52cm の紙縦横を自由に使い、スケールの大きな個性豊かな作品を創作する。大きくなっても「かな」であることをいつも意識下におくこと。途中互評会を行う。

テキスト
特になし。

参考書・参考資料等
【前期】 高野切第三種既成作品、かな字典、歌集
【後期】 詩集、歌集、三色紙、かな字典、書道字典

学生に対する評価
【前期】 用筆の習熟度（40%）、白と黒の対比の美（40%）、人間性の表現（20%）
【後期】 個性（40%）、紙と筆と墨の調和（40%）、墨の変化（10%）、気韻生動（10%）

養成をめざす力
自主性、創造力、忍耐力、

その他
・かなＩ、漢字Ｉを受講済みであること。
・初めてのかな条幅となると思うので、挑戦する気持ちと、初めてのことを知ろうとする謙虚さが必要です。
・展覧会などに行き、様々な、かな条幅作品を鑑賞すること。

科目名	書道史（中国）
学期	通年
単位数	4
担当者	野田　悟

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：【前期】中国文化に興味を持ち、文字の起源から芸術としての書の確立までの歴史の流れを理解することを到達目標とする。
【後期】中国文化に興味を持ち、時代別書風の変化をはじめとする書道理論の形成、発展を理解することを目標とする。

テ ー マ：【前期】中国書道及び文化史基礎知識の養成。
【後期】さまざまな書体、書風の変遷及び金石学・印学等書道理論の芽生えと発展。

授業の概要

【前期】アジア文化の根幹は漢字であることを念頭に、BC2000年前の刻符を文字の起源とし、それがどういう経緯を経て発展して行ったかを中国の書道史を時代的に学びながら解明する。またそれが今日の我々の生活における影響を与えたかもあわせて考えてみたい。ビデオ・資料も積極的に活用し、単なる知識として理解するだけではなく、視覚的又実用的にも書道史をとらえるように促したい。その他、日中の中国書道史のとらえ方の違いなども述べてみたい。

【後期】日本の奈良時代の書道史に大きな影響を与えた、唐代の書道概観を詳細に述べ、宋・明・清代への多彩な書風及び理論が発展していく様を多く取り入れ解説する。また書は、文学、哲学そしてその他の芸術をはじめ諸々の文化と密接に関わるものであるので、可能な限りそうした周辺の文化的事柄とも絡めて眺めてゆくこととしたい。

授業計画

【前期】
1．オリエンテーション
2．漢字の起源 漢字の創生　六義
3．先秦　甲骨文・金文・石鼓文
4．秦　秦代書道概観　篆書の制定
5．　秦の刻石　権量　詔版　瓦当　磚
6．漢　漢代書道概観　隷書の盛期　古隷と八分
7．代表的漢碑と章草　紙の発明と発展　『説文解字』
8．三国　三国時代書道概観
9．六朝　六朝時代書道概観　南朝の刻帖と能書家
10．王羲之と王献之
11．北朝の書道概観　六朝楷書　北朝能書家と代表碑刻
12．隋　隋代書道概観と代表的碑刻
13．唐　初唐の書道概観
14．初唐の四大家とその代表的作品
15．テスト

【後期】
1．中唐　中唐の書道
2．顔真卿の書　孫過庭『書譜』と張懐瓘『書議』・『書断』
3．晩唐　晩唐の書道
4．五代　五代の書道概観
5．宋　宋の書道概観
6．　北宋の四大家
7．　金石学の芽生え　淳化閣帖と集帖
8．　南宋の能書家
9．元　元代の書道概観　趙孟頫と吾丘衍
10．明　明代の書道概観
11．明代古典派
12．明末清初のロマン派　長条幅のはじまり
13．清　清代の書道概観
14．碑学の勃興
15．テスト

テキスト

『[決定版] 中国書道史』 角井博監修　芸術新聞社　定価 2800 円（売店にて購入）

参考書・参考資料等

・『中国美術全集』（書法篆刻編）中国美術全集編輯委員会
・『書道全集』平凡社・『中国書法史』江蘇教育出版社
・『墨スペシャル９　図説中国書道史』芸術新聞社
その他、必要に応じてプリント配布。

学生に対する評価

・基本的に各学期末の試験による評価。（素点）
・欠席各－３点、遅刻・早退－１点として計算する。
・素点から欠席及び遅刻・早退の点数を引いて成績を出す。

養成をめざす力

問題発見力、想像力、古典（法帖）の観察力

その他

科目名	社会福祉各論Ⅰ（地域福祉）（別）
学期	前期
単位数	2
担当者	山口幸照

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：地域福祉の言葉の意味や考え方、概念規定について学習する。地域福祉は比較的新しい概念である。その内容について学習する。

テ ー マ：地域福祉の概念と展開方法

授業の概要

地域福祉は 1990 年以降本格的に実体化したものである。しかし、現代では社会福祉実践そのものを指す言葉として使われることが多い。ここでは実質上社会福祉と同義語となった地域福祉の概念と展開方法について学習する。

授業計画

1．地域福祉のあゆみ
2．地域福祉の概念
3．地域福祉の内容
4．地域福祉の背景
5．地域福祉の歴史・地域福祉準備期
6．地域福祉の歴史・体系期
7．地域福祉の歴史・基盤形成期
8．地域福祉の歴史・展開期
9．セツルメントの理解
10．コミュニティーケア
11．コミュニティープラン
12．在宅福祉サービス
13．福祉ニード把握と地域社会
14．福祉サービスの連携
15．コミュニティー形成・住民参加

テキスト

社会福祉士養成講座『地域福祉論』中央法規出版

参考書・参考資料等

『社会福祉士のための基礎知識』Ⅰ～Ⅲ　中央法規出版

学生に対する評価

授業参加への積極性・レポート・筆記試験で評価する。

養成をめざす力

問題発見力、創造力、専門性

その他

科目名	社会福祉各論Ⅱ（地域福祉）（別）
学期	後期
単位数	2
担当者	山口幸照

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：地域福祉の目標として福祉コミュニティーの形成がある。地域を基盤とした社会福祉をみんなでどのように作っていくのかについて考えたい。

テ ー マ：地域福祉の方法と実践課題

授業の概要

地域福祉実践を展開するには①福祉・保健・医療の整備②福祉・保健・医療の総合化③福祉増進・予防活動の促進④福祉環境の整備⑤住民参加活動の支援が必要となる。この５つを柱に地域福祉実践について学習する。

授業計画

1．相談・情報提供サービスの総合化
2．ケアマネジメント
3．老人保健福祉計画
4．福祉増進・予防活動
5．福祉環境づくり
6．住民参加の福祉活動支援
7．ボランティア活動・福祉教育
8．ＮＰＯの福祉活動
9．民生委員・児童委員
10．社会福祉協議会
11．社会福祉施設
12．地域組織化と福祉組織化
13．公的財源
14．共同募金
15．民間財源

テキスト

社会福祉士養成講座『地域福祉論』中央法規出版

参考書・参考資料等

『社会福祉士のための基礎知識』Ⅰ～Ⅲ　中央法規出版

学生に対する評価

授業参加への積極性・レポート・筆記試験で評価する。

養成をめざす力

問題発見力、創造力、専門性

その他

科目名	社会福祉各論Ⅰ（障害者福祉）
学期	前期
単位数	2
担当者	山口幸照

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：
テ ー マ：障害者福祉の制度と政策
障害者福祉の体系と実践

授業の概要
障害者に対する支援と障害者自立支援制度を学び、障害者のおかれている社会情勢を理解する。
障害者の生活実態や地域生活の体制を理解し障害者の置かれている立場を考えることとする。
障害者の見方とその背景について理解し、照愛車の定義と概念を理解する。

授業計画
（1）. 障害者をとりまく状況と諸問題
（1）. 障害者のための総合的対策
（1）. 障害者の特性・健康・家族・地域社会
（1）. 障害者の法体系
（1）. 自立支援支援の体系
（1）. 施設サービスと在宅サービス
（1）. 保健・医療・福祉の連携
（1）. 障害者の相談援助活動の実際

テキスト
社会福祉士養成講座『障害者福祉論』中央法規出版

参考書・参考資料等
講義の中で必要に応じ指示する。

学生に対する評価
授業参加への積極性・レポート・筆記試験で評価する。
具体的には、４分の３以上の出席・レポートの提出・筆記試験の内容をすべて考慮し評価する。

養成をめざす力
問題発見力、創造力、専門性

その他
出席が少ない場合は不可とする。

科目名	社会福祉各論Ⅱ（高齢者福祉）
学期	後期
単位数	2
担当者	山口幸照

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：
テ ー マ：老人福祉の制度と政策
老人福祉の体系と実践

授業の概要
進展する高齢社会は、これから団塊の世代が高齢期になることでいよいよ本格化する。そのような中で社会福祉分野ではじめて社会保険制度による方式つまり介護保険制度が導入された。当然その前提となる福祉理念も大きく変化することとなった。
ここでは、最新の福祉理念を盛り込んだ高齢者福祉制度を学ぶと同時に、高齢者をとりまく医療･保健その他関連制度も学ぶこととする。

授業計画
（1）. 少子高齢社会の到来
（1）. 高齢者をとりまく状況と諸問題
（1）. 高齢者のための総合的対策
（1）. 高齢者の特性・健康・家族・地域社会
（1）. 老人福祉法・介護保険法・老人保健法
（1）. 高齢者生活支援の体系
（1）. 施設サービスと在宅サービス
（1）. ボランティア活動と社会福祉協議会
（1）. 高齢者と生きがい・社会参加活動
（1）. 保健・医療・福祉の連携
（1）. 高齢者の相談援助活動の実際

テキスト
社会福祉士養成講座『高齢者福祉論』中央法規出版

参考書・参考資料等
講義の中で必要に応じ指示する。

学生に対する評価
授業参加の積極性・レポート・筆記試験で評価する。
具体的には、４分の３以上の出席・レポートの提出・筆記試験の内容をすべて考慮し評価する。

養成をめざす力
問題発見力、創造力、専門性

その他
出席が少ない場合は不可とする。

科目名	社会福祉各論Ⅰ（児童福祉）
学期	後期
単位数	2
担当者	山口幸照

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：我が国の児童・家族の現状と児童福祉の必要性について学生が十分に理解をすることを到達目標とする。
テ ー マ：我が国の児童・家族の現状と児童福祉政策の実態

授業の概要
我が国の子どもや家族の現状とニーズを把握し、これに対する社会福祉政策がどのように進展してきたかを概観する。さらに、現在の子どもを取り巻く社会の実態を理解し、諸外国（イギリス・オランダ・ドイツ）の取り組みとの比較を行う。

授業計画
1．オリエンテーション　授業内容の解説と自己紹介
2．児童福祉の理念
3．児童福祉の概念と歴史
4．現代社会と児童家庭福祉
5．少子・高齢社会における福祉課題
6．児童福祉の法体系と実施体制
7．児童福祉法
8．母子保健
9．児童福祉法に基づく障害児の福祉
10. 保育
11. 児童虐待
12. ひとり親家庭の福祉
13. 児童虐待防止と学校の役割
14. 児童福祉援助活動の実際
15. 期末試験

テキスト
『児童虐待防止と学校の役割』信山社　2005
新・社会福祉士養成講座『児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度－児童福祉論』中央法規

参考書・参考資料等
『現代福祉学レキシコン第二版』雄山閣出版
『社会福祉法制要説』有斐閣

学生に対する評価
授業参加の積極性、レポートで評価する。

養成をめざす力
問題発見力、創造力、専門性

その他

科目名	社会保障総論Ⅰ（別）1
学期	前期
単位数	2
担当者	山口幸照

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：社会保障は、社会福祉・医療・年金・雇用・子育て支援という広範囲は領域を取り扱う分野である。その領域の多くの分野は、国民の生活と直結している。利用者の生活支援を考えるとき総合的に生活関連の分野を学習することが重要である。
テ ー マ：社会保障の歴史と現状

授業の概要
わが国では、人口の高齢化がますます進んでいる。少子化も歯止めがかからない。社会保障は高齢化社会で重要な位置をしめるにも関わらず国民的な理解が必ずしもあるとはいえない。ここでは社会保障の基本的な事項について理解することを目的としたい。

授業計画
1．社会保障の概念と範囲
2．ベバリッジの社会保障計画
3．社会保障の歴史
4．社会保障の機能
5．社会保障と労働力
6．社会保障の方法
7．社会保険の財政
8．年金制度の遠隔
9．年金制度の現状と課題
10. 医療保障制度の沿革
11. 医療保障制度の現状と課題
12. 介護保険制度の創設
13. 介護保険制度の意義
14. 介護保険制度の内容
15. 介護保険制度の課題

テキスト
社会福祉士養成講座『社会保障論』中央法規出版

参考書・参考資料等
『社会福祉士のための基礎知識Ⅰ～Ⅲ』中央法規出版

学生に対する評価
授業参加の積極性・レポート・筆記試験で評価する。

養成をめざす力
問題発見力、創造力、専門性

その他

科目名：社会保障総論Ⅱ（社会保障２（別））
学期：後期
単位数：2
担当者：山口幸照

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：社会保障の目的を実現するための方法としての種類について学習する。費用負担について国民的理解をどのようにして得るのかを理解する。
テ ー マ：社会保障の方法と費用負担

授業の概要
社会保障を実現するためには具体的な社会政策が必要である。そのためには社会保険、社会サービスの利用者の基準を綿密に決定していくことが重要である。すべての国民に平等にサービスがいきわたることが求められている。そのための要件を学習する。

授業計画
1．労働保険制度の沿革
2．雇用保険制度の沿革、現状
3．労災保険制度の現状と課題
4．生活保障と民間保険
5．生活リスクと民間保険の役割
6．社会保険の管理運営
7．権利救済制度
8．社会保障費の構造と経済社会の変動
9．社会保障改革と将来ビジョン
10．社会保障費の国民負担
11．諸外国の社会保障・フランス
12．諸外国の社会保障・ドイツ
13．諸外国の社会保障・スウェーデン
14．諸外国の社会保障・イギリス
15．諸外国の社会保障・アメリカ

テキスト
社会福祉士養成講座『社会保障論』中央法規出版

参考書・参考資料等
『社会福祉士のための基礎知識Ⅰ～Ⅲ』中央法規出版

学生に対する評価
授業参加の積極性・レポート・筆記試験で評価する。

養成をめざす力
問題発見力、創造力、専門性

その他

科目名：社会福祉概論Ⅰ
学期：前期
単位数：2
担当者：山口幸照

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：社会経済状況の変化とそれに伴う国民生活の変容に対応して、歴史的に発展してきた社会福祉の概念と役割について理解する
テ ー マ：社会福祉の基礎的理解

授業の概要
社会福祉全般について、基礎的な事項について学習する。歴史と現状についてわかりやすく解説し、平易に理解することを目的とする。

授業計画
1．現代社会と社会福祉その１
2．現代社会と社会福祉その２
3．社会福祉の対象分野と福祉ニードその１
4．社会福祉の対象分野と福祉ニードその２
5．社会福祉援助活動の意義・組織・方法その１
6．社会福祉援助活動の意義・組織・方法その２
7．社会福祉援助活動の担い手その１
8．社会福祉援助活動の担い手その２
9．社会福祉の法と行財政その１
10．社会福祉の法と行財政その２
11．社会福祉の運営問題その１
12．社会福祉の運営問題その２
13．社会福祉運営の原理と枠組みその１
14．社会福祉運営の原理と枠組みその２

テキスト
社会福祉士養成講座『社会保障論』中央法規出版

参考書・参考資料等
『社会福祉士のための基礎知識Ⅰ～Ⅲ』中央法規出版

学生に対する評価
授業参加の積極性・レポート・筆記試験で評価する。

養成をめざす力
問題発見力、創造力、専門性

その他

科目名：教職入門
学期：前期
単位数：2
担当者：伊藤一雄

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：教員の職務内容について学生が十分理解し、安易な職務選択をすることがないことを到達目標とする。
テ ー マ：教員の職務と使命

授業の概要
本講義は、教員の職務について解説し、教職への導入の役割を果たす科目である。
表面化しない教員の職務の現状について、現場の事例を多く取り入れ解説する。

授業計画
1．講義の目的と概要の解説を行う。
2．教職の意義と教員の役割について解説する。
3．教員養成・教職課程の変遷について解説する。
4．教員の種類と職階及び教員の役割と社会的使命について考察し解説する。
5．教員の職務と学習指導要領の関係について説明し考察する。
6．教員の職務と校務分掌の関係について解説する。
7．生徒指導と教員の職務について、事例を中心に解説する。小試験。
8．進路指導・教育相談と教員について、事例を中心に解説する。
9．学級経営と教員について解説し、論じる。
10．教員の研修について、職務研修を中心に現状を解説し考察する。
11．教員の服務と身分保障について説明する。
12．服務の基本基準について説明する。
13．職務上の服務と身分上の服務について説明する。
14．教員採用の現状と進路選択について考察する。
15．総括講義

テキスト
伊藤一雄著『教職基礎論』サンライズ出版　2010.4 発行

参考書・参考資料等
教職問題研究会著『教師論』（改訂版）　2007.4　発行

学生に対する評価
定期試験（60%）、小試験（20%）、授業参加（単なる出席でなく質問や発表内容なども含む）（20%）で評価する。

養成をめざす力
教員として必要な知識の修得・技能の修得・意欲の向上

その他

科目名：教育原論
学期：前期
単位数：2
担当者：山脇雅夫

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：将来教員を志望する学生を対象に、教育の機能と社会について理解することを目標とする。
テ ー マ：教育の理念並びに教育の関する歴史及び思想

授業の概要
教育という営みは人間形成という個人的な面と、文化を伝達し社会に役立てるという社会的な面の二面性がある。本講義は教育の目的や機能について解説し、教育とはどのような営みなのかを考察する。また、現代の日本社会の学校が抱えている教育の病理について、構造的な側面から解説する。

授業計画
1．人間形成と教育及び子どもの発達と教育
　第 1 回：教育の目的と国家
　第 2 回：子どもの発達と教育
　第 3 回：子どもの生活と教育
2．近代の教育思想とわが国の教育の変遷について概説する。
　第 4 回：ヨーロッパにおける教育思想の変遷を概説する。
　第 5 回：アジアにおける教育思想の変遷を概説する。
　第 6 回：わが国の教育思想の変遷を概説する。
　第 7 回：第１回～第６回の講義内容についてのまとめ。小テストを行う。
3．学校教育
　第 8 回：義務教育について解説する。
　第 9 回：後期中等教育について解説する。
　第 10 回：高校の多様化と教育課程について解説する。
　第 11 回：高校教育から義務教育と大学教育を考える。
　第 12 回：障害者教育について解説する。
4．教育と社会
　第 13 回：国際化と教育との関わりについて論じる。
　第 14 回：学校教育の大衆化について論じる。
　第 15 回：第８回～ 14 回の講義内容についてのまとめ、小テストを行う。

テキスト
田嶋一著『やさしい教育原理』有斐閣

学生に対する評価
伊藤一雄他著『教職への道標』サンライズ出版

参考書・参考資料等
小テスト（30%）、定期試験（70%）＋授業への参加を加味する。

養成をめざす力
教育についての基礎知識、論理的思考力

その他

科目名：教育心理学
学期：前期
単位数：2
担当者：戸來知子

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：教育活動に関する心理学的な法則や事実を把握する。
テ ー マ：学習指導と生徒指導に心理学を援用して効果をあげる。

授業の概要
学校教育に限らず、教育活動において、より一層効果的にその指導効果が得られるように、心理学がどのように応用されて用いられているかを学ぶ。

授業計画
1．オリエンテーション。教育心理学の歴史と研究法の紹介。
2．発達段階と発達課題について。（その１）
3．発達段階と発達課題について。（その２）
4．学習の動機づけについて。
5．学習のメカニズム。学習の基礎としての条件づけ。
6．学習のメカニズム。学習における記憶の役割と問題解決力。
7．学習指導の心理学的理論。プログラム学習と協同学習について。
8．知的能力の発達について。表象的思考の発達と創造性の発達。
9．パーソナリティの理解。フロイトやエリクソンの理解と社会性について。
10. 学級の心理学と学校カウンセリングについて。（その１）
11. 学級の心理学と学校カウンセリングについて。（その２）
12. 子どもの不適応とストレスの対処法について。
13. スクールカウンセラーと教師の役割について。
14. 障害児の心理と特別支援教育について。
15. まとめ。試験むけての復習。

テキスト
桜井茂男編 『教育心理学』 図書文化 2013 年

参考書・参考資料等
伊藤良高・永野典詞・大津尚志・中谷彪編
『子ども・若者政策のフロンティア』晃洋書房 2012 年

学生に対する評価
小レポートを期末試験の点数の１割に加算する。

養成をめざす力
論理的な考察力。心理学の基礎知識。

その他
学校生活で体験する様々な出来事を、教育学的な知見と心理学的な知見の両方から分析してみてください。

科目名：教育課程論
学期：後期
単位数：2
担当者：伊藤一雄

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：教育課程とはなにかを理解し、中学校及び高校の学習指導要領の意図するものはなにか、またそれはどのように構成されているのかをどれだけ把握できたかを到達目標とする。
テ ー マ：学習指導要領と学校の教育課程。

授業の概要
教育課程は学校の教育実践の基盤となるものである。教育課程の意図する点について本講義を通じて新学習指導要領を中心に解説し、併せて、その変遷について述べる。さらに、学校教育と学習指導要領の間にある「隠れたカリキュラム」の実践的意義について考察する。

授業計画
第 1 回：教育課程とは何か及び教育課程の目標とするところについて解説する。
第 2 回：教育課程の内容構成について解説する。
第 3 回：学校の教育活動と教育課程の編成について解説する。
第 4 回：教育課程と教科の構成について解説する。
第 5 回：教育課程の評価方法について解説する。
第 6 回：学習指導要領と教育課程の変遷（1）
発足時から1958年改訂まで
第 7 回：学習指導要領と教育課程の変遷（2）
1958年改訂から1977年改訂まで
第 8 回：学習指導要領と教育課程の変遷（3）
1977年改訂から1998年改訂まで
第 9 回：学習指導要領と教育課程の変遷（4）
1998年改訂から現在まで
第10回：現行学習指導要領の意図するもの
第11回：学習指導要領の法的拘束性について考察する。
第12回：教育課程と隠れたカリキュラムについて解説し考察する（1）
第13回：教育課程と隠れたカリキュラムについて解説し考察する（2）
第14回：中等教育カリキュラムの国際比較
日・米・欧（ドイツ・フランス）の比較
第15回：総括講義 教育課程の編成と学校の教育活動の現状

テキスト
平成 21 年度版 学習指導要領（中学校編及び高校編）文部科学省

参考書・参考資料等
伊藤一雄著『教職への道標』サンライズ出版 2008.10 発行
伊藤一雄他著『教育課程論』晃陽書房 2010.4 発行

学生に対する評価
定期試験（50%）、小試験（30%）、授業参加（単なる出席でなく質問や発表内容を含む）（20%）

養成をめざす力
教員として必要な知識の修得・技能の修得・意欲の向上

その他

科目名：教育社会学
学期：後期
単位数：2
担当者：藤吉圭二

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：・社会調査で利用される統計の「読み方」に慣れる。
・相手にわかりやすく説明する力をつける。
テ ー マ：・教育と強制のあいだ

授業の概要
教育には児童・生徒の自主性を尊重しつつ、一定の方向に持っていかなければならないという両義的な性質がある。甘くするだけでも厳しくするだけでも効果は期待しにくい。こうした教育のもつ両義性について少年犯罪を事例に学んでいく。

授業計画
1．ガイダンス
2．報告レジュメのつくりかた（1）
3．報告レジュメのつくりかた（2）
4．報告レジュメのつくりかた（3）
5．白書統計から眺めた少年犯罪（1）
6．白書統計から眺めた少年犯罪（2）
7．人間関係に縛られた少年たち（1）
8．人間関係に縛られた少年たち（2）
9．成熟した社会のパラドクス（1）
10. 成熟した社会のパラドクス（2）
11. 保護の対象から責任の対象へ（1）
12. 保護の対象から責任の対象へ（2）
13. 社会の病理から個人の病理へ（1）
14. 社会の病理から個人の病理へ（2）
15. 不寛容な社会のパラドクス

テキスト
土井隆義『人間失格？』日本図書センター、2000 円程度。
※ 書店などで購入しておくこと。
※ ガイダンス時に用意していない場合は原則として受講を認めない。

参考書・参考資料等
テキスト巻末のブックガイドを活用すること。

学生に対する評価
・報告レジュメのできばえ…50 点
・定期試験…50 点
※ 詳細はガイダンスで説明する

養成をめざす力
本の内容をまとめる力、プレゼン力

その他
・テキストを購入しておくこと（試験でも使用する）。
・初回に配布するガイダンスプリントを必ず入手しておくこと。
・受講希望者が多い場合には選抜することがある。

科目名：宗教科教育法Ⅰ
学期：前期
単位数：2
担当者：乾仁志

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：宗教教育の意義を学び、宗教教育のあり方について考えを深める。
テ ー マ：宗教教育の理論と実際を学ぶ。

授業の概要
学校教育における宗教教育に必要な理論と実際について学習する。宗教教育の意義について学ぶとともに、宗教科教育法を通して戦前と戦後における宗教教育の実態を探り、宗教教育のあり方について考える。そのうえで、実際の宗教教育の進め方について学習する。

授業計画
1．シラバスの説明、講義の進め方等
2．宗教教育とは（1）
3．宗教教育とは（2）
4．宗教教育とは（3）
5．宗教科教育法について（1）
6．宗教科教育法について（2）
7．宗教科教育法について（3）
8．宗教教育の歴史（1）
9．宗教教育の歴史（2）
10. 宗教教育の歴史（3）
11. 宗教教育の歴史（4）
12. 学習指導案の作成（1）
13. 学習指導案の作成（2）
14. 学習指導案の作成（3）
15. 学習指導案の作成（4）

テキスト
斉藤昭俊著『宗教科教育法』国書刊行会
その他、プリント配布

参考書・参考資料等
教育実習を考える会編『実践「教育実習」学習指導案づくりと授業実習・記録の要点』蒼丘書林
小口偉一編『宗教学辞典』東京大学出版社、等

学生に対する評価
試験（60%）、レポート（学習指導案、感想文、他）（40%）

養成をめざす力
密教仏教の基礎力、想像力、道徳性

その他
宗教科教育法は他の一般教科とは少し性格が異なる。その点を受講者は十分に留意し、主体的に学習してほしい。とくに宗教科の教師になるということの意味をよく考えておくこと

科目名：宗教科教育法Ⅱ
学期：後期
単位数：2
担当者：乾　仁志

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：宗教教育科の授業方法や実際について体験して経験値を上げる。
テ ー マ：模擬授業を通してみた宗教教育の実際を学ぶ。

授業の概要
受講者全員に数回ずつ模擬授業を課し、それぞれの模擬授業について全員で総括しながら、高校生を対象とした宗教教育の授業内容や方法などについて学習する。

授業計画
1．シラバスの説明、講義の進め方等、およびビデオ鑑賞
2．山内の歴史探訪と案内
3．模擬授業　テーマ「祖師の生涯」1（釈尊伝）
4．模擬授業　テーマ「祖師の生涯」2（釈尊伝）
5．模擬授業　テーマ「祖師の生涯」3（釈尊伝）
6．模擬授業　テーマ「祖師の生涯」4（釈尊伝）
7．模擬授業　テーマ「祖師の生涯」1（弘法大師伝）
8．模擬授業　テーマ「祖師の生涯」2（弘法大師伝）
9．模擬授業　テーマ「祖師の生涯」3（弘法大師伝）
10．模擬授業　テーマ「祖師の生涯」4（弘法大師伝）
11．模擬授業　テーマ「祖師の教え」1（仏教の教え）
12．模擬授業　テーマ「祖師の教え」2（仏教の教え）
13．模擬授業　テーマ「祖師の教え」3（真言宗の教え）
14．模擬授業　テーマ「祖師の教え」4（真言宗の教え）
15．模擬授業の反省と総括

テキスト
中村元・田辺和子共著『ブッダ物語』（岩波ジュニア新書）岩波書店
松長有慶著『空海・心の眼をひらく－弘法大師の生涯と密教－』大法輪閣
富田向真著『青少年のための仏教読本』高野山真言宗布教研究所

参考書・参考資料等
斉藤昭俊著『宗教科教育法』国書刊行会
教育実習を考える会編『実践「教育実習」学習指導案づくりと授業実習・記録の要点』蒼丘書林

学生に対する評価
模擬授業（学習指導案と教材研究を含む）（80%）、レポート（感想文）（20%）

養成をめざす力
密教仏教の基礎力、日本語を書く力・聴く力・話す力、自主性

その他
宗教科の教師になるということの意味をよく考え、仏教・密教に関する基礎知識を普段からしっかり養い、創意工夫して、模擬授業に望むこと。

科目名：宗教科教育法Ⅲ
学期：前期
単位数：2
担当者：乾　仁志

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：中学生を対象とした宗教教育科の授業方法や実際について学ぶ。
テ ー マ：模擬授業を通してみた中学生に対する宗教教育の可能性。

授業の概要
受講者全員に数回ずつ模擬授業を課し、それぞれの模擬授業について全員で総括しながら、中学生を対象とした宗教教育の可能性や具体的な授業内容や方法などについて学習する。

授業計画
1．シラバスの説明、講義の進め方等、およびビデオ鑑賞
2．山内の歴史探訪と案内
3．模擬授業　テーマ「世界の宗教」1（宗教のおこりと原始宗教）
4．模擬授業　テーマ「世界の宗教」2（民族宗教と世界宗教）
5．模擬授業　テーマ「世界の宗教」3（東洋の宗教と西洋の宗教）
6．模擬授業　テーマ「宗教の歴史」1（仏教の歴史）
7．模擬授業　テーマ「宗教の歴史」2（キリスト教の歴史）
8．模擬授業　テーマ「宗教の歴史」3（イスラム教の歴史）
9．模擬授業　テーマ「宗教の教え」1（仏教の教え）
10．模擬授業　テーマ「宗教の教え」2（仏教の教え）
11．模擬授業　テーマ「宗教の教え」3（キリスト教の教え）
12．模擬授業　テーマ「宗教の教え」4（キリスト教の教え）
13．模擬授業　テーマ「宗教の教え」5（イスラム教の教え）
14．模擬授業　テーマ「宗教の教え」6（イスラム教の教え）
15．模擬授業の反省と総括

テキスト
村上重良『世界の宗教－世界史・日本史の理解に－』（岩波ジュニア新書）岩波書店

参考書・参考資料等
斉藤昭俊著『宗教科教育法』国書刊行会
教育実習を考える会編『実践「教育実習」学習指導案づくりと授業実習・記録の要点』蒼丘書林

学生に対する評価
模擬授業（学習指導案と教材研究を含む）（80%）、レポート（20%）

養成をめざす力
密教仏教の基礎力、日本語を書く力・聴く力・話す力、自主性

その他
宗教科の教師になるということの意味をよく考え、宗教一般に関する基礎知識を普段からしっかり養い、創意工夫して、模擬授業に望むこと。

科目名：国語科教育法Ⅰ
学期：前期
単位数：2
担当者：下西　忠

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：国語への関心を高め、表現力を伸長し、日本文化と伝統についての理解を深める。
テ ー マ：学習指導要領を通して、国語科教育の目的・目標を理解させる。

授業の概要
教材研究の方法を各単元ごとに具体的に指導する。
学習指導案の作成の意義・手順などを具体的に指導する。

授業計画
1．国語科教育の目的・目標（中学校と高等学校）
2．中学校の学習指導要領（国語）の内容を読み、その意味を正しく理解する。
3．高等学校の学習指導要領（国語）の内容を読み、その意味を正しく理解する。
4．高等学校における古典の授業の方法を具体的に考える。
5．学習指導案とは何か。その意義と目的について。
6．教材研究の方法と指導案の作成方法（1）
　外山滋比古『知的創造のヒント』（1）
7．教材研究の方法と指導案の作成方法（2）
　同　上（2）
8．教材研究の方法と指導案の作成方法（3）
　古文『十訓抄』－顕宗といふ笛吹き－」
9．教材研究の方法と指導案の作成方法（4）
　古文『竹取物語』かぐや姫のおひたち
10．教材研究の方法と指導案の作成方法　漢文「返り点のつけかた」
11．国文法の授業の問題点と課題（口語の場合）
12．国文法の授業の問題点と課題（文語の場合）
13．教員による実践授業（1）現代文
14．教員による実践授業（2）古文
15．総括講義　国語科の授業の必要性など

テキスト
国語総合（第一学習社）

参考書・参考資料等
国語科教育研究（学芸図書）

学生に対する評価
定期試験（50%）とレポート（50%）

養成をめざす力
自主性、チームワーク、創造力

その他
単位登録は、国語科の教育免許をとる学生に限る。

科目名：国語科教育法Ⅱ
学期：後期
単位数：2
担当者：下西　忠

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：実際の模擬授業を通して、多くの実践体験をつむとともに、教師に必要なさまざまな資質を養う。また各単元における指導案の書き方も研究することとする。
テ ー マ：模擬授業

授業の概要
毎時間一名による模擬授業（50分）とそれに対する他の受講生の意見・批評。また教員の意見・指導（40分）。忌憚のない積極的な意見を出し合うことにより、授業の内容・教材研究・指導案の書き方などを学ぶ。また併設校で実際に教育実習をおこなっている学生の授業を参観することにより、高校の現場を知ることも学びたい。

授業計画
1．ガイダンス（模擬授業の意義、指導案の目的と意義）
2．模擬授業（1）現代文〈評論〉「独創をうむ条件」
3．模擬授業（2）古文〈物語〉「伊勢物語」
4．模擬授業（3）国語表現「文章を要約する」
5．模擬授業（4）古典文法「動詞の活用」
6．模擬授業（5）現代文〈小説〉「羅生門」
7．高校現場を体感する（1）
8．高校現場を体感する（2）
9．現場体験の反省会
10．模擬授業（6）漢文「漁夫の利」
11．模擬授業（7）古文〈物語〉「竹取物語」
12．模擬授業（8）国語表現「報告文と手紙を書く」
13．模擬授業（9）現代文〈詩歌〉「一つのメルヘン」
14．模擬授業（10）古文〈詩歌〉「新古今集」
15．総括　教材研究と模擬授業の反省点

テキスト
国語総合（第一学習社）

参考書・参考資料等
国語科教育研究（学芸図書）

学生に対する評価
定期試験（50%）とレポート（50%）

養成をめざす力
自主性、チームワーク、創造力

その他
単位登録は、国語科の教育免許をとる学生に限る。

科目名	国語科教育法Ⅲ
学期	前期
単位数	2
担当者	下西　忠

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：古文の読解力、国文法の知識の体得、和歌や俳句の鑑賞の仕方、修辞を具体的に学ぶ。
テ ー マ：古文の指導

授業の概要
古文を苦手とする中学生・高校生らに対してどのように興味ある授業展開ができるか、担当者の現場経験を入れて解説する。古文の力を高める教材研究、国文法の力をたかめる教材研究の方法、古文を理解するために、日本の伝統文化行事、和歌、俳句の修辞などの解説をおこなう。

授業計画
1．ガイダンス（古文学習の知識と意義）
2．古代と現代の時代背景や生活習慣などの違いについて
3．文語と口語のちがいなど
4．古文の教材研究（1）説話
5．古文の教材研究（2）物語
6．用言の知識と指導法
7．付属語（助動詞）の文法的意味（1）
8．付属語（助動詞）の文法的意味（2）
9．付属語（助詞）の研究
10. 受講生による模擬授業（用言を中心に）
11. 受講生による模擬授業（助動詞を中心に）
12. 受講生による模擬授業（助詞を中心に）
13. 受講生による模擬授業（和歌の修辞）
14. 文学史の知識とその活用法
15. 総括授業　古文の魅力

テキスト
教師が作成した教材を配布する。

参考書・参考資料等
古典文法（高校で使用したもの）　どこの出版社のものでも可。

学生に対する評価
定期試験（50%）と小テスト（50%）

養成をめざす力
問題発見力、問題解決力、創造力

その他
国語の教育免許状を取得しようとする者にかぎる

科目名	国語科教育法Ⅳ
学期	後期
単位数	2
担当者	下西　忠

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：基礎学力の向上（とくに古典の力を身につける）単語力、文法力、漢文の句法
テ ー マ：国語の基礎学力向上

授業の概要
教壇にたつためには基礎的な国語力が当然ながら必要である。現代文、古文、漢文それぞれの分野の文章を読み、教員が用意した教材の問題を解きながら、さらなる基礎学力をはかる。

授業計画
1．沙石集と戦国策
2．方丈記と世説新語
3．発心集と荘子
4．十訓抄と淮南子
5．伊勢物語と史記
6．大鏡と孔子家語
7．大和物語と啓顔録
8．徒然草と籍川笑林
9．枕草子と春秋左氏伝
10. 古事談と礼記
11. 鶉衣と列子
12. 徒然草と戦国策
13. 古今著聞集と孟子
14. 平家物語と唐子
15. 土佐日記と列異伝

テキスト
教師が作成した教材を配布する。

参考書・参考資料等
文学史の本（どこの出版社のものでも可）
古語辞典・漢和辞典

学生に対する評価
教材研究（50%）と上記教材の理解度（50%）

養成をめざす力
問題発見力、問題解決力、創造力

その他
国語の教育免許状を取得しようとする者に限る。

科目名	教育方法論
学期	前期
単位数	2
担当者	山脇雅夫

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：近代から現代に至る教育方法に関する思想や技法を知り、今日的な教育方法の問題点や課題を考察することができる。
テ ー マ：教育方法の思想と具体的教授法の研究

授業の概要
17 世紀から 20 世紀に至る主要な教育思想の史的展開とその教授理論を概観し、現代の授業論に関する基礎と実践モデルを考察する。

授業計画
1．コメニウスの教育思想－近代教育の創始者－
2．ペスタロッチの教育思想（1）－人類教育の父－
3．ペスタロッチの教育思想（2）－基礎陶冶と人間形成論－
4．ヘルバルトの教育思想（1）－科学的教育学の創始者－
5．ヘルバルトの教育思想（2）－教授段階説の構造－
6．個別化教授法の理論と展開（1）－デューイの教育論－
7．個別化教授法の理論と展開（2）－個別化教授理論－
8．個別化教授法の理論と展開（3）－個別化教授プラン－
9．生活綴り方的教育方法の理論と実践
10. 問題解決学習と系統学習の理論
11. 現代授業研究の現状－視聴覚教育も含む－
12. 今日的授業改革の論点
13. 完全習得学習の理論と実践
14. 我が国の学力論の展開
15. 授業のまとめ－総括テスト－

テキスト
佐藤学『教育の方法』（左右社）

参考書・参考資料等
授業中に配布

学生に対する評価
期末試験（80%）、授業への取り組み（20%）により評価する。
受験資格は 2/3 以上出席とする。

養成をめざす力
日本語を書く力、論理性、問題発見力

その他
授業中にディスカッションやレポート作成を求めることがあるので、積極的に応じること。

科目名	情報技術論
学期	後期
単位数	2
担当者	戸来知子

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：中学校や高校で授業をすることを前提に、パソコンを使ってのリテラシー能力、プレゼンテーションの力をつける。
テ ー マ：学校教育の現場で情報機器を使いこなす。

授業の概要
学校教育の現場で必要となる情報技術の概要を知ると共に、それを日常的に使いこなせるだけの技術力と習慣力をつける。受講者は、授業時間内に受講者の前でプレゼンテーションをする。

授業計画
1．ガイダンス　授業計画の説明。
2．学校で使う情報機器の概要について
3．情報技術：文書作成（1）
4．情報技術：文書作成（2）
5．情報技術：文書作成（3）
6．情報技術：統計表作成（1）
7．情報技術：統計表作成（2）
8．情報技術：統計表作成（3）
9．情報技術：スライド作成（1）
10. 情報技術：スライド作成（2）
11. 情報技術：スライド作成（3）
12. 模擬授業（1）
13. 模擬授業（2）
14. 模擬授業（3）
15. まとめ

テキスト
必要に応じてプリントを配布する。

参考書・参考資料等
『エクセル＆ワード・パワーポイント便利技ぜんぶ！』TJMook

学生に対する評価
各課題のできばえ（50%）、試験（50%）

養成をめざす力
情報機器を用いたコミュニケーション力

その他
授業時間以外に作業する時間（宿題として）が必要である。

科目名：道徳教育の研究
学期：後期
単位数：2
担当者：山脇雅夫

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：①学習指導要領における道徳の目標、内容を理解する。
②「道徳の時間」の実践的指導力を修得する。
③道徳教育の理念と歴史を理解する。
テ ー マ：

授業の概要
道徳教育における実践的教育力を獲得することを目指す。そのために、1）道徳の本質、2）道徳教育の歴史、3）道徳教育の方法について、講義する。

授業計画
第 1 回　人間存在と道徳（学習指導要領における道徳の目標と内容）
第 2 回　承前
第 3 回　西洋の道徳教育の歴史①、ソクラテスの対話法
第 4 回　西洋の道徳教育の歴史②、プラトンとギリシャの四元徳
第 5 回　西洋の道徳教育の歴史③、アリストテレスの徳の倫理
第 6 回　西洋の道徳教育の歴史④、ルソーの自然主義
第 7 回　日本の道徳教育の歴史①、明治以前の道徳教育
第 8 回　日本における道徳教育②、明治期の道徳教育
第 9 回　道徳教育の授業理論①（インカルケーション）
第 10 回　道徳教育の授業理論②（価値の明確化）
第 11 回　道徳教育の授業理論③(コールバーグ理論に基づく道徳教育)
第 12 回　学習指導案の作成（中学の副教材・資料から）
第 13 回　模擬授業（数グループに分かれ、グループごとに発表）
第 14 回　承前
第 15 回　全体の振り返り

テキスト
『中学学習指導要領解説　道徳編』文部科学省

参考書・参考資料等
授業内で指示する。

学生に対する評価
学習指導案作成と模擬授業 40 点、学期末レポート 60 点。

養成をめざす力

その他

科目名：特別教育活動
学期：前期
単位数：2
担当者：戸来知子

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：学校教育の総合的理解。特別活動の内容と必要性を理解する。
テ ー マ：学校生活において、教科の授業以外の時間の教育的意味の理解と考察。

授業の概要
特別活動の意味するものを理解し、学級という共同体が持つ教育的役割を把握する。加えて人間の発達と教育という営みについて、現実の学校生活との関連から具体的に考察する。

授業計画
1．オリエンテーション。特別活動の意味するものの概説。
2．カリキュラムと特別活動の関係について。
3．学級集団について学ぶ。学級のもつ特質について。
4．学級集団について学ぶ。学習集団および生活集団としての学級。
5．学級のもつ可能性について。隠れたカリキュラム、集団の教育力など。
6．特別活動を支える教育の理論の紹介。（その１）
7．特別活動を支える教育の理論の紹介。（その２）
8．特別活動において教師が果たす役割について。
9．総合的な学習の時間について。（その１）
10．総合的な学習の時間について。（その２）
11．人間の成長・発達の理論と教育との関連性について。エリクソンのライフサイクル論の紹介。（その１）
12．人間の成長・発達の理論と教育との関連性について。エリクソンのライフサイクル論の紹介。（その２）
13．多様化する学校と個人の人間形成について。
14．新しい学習形態と進路保障に関すること。
15．まとめ。試験にむけての復習。

テキスト
特に指定しない。適宜、プリントを配布する。

参考書・参考資料等
『よくわかる授業論』　田中耕治編著　ミネルヴァ書房

学生に対する評価
小レポートを一回実施します。期末試験の成績の１割に加算します。

養成をめざす力
教育という営みについて自分の見解を述べることができるようになること。

その他
受講者の積極的な発言を求める、双方向の授業を目標にしている。

科目名：生徒指導・進路指導
学期：前期
単位数：2
担当者：伊藤一雄

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：生徒指導と進路指導の基礎理論を理解した上で、生徒指導、進路指導の事例をあげ、その課題にどれだけ接近できたかにより到達点を測る。
テ ー マ：キャリアガイダンス・カウンセリングを活かした生徒指導・進路指導

授業の概要
自分の将来をどう展望するか、進路指導の課題に真剣に取りくめば、それは生徒指導に活きてくる。本講義では、中･高等学校の生徒指導･進路指導を進める上での基礎的事項を解説した後、担当者の生徒指導主事、進路指導主事の現場経験を活用し、実践例を多く入れ課題解決型の講義にしたい。

授業計画
1．教育指導と教員の役割を考察する。
2．生徒の現状と生徒理解の方法を把握する。
3．社会変化と子どもの生活の変化を解説する。
4．社会変化と中・高校生の問題行動を知る。
5．生徒の生育歴と問題行動の関係を把握する。小試験を実施する。
6．生徒指導の実際（反社会的問題行動を中心に）を解説する。
7．生徒指導の実際（非社会的問題行動を中心に）を解説する。
8．進路指導の基礎（職業指導から進路指導）を解説する。
9．進路指導の基礎（進路指導からキャリア教育）を解説する。
10．進路選択の基礎理論を解説する。（特性・因子理論から職業的発達理論までとその後）
11．進路選択の実務を解説する。（１）
12．進路選択の実務を解説する。（２）
13．キャリア教育とは、どのような教育指導なのか解説し実践例を学ぶ。
14．キャリア教育と生徒指導の関係を考察する。
15．総括講義

テキスト
伊藤一雄著「新・教育指導の理論と実践」 サンライズ出版　2007.4

参考書・参考資料等
伊藤一雄著 「キャリア開発と職業指導」 法律文化社　2011.4

学生に対する評価
定期試験（60%）、小試験（20%）、授業参加（単なる出席でなく質疑、発表などどれだけ主体的に授業に取組んだか）(20%)

養成をめざす力
教員として必要な知識の修得、技能の修得、指導力の向上をめざす。

その他
各自の中学、高校時代の生徒指導。進路指導上の課題を素材として指導方法を考察したい。

科目名：教育相談
学期：後期
単位数：2
担当者：戸来知子

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：学校教育相談の実情を理解すると共に必要な基礎的知識を習得する。教育相談の基礎理論となる、教育や心理学の基礎理論を理解する。
児童・生徒の抱える様々な問題や悩みに対応できる知識と解決方法を学ぶ。
テ ー マ：児童・生徒が学校や家庭の生活で抱える様々な問題とその対処方法を理解する。生徒の発達段階の理解や、自尊感情の育成についての理論を理解する。学習障害や、ADHD などの広汎性発達障害について学習する。

授業の概要
基本的には講義形式で進めるが、学生と双方向の授業であるように、常に意見を求める。テーマを決めてディスカッションを行う。
考えるヒントとなるビデオ教材も鑑賞する。

授業計画
1．オリエンテーション。授業計画、授業の概要の説明。教育相談の定義。
2．教育相談の概念、枠組み、範疇。学校教育相談の具体例。
3．人間の発達段階と児童期や青年期の特性について。
4．自尊感情の育成方法。
5．児童期の子どもの様々な悩みについて。
6．学校内外でのいじめや不登校の問題について。
7．子どもを取りまく家庭の問題について。(DV や虐待の問題も含む)
8．様々な不適応問題の原因と解決策。
9．発達障害について。(学習障害、ADHD, アスペルガー症候群等)
10．発達障害を持つ子どもと家族への援助。(大人のADHD も含める)
11．カウンセリングの基本的なテクニックと理論の紹介
12．国際化に伴う教育相談。（外国人未就学児童の問題など）
13．社会問題化するドラッグや非行、引きこもり等の問題について。
14．教育者としての教師の自己管理について（教師の燃え尽き症候群、教師への援助）
15．まとめ。
授業を振り返って、児童・生徒にでき得る援助と、自分自身の人間的成長についての考察。

テキスト
『教職基礎論』サンライズ出版

参考書・参考資料等
滝口俊子『スクールカウンセリング』 放送大学
春日井敏之、伊藤美奈子編『よくわかる教育相談』ミネルヴァ書房

学生に対する評価
授業に取り組む姿勢および小レポートの提出も評価に加える。

養成をめざす力
論理性、問題発見力、問題解決力

その他
毎回、出席をとる。自分の意見を積極的に発言することを求める。

科目名：教職実践演習
学期：後期
単位数：2
担当者：伊藤一雄 戸來知子

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：４年間の教職科目の学習及び教育実習の経験などを通じて、教職に対する理解がどれだけ深まったか。教職に対する意欲がどれだけ高揚したかを確認し、具体的な指導方法の向上を図る。
テ ー マ：教職に対する理解の深化と意欲の伸長

授業の概要
４年間の教職科目の学習及び教育実習を通じて、教育指導の技術の一層の進化と定着を図ることを目標とする。

授業計画
1．本演習の目指す目標・内容について解説する。各自の教職実践演習カルテの記入を図る。
2．各自の教育実習の体験を発表し、今日の学校の抱える課題を共有する。Ⅰ
3．各自の教育実習の体験を発表し、今日の学校の抱える課題を共有する。Ⅱ
4．生徒指導（反社会的行動の生徒）の指導方法について各自の体験をもとに解決策を探る。
5．生徒指導（非社会的行動の生徒）の指導方法について各自の体験をもとに解決策を探る。
6．生徒指導についてのロールプレイⅠ
7．生徒指導についてのロールプレイⅡ
8．キャリアガイダンスとカウンセリングの実際Ⅰ
－進学希望生徒の場合－
9．キャリアガイダンスとカウンセリングの実際Ⅱ
－就職希望生徒の場合－
10．キャリアガイダンスとカウンセリングの実際Ⅲ
－進路未決定生徒の場合－
11．ミニ模擬授業Ⅰ－授業方法と技術－
12．ミニ模擬授業Ⅰ－授業構成と評価－
13．授業方法、授業順序、内容構成、生徒指導のかかわりについて考察する。
14．教職実践演習カルテの記入事項の再点検と個人的課題の整理
15．教職実践演習カルテを記入した個々の学生に対してカウンセリングを行う。

テキスト
なし、必要に応じプリントを配布する

参考書・参考資料等
伊藤一雄 他著 「新・教育指導の理論と実践」サンライズ出版 2006,4

学生に対する評価
発表レジメの内容（20%）、発表方法・技術（20%）、ガイダンス・カウンセリングの技術（20%）、ミニ模擬授業（20%）、総括レポート（20%）を総合する。

養成をめざす力
教員として必要な技能の修得、意欲の向上、指導力の向上

その他
演習にいかに意欲的に参加できたかが大切である。教育実習ノートを持参すること。

科目名：教育実習の研究
学期：前期
単位数：1
担当者：戸山來脇知雅子夫

授業の到達目標及びテーマ
教育実習の意義は、第一に、受講生による教師論・教育論を主体的に再構築することである。これまで大学で学んだ教養的教育、教科専門教育及び教職専門教育の知識を学校現場で実践・検証し、自らの教師論・教育論を再構築することを目標とする。第二に、教員になるための職能を感得する機会を得ることである。現代の学校教育の状況、今日の教員や児童・生徒の考え方や実態を捉える中で、教員となるための職能を自ら高めていくことを目標とする。

授業の概要
教育実習の事前・事後指導を通して、教員になるための動機づけ・意義づけを強め、教育実習に必要な基礎知識・技能を習得させる。

授業計画
1．事前指導（５回）
第１回：教育実習の意義と目標
第２回：教育実習の基礎知識
第３回：学校現場の１日と実習日誌の書き方
第４回：授業の進め方、指導案の書き方
第５回：教育実習の心得の確認と教育実習レポートの書き方
2．教育実習（中学校または高等学校において 90 時間の委託実習を行う）
3．事後指導（２回）
第６回：教育実習の報告
教職の意義の相互確認
第７回：教育実習の総括
教員採用試験について

テキスト
各教科書

参考書・参考資料等
教育実習を考える会編『教育実習の常識』蒼丘書林
教育実習日誌・教科指導案

学生に対する評価
実習校からの教育実習評価表、教育実習レポート・教育実習日誌・指導案、授業態度・授業参加を加味する

養成をめざす力
教員としての弁えについての知識、教員としての技能についての実践的理解

その他
今年度の教育実習Ⅰに行く学生は、必ず木曜日１講時（前期）の「教育実習の研究」を受講すること。

科目名：キャリアカウンセリングⅠ
学期：前期
単位数：2
担当者：田村美幸

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：大学生活と社会の接点、キャリアデザインの考え方を習得する。
テ ー マ：労働と社会と自分

授業の概要
職業社会を理解する上で必要な基礎知識の習得を目指します。
今後の自分のキャリアを設計していくために、大学で学ぶことの意味を考え、現時点でできること、これから学習していくことは何かを、学生同士が議論しながら進めていきます。

授業計画
1．オリエンテーション
2．キャリアデザインの意味
3．自己を見つめる①（ライフライン）
4．自己を見つめる②（交流分析とストローク）
5．働くことの意味
6．会社とはなにか（社会における企業の役割）
7．学校と職場の違い
8．就職とはどういうことか
9．いろいろな働き方（業種・業界）
10．社会と専門領域との合致（学びの意味）
11．すべての仕事に共通する能力　①対人能力
12．すべての仕事に共通する能力　②対自己能力
13．すべての仕事に共通する能力　③対課題能力
14．すべての仕事に共通する能力　④実践力
15．まとめ

テキスト
教員作成の資料
大久保幸夫『キャリアデザイン入門＜１＞基礎力編』（日経文庫）

参考書・参考資料等
池上彰『会社のことをよくわからないまま社会人になった人へ』（海竜社）
中沢孝夫 『就活のまえに』（ちくまプリマー新書）

学生に対する評価
授業内課題（グループ討議・レポート発表・実技演習）の参加度・習熟度（60%）、学期末レポートの完成度（40%）

養成をめざす力
日本語を話す力、自主性、問題発見力

その他
就職活動の準備のためだけではなく、大学で学ぶ専門領域が自分のキャリア形成にとって、どんな意味を持つかということを考える授業です。積極的な参加を期待します。

科目名：キャリアカウンセリングⅡ
学期：前期
単位数：2
担当者：森崎雅好

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：自分自身のことを適切に語り、他者の話を上手に聴く。
テ ー マ：伝える姿勢、聴く姿勢を身につけ、円滑な人間関係を築く。

授業の概要
コミュニケーションには、身体的表現力、言語的表現力、受信力の３つが重要となります。この講義では、コミュニケーション力の向上を目指して、これら３つに関する知識の習得及び実習形式の講義を行います。

授業計画
1．社会性とは何か
2．コミュニケーションについて
3．身体性への気づき①（動作法：正しい姿勢を身につける）
4．身体性への気づき②（動作法：身体部位の動きを身につける）
5．身体的コミュニケーション①（体を使った情報伝達）
6．身体的コミュニケーション②（相手の動きに合わせた情報伝達）
7．交流分析①：自分の世界観を知る
8．交流分析②：自分のコミュニケーションの特徴を知る
9．アサーショントレーニング：自分の意見をはっきりと述べる
10．言語的コミュニケーション①（自己紹介・自己 PR）
11．言語的コミュニケーション②（他者紹介・話し合い）
12．身体的コミュニケーションまとめ（動作法・情報伝達）
13．言語的コミュニケーションまとめ①（討論会）
14．言語的コミュニケーションまとめ②（面接場面の役割体験）
15．社会性について　まとめ

テキスト
講師作成資料を配布する。

参考書・参考資料等
平木典子著『アサーショントレーニング　－さわやかな〈自己表現〉－』金子書房、1993 年
他は授業中に紹介する

学生に対する評価
毎回の講義後の小感想文（30%）、期末レポート（70%）

養成をめざす力
チームワーク、想像力、道徳性

その他
現代社会ではコミュニケーション力が求められています。適度な自己開示、他者への開かれた態度を身につけることは、円滑な人間関係を生み出します。講義中での積極的な意見交流を望みます。

科目名：就職スキル講座
学期：前期
単位数：2
担当者：田村美幸

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：自己の能力を確認し、就職活動に必要なスキルを習得する。
テ ー マ：就職活動の意識づけと行動化

授業の概要

社会に対して視野を広げ、就職活動の進め方や必要なスキルを身につけます。
演習、フィードバックを通して実践的な授業を展開します。

授業計画

1．オリエンテーション
2．社会人として求められる能力（社会人基礎能力）
3．就職活動の流れと構造
4．自己の能力と業種の特性との合致
5．ビジネスマナー①（言葉遣い、立居振舞）
6．ビジネスマナー②（会社訪問）
7．ビジネスマナー③（電話応対）
8．演習①（自己ＰＲの作成）
9．演習②（履歴書の作成）
10．演習③（エントリーシートの作成）
11．演習④（志望動機の作成）
12．演習⑤（面接の流れと方法）
13．演習⑥（模擬面接、グループ面接）
14．演習⑦（模擬面接、グループディスカッション）
15．演習⑧（総括と自己点検）

テキスト

教員作成の資料を配布する。

参考書・参考資料等

中沢孝夫 『就活のまえに』（ちくまプリマー新書）

学生に対する評価

授業内課題の完成度（40%）、授業内演習の参加度･習熟度（40%）、学期末レポートの完成度（20%）

養成をめざす力

日本語を聞く力・話す力

その他

実践中心の授業ですので、課題、演習には積極的に取り組んでください。
受ける授業でなく、自らが行動する授業にしていきましょう。
各授業は連続性があるので欠席しないようにしてください。

科目名：事相研究(聖教の伝授と実習)(別)
学期：通年
単位数：4
担当者：佐藤隆彦

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：【前期】祕密事相の基礎知識を習得することを授業の目的とする。
【後期】理趣経法の専門知識を習得することを授業の目的とする。
テ ー マ：【前期】祕密事相の研究
【後期】理趣経法の研究

授業の概要

【前期】初心者を対象に基礎知識の習得に重点を置く。浄厳の『通用字輪観口訣』を読む。
【後期】潅頂終了者を対象に理趣経法の高度な知識の習得に重点を置く。

授業計画

【前期】
1．授業についてのオリエンテーション
2．三種秘観について
3．浄厳和尚について
4～15.
『通用字輪観口訣』を読む
浄厳の『通用字輪口訣』を観講義と演習討論形式とを使い分けながら授業を行う。

【後期】
1．授業についてのオリエンテーション
2．事相の歴史
3．四度の行法と次第
4．潅頂と印可
5．各種の修法
6．諸流派の行要
7．印と真言
8．教の解説
9．『理趣経法』の歴史
10～15.
『理趣経法』の実際

上記項目にしたがって、講義形式で授業を行う。

テキスト

【前期】コピーにて配布する。
【後期】中川善教『理趣經法』（數珠屋四郎兵衛）

参考書・参考資料等

【前期】『新安流四度口訣集』
【後期】栂尾祥雲『祕密事相の研究』（臨川書店）
上田霊城『真言密教事相概説』四度部、諸尊法潅頂部上、下（同朋舎）
高見寛恭『理趣法の意得』

学生に対する評価

期末レポート（65%） 課題発表（20%） 小テスト（15%）

養成をめざす力

密教仏教の専門性、問題発見力、忍耐力

その他

科目名
学期
単位数
担当者

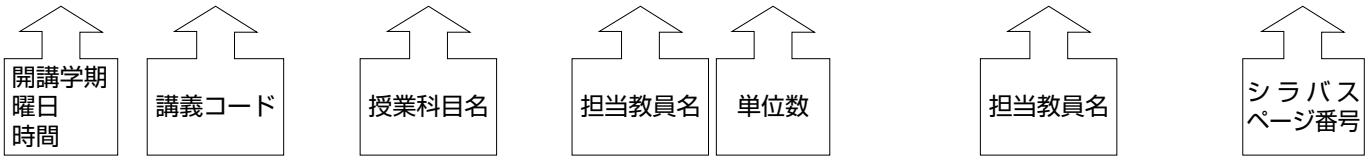
科目名
学期
単位数
担当者

大　学　院

◆目次について

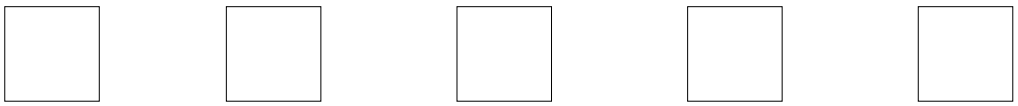
この『平成 26 年度講義概要・授業計画』では、まず目次で自分の学年のページを開き、そこに記載されている科目情報およびシラバスページ番号を確認してください。学生の皆さんが今年度受講する科目の内容は、目次により当該科目のシラバスページを開くことで見ることができます。

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
前期	水	1	53101	空海の思想入門	藤 田 光 寛	2	1 年次	−		1



◆講義コードについて

講義コードは５ケタの数字になっています。コードは、それぞれ次の内容を表しています。



（５ケタ）

課程
5 = 文学部生用
8 = 別科生用
9 = 大学院生用

曜日
1 = 月曜日
2 = 火曜日
3 = 水曜日
4 = 木曜日
5 = 金曜日
6 = 土曜日
7 = 集中講義
8 = 実習
9 = 論文

時限
1 = 1 講時
2 = 2 講時
3 = 3 講時
4 = 4 講時
5 = 5 講時

通し番号
01 ～ 49 = 前期授業
および通年授業
51 ～ 99 = 後期授業

◆受講登録について

1　受講登録の手続きは、今年度受講する全授業科目を履修登録票に記入し、**4月7日（月）から4月16日（水）午後5時まで**に教務係へ提出してください。

2　履修登録票は、枠内にはっきりと、ていねいに記入してください。

①　学籍番号（※ 身分証明書を参照）・氏名・所属学科・学年を記入してください。

②　履修登録欄には、今年度に受講するすべての授業科目を、『平成26年度講義概要・授業計画』および授業時間表を参照して、講義コード・授業科目名（卒業論文も含む）を記入してください。

3　履修登録票を教務係へ提出した学生は、**4月21日（月）から4月25日（金）午後5時まで**に、教務係で各自の「学生時間割表」を受け取り、誤り・変更がないか確認をしてください。

この時に学生証が必要です。確認後、誤り・変更がなければ、氏名の横に捺印もしくは署名をし、提出してください。誤り・変更があれば、朱書きで訂正をし、教務係へ提出してください。

4　最後に、各自の「学生時間割表」のコピーを受け取り、1年間保管してください。

5　後期（9月26日開講）授業科目の追加及び登録変更は、**9月26日（金）から10月1日（水）午後5時まで**の後期履修登録変更期間に、教務係へ申し出てください。ただし、通年科目の追加･変更･取消はできません。

◆出席票について

「出席票」は、各授業の第1回目から第3回目まで、毎回各教室で担当教員に提出してください。

それ以降は各担当教員の指示に従ってください。授業実数の3分の2以上の出席がないと「失格」になりますので留意してください。

◆報恩日（21日）の授業実施について

報恩日（21日）は、午前中は報恩日の行事に参加し、午後（第3講時、第4講時）は通常どおり授業を実施しますので、留意してください。

1．文学研究科修士課程（修了要件：30 単位）

［密教学専攻　博士前期課程コース・社会人コース・僧侶コース ］

1）基礎科目

学期	曜日	時限	コード	授業科目	担当者	単位	備考	頁
後期	月	2	91251	密教学講義（大）	乾　仁志	2	8 単位を超えて修了要件に参入できない。	院 -1
前期	水	5	93501	仏教学講義（大）	加納和雄	2		院 -1
後期	金	2	95251	インド学講義（大）	奥山直司	2		院 -1
前期	月	3	91301	祖典演習（大）	中村本然	2		院 -1

2）主要科目

学期	曜日	時限	コード	授業科目	担当者	単位	備考	頁
前期	木	4	94401	密教学特殊研究 1（大）	T.ドライトライン	2		院 -2
後期	木	4	94451	密教学特殊研究 2（大）	T.ドライトライン	2		院 -2
前期	水	5	93502	密教史特殊研究 1（大）	武内孝善	2		院 -2
後期	水	5	93551	密教史特殊研究 2（大）	武内孝善	2		院 -2
前期	月	2	91201	密教学演習 A-1（大）	中村本然	2		院 -3
後期	月	2	91252	密教学演習 A-2（大）	中村本然	2		院 -3
前期	水	1	93101	密教学演習 B-1（大）	南　昌宏	2		院 -3
後期	水	1	93151	密教学演習 B-2（大）	南　昌宏	2		院 -3
前期	水	2	93201	密教学演習 C-1（大）	乾　仁志	2		院 -4
後期	水	2	93251	密教学演習 C-2（大）	乾　仁志	2	主要科目 12 単位必修	院 -4
前期	火	3	92301	密教史演習 A-1（大）	奥山直司	2		院 -4
後期	火	3	92351	密教史演習 A-2（大）	奥山直司	2		院 -4
前期	水	2	93202	密教史演習 B-1（大）	佐藤隆彦	2		院 -5
後期	水	2	93252	密教史演習 B-2（大）	佐藤隆彦	2		院 -5
前期	木	2	94201	密教史演習 C-1（大）	武内孝善	2		院 -5
後期	木	2	94251	密教史演習 C-2（大）	武内孝善	2		院 -5
後期	月	3	91351	密教学講読（大）	中村本然	2		院 -6
前期	火	1	92101	密教史講読 1（大）	奥山直司	2		院 -6
後期	火	1	92151	密教史講読 2（大）	奥山直司	2		院 -6
後期	水	1	93152	現代社会と宗教（大）	中村本然	2	社会人コースは 4 単位必修	院 -6
前期	水	1	93102	密教と文化（大）	前谷彰	2		院 -7
前期	金	3	95301	事相研究Ⅰ -1（大）	齋藤天譽	2	僧侶コースは 4 単位必修	院 -7
後期	金	3	95351	事相研究Ⅰ -2（大）	齋藤天譽	2		院 -7
前期	木	4	94402	事相研究Ⅱ -1（大）	佐藤隆彦	2		院 -7
後期	木	4	94452	事相研究Ⅱ -2（大）	佐藤隆彦	2		院 -8

3）関連科目

学期	曜日	時限	コード	授業科目	担当者	単位	備考	頁
前期	木	3	94301	仏教学特殊研究（大）	前谷彰	2		院 -8
後期	火	3	92352	仏教史特殊研究（大）	加納和雄	2		院 -8
前期	水	2	93203	仏教学演習 1（大）	加納和雄	2		院 -8
後期	水	2	93253	仏教学演習 2（大）	加納和雄	2		院 -9
前期	火	3	92302	仏教史演習 A-1（大）	前谷彰	2		院 -9

後期	火	3	92353	仏教史演習 A-2（大）	前　谷　彰	2		院 -9
前期	木	1	94101	仏教史演習 B-1（大）	下　西　忠	2		院 -9
後期	木	1	94151	仏教史演習 B-2（大）	下　西　忠	2		院 -10
前期	木	3	94302	仏教史講読 1（大）	藤　田　光　寛	2		院 -10
後期	木	3	94351	仏教史講読 2（大）	藤　田　光　寛	2		院 -10

4）共通科目

学期	曜日	時限	コード	授　業　科　目	担当者	単位	備　考	頁
集中	集中	集中	97001	密教実践法の研究 1（大）	甲　田　宥　吽	2		院 -11
集中	集中	集中	97002	密教実践法の研究 2（大）	甲　田　宥　吽	2		院 -11
前期	火	3	92303	仏教芸術の研究 1（大）	和　田　圭　子	2		院 -11
後期	火	3	92354	仏教芸術の研究 2（大）	和　田　圭　子	2		院 -11
後期	水	1	93153	アジア地域の宗教文化の研究（大）	井上ウィマラ	2		院 -12
前期	木	3	94303	現代社会と仏教の研究 1（大）	T.ドライトライン	2		院 -12
後期	木	3	94352	現代社会と仏教の研究 2（大）	T.ドライトライン	2		院 -12
集中	集中	集中	97003	教育学特殊研究（大）	伊藤一雄 山脇雅夫	2		院 -12

5）修士論文

学期	曜日	時限	コード	授　業　科　目	担当者	単位	備　考	頁
通年	−	−	99001	修士論文（密教学）	副　学　長	0		−
前期	−	−	99003	修士論文（密教学）（前期）	副　学　長	0	7月提出許可者のみ	−

1．文学研究科修士課程（修了要件：30 単位）

［仏教学専攻　博士前期課程コース・社会人コース・僧侶コース］

1）基礎科目

学期	曜日	時限	コード	授業科目	担当者	単位	備考	頁
後期	月	2	91251	密教学講義（大）	乾　仁志	2	8 単位を超えて修了要件に参入できない。	院 -1
前期	水	5	93501	仏教学講義（大）	加納和雄	2		院 -1
後期	金	2	95251	インド学講義（大）	奥山直司	2		院 -1
前期	月	3	91301	祖典演習（大）	中村本然	2		院 -1

2）主要科目

学期	曜日	時限	コード	授業科目	担当者	単位	備考	頁
前期	木	3	94301	仏教学特殊研究（大）	前谷　彰	2	主要科目 12 単位必修	
後期	火	3	92352	仏教史特殊研究（大）	加納和雄	2		院 -8
前期	水	2	93203	仏教学演習 1（大）	加納和雄	2		院 -8
後期	水	2	93253	仏教学演習 2（大）	加納和雄	2		院 -9
前期	火	3	92302	仏教史演習 A-1（大）	前谷　彰	2		院 -9
後期	火	3	92353	仏教史演習 A-2（大）	前谷　彰	2		院 -9
前期	木	1	94101	仏教史演習 B-1（大）	下西　忠	2		院 -9
後期	木	1	94151	仏教史演習 B-2（大）	下西　忠	2		院 -10
前期	木	3	94302	仏教史講読 1（大）	藤田光寛	2		院 -10
後期	木	3	94351	仏教史講読 2（大）	藤田光寛	2		院 -10
後期	水	1	93152	現代社会と宗教（大）	中村本然	2	社会人コースは 4 単位必修	院 -6
前期	水	1	93103	仏教と文化（大）	前谷　彰	2		院 -7
前期	金	3	95301	事相研究Ⅰ -1（大）	齋藤天譽	2	僧侶コースは 4 単位必修	院 -7
後期	金	3	95351	事相研究Ⅰ -2（大）	齋藤天譽	2		院 -7
前期	木	4	94402	事相研究Ⅱ -1（大）	佐藤隆彦	2		院 -7
後期	木	4	94452	事相研究Ⅱ -2（大）	佐藤隆彦	2		院 -8

3）関連科目

学期	曜日	時限	コード	授業科目	担当者	単位	備考	頁
前期	木	4	94401	密教学特殊研究 1（大）	T.ドライトライン	2		院 -2
後期	木	4	94451	密教学特殊研究 2（大）	T.ドライトライン	2		院 -2
前期	水	5	93502	密教史特殊研究 1（大）	武内孝善	2		院 -2
後期	水	5	93551	密教史特殊研究 2（大）	武内孝善	2		院 -2
前期	月	2	91201	密教学演習 A-1（大）	中村本然	2		院 -3
後期	月	2	91252	密教学演習 A-2（大）	中村本然	2		院 -3
前期	水	1	93101	密教学演習 B-1（大）	南　昌宏	2		院 -3
後期	水	1	93151	密教学演習 B-2（大）	南　昌宏	2		院 -3
前期	水	2	93201	密教学演習 C-1（大）	乾　仁志	2		院 -4
後期	水	2	93251	密教学演習 C-2（大）	乾　仁志	2		院 -4
前期	火	3	92301	密教史演習 A-1（大）	奥山直司	2		院 -4
後期	火	3	92351	密教史演習 A-2（大）	奥山直司	2		院 -4
前期	水	2	93202	密教史演習 B-1（大）	佐藤隆彦	2		院 -5
後期	水	2	93252	密教史演習 B-2（大）	佐藤隆彦	2		院 -5

前期	木	2	94201	密教史演習 C-1（大）	武　内　孝　善	2		院 -5
後期	木	2	94251	密教史演習 C-2（大）	武　内　孝　善	2		院 -5
後期	月	3	91351	密教学講読（大）	中　村　本　然	2		院 -6
前期	火	1	92101	密教史講読 1（大）	奥　山　直　司	2		院 -6
後期	火	1	92151	密教史講読 2（大）	奥　山　直　司	2		院 -6

4）共通科目

学期	曜日	時限	コード	授　業　科　目	担当者	単位	備　考	頁
集中	集中	集中	97001	密教実践法の研究 1（大）	甲　田　宥　吽	2		院 -11
集中	集中	集中	97002	密教実践法の研究 2（大）	甲　田　宥　吽	2		院 -11
前期	火	3	92303	仏教芸術の研究 1（大）	和　田　圭　子	2		院 -11
後期	火	3	92354	仏教芸術の研究 2（大）	和　田　圭　子	2		院 -11
後期	水	1	93153	アジア地域の宗教文化の研究（大）	井上ウィマラ	2		院 -12
前期	木	3	94303	現代社会と仏教の研究 1（大）	T.ドライトライン	2		院 -12
後期	木	3	94352	現代社会と仏教の研究 2（大）	T.ドライトライン	2		院 -12
集中	集中	集中	97003	教育学特殊研究（大）	伊藤一雄 山脇雅夫	2		院 -12

5）修士論文

学期	曜日	時限	コード	授　業　科　目	担当者	単位	備　考	頁
通年	－	－	99002	修士論文（仏教学）	副　学　長	0		－
前期	－	－	99004	修士論文（仏教学）（前期）	副　学　長	0	7 月提出許可者のみ	－

2．文学研究科博士後期課程（修了要件：12 単位）

［密教学専攻 ］

学期	曜日	時限	コード	授　業　科　目	担当者	単位	備　考	頁
前期	木	4	94401	密教学特殊研究 1（大）	T.ドライトライン	2		院 -2
後期	木	4	94451	密教学特殊研究 2（大）	T.ドライトライン	2		院 -2
前期	水	5	93502	密教史特殊研究 1（大）	武　内　孝　善	2		院 -2
後期	水	5	93551	密教史特殊研究 2（大）	武　内　孝　善	2		院 -2
前期	月	2	91201	密教学演習 A-1（大）	中　村　本　然	2		院 -3
後期	月	2	91252	密教学演習 A-2（大）	中　村　本　然	2		院 -3
前期	水	1	93101	密教学演習 B-1（大）	南　　昌　宏	2		院 -3
後期	水	1	93151	密教学演習 B-2（大）	南　　昌　宏	2		院 -3
前期	水	2	93201	密教学演習 C-1（大）	乾　　仁　志	2		院 -4
後期	水	2	93251	密教学演習 C-2（大）	乾　　仁　志	2	※密教特殊演習4単位を含め、12単位以上を履修しなければならない。（複数回受講可）	院 -4
前期	火	3	92301	密教史演習 A-1（大）	奥　山　直　司	2		院 -4
後期	火	3	92351	密教史演習 A-2（大）	奥　山　直　司	2		院 -4
前期	水	2	93202	密教史演習 B-1（大）	佐　藤　隆　彦	2		院 -5
後期	水	2	93252	密教史演習 B-2（大）	佐　藤　隆　彦	2		院 -5
前期	木	2	94201	密教史演習 C-1（大）	武　内　孝　善	2		院 -5
後期	木	2	94251	密教史演習 C-2（大）	武　内　孝　善	2		院 -5
後期	月	3	91351	密教学講読（大）	中　村　本　然	2		院 -6
前期	火	1	92101	密教史講読 1（大）	奥　山　直　司	2		院 -6
後期	火	1	92151	密教史講読 2（大）	奥　山　直　司	2		院 -6
前期	木	5	94501	密教特殊演習 1（大）	武　内　孝　善	2		院 -13
後期	木	5	94551	密教特殊演習 2（大）	武　内　孝　善	2		院 -13

［仏教学専攻 ］

学期	曜日	時限	コード	授　業　科　目	担当者	単位	備　考	頁
前期	木	3	94301	仏教学特殊研究（大）	前　谷　　彰	2		
後期	火	3	92352	仏教史特殊研究（大）	加　納　和　雄	2		院 -8
前期	水	2	93203	仏教学演習 1（大）	加　納　和　雄	2		院 -8
後期	水	2	93253	仏教学演習 2（大）	加　納　和　雄	2		院 -9
前期	火	3	92302	仏教史演習 A-1（大）	前　谷　　彰	2	※仏教特殊演習 4 単位を含め、12単位以上を履修しなければならない。（複数回受講可）	院 -9
後期	火	3	92353	仏教史演習 A-2（大）	前　谷　　彰	2		院 -9
前期	木	1	94101	仏教史演習 B-1（大）	下　西　　忠	2		院 -9
後期	木	1	94151	仏教史演習 B-2（大）	下　西　　忠	2		院 -10
前期	木	3	94302	仏教史講読 1（大）	藤　田　光　寛	2		院 -10
後期	木	3	94351	仏教史講読 2（大）	藤　田　光　寛	2		院 -10

講　義　概　要

・

授　業　計　画

科目名：密教学講義（大）
学期：後期
単位数：2
担当者：乾 仁志

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：密教の専門用語を習得し、密教思想の総合的理解を培う。
テ ー マ：密教の基礎知識の養成

授業の概要
インドにおいて発生した密教は、善無畏三蔵や金剛智三蔵によって、唐代の中国に伝えられるが、思想として体系化されるまでにいたらない。弘法大師空海によって確立されることになる（真言）密教の特徴を概観する。

授業計画
1．講義内容の説明
2．十住心の思想；①十住心思想の構成
3．十住心の思想；②十住心思想の特徴
4．真言密教の仏陀観；①釈迦如来から大日如来へ
5．真言密教の仏陀観；②様々な信仰の対象
6．曼荼羅；①両部曼荼羅の成立
7．曼荼羅；②四種曼荼羅とは
8．真言密教の人間観；①空海と心の本性の探究
9．真言密教の人間観；②心性本浄思想の源流
10. 即身成仏への道；①密教の三昧耶戒
11. 即身成仏への道；②浄菩提心と観法
12. 即身成仏への道；③四重禁戒と十善戒
13. 即身成仏思想；①六大・四曼・三密
14. 即身成仏思想；②即身の意味と三種即身成仏
15. 密教の特性

テキスト
勝又俊教著『密教入門』春秋社

参考書・参考資料等
松長有慶著『密教』（岩波新書）岩波書店
高神覚昇著『密教概論』大法輪閣
金岡秀友著『密教の哲学』講談社学術文庫
佐和隆研編『密教辞典』法藏館
中村元監他編『岩波仏教辞典』岩波書店

学生に対する評価
試験（80%）、授業参加への積極性（20%）

養成をめざす力
密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性

その他
講義にはテキスト・参考書の他に、ノートと配布プリントおよび辞書等を持参してください。
授業中に黒板に板書した語句や文章および図はノートに写してください。
分からない仏教用語は辞書を開いて確認してください。
（注）上記「授業参加への積極性」はノートを点検して採点します。

科目名：仏教学講義（大）
学期：前期
単位数：2
担当者：加納和雄

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：仏教の基礎知識についての確認作業を行い、仏教の思想が将来的にどのように生かし得るかについて、それぞれの認識を深めてもらう。
テ ー マ：仏教とは何か

授業の概要
仏教とは何かについての基本的疑問を提示することによって、仏教が初期・大乗・密教と歴史的に展開してきた足跡を追うことによって、仏教の何たるかについての基本的問題に焦迫する。

授業計画
1．オリエンテーション
2．初期仏教の基礎知識の確認（1）
3．初期仏教の基礎知識の確認（2）
4．アビダルマの基礎知識の確認
5．大乗仏教の起源について（1）
6．大乗仏教の起源について（2）
7．大乗とは何か（1）
8．大乗とは何か（2）
9．密教とは何か（1）
10. 密教とは何か（2）
11. 初期仏教思想を現代にどのように生かすか
12. 大乗・密教を現代にどのように生かすか
13. 現代への応用とその方法論的疑問（1）
14. 現代への応用とその方法論的疑問（2）
15. 総まとめ

テキスト
担当者がコピーを配布する。

参考書・参考資料等
佐々木閑『科学するブッダ : 犀の角たち』(角川ソフィア文庫)
佐々木閑『仏教は宇宙をどう見たか : アビダルマ仏教の科学的世界観』（DOJIN 選書）

学生に対する評価
授業時に指示する課題をどれだけこなしているか（50%）、学期末のレポート（50%）によって評価する。

養成をめざす力
密教仏教の専門性、日本語を読む力・聴く力、国際感覚

その他
受講者は、サンスクリット語の基礎知識を習得済であることが望ましい。

科目名：インド学講義（大）
学期：後期
単位数：2
担当者：奥山直司

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：①インド・チベットの仏教図像に関する基礎的な知識と研究方法を身につける。
②チベットの仏像を見た時に、その名称が言えるようになる。
③インド・チベット仏教史の流れを理解する。
テ ー マ：インド・チベット密教の図像資料の研究

授業の概要
チベット探検で知られる河口慧海が持ち帰った図像資料などに基づいて、インド･チベット仏教美術の主題と表現形式学び、さらに『三百尊図像集』などを用いて、図像の解読の練習を行う。あわせてインド･チベット仏教史の流れについて基礎的な知識の整理を行う。

授業計画
1．イントロダクション：チベットのタンカをどう見るか
2．インド・チベット仏教美術の主題と表現形式１
3．インド・チベット仏教美術の主題と表現形式２
4．インド・チベット仏教美術の主題と表現形式３
5．河口慧海コレクション１
6．河口慧海コレクション２
7．河口慧海コレクション３
8．河口慧海コレクション４
9．『三百尊図像集』１
10.『三百尊図像集』２
11.『三百尊図像集』３
12.『三百尊図像集』４
13.『三百尊図像集』５
14.『三百尊図像集』６
15. まとめ

テキスト
『河口慧海請来チベット資料図録』佼成出版社
『三百尊図像集』（ビブリオテカ・ブッディカ）

参考書・参考資料等
頼富本宏・下泉全暁『密教仏像図典　インドと日本の仏たち』
人文書院

学生に対する評価
提出物の評価を含む授業参加状況（60%）、期末レポート（40%）

養成をめざす力
密教仏教の専門性、日本語を書く力、想像力

その他
遅刻３回で１欠席と見なすので注意。

科目名：祖典演習（大）
学期：前期
単位数：2
担当者：中村本然

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：空海の『法華経』理解や最澄の天台教学に対する視点を明らかにしたい。
テ ー マ：『秘蔵宝鑰』を読む

授業の概要
『秘蔵宝鑰』は弘法大師が天長七年(830)頃に、時の天皇の要請によって撰述した著書である。この論には空海思想の集大成ともいえる十住心思想が論じられている。講義では、特に第八一道無為心に注目してみたい。

授業計画
1．オリエンテーション
2．『秘蔵宝鑰』の成立背景
3．『秘蔵宝鑰』一道無為心の綱領①
4．『秘蔵宝鑰』一道無為心の綱領②
5．『秘蔵宝鑰』一道無為心の綱領③
6．『秘蔵宝鑰』この住心の余説①
7．『秘蔵宝鑰』この住心の余説②
8．『秘蔵宝鑰』偈頌による表現①
9．『秘蔵宝鑰』偈頌による表現②
10.『秘蔵宝鑰』極不の問答①
11.『秘蔵宝鑰』極不の問答②
12. 講義総括

テキスト
『十巻章』高野山大学出版

参考書・参考資料等
小田慈舟著『十巻章講説』高野山出版社など

学生に対する評価
授業参加の積極性（40%）・試験（60%）で評価する。

養成をめざす力
密教仏教の基礎力、問題発見力

その他

科目名：密教学特殊研究1（大）
学期：前期
単位数：2
担当者：T.ドライトライン

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：空海の英訳三部作の現代語訳を通じてその思想を理解し、わかりやすく他に伝えることができる。
テ ー マ：空海の英訳三部作を現代語訳する－英訳から現代日本語へ－

授業の概要
高木訷元・T.ドライトラインの共著である空海の三部作の英訳をテキストとして現代和訳をしながら、空海の思想の現代における意義を吟味し、意見交換、ディスカッションや発表で進めていく。

授業計画
1．空海の思想的展開とその思想史意義
2．『即身成佛義』1
3．同上２
4．同上３
5．同上４
6．同上５
7．同上６
8．『声字実相義』 1
9．同上２
10．同上３
11．同上４
12．『吽字義』 1
13．同上２
14．同上３
15．同上４

テキスト
Takagi, Shingen and Dreitlein, Thomas Eijō. *Kūkai on the Philosophy of Language.* Tokyo: Keio University Press, 2010.

参考書・参考資料等
『定本弘法大師全集』、小田慈舟『十巻章講説』、Hakeda, Yoshito, *Kūkai: Major Works*、その他

学生に対する評価
レポート（50%）、発表（20%）、授業参加の積極性（30%）

養成をめざす力
密教仏教の専門性、外国語を読む力、国際感覚

その他
参加型の授業で、受講生全員は予習として毎回該当する英文のテキストを和訳・研究する。
テキストのテーマに合わせて、空海の思想について受講生による発表を行う。
英文読解力を必要とする。授業は日本語で進める。
プログラムは改訂される場合がある。

科目名：密教学特殊研究2（大）
学期：後期
単位数：2
担当者：T.ドライトライン

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：空海の英訳三部作の現代語訳を通じてその思想を理解し、わかりやすく他に伝えることができる。
テ ー マ：空海の英訳三部作を現代語訳する－英語から現代日本語へ－

授業の概要
高木訷元・T.ドライトラインの共著である空海の三部作の英訳をテキストとして現代和訳をしながら、空海の思想の現代における意義を吟味し、意見交換、ディスカッションや発表で進めていく。

授業計画
1．空海の思想的展開とその思想史意義
2．『即身成佛義』1
3．同上２
4．同上３
5．同上４
6．同上５
7．同上６
8．『声字実相義』 1
9．同上２
10．同上３
11．同上４
12．『吽字義』 1
13．同上２
14．同上３
15．同上４

テキスト
Takagi, Shingen and Dreitlein, Thomas Eijō. *Kūkai on the Philosophy of Language.* Tokyo: Keio University Press, 2010.

参考書・参考資料等
『定本弘法大師全集』、小田慈舟『十巻章講説』、Hakeda, Yoshito, *Kūkai: Major Works*、その他

学生に対する評価
レポート（50%）、発表（20%）、授業参加の積極性（30%）

養成をめざす力
密教仏教の専門性、外国語を読む力、国際感覚

その他
参加型の授業で、受講生全員は予習として毎回該当する英文のテキストを和訳・研究する。
テキストのテーマに合わせて、空海の思想について受講生による発表を行う。
英文読解力を必要とする。授業は日本語で進める。
プログラムは改訂される場合がある。

科目名：密教史特殊研究1（大）
学期：前期
単位数：2
担当者：武内孝善

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：過去のできごとを歴史的に解明していく上で、根本史料となるのが古文書です。わが国における真言密教の展開を研究する場合も、古文書の知識なくしては進めることができません。この講義では、古文書学の基本を習得することを目的とします。
テ ー マ：真言宗に出された古文書を読む

授業の概要
この講義では､時代を奈良から平安時代初期(八～十世紀)に限定し､第一に、空海伝並びに初期真言宗教団史を研究する上で、必須となる古文書学の基本事項をおさえる。第二は、当該時期の古文書をできるかぎり多く読み、内容の把握に努めるとともに問題点を指摘し、その解明を試みたい。

授業計画
1．古文書とは何か
2．古文書の様式について
3．古文書を読む（1）太政官符１
4．　同　（2）太政官符２
5．　同　（3）太政官符３
6．　同　（4）太政官牒１
7．　同　（5）太政官牒２
8．　同　（6）太政官牒３
9．　同　（7）僧綱牒１
10．　同　（8）僧綱牒２
11．　同　（9）位記
12．　同　（10）戒牒
13．僧侶の手紙を読む（1）空海の手紙１
14．　同　（2）空海の手紙２
15．　同　（3）最澄の手紙

テキスト
毎時間、プリントを配付する。

参考書・参考資料等
・佐藤進一『古文書入門』法政大学出版部
・竹内理三編『平安遺文』東京堂出版
・『弘法大師全集』第五輯所収「官符等編年雑集」密教文化研究所
・園城寺編『園城寺文書』第一巻　講談社

学生に対する評価
授業への取り組み(60%)と数回のレポート(40%)を綜合して評価。

養成をめざす力
密教仏教の基礎力、 密教仏教の専門性、問題解決力

その他
①身につくか否かは、各自の努力と熱意によります。
②「習うより慣れろ」です。多くの文書に親しんでください。

科目名：密教史特殊研究2（大）
学期：後期
単位数：2
担当者：武内孝善

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：この講義は、人文科学を研究していく上での基本的な事柄、特に文献学的な研究方法を身につけることを目的とします。
テ ー マ：文献学方法論－何をどのように使って研究するか－

授業の概要
ハード面とソフト面にわけると、まずハード面では研究を進める上での基本となる道具類についてふれる。つまり、基本的な辞(事)典・史(資)料目録・文献目録・索引・史料集・年表などを紹介する。つぎにソフト面として、史(資)料とは何か、史(資)料を蒐集（しゅうしゅう）するときの留意事項、写本の扱い方、本文校訂の必要性とその方法、先行研究の整理・検討など、実際に史(資)料を蒐集して研究を進めていく上での基本を論じてみたい。

授業計画
1．はじめに　－読むとはどういうことか－
2．史(資)料とは何か
3．史(資)料を蒐集するときの留意事項
4．道具類について（1）
5．　同　（2）
6．　同　（3）
7．　同　（4）
8．　同　（5）
9．先行研究の整理・検討
10．本文校訂の必要性とその方法
11．写本の扱い方
12．調書を作成する（1）
13．　同　（2）
14．写本を筆写する（1）
15．　同　（2）

テキスト
毎時間、プリントを配付する。

参考書・参考資料等
・山本信吉『古典籍が語る－書物の文化史－』2004年　八木書店
・長沢規矩也『書誌学序説』1965年　吉川弘文館
・山岸徳平『書誌学序説』1977年　岩波書店
・藤井　隆『日本古典書誌学総説』1991年　和泉書院

学生に対する評価
授業に対する取り組み（60%）と数回のレポート（40%）を綜合して評価。

養成をめざす力
密教仏教の基礎力、 密教仏教の専門性、問題発見力

その他
①講義は教師と学生の共同作業です。主体的に講義に参加してほしい。
②疑問はその時間内で解決しよう。大いに質問してほしい。

科目名	密教学演習Ａ－１（大）
学期	前期
単位数	2
担当者	中村本然

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：唐に留学した空海がどんな教えを学び、またどのような理由・思いで帰国したのかについて理解を深めることを通して、空海（密教）を研究するための方法を身につけることを目標とする。

テ ー マ：『御請来目録』

授業の概要

空海の帰国報告書ともいうべき『御請来目録』には、①入唐求法中の動向、②請来した経典類、③密教受法の経緯、④顕教と密教の相違について、詳細に記してある。若き日の空海の密教に関する考えを理解したい。また卒論を作成するための講義でもあるので、演習時にそれぞれのテーマに応じた指導を行なうことにする。

授業計画

1．講義内容の説明
2．入唐から帰国までの経緯報告①
3．入唐から帰国までの経緯報告②
4．入唐から帰国までの経緯報告③
5．入唐から帰国までの経緯報告④
6．閼期の罪について①
7．閼期の罪について②
8．新訳等の経について①
9．新訳等の経について②
10．新訳等の経について③
11．密教の相承について①
12．密教の相承について②
13．密教の相承について③
14．密教の相承について④
15．講義の総括

テキスト

『定本弘法大師全集』第一巻　高野山大学密教文化研究所

参考書・参考資料等

宮坂宥勝監修『空海コレクション２』ちくま学芸文庫
金岡秀友著『密教の哲学』講談社学術文庫

学生に対する評価

授業参加の積極性（40%）、試験（60%）で評価する。

養成をめざす力

密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性

その他

科目名	密教学演習Ａ－２（大）
学期	後期
単位数	2
担当者	中村本然

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：唐に留学した空海がどんな教えを学び、またどのような理由・思いで帰国したのかについて理解を深めることを通して、空海（密教）を研究するための方法を身につけることを目標とする。

テ ー マ：『御請来目録』

授業の概要

空海の帰国報告書ともいうべき『御請来目録』には、①入唐求法中の動向、②請来した経典類、③密教受法の経緯、④顕教と密教の相違について、詳細に記してある。若き日の空海の密教に関する考えを理解したい。また卒論を作成するための講義でもあるので、演習時にそれぞれのテーマに応じた指導を行なうことにする。

授業計画

1．講義内容の説明
2．請来した梵字真言讃等について
3．請来した論疏章等について
4．請来した仏菩薩金剛天等について
5．請来した道具について
6．請来した阿闍梨付嘱物について
7．密教の受法の経緯について①
8．密教の受法の経緯について②
9．恵果との師弟の交流について①
10．恵果との師弟の交流について②
11．般若三蔵の願いについて①
12．般若三蔵の願いについて②
13．顕教と密教について①
14．顕教と密教について②
15．講義の総括

テキスト

『定本弘法大師全集』第一巻　高野山大学密教文化研究所

参考書・参考資料等

宮坂宥勝監修『空海コレクション２』ちくま学芸文庫
金岡秀友著『密教の哲学』講談社学術文庫

学生に対する評価

授業参加の積極性（40%）、試験（60%）で評価する。

養成をめざす力

密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性

その他

科目名	密教学演習Ｂ－１（大）
学期	前期
単位数	2
担当者	南昌宏

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：文献研究に関わる者としての基本的な能力を養い、論文執筆に際しての形式・作法などを修得し、論文を批判的に読む訓練をする。

テ ー マ：空海の著作、漢籍または中国語の論文を読む。

授業の概要

受講生の興味に応じてテキストを決め、輪読形式で読み進める。中国語テキストの講読を主とする場合、中国語の未経験者でもかまわない。中国語履修者には輪読してもらう。自由な討論の中で、疑問となる箇所があれば、次回への宿題とし、十分な説明が出来るよう準備する。

授業計画

1．ガイダンス
1．『般若心経秘鍵』注釈の読解（1）
2．『般若心経秘鍵』注釈の読解（2）
3．『般若心経秘鍵』注釈の読解（3）
4．『般若心経秘鍵』注釈の読解（4）
5．『般若心経秘鍵』注釈の読解（5）
6．『般若心経秘鍵』注釈の読解（6）
7．『般若心経秘鍵』注釈の読解（7）
8．『般若心経秘鍵』注釈の読解（8）
9．『般若心経秘鍵』注釈の読解（9）
10．『般若心経秘鍵』注釈の読解（10）
11．『般若心経秘鍵』注釈の読解（11）
12．『般若心経秘鍵』注釈の読解（12）
13．『般若心経秘鍵』注釈の読解（13）
14．『般若心経秘鍵』注釈の読解（14）
15．期末試験

テキスト

最近の論文、または呂建福『中国密教史』、『真言宗全書』などのコピーを配布する。

参考書・参考資料等

『大漢和辞典』、『密教辞典』など。

学生に対する評価

授業実数の３分の１を超えて欠席した場合は失格とする（『学生手帳』参照）。
遅刻・早退は２分の１欠席と計算する。
期末試験の素点を評点とする。

養成をめざす力

密教仏教の基礎力、外国語を読む力、問題解決力

その他

受講者の人数が少なければ、ガイダンス時に受講生と相談してテキストを変更する場合がある。

科目名	密教学演習Ｂ－２（大）
学期	後期
単位数	2
担当者	南昌宏

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：文献研究に関わる者としての基本的な能力を養い、論文執筆に際しての形式・作法などを修得し、論文を批判的に読む訓練をする。

テ ー マ：空海の著作、漢籍または中国語の論文を読む。

授業の概要

受講生の興味に応じてテキストを決め、輪読形式で読み進める。中国語テキストの講読を主とする場合、中国語の未経験者でもかまわない。中国語履修者には輪読してもらう。自由な討論の中で、疑問となる箇所があれば、次回への宿題とし、十分な説明が出来るよう準備する。

授業計画

1．ガイダンス
2．「古代印度密教観音信仰的産生与演変」（1）
3．「古代印度密教観音信仰的産生与演変」（2）
4．「古代印度密教観音信仰的産生与演変」（3）
5．「古代印度密教観音信仰的産生与演変」（4）
6．「古代印度密教観音信仰的産生与演変」（5）
7．「古代印度密教観音信仰的産生与演変」（6）
8．「古代印度密教観音信仰的産生与演変」（7）
9．「古代印度密教観音信仰的産生与演変」（8）
10．「古代印度密教観音信仰的産生与演変」（9）
11．「古代印度密教観音信仰的産生与演変」（10）
12．「古代印度密教観音信仰的産生与演変」（11）
13．「古代印度密教観音信仰的産生与演変」（12）
14．「古代印度密教観音信仰的産生与演変」（13）
15．「古代印度密教観音信仰的産生与演変」（14）
15．期末試験

テキスト

最近の論文、または呂建福『中国密教史』、『真言宗全書』などのコピーを配布する。

参考書・参考資料等

『大漢和辞典』、『密教辞典』など。

学生に対する評価

授業実数の３分の１を超えて欠席した場合は失格とする（『学生手帳』参照）。
遅刻・早退は２分の１欠席と計算する。
期末試験の素点を評点とする。

養成をめざす力

密教仏教の基礎力、外国語を読む力、問題解決力

その他

受講者の人数が少なければ、ガイダンス時に受講生と相談してテキストを変更する場合がある。

科目名：密教学演習Ｃ－１（大）
学期：前期
単位数：2
担当者：乾　仁志

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：密教経典に対する理解力と分析力の養成
テ ー マ：『大日経』を読む

授業の概要
弘法大師が平安初期に中国から日本に移植されたのは､『大日経』と『金剛頂経』の二つの経典を両部とする密教であった。大師晩年の代表的な著作『十住心論』は､悟りにいたるまでの心の転昇過程を十段階に分け、それらの十段階に儒教、道教、仏教によって教理的な説明を加えて、当時の諸思想を総合化したものである。その十住心思想の骨格を形成するための典拠となっているのが『大日経』および『大日経疏』である。本年度も『大日経』の住心品を取り上げる。

授業計画
【前期】
1．シラバスの説明、講義の進め方等
2．『大日経』の原典資料と研究資料の紹介
3．『大日経』の内容概略の説明
4．『大日経』を読む（住心品、九句段以下） 1
5．　同上 2
6．　同上 3
7．　同上 4
8．　同上 5
9．　同上 6
10．　同上 7
11．　同上 8
12．　同上 9
13．　同上 10
14．　同上 11
15．　同上 12

テキスト
漢訳：『大毘盧遮那成仏神変加持経』大正 848 番（五部秘経を用いる）
チベット訳：東北 494 番　北京 126 番　その他、プリント配布

参考書・参考資料等
福田亮成訳『大日経』（新国訳大蔵経　密教部１）大蔵出版
松長有慶『密教経典解説』（現代密教講座　第二巻）大東出版社
頼富本宏著『『大日経』入門』大法輪閣、他

学生に対する評価
授業参加への積極性（20%）、レポート（80%）

養成をめざす力
密教仏教の専門性、日本語を読む力・話す力、外国語を読む力

その他
漢訳は訓点が施された「五部秘経」のものを用いるので、予め漢文が読めるように予習してくること。
その上で、注釈書や参考文献を随時参照して、内容が理解できるように努めること。
また漢文のテキストとチベット訳を引き比べて、違い等にも確認したい。
修士論文の指導は、授業中および授業外に随時実施する。

科目名：密教学演習Ｃ－２（大）
学期：後期
単位数：2
担当者：乾　仁志

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：密教経典に対する理解力と分析力の養成
テ ー マ：『大日経』を読む

授業の概要
前期に引き続いて『大日経』の住心品（続き）を取り上げる。なお後期には学部生の卒業論文の中間報告会を数回開催する。

授業計画
【後期】
1．卒業論文中間報告会
2．卒業論文中間報告会
3．『大日経』の本文を読む（住心品、続き） 1
4．　同上 2
5．　同上 3
6．　同上 4
7．　同上 5
8．　同上 6
9．　同上 7
10．　同上 8
11．　同上 9
12．　同上 10
13．　同上 11
14．　同上 12
15．卒業論文の完成と提出

テキスト
漢訳：『大毘盧遮那成仏神変加持経』大正 848 番（五部秘経を用いる）
チベット訳：東北 494 番、北京 126 番　その他、プリント配布

参考書・参考資料等
福田亮成訳『大日経』（新国訳大蔵経　密教部１）大蔵出版
松長有慶『密教経典解説』（現代密教講座　第二巻）大東出版社
頼富本宏著『『大日経』入門』大法輪閣、他

学生に対する評価
レポート（80%）　授業参加の積極性（20%）

養成をめざす力
密教仏教の専門性、日本語を読む力・話す力、外国語を読む力

その他
漢訳は訓点が施された「五部秘経」のものを用いるので、予め漢文が読めるように予習してくること。
その上で、注釈書や参考文献を随時参照して、内容が理解できるように努めること。
また漢文のテキストとチベット訳を引き比べて、違い等にも確認したい。
修士論文の指導は、授業中および授業外に随時実施する。

科目名：密教史演習Ａ－１（大）
学期：前期
単位数：2
担当者：奥山直司

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：明治・大正期の文語を読解し、内容をまとめ、それを史的文脈に当てはめて解釈できるようになること。
テ ー マ：近代日本仏教史の中の土宜法龍

授業の概要
土宜法龍（どぎ・ほうりゅう 1854 － 1923）は日本近代の代表的な真言僧の一人である。彼は真言宗法務所課長から仁和寺門跡・御室派管長、真言宗各派連合総裁、金剛峯寺座主・高野派管長などの要職を歴任し､明治から大正にかけての真言宗をリードした。その生涯には、シカゴ万国宗教会議への出席、真言宗僧侶初の世界一周、博物学者南方熊楠との交流など注目すべき事績が多い。本授業は、彼の思想と行動を遺文集『木母堂全集』の読解を通じて探ってゆく。基本的には、当番制発表形式で授業を進めるので、十分な予習が必要である。

授業計画
1．　ガイダンス
2～4．土宜法龍の生涯
5～14.『木母堂全集』を読む
15．　まとめ

テキスト
宮崎忍海編『木母堂全集』大空社

参考書・参考資料等
奥山直司「近代日本仏教史の中の土宜法龍」『環』vol.35、2008 年
奥山直司「土宜法龍と南方熊楠」『南方熊楠の森』方丈堂出版、2003 年

学生に対する評価
予習・発表準備状況（60%）、授業参加状況（40%）

養成をめざす力
日本語を読む力、内容をまとめる力、問題を発見する力

その他

科目名：密教史演習Ａ－２（大）
学期：後期
単位数：2
担当者：奥山直司

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：明治・大正期の文語を読解し、内容をまとめ、それを史的文脈に当てはめて解釈できるようになること。
テ ー マ：近代日本仏教史の中の土宜法龍

授業の概要
土宜法龍（どぎ・ほうりゅう 1854 － 1923）は日本近代の代表的な真言僧の一人である。彼は真言宗法務所課長から仁和寺門跡・御室派管長、真言宗各派連合総裁、金剛峯寺座主・高野派管長などの要職を歴任し､明治から大正にかけての真言宗をリードした。その生涯には、シカゴ万国宗教会議への出席、真言宗僧侶初の世界一周、博物学者南方熊楠との交流など注目すべき事績が多い。本授業は、彼の思想と行動を遺文集『木母堂全集』の読解を通じて探ってゆく。基本的には、当番制発表形式で授業を進めるので、十分な予習が必要である。

授業計画
1．　ガイダンス
2．　土宜法龍と近代真言宗史
3～14.『木母堂全集』を読む
15．　まとめ

テキスト
宮崎忍海編『木母堂全集』大空社

参考書・参考資料等
奥山直司「近代日本仏教史の中の土宜法龍」『環』vol.35、2008 年
奥山直司「土宜法龍と南方熊楠」『南方熊楠の森』方丈堂出版、2003 年

学生に対する評価
予習・発表準備状況（60%）、授業参加状況（40%）

養成をめざす力
日本語を読む力、内容をまとめる力、問題を発見する力

その他

科目名：密教史演習Ｂ－１（大）
学期：前期
単位数：2
担当者：佐藤隆彦

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：密教経典を解読することによって漢文読解力と修士論文を作成するための力を養いたい。
テ ー マ：『宿曜經』を読む。

授業の概要
『宿曜經』を読解することによって漢文文献を取り扱う方法論を身につけてもらいたい。あわせて、修士論文についての個別指導を行なう。

授業計画
1．オリエンテーション
2．『宿曜經』講読演習
3．『宿曜經』講読演習
4．『宿曜經』講読演習
5．『宿曜經』講読演習
6．『宿曜經』講読演習
7．修論中間発表
8．修論中間発表
9．『宿曜經』講読演習
10．『宿曜經』講読演習
11．『宿曜經』講読演習
12．『宿曜經』講読演習
13．レポート、論文の書き方
14．レポート、論文の書き方
15．まとめ

テキスト
『宿曜經』（大正 21 No. 1299 担当者がコピーを配布します）
（和本　　担当者用意）

参考書・参考資料等
森田龍僊著『密教占星法』（臨川書店）
松長有慶編『密教を知るためのブックガイド』（法藏館）

学生に対する評価
レポート（60%） 演習発表討論参加（40%）

養成をめざす力
論理性、問題発見力、問題解決力

その他

科目名：密教史演習Ｂ－２（大）
学期：後期
単位数：2
担当者：佐藤隆彦

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：密教経典を解読することによって漢文読解力と修士論文を作成するための力を養いたい。
テ ー マ：『宿曜經』を読む。

授業の概要
『宿曜經』を読解することによって漢文文献を取り扱う方法論を身につけてもらいたい。あわせて、修士論文についての個別指導を行なう。特に、後期には修論作成の個別指導に力を入れたい。

授業計画
1．オリエンテーション
2．修論目次の作成
3．修論目次の作成
4．『宿曜經』講読演習
5．『宿曜經』講読演習
6．『宿曜經』講読演習
7．修論発表
8．修論発表
9．『宿曜經』講読演習
10．『宿曜經』講読演習
11．『宿曜經』講読演習
12．『宿曜經』講読演習
13．修論発表
14．修論発表
15．まとめ

テキスト
『宿曜經』（大正 21 No. 1299 担当者がコピーを配布します）

参考書・参考資料等
森田龍僊著『密教占星法』（臨川書店）
松長有慶編『密教を知るためのブックガイド』（法藏館）

学生に対する評価
レポート（60%） 演習発表討論参加（40%）

養成をめざす力
論理性、問題発見力、問題解決力

その他

科目名：密教史演習Ｃ－１（大）
学期：前期
単位数：2
担当者：武内孝善

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：
空海の遺言状とみなされてきた『遺告二十五ヶ条』（以下、『御遺告』）は、古来、空海の生涯を考えるときの根本史料であった。しかし、今日では十世紀半ば以降の成立とみなされ、一次史料とはなりえなくなった。とはいえ、初期の真言宗教団の成立過程を考えるときには、有力な史料の一つである。そこで、『御遺告』の最古の写本をテクストとして、写本の扱い方と読解力の修得を目標とする。
テ ー マ：空海伝の研究

授業の概要
承和二年（835）三月十五日、空海が諸弟子に告げたとみなされてきた『御遺告』を、最古の写本である金剛寺本をテクストとして読み、内容の把握と問題点の指摘を通して、その成立年代の解明をめざしたい。最終的には、金剛寺本を底本とする校訂本を作成する。

授業計画
1．はじめに　－空海研究の現状と課題－
2．関連史料と参考文献
3．『御遺告』の概要と金剛寺本『御遺告』
4．写本を扱う上での基本事項①　－写本と活字本－
5．写本を扱う上での基本事項②　－ヲコト点と角筆点－
6．以下、受講者は、それぞれ分担して指定された個所の本文を筆写・校訂し、その校訂した本文にもとづいて訓読文と現代語訳を作成する。
7．受講者は、①分担した個所の本文（写本）をいかに解読したか（筆写・校訂）、②その本文をどのように読んだか（訓読文）、③いかに理解したか（現代語訳）、④空海の生涯を考える上で、また初期の真言教団を考える上で、いかなる問題点があるかについての考察、を順番に報告する。
8．本年度は、第一条から解読する

テキスト
金剛寺本『御遺告』一帖、平安中期写

参考書・参考資料等
・『御遺告』の活字本（『定本弘法大師全集』第 7 巻所収本）
・『御遺告』の注釈書類（『続真言宗全書』第 26 巻）
・築島　裕『平安時代訓点本論考』汲古書院
・小林芳規『角筆文献研究導論』（4 冊）汲古書院

学生に対する評価
授業に対する取り組み（60%）と数回のレポート（40%）を綜合して評価。

養成をめざす力
密教仏教の専門性、問題発見力、問題解決力

その他
①写本が扱えるようになると、活字本だけしか使えないときに比べて、研究範囲が大幅に拡大されます。
②積極的に講義に参加し、写本の扱い方をマスターしてほしい。
③そうして、写本を使って修士論文を書いてほしい。

科目名：密教史演習Ｃ－２（大）
学期：後期
単位数：2
担当者：武内孝善

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：空海の遺言状とみなされてきた『遺告二十五ヶ条』（以下、『御遺告』）は、古来、空海の生涯を考えるときの根本史料であった。しかし、今日では十世紀半ば以降の成立とみなされ、一次史料とはなりえなくなった。とはいえ、初期の真言宗教団の成立過程を考えるときには、有力な史料の一つである。そこで、『御遺告』の最古の写本をテクストとして、写本の扱い方と読解力の修得を目標とする。
テ ー マ：空海伝の研究

授業の概要
承和二年（835）三月十五日、空海が諸弟子に告げたとみなされてきた『御遺告』を、最古の写本である金剛寺本をテクストとして読み、内容の把握と問題点の指摘を通して、その成立年代の解明をめざしたい。最終的には、金剛寺本を底本とする校訂本を作成する。

授業計画
1．前期に引きつづき、受講者に分担していただき、本文を筆写・校訂し、その校訂した本文にもとづいて訓読文と現代語訳を作成する。
2．受講者は、①分担した箇所の本文（写本）をいかに解読したか（筆写・校訂）、②その本文をどのように読んだか（訓読文）、③いかに理解したか（現代語訳）、④空海の生涯を考える上で、また初期の真言教団を考える上で、いかなる問題点があるかについての考察、を順番に報告する。

テキスト
金剛寺本『御遺告』一帖、平安中期写

参考書・参考資料等
・『御遺告』の活字本（『定本弘法大師全集』第七巻所収本）
・註釈書類（『続真言宗全書』第 26 巻）
・築島　裕『平安時代訓点本論考』汲古書院
・小林芳規『角筆文献研究導論』（四冊）汲古書院

学生に対する評価
授業への参加度（60%）と数回のレポート（40%）で評価する。

養成をめざす力
密教仏教の専門性、問題発見力、問題解決力

その他
④写本が扱えるようになると、活字本だけしか使えないときに比べて、研究範囲が大幅に拡大されます。
⑤積極的に講義に参加し、写本の扱い方をマスターしてほしい。
⑥そうして、写本を使って修士論文を書いてほしい。

科目名：密教学講読（大）
学期：後期
単位数：2
担当者：中村本然

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：『釈摩訶衍論』に関する理解を深めることを目的とする。
テ ー マ：『釈摩訶衍論』の研究

授業の概要
『大乗起信論』は大乗の仏教思想を体系づけた論とされ、大乗仏教を学ぶ仏教者にとって入門書的な役割をしている。『釈摩訶衍論』は『大乗起信論』の注釈書のひとつであるが、弘法大師はこの論に展開する教説に注目し、真言密教の教学を構築することになる。

授業計画
1．オリエンテーション
2．『大乗起信論』梗概
3．『大乗起信論』梗概
4．『釈摩訶衍論』梗概
5．『釈摩訶衍論』①
6．『釈摩訶衍論』②
7．『釈摩訶衍論』③
8．『釈摩訶衍論』④
9．『釈摩訶衍論』⑤
10．『釈摩訶衍論』⑥
11．『釈摩訶衍論』⑦
12．『釈摩訶衍論』⑧
13．『釈摩訶衍論』⑨
14．『釈摩訶衍論』⑩
15．総　括

テキスト
『大乗起信論』大正大蔵経第 32 巻
『釈摩訶衍論』大正大蔵経第 32 巻

参考書・参考資料等
宇井伯寿著・高崎直道訳註『大乗起信論』岩波文庫
平川彰著『大乗起信論』大蔵出版
那須政隆著『釈摩訶衍論』成田山仏教研究所
森田龍僊著『釈摩訶衍論』藤井佐兵衛

学生に対する評価
授業参加への積極性（40%）・レポート（60%）とし評価する。

養成をめざす力
密教仏教の基礎力、 密教仏教の専門性

その他

科目名：密教史講読1（大）
学期：前期
単位数：2
担当者：奥山直司

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：仏教思想と近代科学思想について理解を深め、かつ文献の読解力と分析力を高める。
テ ー マ：南方熊楠と仏教

授業の概要
博物学者南方熊楠（1867 − 1941）は特異な仏教思想の持ち主でもあった。その頂点を示すと言われている「南方マンダラ」は、彼独自の科学モデルとも評されている。本授業においては、熊楠と真言僧土宜法龍との往復書簡の読解を通じて、熊楠の仏教思想の形成と展開の過程を明らかにすることを目的とする。基本的には当番制でテキストを読み、発表する形で授業を進める。

授業計画
1．ガイダンス
2．資料の整理
3．熊楠・法龍往復書簡の読解 1
4．熊楠・法龍往復書簡の読解 2
5．熊楠・法龍往復書簡の読解 3
6．熊楠・法龍往復書簡の読解 4
7．熊楠・法龍往復書簡の読解 5
8．熊楠・法龍往復書簡の読解 6
9．熊楠・法龍往復書簡の読解 7
10．熊楠・法龍往復書簡の読解 8
11．熊楠・法龍往復書簡の読解 9
12．熊楠・法龍往復書簡の読解 10
13．熊楠・法龍往復書簡の読解 11
14．熊楠・法龍往復書簡の読解 12
15．まとめ

テキスト
飯倉照平・長谷川興蔵編『南方熊楠　土宜法龍往復書簡』八坂書房
奥山直司・雲藤等・神田英昭編
『高山寺蔵南方熊楠書翰－土宜法龍宛 1893 − 1921』藤原書店

参考書・参考資料等
『南方熊楠全集』平凡社
松居竜五・田村義也編『南方熊楠大事典』勉誠出版
『別冊太陽　南方熊楠　森羅万象に挑んだ巨人』平凡社
松居竜五・岩崎仁編『南方熊楠の森』方丈堂出版

学生に対する評価
予習状況（50%）、授業参加状況（50%）

養成をめざす力
密教仏教の専門性、日本語を書く力

その他
十分に予習して授業に臨んでもらいたい。

科目名：密教史講読2（大）
学期：後期
単位数：2
担当者：奥山直司

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：仏教思想と近代科学思想について理解を深め、かつ文献の読解力と分析力を高める。
テ ー マ：南方熊楠と仏教

授業の概要
博物学者南方熊楠（1867 − 1941）は特異な仏教思想の持ち主でもあった。その頂点を示すと言われている「南方マンダラ」は、彼独自の科学モデルとも評されている。本授業においては、熊楠と真言僧土宜法龍との往復書簡の読解を通じて、熊楠の仏教思想の形成と展開の過程を明らかにすることを目的とする。基本的には当番制でテキストを読み、発表する形で授業を進める。

授業計画
1．ガイダンス
2．資料の整理
3．熊楠・法龍往復書簡の読解 1
4．熊楠・法龍往復書簡の読解 2
5．熊楠・法龍往復書簡の読解 3
6．熊楠・法龍往復書簡の読解 4
7．熊楠・法龍往復書簡の読解 5
8．熊楠・法龍往復書簡の読解 6
9．熊楠・法龍往復書簡の読解 7
10．熊楠・法龍往復書簡の読解 8
11．熊楠・法龍往復書簡の読解 9
12．熊楠・法龍往復書簡の読解 10
13．熊楠・法龍往復書簡の読解 11
14．熊楠・法龍往復書簡の読解 12
15．まとめ

テキスト
飯倉照平・長谷川興蔵編『南方熊楠　土宜法龍往復書簡』八坂書房
奥山直司・雲藤等・神田英昭編
『高山寺蔵南方熊楠書翰－土宜法龍宛 1893 − 1921』藤原書店

参考書・参考資料等
『南方熊楠全集』平凡社
松居竜五・田村義也編『南方熊楠大事典』勉誠出版
『別冊太陽　南方熊楠　森羅万象に挑んだ巨人』平凡社
松居竜五・岩崎仁編『南方熊楠の森』方丈堂出版

学生に対する評価
予習状況（50%）、授業参加状況（50%）

養成をめざす力
密教仏教の専門性、日本語を書く力

その他
十分に予習して授業に臨んでもらいたい。

科目名：現代社会と宗教（大）
学期：後期
単位数：2
担当者：中村本然

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：現代科学の現状と課題についての理解を深める。
テ ー マ：宗教と科学

授業の概要
科学文明は、人々の生活を向上させ、人類に幸福をもたらすと考えられてきている。ところで近年になってそれが大きく揺らぎ始め、ともすれば人間の存続をも危ぶまれる事態を招きつつある。オゾン層の破壊や地球の温暖化・砂漠化などの環境問題、脳死・臓器移植などの生命倫理や、ストレス社会の構造などの現象として現われている。このような社会問題化している事象も、科学がさらに発展すれば解決されるとみる向きがある中で、科学の方向性や行く末に危惧の念を抱く人も増えている。現代科学文明に欠落しているとしばしば指摘される宗教的・哲学的理性についても併せて検証する。

授業計画
1．オリエンテーション
2．たましいについて①
3．たましいについて②
4．共時性について①
5．共時性について②
6．死について①
7．死について②
8．意識について①
9．意識について②
10．自然について①
11．自然について②
12．心理学について①
13．心理学について②
14．宗教と科学の対話
15．まとめ

テキスト
河合準雄『宗教と科学の接点』湯浅泰雄『宗教と科学の間』ダライ・ラマ『ダライ・ラマ科学への旅』

参考書・参考資料等
F. クリック著『DNA に魂はあるか』〈講談社〉/ 養老孟司著『唯脳論』〈青土社〉/ レスター・ブラウン『地球環境』〈ウェッジ発行〉/ ジム・ラブロック『地球生命圏』〈工作舎発行〉/ 根川進・立花隆『精神と物質』〈文春文庫〉/ アービン・ラズロ『マクロシフト』〈文春ネスコ発行〉/ 村上和雄『遺伝子オンで生きる』〈サンマーク社〉/ 桜井邦朋『宇宙には意志がある』〈徳間書店〉等

学生に対する評価
授業中の発表（50%）、課題レポート（20%）、期末試験（30%）によって評価する。

養成をめざす力
密教仏教の専門性、情報技術（IT）、論理性

その他

科目名：密教と文化／仏教と文化（大）
学期：前期
単位数：2
担当者：前谷 彰

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：「仏教の現状と今後の問題」について、日本仏教の状況を様々な観点から探ることによって、仏教の今後の問題を考えて行く。
テ ー マ：仏教の現状と今後の課題

授業の概要
仏教とはいったい何なのかという基本命題から入り、現代の仏教が直面している危機的状況を探り、今後仏教がどのような形で展開して行くかについて考察する。

授業計画
1．導入（問題の所在）
2．日本仏教の現状
3．仏教研究の現状
4．仏教史の回顧（愛の問題）
5．禅と念仏①
6．禅と念仏②
7．禅と念仏③
8．今後の問題①
9．今後の問題②
10. 今後の問題③
11. 今後の問題④
12. 今後の展望①（科学と仏教）
13. 今後の展望②（科学と仏教）
14. 総まとめ

テキスト
村上真完『仏教の考え方』国書刊行会

参考書・参考資料等
必要に応じて担当者が紹介する。

学生に対する評価
学期末に提出してもらうレポートによって評価（100%）する。

養成をめざす力
密教仏教の専門性、日本語を読む力・聴く力、国際感覚

その他

科目名：事相研究Ⅰ－1（大）
学期：前期
単位数：2
担当者：齋藤 天譽

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：引導作法と葬儀に関する知識の習得
テ ー マ：葬送儀礼の実践習得

授業の概要
葬送儀礼に関する様々な知識を習得し、高野山の寺家の葬儀等も学ぶ。

授業計画
1．　葬送儀礼の歴史
2．　真言宗の葬儀
3．
4．
5．
6．
7．　導師と職衆の心得
8．　高野山の寺家の葬儀（1）～（9）
9．　戒名について
10.　葬儀に用いる梵字と書き様（塔婆等）
11.　葬儀に関する質疑応答
12.
13.
14.
15.

テキスト
宮野宥智 編輯『引導作法全集（上・下）』松本日進堂
大栗道榮 編集『引導作法』高野山出版社

参考書・参考資料等
自習は不要、予習は厳禁。年間の最終段階に明かします

学生に対する評価
レポート提出により採点（100%）

養成をめざす力
密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性

その他
【受講資格について】
原則として伝法潅頂修了者であるが、加行前期修了者も受講可とします。
但し、已潅頂者と未潅頂者は、きっちり区別して講義します。（詳細は開講時に説明します）

科目名：事相研究Ⅰ－2（大）
学期：後期
単位数：2
担当者：齋藤 天譽

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：引導作法と葬儀に関する知識の習得
テ ー マ：葬送儀礼の実践習得

授業の概要
『引導署作法（二巻疏）』を基に、引導作法の伝授と葬儀に関する知識の習得を目的とする。

授業計画
1．
2．
3．
4．
5．
6．
7．
8．　『引導署作法（二巻疏）』の伝授と解説（1）～（15）
9．
10.
11.
12.
13.
14.
15.

テキスト
宮野宥智 編輯『引導作法全集（上・下）』松本日進堂
大栗道榮 編集『引導作法』高野山出版社

参考書・参考資料等
自習は不要・予習は厳禁。年間の最終段階に明かします。

学生に対する評価
レポート提出により採点（100%）

養成をめざす力
密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性

その他
【受講資格について】
原則として伝法潅頂修了者であるが、加行前期修了者も受講可とします。
但し、已潅頂者と未潅頂者は、区別して講義します。（詳細は開講時に）

科目名：事相研究Ⅱ－1（大）
事相研究（聖教の伝授と実習）1（別）
学期：前期
単位数：2
担当者：佐藤 隆彦

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：秘密事相の基礎知識を習得することを授業の目的とする。
テ ー マ：秘密事相の研究

授業の概要
初心者を対象に基礎知識の習得に重点を置く。浄厳の『通用字輪観口訣』を読む。

授業計画
1．授業についてのオリエンテーション
2．三種秘観について
3．浄厳和尚について
4～15.『通用字輪観口訣』を読む
上記項目にしたがって、1～3は講義形式。4～15は講義と演習討論形式とを併用しながら授業を行う。これによって、事相研究の方法論を身につけるようにする。

テキスト
コピーにて配布する。

参考書・参考資料等
『新安流四度口訣集』

学生に対する評価
期末レポート（65%） 課題発表（20%） 小テスト（15%）

養成をめざす力
密教仏教の専門性、問題発見力、忍耐力

その他

科目名
事相研究Ⅱ－2（大）
事相研究（聖教の伝授と実習）2（別）
学期
後期
単位数
2
担当者
佐藤隆彦

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：理趣経法の専門知識を習得することを授業の目的とする。
テ ー マ：理趣経法の研究

授業の概要
潅頂終了者を対象に理趣経法の高度な知識の習得に重点を置く。

授業計画
1．授業についてのオリエンテーション
2．事相の歴史
3．四度の行法と次第
4．潅頂と印可
5．各種の修法
6．諸流派の行要
7．印と真言
8．聖教の解説
9．『理趣經法』の歴史
10～15．『理趣經法』の実際
上記項目にしたがって、講義形式で授業を行う。

テキスト
中川善教『理趣經法』（數珠屋四郎兵衛）

参考書・参考資料等
梶尾祥雲『祕密事相の研究』（臨川書店）
上田霊城『真言密教事相概説』四度部、諸尊法潅頂部上、下（同朋舎）
高見寛恭『理趣法の意得』

学生に対する評価
期末レポート（65%） 課題発表（20%） 小テスト（15%）

養成をめざす力
密教仏教の専門性、問題発見力、忍耐力

その他

科目名
仏教学特殊研究（大）
学期
前期
単位数
2
担当者
前谷彰

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：原語と漢訳語の比較作業を通して、仏教思想のある意味での「歪み」を修正できればよいと考えている。
テ ー マ：原典における原語と漢訳語の異相

授業の概要
サンスクリット語やパーリ語の原典における原語と、漢訳語との間には仏教思想を根底から覆さなければならないような重要な異相を認めることができるので、当講義では重要な原語を取り上げ、それらの語がどのような漢語に置き換えられているかを検証することによって、仏教思想の誤謬性について考察する。

授業計画
1．原語と翻訳語の異相全般について概略する。
2．八正道について
3．梵行・清浄行について
4．顕示・開顕について
5．　同上
6．苦行について
7．清浄について
8．菩提心・菩薩について
9．一乗・一趣道について
10．一心について
11．涅槃について
12．渇愛について
13．小乗・大乗・密教について
14．　同上
15．まとめ

テキスト
担当者がプリントを用意する。

参考書・参考資料等
必要に応じて紹介する。

学生に対する評価
学期末のレポートによって評価（100%）する。

養成をめざす力
密教仏教の専門性、日本語を読む力・聴く力、国際感覚

その他

科目名
仏教史特殊研究（大）
学期
後期
単位数
2
担当者
加納和雄

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：サンスクリット原典読解能力を習得し、梵文写本にもとづく原典校訂のノウハウを培う
テ ー マ：梵文『宝性論』読解

授業の概要
五世紀に成立したインド大乗仏教論書『宝性論』（*Ratnagotravibhāga*）は、それまで諸々の大乗経典に説かれてきた如来蔵思想を初めて体系的にとりまとめ、一大思想体系に仕立て上げた。やがて時代が下ると『宝性論』は弥勒に帰され、種々のインド仏教文献に依用されるようになる。その際、『宝性論』は中観派、時には瑜伽行派の立場から多様かつ自由な解釈がなされ、その思想が展開する。授業では、『宝性論』の梵文原典を精読し、如来蔵思想の形成と展開の軌跡をたどる。読解に際しては、梵文写本を用いて刊行本の読みを検討し、正誤表を作成しながら、原典批判の姿勢を養う。

授業計画
1．授業の梗概
2．インド仏教思想史における如来蔵思想の位置づけ
3．梵文『宝性論』読解 1
4．梵文『宝性論』読解 2
5．梵文『宝性論』読解 3
6．梵文『宝性論』読解 4
7．梵文『宝性論』読解 5
8．梵文『宝性論』読解 6
9．梵文『宝性論』読解 7
10．梵文『宝性論』読解 8
11．梵文『宝性論』読解 9
12．梵文『宝性論』読解 10
13．梵文『宝性論』読解 11
14．梵文『宝性論』読解 12
15．テスト

テキスト
授業で指示します。

参考書・参考資料等
E.H. Johnston, Ratnagotravibhāga. Patna, 1950.

学生に対する評価
授業中の発表など（梵文の和訳）（90%）、レポート（10%）

養成をめざす力
密教仏教の専門性、外国語を読む力、問題解決力

その他
出席者は、かならずサンスクリットの基礎文法を習得していること。
授業は輪読形式。毎時間の発表を課すため、和訳の準備を必須とする。

科目名
仏教学演習1（大）
学期
前期
単位数
2
担当者
加納和雄

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：真言宗の常用経典である『理趣経』原典の読解を通じて仏教学を学ぶための文献学的・図像学的方法論を習得する。
テ ー マ：『理趣経』と密教思想・密教美術の形成、およびその背景にある初期仏教・大乗仏教・ヒンドゥー教

授業の概要
仏教思想を学ぶための基礎知識として、一次文献、二次文献などの文献学に必須な概念を確認し、辞書など、研究に必要な「工具」について学び、その基礎知識を活用して、各自が実際に論文を作成してゆくための方法を習得する。そして一例として梵文および漢文にて『理趣経』原典を読み進めながら、文献に接する態度、基本的な読み方、難解な箇所に遭遇した際の対処方法を身につけてゆく。出席者は授業で扱う文献または各自が選んだテーマについて調査結果を発表することを通じて、方法論を習得する。

授業計画
1．導入
2．仏教を学ぶための基礎知識（1）
3．仏教を学ぶための基礎知識（2）
4．『理趣経』原典の読解（1）
5．『理趣経』原典の読解（2）
6．『理趣経』原典の読解（3）
7．『理趣経』原典の読解（4）
8．『理趣経』原典の読解（5）
9．『理趣経』原典の読解（6）
10．『理趣経』原典の読解（7）
11．『理趣経』原典の読解（8）
12．『理趣経』原典の読解（9）
13．文献読解の結果を分析する（1）
14．文献読解の結果を分析する（2）
15．総括

テキスト
高野山大学仏教学科編『卒業論文の手引き』。
松長有慶、『理趣経講讃』、大法輪閣。
松長有慶、『理趣経』中公文庫 BIBLIO。
Toru Tomabechi, *Adhyardhasatika Prajnaparamita,* Vienna/Beijing, 2009.

参考書・参考資料等

学生に対する評価
授業中の発表など（60%）、レポート（40%）

養成をめざす力

その他
主にインド・チベットのことを卒業論文で扱いたい人を対象としますが、熱意のある学生であれば誰でも歓迎します。

科目名：仏教学演習２（大）
学期：後期
単位数：２
担当者：加納和雄

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：真言宗の常用経典である『理趣経』原典の読解を通じて仏教学を学ぶための文献学的・図像学的方法論を習得する。
テ ー マ：『理趣経』と密教思想・密教美術の形成、およびその背景にある初期仏教・大乗仏教・ヒンドゥー教

授業の概要
仏教思想を学ぶための基礎知識として、一次文献、二次文献などの文献学に必須な概念を確認し、辞書など、研究に必要な「工具」について学び、その基礎知識を活用して、各自が実際に論文を作成してゆくための方法を習得する。そして一例として梵文および漢文にて『理趣経』原典を読み進めながら、文献に接する態度、基本的な読み方、難解な箇所に遭遇した際の対処方法を身につけてゆく。出席者は授業で扱う文献または各自が選んだテーマについて調査結果を発表することを通じて、方法論を習得する。

授業計画
1．導入
2．仏教を学ぶための基礎知識（1）
3．仏教を学ぶための基礎知識（2）
4．インド大乗仏教文献の読解（1）
5．インド大乗仏教文献の読解（2）
6．インド大乗仏教文献の読解（3）
7．インド大乗仏教文献の読解（4）
8．インド大乗仏教文献の読解（5）
9．インド大乗仏教文献の読解（6）
10．インド大乗仏教文献の読解（7）
11．インド大乗仏教文献の読解（8）
12．インド大乗仏教文献の読解（9）
13．文献読解の結果を分析する（1）
13．文献読解の結果を分析する（2）
14．文献読解の結果を分析する（3）
15．総括

テキスト
授業において指示します。

参考書・参考資料等
高野山大学仏教学科編『卒業論文の手引き』。
松長有慶、『理趣経講讃』、大法輪閣。
松長有慶、『理趣経』中公文庫 BIBLIO。
Toru Tomabechi, *Adhyardhasatika Prajnaparamita,* Vienna/Beijing, 2009.

学生に対する評価
授業中の発表など（60%）、レポート（40%）

養成をめざす力

その他
主にインド・チベットのことを卒業論文で扱いたい人を対象としますが、熱意のある学生であれば誰でも歓迎します。

科目名：仏教史演習Ａ－１（大）
学期：前期
単位数：２
担当者：前谷彰

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：ダーラニーの変遷形態を通して、大乗から密教における成仏観や仏身観を探って行く。
テ ー マ：ダーラニー思想

授業の概要
ダーラニーの歴史的経過を探ることによって、大乗と密教の成仏観や仏身観の違いについて考察する。

授業計画
1．オリエンテーション
2．念仏よりダーラニーへ
3．　同上
4．　同上
5．　同上
6．ダーラニー説について
7．　同上
8．　同上
9．ダーラニーから真言への展開
10．　同上
11．　同上
12．真言と明呪
13．　同上
14．　同上
15．まとめ

テキスト
必要に応じて担当者が配布する。

参考書・参考資料等
氏家覚勝 『陀羅尼思想の研究』東方出版

学生に対する評価
学年末に提出してもらう仮修士論文で評価（100%）する。

養成をめざす力
密教仏教の専門性、日本語を読む力・聴く力

その他

科目名：仏教史演習Ａ－２（大）
学期：後期
単位数：２
担当者：前谷彰

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：仏教の基本的知識を充実させ、論文作成能力を身につける。
テ ー マ：仏教とは何か。

授業の概要
仏教の基本的知識を充実させ、論文の書き方についてのトレーニングを行う。

授業計画
1．学術論文を読解する
2．　同上
3．　同上
4．学術論文の書き方トレーニング
5．　同上
6．　同上
7．　同上
8．　同上
9．　同上
10．　同上
11．　同上
12．　同上
13．　同上
14．　同上
15．総まとめ

テキスト
必要に応じて担当者が配布する。

参考書・参考資料等
水野弘元『原始仏教』（サーラ叢書）平楽寺書店
S. ラーダクリシュナン著『インド仏教思想史』大蔵出版
早島鏡正・高崎直道・原実・前田専学『インド思想史』
東京大学出版会

学生に対する評価
学年末に提出してもらう仮修士論文で評価（100%）する。

養成をめざす力
密教仏教の専門性、日本語を読む力・聴く力、国際感覚

その他

科目名：仏教史演習Ｂ－１（大）
学期：前期
単位数：２
担当者：下西忠

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：仏教文学の作品の鑑賞
テ ー マ：仏教と文学の接点

授業の概要
いわゆる仏教文学とよばれる作品を鑑賞することにより、文学の魅力、仏教史にかかわる諸問題を受講者とともに考えたい。

授業計画
1．　仏教文学とはなにか
2 ～ 4．無常観の諸相
5 ～ 6．仏教説話の魅力
7．　仏教説話と世俗説話のちがい
8．　日本霊異記の世界
9．　今昔物語集－持経者の行状－
10．　本朝法華験記－叡実のはなし－
11．　鴨長明と方丈記
12 ～ 14．発心集の世界
15．　前期の総括

テキスト
教員が作成した教材を配布する。

参考書・参考資料等
『日本文学と仏教』岩波書店など　随時講義の中で紹介したい。

学生に対する評価
受講生の教材研究（50%）と定期試験（50%）

養成をめざす力
密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性、問題発見力

その他
日本文学や日本仏教史などで修士論文を書こうとする受講者をのぞみたい

科目名：仏教史演習Ｂ－２（大）

学期：後期

単位数：2

担当者：下西　忠

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：仏教文学の作品の鑑賞
テ ー マ：仏教と文学の接点

授業の概要

いわゆる仏教文学とよばれる作品を鑑賞することにより、文学の魅力、仏教史にかかわる諸問題を受講者とともに考えたい。

授業計画

1 ～ 2．徒然草の世界
3．　釈教歌と文芸
4．　巡礼歌の特質
5 ～ 7．沙石集の世界
8．　閑居友
9 ～ 11. 平家物語の魅力
12 ～ 14. 平家物語「灌頂巻」をよむ
15.　前期の総括

テキスト

教員が作成した教材を配布する。

参考書・参考資料等

『日本文学と仏教』岩波書店など　随時講義の中で紹介したい。

学生に対する評価

受講生の教材研究（50%）と定期試験（50%）

養成をめざす力

仏教の基礎力、仏教の専門性、問題発見力

その他

日本文学や日本仏教史などで修士論文を書こうとする受講者をのぞみたい。

科目名：仏教史講読１（大）

学期：前期

単位数：2

担当者：藤田光寛

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：　後期仏教（インド密教）にとって、小乗仏教と大乗仏教、タントラ仏教との三者の思想の相違に対して、密教の立場から如何に整合性のある解釈を与えるかが大切な課題の１つであった。インド密教の総決算はこの点にあると言っても過言ではない。この問題を戒律思想の点に焦点をあててち理解する。
テ ー マ：インド・チベット仏教戒律思想史（１）

授業の概要

チベット仏教のサキャ派のサキャパンディタ（＝サパン、1182 － 1251）が著した『三律儀細別』を読む。受講生に応じて、このチベット語文献か英文解説書のいずれかを読解しながら解説し、小乗仏教と大乗仏教、タントラ仏教との三者の戒律（すなわち三律儀）の特徴、相違点、類似点などを学ぶ。

授業計画

下記の文献を精読しながら解説するが、受講生には分担を決めて発表してもらうので、十分な予習が必要です。当該テキストを毎回予習して講義に臨むこと。
1．オリエンテーション
2．サパンの生涯とその作品
3．三律儀について
4．小乗の戒律（すなわち波羅提木叉律儀）について
8．大乗の戒（すなわち菩薩律儀）について
6．密教の戒（すなわち真言律儀）
7 ～ 15.　密教の戒の章の講読

テキスト

授業時に適宜プリントして配布する。
① Sakya Pandita Kunga Gyaltshan: *A Clear Differentiation of the Three Codes,* transl. by Jared Douglas Rhoton. State Univ. of New York Press, 2002
② Sakya Pandita Kun dgah　rgyal mtshan : *sDom pa gsum gyi rab tu dbye ba.*『サキャ派全書』Vol.5 No.4

参考書・参考資料等

藤田光寛『はじめての「密教の戒律」入門』セルバ出版、平成 25 年
森章司　編『戒律の世界』東京：渓水舎　1993 年
佐藤密雄『律蔵』（＝仏典講座４）大蔵出版（株）　昭和 47 年など

学生に対する評価

期末の試験（60%）、出席（20%）、小試験（20%）によって評価する。

養成をめざす力

密教仏教の専門性、日本語を読む力、問題解決力

その他

３回以上理由もなく無断で欠席した者は、受講者名簿から削除するので注意すること。
担当者のメールアドレスは　fujita@koyasan-u.ac.jp　ですので、質問などがあれば遠慮無く利用してください。

科目名：仏教史講読２（大）

学期：後期

単位数：2

担当者：藤田光寛

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：後期仏教（インド密教）にとって、小乗仏教と大乗仏教、タントラ仏教との三者の思想の相違に対して、密教の立場から如何に整合性のある解釈を与えるかが大切な課題の１つであった。インド密教の総決算はこの点にあると言っても過言ではない。この問題を戒律思想の点に焦点をあてて理解する。
テ ー マ：インド・チベット仏教戒律思想史（２）

授業の概要

前期に引き続いて、チベット仏教のサキャ派のサキャパンディタ（＝サパン、1182 － 1251）が著した『三律儀細別』を読む。受講生に応じて、このチベット語文献か英文解説書のいずれかを読解しながら解説し、小乗仏教と大乗仏教、タントラ仏教との三者の戒律（すなわち三律儀）の特徴、相違点、類似点などを学ぶ。

授業計画

下記の文献を精読しながら解説するが、受講生には分担を決めて発表してもらうので、十分な予習が必要です。当該テキストを毎回予習して講義に臨むこと。
1．オリエンテーション
2．サパンの生涯とその作品
3．三律儀について
4 ～ 15.　密教の戒（すなわち真言律儀）の章の講読

テキスト

授業時に適宜プリントして配布する。
① Sakya Pandita Kunga Gyaltshan: *A Clear Differentiation of the Three Codes,* transl. by Jared Douglas Rhoton. State Univ. of New York Press, 2002
② Sakya Pandita Kun dgah　rgyal mtshan : *sDom pa gsum gyi rab tu dbye ba.*『サキャ派全書』Vol.5 No.4

参考書・参考資料等

藤田光寛『はじめての「密教の戒律」入門』セルバ出版、平成 25 年
森章司　編『戒律の世界』東京：渓水舎　1993 年
佐藤密雄『律蔵』（＝仏典講座４）大蔵出版(株)　昭和 47 年など

学生に対する評価

期末の試験（60%）、出席（20%）、小試験（20%）によって評価する。

養成をめざす力

密教仏教の専門性、外国語を読む力、問題解決力、想像力

その他

３回以上理由もなく無断で欠席した者は、受講者名簿から削除するので注意すること。
担当者のメールアドレスは　fujita@koyasan-u.ac.jp　ですので、質問などがあれば遠慮無く利用してください。

科目名	密教実践法の研究1（大）
学期	（前期）集中
単位数	2
担当者	甲田宥吽

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：伝統的な事相門の教授方法を経験し、且つ日常の修法・実践法への教理的意義に基づいて理解を深め、実際の所作・作法を習得する。

テ ー マ：密教の修法を実践するに当り、基礎的な知識・理解を深める。

授業の概要

言宗の伝統的な宗学の内、事相門の教授方法に則り、日常の実践法である一座行法等を、中院流に基づいて伝授・解説する。自行のみならず、法会等の導師に必要な作法も指導し、時間の許す限り、主要な本尊の尊法を伝授する。

授業計画

1．講義の概要、略許可
2．伝授についての序説
3．一座行法の伝授・解説（1）
4．一座行法の伝授・解説（2）
5．一座行法の伝授・解説（3）
6．一座行法の伝授・解説（4）
7．一座行法の伝授・解説（5）
8．一座行法の伝授・解説（6）
9．一座行法の伝授・解説（7）
10．一座行法の伝授・解説（8）
11．一座行法の伝授・解説（9）
12．一座行法の伝授・解説（10）
13．一座行法の伝授・解説（11）
14．一座行法の伝授・解説（12）
15．テスト

テキスト

中川善教編『諸尊通用次第（中院）』３帖１帙　東方出版
価格 10,000 円程度
（※ 入手方法に就いては、事前に公示する）

参考書・参考資料等

中川善教『諸尊通用次第撮要』 東方出版
大山公淳『中院流の研究』 高野山大学、東方出版　等

学生に対する評価

講義に臨む姿勢（出欠席を含む）（50%）、テストによる採点（50%）

養成をめざす力

密教仏教の専門性

その他

1、受講者は真言宗の僧侶で、已灌頂者（※ 伝法灌頂修了者）に限る。
2、受講時は高野山における平衣（空衣・白袈裟等）又は黒衣・如法衣（尼僧は灰色の褊衫も可）を必ず着用すること。改良服・作務衣等での受講は不可。
3、前後期通して受講すること。前期のみの受講はできない。

科目名	密教実践法の研究2（大）
学期	（後期）集中
単位数	2
担当者	甲田宥吽

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：伝統的な事相門の教授方法を経験し、且つ日常の修法・実践法への教理的意義に基づいて理解を深め、実際の所作・作法を習得する。

テ ー マ：密教の修法を実践するに当り、基礎的な知識・理解を深める。

授業の概要

真言宗の伝統的な宗学の内、事相門の教授方法に則り、日常の実践法である一座行法等を、中院流に基づいて伝授・解説する。自行のみならず、法会等の導師に必要な作法も指導し、時間の許す限り、主要な本尊の尊法を伝授する。

授業計画

1．一座行法の伝授・解説（13）
2．一座行法の伝授・解説（14）
3．一座行法の伝授・解説（15）
4．一座行法の伝授・解説（16）
5．一座行法の伝授・解説（17）
6．一座行法の伝授・解説（18）
7．一座行法の伝授・解説（19）
8．一座行法の伝授・解説（20）
9．諸尊法の伝授（1）
10．諸尊法の伝授（2）
11．諸尊法の伝授（3）
12．諸尊法の伝授（4）
13．諸尊法の伝授（5）
14．諸尊法の伝授（6）
15．テスト

テキスト

中川善教編『諸尊通用次第（中院）』３帖１帙　東方出版
価格 10,000 円程度
（※ 入手方法に就いては、事前に公示する）

参考書・参考資料等

中川善教『諸尊通用次第撮要』 東方出版
大山公淳『中院流の研究』 高野山大学、東方出版　等

学生に対する評価

講義に臨む姿勢（出欠席を含む）（50%）、テストによる採点（50%）

養成をめざす力

密教仏教の専門性

その他

1、受講者は真言宗の僧侶で、已灌頂者（※ 伝法灌頂修了者）に限る。
2、受講時は高野山における平衣（空衣・白袈裟等）又は黒衣・如法衣（尼僧は灰色の褊衫も可）を必ず着用すること。改良服・作務衣等での受講は不可。
3、前後期通して受講すること。後期のみの受講はできない。

科目名	仏教芸術の研究1（大）
学期	前期
単位数	2
担当者	和田圭子

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：仏尊の種類や像容の特徴を学び、その功徳や信仰の歴史についての基礎的な知識を培うことを到達目標とする。

テ ー マ：仏像のかたち－その姿と意味　如来・菩薩編

授業の概要

仏尊は如来・菩薩・明王・天などに分類され、その姿は多種多様である。授業では、現存する仏画、仏像等の画像資料を示しつつ、各尊の姿や手印・持物の意味を考察し、その信仰の歴史などについて概観する。

授業計画

1．はじめに：仏教美術の基礎知識
2．釈迦如来
3．薬師如来
4．阿弥陀如来
5．毘盧遮那仏と大日如来
6．弥勒仏と弥勒菩薩
7．その他の如来
8．十一面観音
9．千手観音
10．不空羂索観音
11．文殊菩薩
12．普賢菩薩
13．地蔵菩薩
14．虚空蔵菩薩
15．その他の菩薩

テキスト

授業内容に沿った参考資料（文字資料・画像資料）を配付する。

参考書・参考資料等

至文堂編『日本の美術』ぎょうせい
関根俊一編『仏尊の事典』学習研究社
『日本美術全集』講談社

学生に対する評価

授業態度（30%）、期末レポート（70%）の比率で評価する。
後期授業終了までに各自テーマを設定し、それに関する 4000 字程度のレポートを提出する。

養成をめざす力

仏教美術の基礎力、日本語を聴く力、自主性

その他

仏教美術特殊講義Ｂ（後期）を履修・聴講することが望ましい。
霊宝館等で実際の仏像や仏画を積極的に見学し、尊像のかたちについて研究してください。

科目名	仏教芸術の研究2（大）
学期	後期
単位数	2
担当者	和田圭子

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：仏尊の種類や像容の特徴を学び、その功徳や信仰の歴史についての基礎的な知識を培うことを到達目標とする。

テ ー マ：仏像のかたち－その姿と意味　明王・天・その他編

授業の概要

仏尊は如来・菩薩・明王・天などに分類され、その姿は多種多様である。授業では、現存する仏画、仏像等の画像資料を示しつつ、各尊の姿や手印・持物の意味を確認し、その信仰の歴史などについて概観する。

授業計画

1．不動明王
2．五大明王１
3．五大明王２
4．愛染明王
5．その他の明王
6．梵天・帝釈天
7．四天王
8．毘沙門天
9．吉祥天・弁才天
10．十二天
11．十二神将
12．閻魔・十王
13．その他の天
14．仏弟子・祖師等
15．垂迹神等

テキスト

授業内容に沿った参考資料（文字資料・画像資料）を配付する。

参考書・参考資料等

水野敬三郎監修『カラー版日本仏像史』
至文堂編『日本の美術』ぎょうせい
『日本美術全集』講談社

学生に対する評価

授業態度（30%）、期末レポート（70%）の比率で評価する。
後期授業終了までに各自テーマを設定し、それに関する 4000 字程度のレポートを提出する。

養成をめざす力

仏教美術の基礎力、日本語を聴く力、自主性

その他

仏教美術特殊講義Ａ（前期）を履修・聴講することが望ましい。
霊宝館等で実際の仏像や仏画を積極的に見学し、尊像の特徴について研究してください。

科目名：アジア地域の宗教文化の研究（大）
学期：後期
単位数：2
担当者：井上ウィマラ

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：上座仏教の瞑想実践の根拠になっている基本文献を学んだ上で、それらが現代の西洋仏教においてどのように応用されているのかを知る。
テ ー マ：上座仏教の瞑想実践と現代的応用としてのマインドフルネス

授業の概要
教材を読み進めながら、多角的に考察し議論していく。パーリ語による勤行やヴィパッサナー瞑想の実践も取り入れて、文献に示されていることを体感し理解できるように工夫する。

授業計画
1．自己紹介と授業の流れ（西洋仏教とアジアの伝統仏教について）
2．マインドフルネスとはなにか？
3．三 宝 帰 依 の 意 味
4．戒・定・慧という修行のステップ
5．解脱とはどのようなことか？
6．「大念住経」略説を読む
7．「大念住経」身体に関する随観を読む
8．「大念住経」身体に関する随観を読む
9．「大念住経」感受に関する随観を読む
10.「大念住経」心に関する随観を読む
11.「大念住経」法に関する随観を読む
12.「大念住経」法に関する随観を読む
13. 仏教瞑想と心理療法
14. 仏教心理学の可能性
15. ふりかえりとまとめ

テキスト
『南方仏教基本聖典』 ウ・ウェーブッラ 仏教書林中山書房

参考書・参考資料等
『マインドフルな生き方』 クリストファー・ティットムス 産調出版
『マインドフルネスストレス低減法』 ジョン・カバットジン 北大路書房
『ブッダのサイコセラピー』 マーク・エプスタイン 春秋社
『仏教心理学キーワード事典』 春秋社

学生に対する評価
授業への参加態度（30%）と期末レポート（70%）で評価する。

養成をめざす力
密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性、創造力

その他

科目名：現代社会と仏教の研究1（大）
学期：前期
単位数：2
担当者：T.ドライトライン

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：英文の読解力を向上しながら、仏教の基礎知識を再確認し、現代社会におけるその役割と応用を考える。
テ ー マ：英文を通じて仏教の教えとその現代社会における貢献を考察する。

授業の概要
英語を通じて仏教の基本的な用語とテーマを学習しながら、現代社会が直面する問題に対して仏教から何を学べるかを考察する。仏教のテーマをまとまった英文の論文集を読みながら、意見交換、ディスカッションや発表で進めていく。

授業計画
1．イントロダクション
2．Buddha
3．同上
4．同上
5．同上
6．Person
7．同上
8．同上
9．Death
10. 同上
11. 同上
12. 同上
13. Power
14. 同上
15. 同上

テキスト
Lopez, Donald S., Jr. *Critical Terms for the Study of Buddhism.*Chicago University Press, 2005.

参考書・参考資料等
Keown, Damien. *Buddhism, A Very Short Introduction,* 2nd ed. Oxford University Press, 2013.

学生に対する評価
レポート（50%）、発表（20%）、授業参加の積極性（30%）

養成をめざす力
密教仏教の基礎力、外国語を読む力、国際感覚

その他
参加型の授業で、受講生全員は予習として毎回該当する英文のテキストを和訳・研究する。
テキストのテーマに沿って、別に課題を与えて受講生による発表を行う。
英文読解力を必要とする。授業は日本語で進める。
プログラムは改訂される場合がある。

科目名：現代社会と仏教の研究2（大）
学期：後期
単位数：2
担当者：T.ドライトライン

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：英文の読解力を向上しながら、仏教の基礎知識を再確認し、現代社会におけるその役割と応用を考える。
テ ー マ：英文を通じて仏教の教えとその現代社会における貢献を考察する。

授業の概要
英語を通じて仏教の基本的な用語とテーマを学習しながら、現代社会が直面する問題に対して仏教から何を学べるかを考察する。仏教のテーマをまとまった英文の論文集を読みながら、意見交換、ディスカッションや発表で進めていく。

授業計画
1．イントロダクション
2．Word
3．同上
4．同上
5．同上
6．Practice
7．同上
8．同上
9．Ritual
10. 同上
11. 同上
12. 同上
13. Economy
14. 同上
15. 同上

テキスト
Lopez, Donald S., Jr. *Critical Terms for the Study of Buddhism.*Chicago University Press, 2005.

参考書・参考資料等
Keown, Damien. *Buddhism, A Very Short Introduction,* 2nd ed. Oxford University Press, 2013. その他

学生に対する評価
レポート（50%）、発表（20%）、授業参加の積極性（30%）

養成をめざす力
密教仏教の基礎力、外国語を読む力、国際感覚

その他
参加型の授業で、受講生全員は予習として毎回該当する英文のテキストを和訳・研究する。
テキストのテーマに沿って、別に課題を与えて受講生による発表を行う。
英文読解力を必要とする。授業は日本語で進める。
プログラムは改訂される場合がある。

科目名：教育学特殊研究（大）
学期：集中
単位数：2
担当者：山伊脇藤雅一夫雄

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：学校経営・管理とキャリア教育がどれだけ密接に関わっているかの理解度に焦点を当てる。
テ ー マ：キャリア教育を活かした学校経営・管理

授業の概要
本講義は中学校及び高等学校教諭の専修免許状を取得することを目的とした科目である。学校管理・経営とキャリア教育という一見関係のなさそうに見えるこの問題は、根幹のところで深くつながっていることを考察する。

授業計画
1．学校経営とはどのような営みなのか解説し考察する。（1）
2．学校管理とはどのような営みなのか解説し考察する。（2）
3．学校管理と組織運営の問題について考察する。（1）
4．学校管理と組織運営の問題について考察する。（2）
5．学校管理と組織運営の問題について考察する。（3）
6．日本のキャリア教育について考察する。（1）
7．日本のキャリア教育について考察する。（2）
8．米国のキャリア教育の現状について解説する。
9．欧州（独仏中心）のキャリア教育について解説する。
10. キャリア教育と学校経営・管理との有効な関係を考察する。（1）
11. キャリア教育と学校経営・管理との有効な関係を考察する。（2）
12. キャリア教育と学校経営・管理との有効な関係を考察する。（3）
13. 学校管理の問題とキャリア教育、進路指導、職業指導の関係を明らかにする。
14. 学校管理の問題とキャリア教育、真の指導、職業指導の関係を考察する。
15. 総括講義

テキスト
なし、必要に応じて資料を配布する。

参考書・参考資料等
伊藤一雄著 「キャリア開発と職業指導」 法律文化社 2011

学生に対する評価
講義内容に対する理解と考察の深さで判断する。
課題レポート（70%）、議論への参加（30%）

養成をめざす力
学校管理・経営についての理解力を深める。

その他
教職関係科目を履修していることが望ましい。

科目名	密教特殊演習1
学期	前期
単位数	2
担当者	武内孝善

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：平安初期における日本と唐との交通を考えるとき、根本史料の一つが入唐八家といわれる天台・真言両宗に属した八人の僧の入唐求法記である。各自の請来目録にもとづいて、いま一度、入唐路と唐における足跡を把握し、日唐間交通における問題点の指摘とその解明をめざす。

テ ー マ：入唐八家入唐路の研究

授業の概要

第一は、入唐八家－最澄・円仁・円珍・空海・円行・常暁・恵運・宗叡－の求法記である請来目録を手がかりに、それぞれの出発から帰国までの足跡を確認する。それとともに、諸説がみられる日本を出発するときの最終寄港地に関して、実地調査を踏まえ、より信憑性の高い港の比定を行いたい。第二は、入唐八家の請来目録には活字本が存在するけれども、できるかぎり写本の調査・蒐集をこころがけ、より厳密性を期することにしたい。

授業計画

1．入唐八家の請来目録を解読し、出発から帰国までの詳細な年表を作成するとともに、その足跡を地図上に置いていく。
2．これらの作業過程で見いだされた問題点を整理するとともに、その解明にあたる。
3．これらと並行して、入唐八家の請来目録に関連する史料の所在確認とその閲覧調査・写真撮影を行う。
4．課程博士論文の基礎となる論考を数篇作成する。

テキスト

入唐八家請来録（『大正新脩大蔵経』第 55 巻）

参考書・参考資料等

・小野勝年『入唐求法巡礼記の研究』（４巻）法藏館
・小野勝年『入唐求法行歴の研究』（２巻）法藏館
・小野勝年『中国隋唐長安・寺院史料集成』（２巻） 法藏館
・石田尚豊『空海の起結－現象学的史学－』中央公論美術出版
・藤善真澄『隋唐時代の仏教と社会』白帝社
・田中史生『倭国と渡来人－交錯する「内」と「外」』吉川弘文館

学生に対する評価

講義に対する取り組み（70%）と論文作成（30%）とを綜合して評価。

養成をめざす力

密教仏教の専門性、問題発見力、問題解決力

その他

課程博士論文の骨格となる論考を数篇作成してほしい。

科目名	密教特殊演習2
学期	後期
単位数	2
担当者	武内孝善

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：平安初期における日本と唐との交通を考えるとき、根本史料の一つが入唐八家といわれる天台・真言両宗に属した八人の僧の入唐求法記である。各自の請来目録にもとづいて、いま一度、入唐路と唐における足跡を把握し、日唐間交通における問題点の指摘とその解明をめざす。

テ ー マ：入唐八家入唐路の研究

授業の概要

第一は、入唐八家－最澄・円仁・円珍・空海・円行・常暁・恵運・宗叡－の求法記である請来目録を手がかりに、それぞれの出発から帰国までの足跡を確認する。それとともに、諸説がみられる日本を出発するときの最終寄港地に関して、実地調査を踏まえ、より信憑性の高い港の比定を行いたい。第二は、入唐八家の請来目録には活字本が存在するけれども、できるかぎり写本の調査・蒐集をこころがけ、より厳密性を期することにしたい。

授業計画

1．入唐八家の請来目録を解読し、出発から帰国までの詳細な年表を作成するとともに、その足跡を地図上に置いていく。
2．これらの作業過程で見いだされた問題点を整理するとともに、その解明にあたる。
3．これらと並行して、入唐八家の請来目録に関連する史料の所在確認とその閲覧調査・写真撮影を行う。
4．課程博士論文の基礎となる論考を数篇作成する。

テキスト

入唐八家請来録（『大正新脩大蔵経』第 55 巻）

参考書・参考資料等

・小野勝年『入唐求法巡礼記の研究』（４巻）法藏館
・小野勝年『入唐求法行歴の研究』（２巻）法藏館
・小野勝年『中国隋唐長安・寺院史料集成』（２巻） 法藏館
・石田尚豊『空海の起結―現象学的史学―』中央公論美術出版
・藤善真澄『隋唐時代の仏教と社会』白帝社
・田中史生『倭国と渡来人―交錯する「内」と「外」』吉川弘文館

学生に対する評価

講義に対する取り組み（70%）と論文作成（30%）とを綜合して評価。

養成をめざす力

密教仏教の専門性、問題発見力、問題解決力

その他

課程博士論文の骨格となる論考を数篇作成してほしい。

科目名	
学期	
単位数	
担当者	

科目名	
学期	
単位数	
担当者	

教 員 別 索 引

【あ 行】

伊藤一雄 教職入門 文-40
教育課程論 文-41
生徒指導・進路指導 文-44
教職実践演習 文-45
教育学特殊研究（大） 院-12

乾 仁志 密教学概論Ⅰ 文-5
密教学概論Ⅱ 文-5
真言宗の教え（別） 文-5
密教学演習G 文-17
宗教科教育法Ⅰ 文-41
宗教科教育法Ⅱ 文-42
宗教科教育法Ⅲ 文-42
密教学講義（大） 院-1
密教学演習Ｃ－１（大） 院-4
密教学演習Ｃ－２（大） 院-4

井上ウィマラ 人間と宗教Ａ・Ｂ 文-3
密教学講読演習Ａ 文-8
仏教学特殊講義Ｃ 文-14
密教学演習Ｂ 文-15
企画科目（傾聴実践） 文-20
企画科目（ヴィパサナー瞑想Ⅰ） 文-20
企画科目（ヴィパサナー瞑想Ⅱ） 文-21
アジア地域の宗教文化の研究（大） 院-12

上田恭寿 国語学Ⅰ 文-28
国語学Ⅱ 文-28
国語学講義Ⅰ 文-34
国語学講義Ⅱ 文-34

上山雄慈 企画科目（詠歌） 文-22
岡本文音 企画科目（茶道） 文-23
奥山直司 密教史概説Ⅰ 文-6
密教学特殊講義Ｊ 文-13
密教学演習Ｄ 文-16
インド学講義（大） 院-1
密教史演習Ａ－１（大） 院-4
密教史演習Ａ－２（大） 院-4
密教史講読１（大） 院-6
密教史講読２（大） 院-6

【か 行】

加納和雄 祖典講読ⅠＡ 文-7
祖典講読ⅡＡ 文-7
真言宗典講読１（別） 文-7
真言密教講読演習Ｃ 文-10
真言宗典講読２－２（別） 文-10
密教学演習Ｈ 文-17
サンスクリット語Ⅱ 文-24
チベット語 文-24
チベット語（別） 文-24
仏教学講義（大） 院-1
仏教史特殊研究（大） 院-8
仏教学演習１ 院-8
仏教学演習２ 院-9

川崎一洋 密教思想史Ⅰ 文-26
密教思想史Ⅱ 文-26
宗教学Ⅰ 文-31
宗教学Ⅱ 文-31
世界の宗教（別） 文-31
宗教史Ⅰ 文-31
宗教史Ⅱ 文-31
宗教の歴史（別） 文-31

木本滋久 漢字Ⅱ 文-36
条幅制作Ａ 文-37

糀谷有桜 企画科目（芸能） 文-21
高祖彩恵子 企画科目（舞踊） 文-19
甲田宥叶 企画科目（一流伝授Ⅰ） 文-23
企画科目（一流伝授Ⅱ） 文-23
密教実践法の研究１（大） 院-11
密教実践法の研究２（大） 院-11

五味和樹 企画科目（華道） 文-20

近藤堯寛 布教 文-30
布教（別） 文-30

【さ 行】

齋藤天譽 真言密教特殊講義Ｂ 文-15
真言密教特殊講義Ｃ 文-15
密教儀礼の理論と実習（別） 文-15
梵字悉曇 文-29
梵字悉曇（別） 文-29
事相研究Ⅰ－１（大） 院-7
事相研究Ⅰ－２（大） 院-7

佐藤隆彦 密教史概説Ⅱ 文-6
密教学演習Ⅰ 文-17
企画科目（阿息観） 文-21
企画科目（月輪観と阿字観） 文-22
観法の理論と実習（別） 文-21
事相研究（聖教の伝授と実習）（別） 文-46
密教史演習Ｂ－１（大） 院-5
密教史演習Ｂ－２（大） 院-5
事相研究Ⅱ－１（大） 院-7
事相研究Ⅱ－２（大） 院-8

静慈圓 密教学特殊講義Ｃ 文-11
密教学特殊講義Ｄ 文-11
仏教芸術（別） 文-11

静春樹 英語ⅠＢ 文-1
英語ⅡＢ 文-4

下西忠 密教学演習Ｊ 文-17
国文法Ⅰ 文-28
国文法Ⅱ 文-28
日本文学史概説Ⅰ 文-33
日本文学史概説Ⅱ 文-33
日本文化特殊講義Ｂ 文-34
国語科教育法Ⅰ 文-42
国語科教育法Ⅱ 文-42
国語科教育法Ⅲ 文-43
国語科教育法Ⅳ 文-43
仏教史演習Ｂ－１（大） 院-9
仏教史演習Ｂ－２（大） 院-10

【た 行】

高倉正行 英語ⅠＡ 文-1
英語ⅠＣ（再履修） 文-2
英語ⅡＡ 文-4
英語ⅡＣ（再履修） 文-5
企画科目（時事英語） 文-19

武内孝善 弘法大師伝Ａ・Ｂ 文-3
弘法大師空海の生涯Ａ・Ｂ（別） 文-3
密教学特殊講義Ｈ 文-12
密教学特殊講義Ⅰ 文-13
密教学演習Ｋ 文-18
密教史特殊研究１（大） 院-2
密教史特殊研究２（大） 院-2
密教史演習Ｃ－１（大） 院-5
密教史演習Ｃ－２（大） 院-5
密教特殊演習１（大） 院-13
密教特殊演習２（大） 院-13

竹村和也 現代の人権 文-29
日本国憲法 文-29
人権と福祉（別） 文-29

田村美幸 キャリアカウンセリングⅠ 文-45
就職スキル講座 文-46

辻佐智子 企画科目（舞踊） 文-19
辻秀道 企画科目（詠歌） 文-22
企画科目（声明上級） 文-22
声明上級（別） 文-22
声明 文-30
声明（別） 文-30

土居夏樹 日本語Ｄ 文-2
祖典講読ⅠＢ 文-7
祖典講読ⅡＢ 文-7

	祖典講読Ⅲ A	文 - 7
	祖典講読Ⅳ A	文 - 8
	真言密教講読演習D	文 - 10
T. ドライトライン	真言密教講読演習 A	文 - 9
	真言密教講読演習 B	文 - 10
	密教学特殊講義 E	文 - 12
	密教学特殊講義 F	文 - 12
	英会話	文 - 24
	密教学特殊研究１（大）	院 - 2
	密教学特殊研究２（大）	院 - 2
	現代社会と仏教の研究１（大）	院 - 12
	現代社会と仏教の研究２（大）	院 - 12

【な　行】

中　西　雄　泰	法式	文 - 30
	法式（別）	文 - 30
中　村　本　然	密教学特殊講義 G	文 - 12
	密教学演習 A	文 - 15
	祖典演習（大）	院 - 1
	密教学演習 A － 1（大）	院 - 3
	密教学演習 A － 2（大）	院 - 3
	現代社会と宗教（大）	院 - 6
	密教学講読（大）	院 - 6
野　口　博　司	情報処理	文 - 29
野　田　　悟	密教学演習 C	文 - 16
	中国文化特殊講義 A	文 - 35
	漢字 I	文 - 36
	篆刻 I	文 - 37
	篆刻 II	文 - 37
	書道史（中国）	文 - 38

【は　行】

土生川　正　賢	中国語（初級）	文 - 25
	中国語（上級）	文 - 25
浜　畑　圭　吾	総合科目（古文書入門）	文 - 18
	総合科目（書誌学）	文 - 19
	日本文学 I	文 - 27
	日本文学 II	文 - 27
	日本文学概論 I	文 - 32
	日本文学概論 II	文 - 32
	日本文化特殊講義 A	文 - 34
	日本文化講読演習	文 - 35
藤　田　光　寛	空海の思想入門 A・B	文 - 1
	仏教学講読演習 C	文 - 9
	宗教学方法論	文 - 32
	仏教史講読１（大）	院 - 10
	仏教史講読２（大）	院 - 10
藤　吉　圭　二	日本語 C	文 - 2
	日本語 E（再履修）	文 - 2
	総合科目（デジタルアーカイブ）	文 - 18
	社会学 I	文 - 27
	社会学 II	文 - 27
	教育社会学	文 - 41
渕　田　雲　渓	企画科目（法式上級）	文 - 21
	法式上級（別）	文 - 21
船　橋　真亜子	体育実技	文 - 25
戸　來　知　子	心理学 I	文 - 26
	心理学 II	文 - 26
	心の科学（別）	文 - 26
	教育心理学	文 - 41
	情報技術論	文 - 43
	特別教育活動	文 - 44
	教育相談	文 - 44
	教職実践演習	文 - 45
	教育実習の研究	文 - 45

【ま　行】

前　谷　　彰	釈尊伝 A・B	文 - 3
	釈尊の生涯 A・B（別）	文 - 3
	仏教史概説 I	文 - 6
	仏教史概説 II	文 - 6
	仏教学特殊講義 E	文 - 14
	密教学演習 E	文 - 16
	サンスクリット語 I	文 - 24
	サンスクリット語（別）	文 - 24
	密教と文化（大）	院 - 7
	仏教と文化（大）	院 - 7
	仏教学特殊研究（大）	院 - 8
	仏教史演習 A － 1（大）	院 - 9
	仏教史演習 A － 2（大）	院 - 9
松　長　恵　史	祖典講読Ⅲ B	文 - 7
	祖典講読Ⅳ B	文 - 8
	密教学講読演習 B	文 - 8
	真言宗典講読２－１（別）	文 - 8
	真言密教特殊講義 A	文 - 14
南　　昌　宏	日本語 A	文 - 2
	漢文 I A・B	文 - 4
	漢文 II A・B	文 - 4
	密教学演習 F	文 - 16
	漢文学概論 I	文 - 33
	漢文学概論 II	文 - 33
	中国文化特殊講義 B	文 - 35
	中国文化講読演習	文 - 35
	密教学演習 B － 1（大）	院 - 3
	密教学演習 B － 2（大）	院 - 3
宮　田　永　明	常用経典	文 - 30
	常用経典（別）	文 - 30
森　崎　雅　好	仏教学特殊講義 D	文 - 14
	企画科目（グリーフケア）	文 - 22
	キャリアカウンセリング II	文 - 45
森　本　一　彦	密教学特殊講義 A	文 - 11
	密教学特殊講義 B	文 - 11

【や　行】

山　口　幸　照	社会福祉各論 I（地域福祉）	文 - 38
	社会福祉各論 II（地域福祉）	文 - 38
	地域福祉（別）	文 - 38
	社会福祉各論 I（障害者福祉）	文 - 39
	社会福祉各論 II（高齢者福祉）	文 - 39
	社会福祉各論 I（児童福祉）	文 - 39
	社会保障総論 I	文 - 39
	社会保障（別）	文 - 39
	社会保障総論 II	文 - 40
	社会福祉概論 I	文 - 40
山　本　圭　子	かな I	文 - 36
	かな II	文 - 36
	条幅制作 B	文 - 37
山　本　文　昭	企画科目（詠歌）	文 - 22
山　脇　雅　夫	日本語 B	文 - 2
	現代思想 A・B	文 - 3
	哲学 A（別）	文 - 3
	哲学方法論	文 - 32
	哲学 B（別）	文 - 32
	教育原論	文 - 40
	教育方法論	文 - 43
	道徳教育の研究	文 - 44
	教育実習の研究	文 - 45
	教育学特殊研究（大）	院 - 12

【わ　行】

和　田　圭　子	仏教学講読演習 A	文 - 9
	仏教学講読演習 B	文 - 9
	仏教学特殊講義 A	文 - 13
	仏教学特殊講義 B	文 - 13
	企画科目（仏教芸術）	文 - 20
	仏教芸術の研究１（大）	院 - 11
	仏教芸術の研究２（大）	院 - 11

講義概要・授業計画　平成26年度（2014）

2014年４月１日発行

編集・発行　高　野　山　大　学

〒648-0280　和歌山県伊都郡高野町高野山385

Tel.（0736）56－5027（教務課）

Fax.（0736）56－2746

E-mail : kyomu@koyasan-u.ac.jp

URL : http//www.koyasan-u.ac.jp

印刷　藤井印刷株式会社